お知らせ

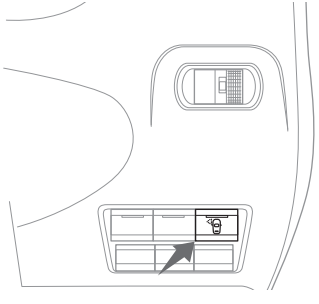
シトロエン BERLINGO において、仕様の変更などにより、取扱説明書の本文の記載と異なる部分がありますので、以下のように追記させていただきます。

○助手席バックレストの折りたたみについて（第1章 1-4ページ「助手席バックレストの折りたたみ」）

ハイセンターコンソール装備車は、助手席バックレストを折りたたむ前に、助手席のアームレストを取りはずしてください。
助手席バックレストを元の位置に戻したら、取りはずしたアームレストを取り付けてください。
アームレストの取りはずしと取り付け方法の詳細は P.1-3「アームレスト」項を参照してください。

○サイドビューカメラについて（第1章 1-8ページ「サイドビューカメラ」）

サイドビューカメラを作動させるスイッチの位置が変更されました。
サイドビューカメラは、運転席側ダッシュボードのスイッチを押すと作動します。再度スイッチを押すと、数秒後にオフになります。
また、サイドビューカメラは、シフトポジションを **R** にすると作動します。シフトポジションを **R** 以外にすると、数秒後にオフになります。



○後席中央シートの折りたたみについて（第1章 1-10ページ「後席から折りたたむ（中央シート）」）

リア３席独立シートは、一部の車両には装備されていません。一部の車両には、60：40 分割可倒式リアシートが標準装備されています。後席中央シートは、ドア側シートとともに折りたたまれます。

○ブラインドスポットモニターについて（第3章 3-30ページ「ブラインドスポットモニター」）

ブラインドスポットモニターは、一部の車両には装備されていません。

○フロント／サイドソナーについて（第3章 3-63ページ「フロント／サイド／バックソナー」）

フロント／サイドソナーは、一部の車両には装備されていません。一部の車両にはバックソナーが標準装備されています。

○エアコンディショナーについて（第5章 5-2ページ「エアコンディショナー」）

一部の車両にはマニュアルエアコンが標準装備されています。

●マニュアルエアコン

⚠注 意

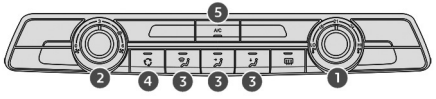
ストップ＆スタートによってエンジンが停止しているときは、暖房や冷房も止まります。必要に応じてストップ＆スタートを解除してください。

MEMO

- ●室内の空気の入れ替えが十分に行えるように、装置を適切にコントロールしてください。
- ●外気温度が高温のとき、エンジンの負荷を軽減するために一時的にエアコンを停止することをお勧めします。
- ●空気の流れをスムーズにするために、次のことに注意してください。
  - ボンネット内の外気取り入れ口がふさがれていないか。
  - 前席下のエアダクトや吹き出し口がふさがれていないか。
  - ラゲッジルーム内の空気排出口がふさがれていないか。

MEMO

- ●エアコンを長期間、快適に使用するためにも、1ヶ月に1度は5分から10分間の使用を推奨しています。
- ●長時間、高温の場所に停車すると、室内の温度は非常に高くなります。吹き出し風量を最大にして数分間、換気を行ってください。
- ●室内フィルターは定期的に交換してください。2層構造の室内フィルターは、アレルギー物質や悪臭、油汚れの除去に効果を発揮し、室内の空気をよりきれいにします。
- ●エアコンを正しくお使いいただくため、定期的に点検することを推奨しています。
- ●湿度が高いときなど、エアコンを使用していると車体の下から無色の水が流れ出ることがあります。これは空気中の水分が凝結したもので、異常ではありません。
- ●エアコンを使用していても冷気が出ないときは、使用を中止してシトロエン指定サービス工場にご連絡ください。



①：温度の設定
ダイヤルを回して設定します。左側（LO）に回すと温度が下がり、右側（HI）に回すと温度が上がります。

②：風量の調整
ダイヤルを回して調整します。ダイヤルを左側に回すと風量が減少し、右側に回すと風量が増加します。

MEMO

エアコンは、風量調整が最小のときには作動しません。室温の調整は行われませんが、走行により微量の風が吹き出し口から出ます。

③：吹き出し口の切り替え
ボタンを押してお好みの吹き出し口を選択します。 選択されている吹き出し口のボタンのインジケーターが点灯します。


フロントウィンドウとサイドウィンドウ


ダッシュボード中央と左右


足元

④：内／外気の切り替え
外気が車内に入るのを防ぎます。外のいやな臭いの遮断や急速に冷暖房するときに使用します。
ボタンを押すと内気モードと外気モードが切り替わります。
インジケーターが消灯しているときは外気モード、点灯しているときは内気モードになっています。
内気モードでの長時間の使用は避けてください。換気が行われず、ウィンドウが曇ることがあります。

⚠警 告

内気循環モードは、必要以外は使用しないでください。ウィンドウが曇るだけでなく、車内の空気が新鮮でなくなり、運転者の集中力が低下したり疲れやすくなるため、事故やケガにつながるおそれがあります。

⑤：エアコンのオン／オフ
このボタンを押すとエアコン（冷房・除湿機能）が停止します。
エアコンを作動させるには、再度ボタンを押します。
インジケーターが点灯してエアコンが作動します。

⚠警 告

エアコンを停止させると､空気の循環が全く行われません｡ウィンドウが曇るので、一時的な停止にとどめてください。

MEMO

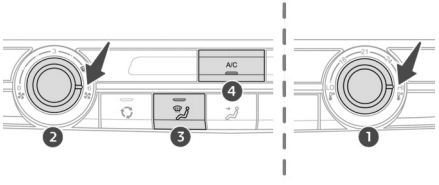
ウィンドウが開いていると設定した温度を保てないことがあります。

●視界の確保
天候や乗車状況によっては、エアコンが作動していてもウィンドウガラスが曇ることがあります。フロント・サイド／リアそれぞれの視界確保モードを作動させて曇りを取ってください。

⚠警 告

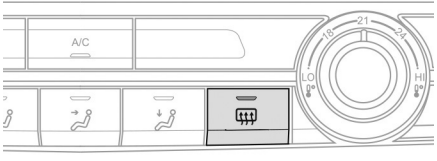
すべてのウィンドウの視界が保たれないと、思わぬ事故につながるおそれがあります。

フロント・サイドウィンドウ



1. 吹き出し口の切り替えボタン③を押してフロントウィンドウとサイドウィンドウを選択します。
2. 温度の設定ダイヤル①と風量の調整ダイヤル②を右側いっぱいまで回して温度の設定と風量の調整を最大にします。
3. エアコンのオン／オフボタン④を押してエアコンを作動させます。

リアウィンドウ



エンジンがかかっているときにこのボタンを押すと、インジケーターが点灯し、リアウィンドウやドアミラーの曇りを取ります。スイッチは自動的に切れます。
このモードを解除するときは再度ボタンを押します。インジケーターが消灯します。

○タッチスクリーンの車の設定項目について（第5章 5-10ページ、5-11ページ「車の設定項目一覧」）

以下の機能は、一部の車両には装備されていません。これに伴い、タッチスクリーンの操作によるこれらの機能の設定はできません。

・ フロント／サイドソナー（バックソナーのオン／オフは設定可能です）
・ ブラインドスポットモニター
・ アンビエンスイルミネーション

○マルチパノラミックルーフ MODUTOP®について（第5章 5-21ページ「マルチパノラミックルーフ MODUTOP®」）

マルチパノラミックルーフ MODUTOP®は、一部の車両には装備されていません。これに伴い、小物入れのセンターおよびリア、アンビエンスイルミネーション、電動式サンシェードは一部の車両に装備されません。

○12V電源ソケットついて(第5章 5-22ページ「12V電源ソケット」)

ラゲッジルームの 12V 電源ソケットは、一部の車両には装備されていません。

○オーディオの設定項目について(第8章 8-22ページ「オーディオの設定項目一覧」)

サウンドの画面には、**AUX 入力**は表示されません。

CITROËN

CITROËN BERLINGO

取扱説明書

INSPIRED BY YOU

ごあいさつ

このたびはシトロエン BERLINGOをお買い上げいただき、誠にありがとうございます。
この取扱説明書は、シトロエンBERLINGOの取り扱いについて記載してあります。
ご使用になる前に本書をよくお読みになり、ご理解を深めるようお願い申し上げます。
本書は車内に保管し、いつでも読み返すことができるようにしてください。
車に添え付けられているメンテナンスノート（整備手帳）は、携行が義務付けられています。この取扱説明書とともに常時携行していただくようお願い申し上げます。



おことわり

・この取扱説明書は、発売時点の車両仕様をもとに作成しております。
オートモビル・シトロエン社では絶えず製品の改良を行っており、予告なく仕様が変更されることがあります。お客様の車両と装備品、仕様等が本書に掲載されている写真、イラスト、仕様等と細部が異なる場合がありますが、あらかじめご了承ください。
・本書は、オプション装備を含む当モデルの全ての装備の説明を記載しております。各装備の有無については車両の仕様によって異なるため、お求めいただいた車両に装備されていない物が記載されていることがありますのであらかじめご了承ください。

重要安全情報

この取扱説明書には、車を安全に取り扱うために必要な情報が記載されています。
また、車を取り扱う上での危険性や注意点などについても説明されており、それに伴う事故を避けるためのアドバイスも含まれています。これらの警告や注意を守らない場合には、死亡を含む人的な傷害や車の破損などにつながる可能性があります。
危険に関する警告や注意は、車体各部に貼り付けた3種類の警告ラベルで表示されています。さらに、本書は注意に関する記載を、人身と物損に分けています。

⚠警 告

指示に従わなかった場合、乗員や第三者が死亡または重度の傷害を負うおそれがあることを示しています。

⚠注 意

指示に従わなかった場合、乗員や第三者が傷害を負うおそれがあることを示しています。

注 意

指示に従わなかった場合、車を破損させるおそれがあることを示しています。

MEMO

取り扱い上で、重要な点や注意点、アドバイスなどを示しています。

⚠ このマークが付いた指示に従わなかった場合、人身に関わる(死亡や傷害の)おそれがあることを示しています。

車をご使用いただく前に

●消耗品、アクセサリーについて

シトロエンBERLINGOに使用する消耗品やアクセサリー類は、シトロエンの純正部品をご使用ください。市販されている汎用の消耗品やアクセサリー類の中には、車の機器に適合しなかったり正常な作動を妨げる可能性がある製品が含まれていることがあります。シトロエン車本来の安全性や耐久性を損わないためにも、純正の部品やアクセサリー類のご使用をお勧めします。

●改造について

シトロエンBERLINGOの非合法な改造は、法に触れるだけでなく車の安全性や耐久性を著しく損なうおそれがあります。また、車の保証修理が受けられなくなることがありますので、むやみな改造を行わないでください。本書に記載のない整備や修理については、シトロエン指定サービス工場にご用命ください。
この車の電気配線には、多重通信システムの制御信号が流れています。シトロエン純正以外のナビゲーションシステムやラジオなどのアクセサリー類の取り付けのために車の配線に加工や接続をすると、エンジンやブレーキの制御に障害を与え、その結果、機器の故障や事故に至るおそれがあります。これらの取り付けにあたっては、シトロエン指定サービス工場にご相談ください。
また、シトロエンが供給していないアクセサリー類の取り付けや、あるいはシトロエンの指示に従わない装着方法によって発生した、車または機器の不具合もしくは事故などに関わる損害の補償をいたしません。

●エコノミーモード

エンジンが停止してからも、オーディオ機器などへの電源供給を走行直後は最大40分間行います。電源が切れると、メッセージが表示されます。
引き続きアクセサリーを使用したいときは、エンジンを始動して5分以上回してください。

●ディーゼル車について

AdBlue®の残量がなくなった場合、エンジンを始動できなくなります。AdBlue®の補充は早めにシトロエン指定サービス工場にお申し付けください。

環境・リサイクルへの取り組み

●自動車リサイクル法

自動車リサイクル法は、使用済自動車（廃車）を適正に処理して、資源の再利用を促進することでゴミを減らすことを目的に作られた法律です。
具体的には、廃車することで発生する再利用できないシュレッダーダストの削減、環境に有害な物質（フロンなど）の適正処理などを行い、環境保護に役立てるものです。そのため、車の所有者、自動車会社（輸入事業者を含む）、自動車関連事業者それぞれに役割が定められています。

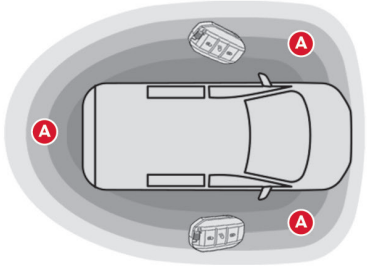
●リサイクルへの取り組み

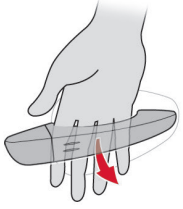
シトロエンでは、自動車リサイクル法が制定される以前から環境保護を行うためのリサイクルに関して対応してきております。
シトロエンBERLINGOは、リサイクル可能な素材を車体の多くの部分や部品に採用しています。
車の総重量のうち、90%は何らかの形でリサイクルすることが可能です。
すべてのプラスチック部品には、素材を表す記号がつけられており、簡単に取りはずしや分解ができるように考慮されています。
そのほとんどは熱可塑型を使用していますので、熔解したり粉砕して別の自動車部品として蘇らせることができます。
金属部品も同様に、100%の再利用が可能です。この中にはアルミニウムを始め、プラチナやロジウムといった貴重な金属も含まれます。
なお、アスベストやカドミウムといった有害物質は、設計の段階から使用を除外しています。

●環境への配慮

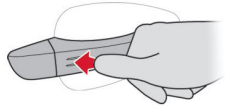
シトロエン指定サービス工場での定期点検整備をきちんと行うことは、環境保護と公害発散の防止につながります。
シトロエン指定サービス工場では、交換済みのオイルや油脂類、損耗部品などを正しく処理することによって環境保護のために貢献しています。
特にエアコンに使用されている冷媒ガス（フロン：HFC134a）は、地球温暖化につながるため大気に放出してはなりません。
回収や破壊などの適正な処置をとるためにも、車を廃車にするときはシトロエン指定サービス工場にご相談ください。
環境保護は、たとえキーレスエントリーのリモコンの電池1個であっても、お客様のご協力によって実践することができます。

●スマートキー（→P.2-2）





車の解錠
車両周辺の検知エリア**A**にスマートキーがあるときに、前席のドアハンドルに手を通すと、車が解錠されます。ドアハンドルをそのまま引くとドアを開けることができます。

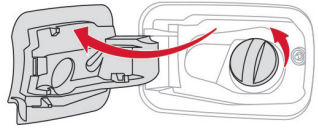


車の施錠
車両周辺の検知エリア**A**にスマートキーがあるときに、前席のドアハンドルのスイッチを押すと、車が施錠されます。

MEMO

リモコンとしてスマートキーのボタンを使って、施錠・解錠することもできます。

●フュエルリッド（→P.2-22）

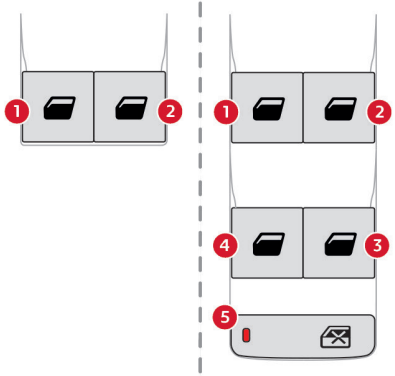


1. ドアを解錠すると、フュエルリッドも連動して解錠されます。
2. 給油フラップの後ろ側を押して開きます。
3. フュエルキャップを左（反時計方向）に回してはずして、フラップの内側にあるフックに引っかけておきます。

燃料タンクの容量は、ガソリン車が約61リットル、ディーゼル車が約50リットルです。

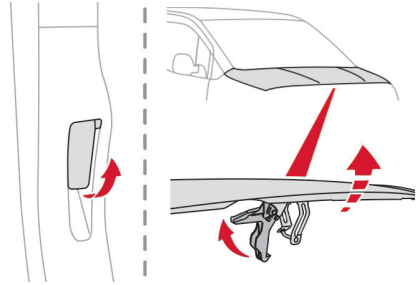
*仕様により異なります。

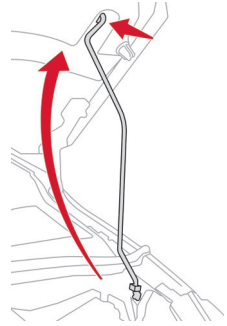
●パワーウィンドウ（→P.2-18）



①：助手席側ウィンドウ開閉スイッチ
②：運転席側ウィンドウ開閉スイッチ
③：後席右側ウィンドウ開閉スイッチ*
④：後席左側ウィンドウ開閉スイッチ*
⑤：リアウィンドウキャンセルスイッチ*

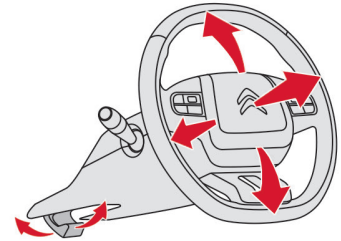
●ボンネット（→P.2-21）





1. 助手席側ドアを開き、ドアシル部にあるレバーを引きます。
2. ボンネット下のロックレバーを引き上げてから、ボンネットを持ち上げます。
3. 支柱をキャッチに固定します。

●チルト・テレスコピックステアリング（→P.3-5）



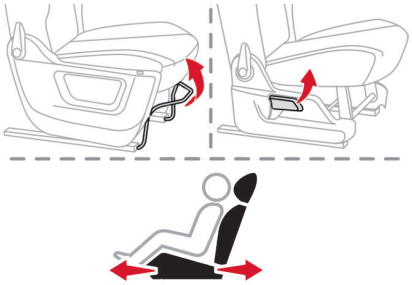
1. ロックレバーを手前に引き、ステアリングのロックを解除します。
2. ステアリングホイールの高さや奥行きを調整します。
3. ロックレバーを押し下げて、ステアリングをロックします。

⚠警 告

ステアリングの調整は、車を停止して行ってください。

●フロントシートの調整
（→P.1-2）

前後調整



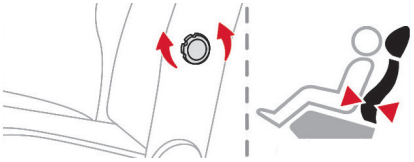
レバーを引き上げたままシートを前後に動かします。レバーを放すとその位置で固定されます。

背もたれの角度調整



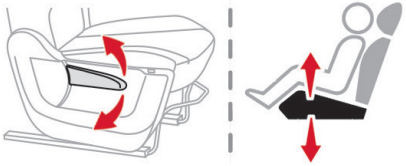
レバーを後方に倒したまま、背もたれの角度を調整します。レバーを放すとその位置で固定されます。

ランバーサポートの調整（運転席）



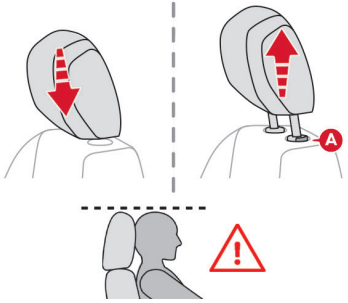
ダイヤルを回してランバーサポートを調整します。

シートの高さ調整（運転席）



レバーを上下に動かして高さを調整します。

●ヘッドレストの高さ調整
（→P.1-12）

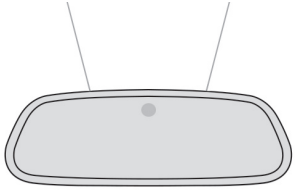


ヘッドレストを引き上げると上がります。ラグ**A**を押しながらヘッドレストを押すと下がります。

⚠警 告

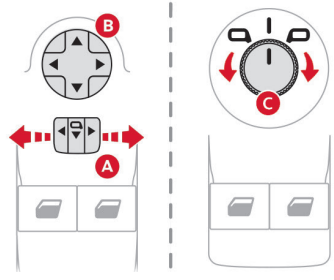
- ●フロントシートに座るときは、高さはヘッドレストの上端と前席乗員の頭の上が揃うように調整してください。
- ●リアシートに座るときは、ヘッドレストを高い位置に調整してください。

●バックミラーの調整（→P.1-7）



ミラーを動かして、後方がよく見えるように角度を調節します。
自動防眩バックミラーは、周囲の明るさに応じて自動的にミラーの明るさを調整します。

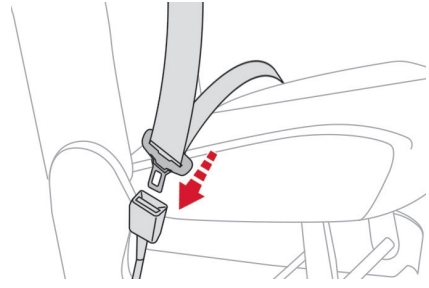
●ドアミラーの調整（→P.1-6）



1. スイッチ**A**または**C**を左または右に動かして調整するミラーを選択します。
2. スイッチ**B**の動かしたい側のボタンを押すか、スイッチ**C**を動かして角度を調整します。
3. 調整が終わったら、スイッチ**A**または**C**を中央の位置に戻します。

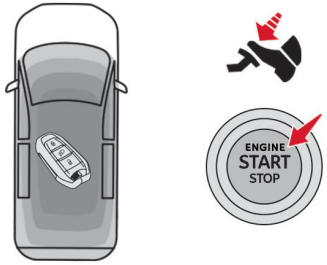
スイッチ**A**を中央位置にして後方へ引くと、ミラーが格納されます。

●シートベルト（→P.1-13）



水平方向にあるベルトを、腹部ではなく腰骨に当たるようにしてバックプレートをカチッと音がするまでバックルに差し込みます。バックルの赤いボタンを押すとはずれます。

●エンジンの始動（→P.3-2）



スマートキーが車内の検知エリアにあるときに、エンジンを始動および停止することができます。

エンジンの始動

1. スマートキーを携帯して乗車します。
2. シフトポジションをPまたはNにします。
3. パーキングブレーキがかかっていることを確認します。
4. ブレーキペダルを踏みながらENGINE START/STOPスイッチを押します。
5. スターターが回り、エンジンが始動します。

ディーゼル車は、予熱表示灯が点灯後消灯したらエンジンが始動します。

エンジンの停止

1. 車を完全に停止します。
2. シフトポジションをPにします。
3. ENGINE START/STOPスイッチを押します。
4. エンジンが停止し、ステアリングがロックされます。

ENGINE START/STOPスイッチの役割

スイッチの状況	運転者の操作内容	車両の動作内容
アクセサリーポジション	ブレーキペダルを踏まずに、ENGINE START/STOPスイッチを押します。スイッチを押す度に、イグニッションのオン／オフが切り替わります。	イグニッションがオンとなり、警告灯類が点灯します。しばらくの間、ラジオやパワーウィンドウなどのアクセサリー装備が使用できます。
スタートポジション	ブレーキペダルを踏みながら、ENGINE START/STOPスイッチを押します。	エンジンが始動します。ラジオやパワーウィンドウなどのアクセサリー装備が使用できます。

●エレクトリックパーキングブレーキ（→P.3-11）



手動操作

エンジンの作動状態に関わらず、停車中にパーキングブレーキスイッチを手前に引くと、パーキングブレーキがかかります。

イグニッションがオンのとき、またはエンジン作動中に、ブレーキペダルを踏みながらパーキングブレーキスイッチを押し込んでから放すと、パーキングブレーキが解除されます。

自動操作

エンジンを停止すると、パーキングブレーキが自動的にかかります。

アクセルペダルを踏んで発進すると、パーキングブレーキが自動的に徐々に解除されます。

AUTO P OFF この表示灯が点灯しているときは、パーキングブレーキの操作をすべて手動で行う必要があります。

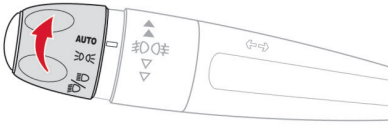
⚠警 告

エレクトリックパーキングブレーキは、お子さまでも簡単に解除できます。イグニッションをオンにしたままの状態で、お子さまを車内に残して車を離れないでください。

MEMO

エンジンをかけたまま車を離れるときは、手動でパーキングブレーキをかけてください。

●ライトスイッチ（→P.4-30）



ヘッドランプ

AUTO　オートライトモード

ポジションランプが点灯します。

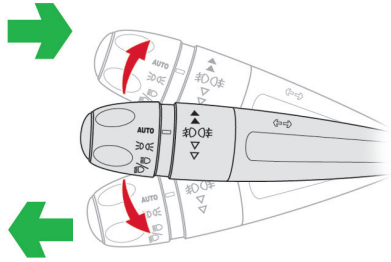
ヘッドランプのロービーム／ハイビームが点灯します。

フロントフォグランプ*、リアフォグランプ

リアフォグランプのみ点灯／消灯します。

フロント／リアフォグランプが点灯／消灯します。

●方向指示器（→P.4-36）

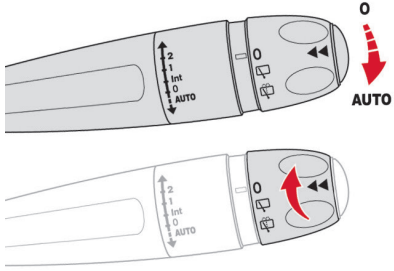


ライトスイッチレバーを上下に動かします。

MEMO

ライトスイッチレバーを1回軽く動かして放すと、動かした方の方向指示器が3回点滅します。

●ワイパー／ウォッシャー（→P.4-38）



フロントワイパー

AUTOモード*にするには、ワイパーレバーを押し下げます。
ワイパーレバーをもう一度押し下げるか、0以外の位置にするとAUTOモードが解除されます。
ワイパーレバーを手前に引くとウォッシャー液が噴射されます。

リアワイパー

停止

間欠作動

ウォッシャー作動

●タッチスクリーン（→P.5-7）

基本操作

← 前のページに戻ります。

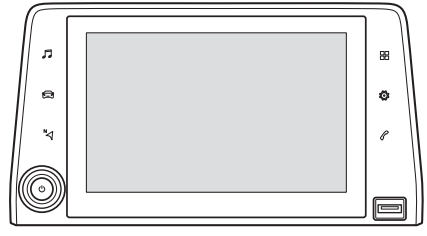
MEMO

タッチスクリーンのグレーアウトされたエリアにタッチすると前のページに戻ります。

OK 設定項目の変更後、変更画面にある**OK**にタッチして設定を有効にします。

さらに詳細な設定項目がある場合には、このアイコンにタッチします。

メニュー



オーディオやラジオの再生・設定画面を表示します。

車の機能の設定を表示します。

ナビゲーションを表示します。（装着車のみ）
Apple CarPlay や Android Auto™のマップを表示します。（使用中のみ）*

画像ファイルを表示します。
Eco コーチを表示します。

タッチスクリーンの設定画面を表示します。

ハンズフリー通話の通話・設定画面を表示します。
Apple CarPlay や Android Autoの画面を表示します。（使用中のみ）

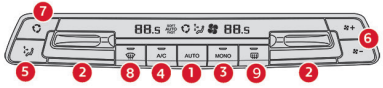
ツマミを回して音量を調節できます。ツマミを押すと、ミュート（消音／停止）になります。

MEMO

- ●タッチスクリーンの設定は、各設定画面上部の⚙にタッチしても行うことができます。
- ●タッチスクリーンに指3本でタッチすると、メニューが表示されます。

*仕様により異なります。

●左右独立式オートエアコン
（→P.5-2）



①：オート設定ボタン
お好みのエアコンの作動モードを設定します。

AUTO SOFT	風量を制限して作動します。
AUTO	通常の風量で作動します。
FAST AUTO	風量を多めにして作動します。

②：温度設定ボタン
ディスプレイの表示を希望の数値に合わせます。

③：MONOボタン
助手席側の温度設定を運転席側の設定に合わせます。

④：エアコンオン／オフボタン
冷房・除湿機能を作動／停止します。

⑤：吹き出し口切り替えボタン
6つのモードからお好みの吹き出し口を選択します。

⑥：風量調整ボタン
風量が増減します。

⑦：内／外気切り替えボタン
内気モード／外気モードを切り替えます。

⑧：フロント・サイドウィンドウの視界確保モードボタン

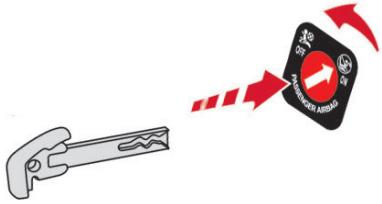
フロント・サイドウィンドウの曇りを取り除きます。

⑨：リアウィンドウの視界確保モードボタン

リアウィンドウの曇りを取り除きます。
エンジンがかかっているときに作動します。

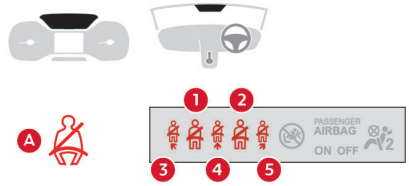
*仕様により異なります。

●助手席エアバッグキャンセルスイッチ（→P.1-26）



1. イグニッションをオフにします。
2. 助手席側のドアを開きます。
3. スマートキーから緊急用キーを取り出します。
4. 助手席エアバッグキャンセルスイッチに緊急用キーを差し込みます。
5. 助手席に大人が乗車しているとき、もしくは助手席に前向きチャイルドシートを取り付けた場合は**ON**にします。助手席に後ろ向きチャイルドシートを取り付けた場合には、必ず**OFF**にします。
6. そのまま緊急用キーを抜きます。

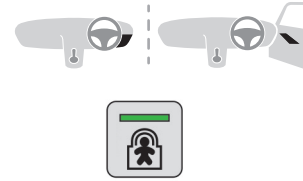
●シートベルト着用／非着用ディスプレイ（→P.1-15）



イグニッションをオンにしたとき、またはエンジンが始動しているとき、シートベルトを着用していない、または着用していたシートベルトをはずしたときに、インストルメントパネルとシートベルト着用／非着用ディスプレイのシートベルト警告灯が点灯または点滅します。

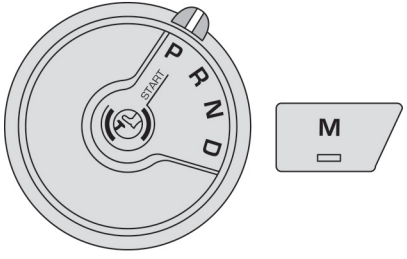
A：シートベルト着用／非着用警告灯
①：助手席側シートベルト警告灯
②：運転席側シートベルト警告灯
③：後席左側シートベルト警告灯
④：後席中央シートベルト警告灯
⑤：後席右側シートベルト警告灯

●電動チャイルドセーフティ *（→P.2-20）



チャイルドセーフティをオンにすると、車内から後席ドアを開けられなくなります。
イグニッションがオンのときにスイッチを押すと、スイッチのインジケーターが点灯し、チャイルドセーフティーがオンになります。
オフにするには、もう一度スイッチを押してください。

●エフィシェント・オートマチック・トランスミッション（→P.3-6）



ギアセレクターを回してシフトポジションを切り替えます。ブレーキペダルを踏んでいないとPから他のシフトポジションに切り替えることはできません。
Mにシフトするときは、Dにシフトしてから**M**ボタンを押します。MからDにシフトするときは、**M**ボタンを押します。

P：パーキング
R：リバース
N：ニュートラル
D：ドライブ
M：マニュアルモード

●パドルスイッチ（→P.3-7）



シフトポジションが**D**または**M**のとき、ステアリングの裏側にあるパドルスイッチでシフトチェンジができます。

右側（+）：シフトアップ
左側（−）：シフトダウン

MEMO

パドルスイッチを使って、シフトポジションを**N**または**R**に切り替えることはできません。また、**R**から他のポジションに切り替えることもできません。

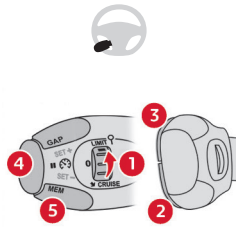
●ストップ&スタート（→P.3-24）

ストップ＆スタートの作動と解除は、タッチスクリーンで設定します。
ストップ＆スタートが作動／解除されるとメッセージが表示されます。

MEMO

エンジンを始動すると、ストップ&スタートは作動状態になります。

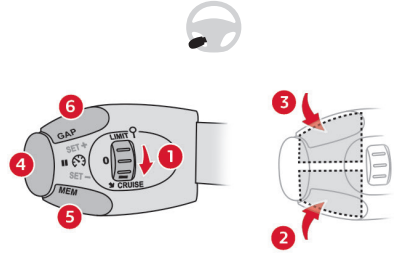
●スピードリミッター（→P.3-60）



①：スピードリミッター／クルーズコントロール切り替えスイッチ
②：設定速度の減少
③：設定速度の増加
④：システムの一時停止／復帰
⑤：トラフィックサインインフォメーションの表示速度受付

エンジン運転時に設定してください。

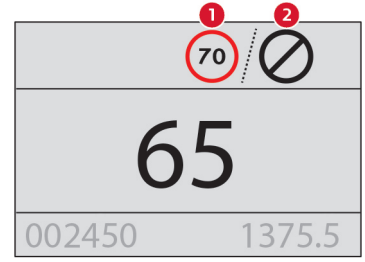
●アクティブクルーズコントロール（ブレーキサポート付き）（→P.3-51）



①：スピードリミッター／クルーズコントロール切り替えスイッチ
②：速度設定／設定速度の減少
③：速度設定／設定速度の増加
④：システムの一時停止／復帰
⑤：トラフィックサインインフォメーションの表示速度受付
⑥：車間距離の表示と設定

速度の設定およびシステムの作動は、シフトポジションがDまたはMで、時速30km以上のときに可能です。

●トラフィックサインインフォメーション（→P.3-47）



①：速度規制標識の制限速度表示
②：速度規制標識の速度規制区間終了の表示

速度規制標識を認識して、インストルメントパネル内のディスプレイに制限速度を表示します。
表示された制限速度は、スピードリミッターやアクティブクルーズコントロールの走行速度に設定することができます。
また、進入禁止の道路標識を認識し、車両が進入禁止区域に進入したと判断したときは、進入禁止の道路標識とともにメッセージを表示します。

目　次

安全なドライブについて
安全装置について
運転装置について
もしものとき
その他

第１章　安全に運転するために

フロントシート……1-2
ミラー……1-6
液晶ディスプレイ（カメラモニター）……1-7
サイドビューカメラ……1-8
リアシート……1-10
ヘッドレスト……1-12
シートベルト……1-13
チャイルドシート……1-17
エアバッグ……1-25
走行する前に……1-30
使用燃料について……1-30
冬季の取り扱い……1-31
保安炎筒……1-32
触媒コンバーター……1-32

第２章　各部の開閉のしかた

スマートキー……2-2
イモビライザー（盗難防止システム）……2-7
ドア／ドアロック／オートドアロック……2-9
テールゲート……2-14
リアオープニングガラスハッチ……2-16
パワーウィンドウ……2-18
リアドアウィンドウ……2-19
チャイルドセーフティ……2-20
ボンネット……2-21
フュエルリッド（給油口）……2-22

第３章　運転装置の使いかた

エンジンの始動……3-2
ステアリング／ホーン……3-5
エフィシェント・オートマチック・トランスミッション…3-6
シフトタイミングインジケーター……3-10
エコモード……3-11
エレクトリックパーキングブレーキ……3-11
ヒルスタートアシスタンス……3-15
グリップコントロール……3-16
ヒルディセントコントロール……3-18
SCR（選択式還元触媒）システム（ディーゼル車）……3-20
DPF（ディーゼルパティキュレートフィルター）
（ディーゼル車）……3-23
ストップ&スタート……3-24
ESC（エレクトロニックスタビリティコントロール）……3-27
ブラインドスポットモニター……3-30
レーンキープアシスト……3-33
ドライバーアテンションアラート……3-38
アクティブセーフティブレーキ……3-41
トラフィックサインインフォメーション……3-47
アクティブクルーズコントロール
（ブレーキサポート付き）……3-51
スピードリミッター……3-60
フロント／サイド／バックソナー……3-63
バックカメラ（トップリアビジョン機能付き）……3-66
パークアシスト……3-70
間接式タイヤ空気圧警告……3-77

第４章　メーター・ライト・ワイパー装置の使いかた

インストルメントパネル…… 4-2
ヘッドアップディスプレイ…… 4-4
警告灯類／表示灯類…… 4-6
冷却水温度計……4-24
エンジン油量インジケーター……4-25
サービスインジケーター……4-26
オドメーター／トリップメーター……4-28
マニュアルチェック……4-29
インストルメントパネルの調整（明るさ調整）……4-29
ライト類（ヘッドランプ、フォグランプ、方向指示器、
ハザードランプ）……4-30
ワイパー／ウォッシャー……4-38
ドライブコンピューター……4-42
Ecoコーチ……4-44

第５章　室内装置の使いかた

エアコンディショナー…… 5-2
タッチスクリーン…… 5-7
ラゲッジルーム……5-17
ルームランプ……5-19
インテリア……5-21

第６章　お手入れ・メンテナンス

外装のお手入れ…… 6-2
内装のお手入れ…… 6-3
エンジンルームの点検…… 6-4
電球の交換…… 6-7
ヒューズの交換……6-14
燃費の改善について……6-15
推奨交換時期……6-16
推奨油脂類……6-16
推奨点検時期……6-17

もしものとき

ホイール（タイヤ）の交換…… 7-2
パンク修理キット…… 7-8
バッテリーが上がったとき……7-12
けん引されるとき……7-16
AdBlue®（尿素水）の補充（ディーゼル車）……7-18
燃料切れしたとき（ディーゼル車）……7-20

車両データ・アクセサリー類・索引

識別表示…… 8-2
外形寸法…… 8-3
アクセサリー類…… 8-4
索引…… 8-8
付録……8-15

安全のために

重大な事故や車両火災におよぶおそれのある内容と回避方法、一般的な注意事項などについて記載してあります。重要な内容ですので、必ずお読みください。

点検整備のお願い

点検整備を必ず実施してください

- 車を安全に使用していただくため、お客様の責任において日常点検と法定定期点検の実施が法律で義務付けられています。点検内容については、別冊の「**メンテナンスノート**」をお読みください。
- 日常点検を行い異常があるときは、シトロエン指定サービス工場で点検を受けてください。（音、振動、臭い、水·油漏れなど）

走行する前の注意

燃えやすいものは積まないでください

- 燃料が入った容器や可燃性のガスが入ったスプレー缶などは積まないでください。炎天下の駐車で室内が高温になったときや万一のとき、引火や爆発するおそれがあります。



安 全 な ド ラ イ ブ に つ い て

運転席足元・運転席下にはものを置かないでください

・ 空き缶などを置くと、ブレーキペダルやアクセルペダルに挟まり、走行中にペダル操作ができなくなるおそれがあります。思わぬ事故につながりますので、絶対に行わないでください。



フロアマットはしっかりと固定して使用してください

・ 運転前にフロアマットが正しく取り付けられていることを点検してください。また、フロアマットを重ねて敷くことはしないでください。フロアマットがペダル操作の妨げになり、重大な事故につながるおそれがあります。

スピードメーターの速度の単位は必ず km/h 表示を使用してください

・ 誤って mph 表示（マイル）にすると、正確な速度を認識できず、思わぬ事故につながるおそれがあります。

ダッシュボードなどにものを取り付けたり、置かないでください

・ ダッシュボードなどにものを置いたまま運転すると、視界の妨げや移動して安全運転の妨げになり、思わぬ事故につながるおそれがあります。

・ また、アクセサリー品を取り付けたり、シールを貼り付けると、エアバッグ作動の妨げやエアバッグ作動時にアクセサリー品が飛ばされて、思わぬケガや事故につながるおそれがあります。



荷物は確実に固定してください

・ 助手席や後席に荷物を積むと、急ブレーキのときなど荷物が放り出されて乗員に当たり、思わぬケガをするおそれがあります。荷物はできるだけラゲッジルームに積み、アクセサリー品（オプション）のネットやベルトを使用して固定してください。

・ 荷物の積み重ねによる後方視界の妨げがないようにしてください。

燃料補給時の注意

指定以外の燃料を使用しないでください

- 燃料は、ガソリン車には無鉛プレミアム（無鉛ハイオク）ガソリン、ディーゼル車には超低硫黄軽油（サルファーフリー／S10ppm 以下）を給油してください。
- ガソリン車に有鉛ガソリンや粗悪なガソリン、指定以外の燃料（軽油、高濃度アルコール含有燃料など）を給油したり、ディーゼル車にガソリンや灯油を給油すると、エンジンなどに悪影響を与えますので使用しないでください。
- ディーゼル車に指定以外の軽油を補給すると、白煙が発生し続けることがあります。また、DPF（ディーゼルパティキュレートフィルター）の故障につながるおそれがあります。

燃料補給時には次のことをお守りください

セルフ式のガソリンスタンドで給油するときは、十分に注意して給油してください。

1. エンジンは必ず止めて、ドアやウィンドウを閉めます。
   タバコなどの火気は近付けないでください。
2. フュエルリッド、フュエルキャップを開けるなどの給油作業を行う前に、車体や給油機などの金属部分に触れて身体の静電気を除去してください。
   身体に静電気が帯電していると、放電による火花で燃料に引火し、やけどをするおそれがあります。また給油口には、身体の静電気を除去した方以外の人を近付けないでください。
3. フュエルキャップは、何度かに分けて開き、燃料タンク内の圧力を少しずつ下げてからはずします。
   フュエルキャップが「シュー」と音を出すときは、その状態で鳴り止むのを待ってから開けます。いっきに開けると、燃料が給油口から噴き返して、傷害を受けたり火災になるおそれがあります。
4. 給油作業中は、車内に戻ったり、帯電している人やものに触れないでください。再び帯電するおそれがあります。
5. 燃料を車体にこぼさないように注意してください。塗装面を傷めるおそれがあります。
6. 給油時に気化した燃料を吸い込まないように注意してください。燃料の成分には、有害物質を含んでいるものがあります。
7. 給油後は、フュエルキャップが確実に閉まっていることを確認してください。
8. その他、ガソリンスタンド内に掲示されている注意事項を守ってください。

走行するときの注意

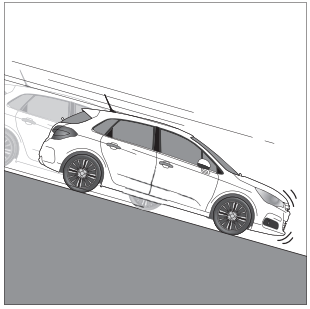
走行中は ENGINE START/STOP スイッチを押さないでください

・ 走行中に ENGINE START/STOP スイッチを押し続けるとエンジンが停止して、ブレーキ倍力装置が働きません。
そのためにブレーキの効きが悪くなり、ハンドル操作も重くなるために思わぬ事故につながるおそれがあります。非常に危険なので、絶対に行わないでください。

長い下り坂ではエンジンブレーキ * を併用してください

・ ブレーキペダルを踏み続けると、ブレーキが過熱して効きが悪くなるおそれがあります。坂の勾配に応じて、適切なレンジを選択し、エンジンブレーキを併用してください。

* エンジンブレーキ
走行中にアクセルペダルから足を離したときにかかるブレーキ



安 全 な ド ラ イ ブ に つ い て

車を移動するときはエンジンをかけてください

・ エンジンがかかっていないときは、ブレーキの効きが悪くなります。ハンドルがロックされて操作ができなくなることもあります。
車を少し移動させるときでも、必ずエンジンをかけてください。車を押したり傾斜を利用して車を移動させると、思わぬ事故につながるおそれがあります。

ブレーキペダルに足を乗せたまま走行しないでください

・ ブレーキパッドが早く摩耗したり、ブレーキが過熱して効きが悪くなり、思わぬ事故につながるおそれがあります。

運転中にハンズフリー以外の自動車電話や携帯電話を使用しないでください

・ ハンズフリー以外の自動車電話や携帯電話を、運転中に操作することは法律で禁止されています。
・ ハンズフリーであっても注意力が散漫になり、事故の原因につながるおそれがありますので、車を安全な場所に停車して使用することをお勧めします。



カーナビゲーションシステムなどの操作は停車時に行ってください

・ 運転中にカーナビゲーションシステムなどを操作しないでください。操作は安全な場所に停車して行ってください。

雨天の走行は次のことに注意してください

・濡れた路面では、タイヤのグリップが低下して滑りやすくなります。通常より注意して安全運転に心がけ、急加速、急ブレーキ、急激なエンジンブレーキ、急ハンドルを避けてください。
・わだちなどにできた水たまりに高速で進入すると、ハイドロプレーニング現象 * を起こしてハンドル操作やブレーキが効かなくなります。特に摩耗したタイヤは、ハイドロプレーニング現象が起きやすいので注意してください。

* ハイドロプレーニング現象
水たまりを高速で走行しているときに、タイヤと路面の間に水の膜ができ、タイヤが浮いた状態になり、車がコントロールできなくなる現象。

・水たまり走行後や洗車後は、ブレーキペダルを軽く踏んでブレーキの効き具合を確認してください。ブレーキの効きが悪いときは、周囲の車に十分注意しながら低速で走行し、ブレーキの効きが回復するまで繰り返しブレーキペダルを軽く踏んでください。

冠水した道路の走行は避けてください

・冠水した道路を走行すると、エンストするだけでなく、水を吸い込んでのエンジン破損などの車両故障につながるおそれがあります。



やむを得ず冠水した道路を走行するときは次のことをお守りください。ただし、冠水した道路の水面が15cm を超えるような場合は走行しないでください

・ストップ&スタートを解除する
・エンストしない程度に速度を落とし、時速10km 以上で走行しない
・車を停止したり、エンジンを停止したりしない
冠水した道路から脱出したら、できるだけ早く安全な場所で、ブレーキペダルを軽く数回踏み、ブレーキの湿りを乾かしてください。車の状態に不安がある場合は、シトロエン指定サービス工場で点検を受けてください。

安 全 な ド ラ イ ブ に つ い て

霧で見えにくいときはフォグランプを併用してください

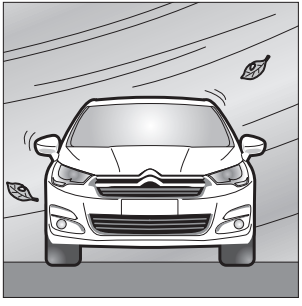
・霧で視界が悪いときは、昼間でもヘッドランプ（下向き）とフォグランプを点灯して、周囲の車や歩行者に車の存在を知らせてください。走行は、センターライン、ガードレール、前の車のテールランプを目安にして十分な車間距離をとってください。
・オートライトシステムは、周囲が明るい昼間はヘッドランプが点灯しません。手動で点灯してください。

雪が降っているときの滑りやすい路面に注意してください

・雪道や路面が凍結しているときは、非常に滑りやすくなり思わぬ事故につながるおそれがあります。冬用タイヤまたはタイヤチェーン／ネットを使用していても急加速、急ブレーキ、急激なエンジンブレーキ、急ハンドルを避け、十分な車間距離をとり低速で走行してください。

横風が強いときに走行が乱れないように注意してください

・横風を受け、車が横に流されるようなときは、ハンドルをしっかり握り、速度を徐々に下げてください。
・特にトンネルの出口、橋や土手の上、大型車の追い越しや追い越されたときなどには、横風の影響を受けやすいので注意してください。

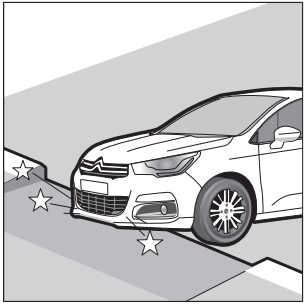


高速道路に入る前には燃料などの確認をしてください

・燃料は十分に給油してあるかを確認してください。
・タイヤの空気圧を確認してください。空気圧不足で高速走行すると、タイヤがバースト（破裂）するおそれがあります。
・万一のために、停止表示板（停止表示灯）を車に用意しておいてください。（法律で義務付けられています。）

段差ではフロントスポイラーのこすれに注意してください

・段差のある場所は、速度を落としてゆっくりと進んでください。路面の状態によっては、フロントスポイラーがこすれることがあります。
・フロント側から進入すると車止めにこすれたり当たることがありますので注意してください。



車を後退させるときは周囲に注意してください

・バックミラーやカメラには確認できない死角があります。車を後退させるときは、前もって車から降りて後方の人や障害物を確認してください。

お子さまを乗せるときの注意

お子さまは後席に座らせてください

・ お子さまを助手席に乗せないでください。走行中にお子さまの動作が気になったり、運転装置へのいたずらなど事故につながるおそれがあります。
・ また、万一の事故などで助手席の SRS エアバッグが作動したときに、ケガをするおそれがあります。

お子さまにもシートベルトを着用させてください

・ お子さまにも必ずシートベルトを着用させてください。お子さまを膝の上に抱いての乗車は、絶対にしないでください。急ブレーキをかけたときや衝突したときにお子さまを支えることができず、ケガをするおそれがあります。
シートベルトが首や顔に当たったり、腰骨にかからないなどで正しく着用できない小さなお子さまには、ベビーシートやチャイルドシートを使用してください。



安 全 な ド ラ イ ブ に つ い て

チャイルドシートは後席に正しく取り付けてください
(→ P.1-17)

- チャイルドシートの使用は6歳未満のお子さまに法律で義務付けられています。6歳以上のお子さまでもシートベルトが正しく着用できないときは、チャイルドシートを使用してください。お子さまの安全のため、短時間の走行でも身体に合ったシトロエン純正品のベビーシートやチャイルドシートを使用してください。
- 取り付け方法は、シートに付属している取扱説明書に従って後席に正しく取り付けてください。乳幼児用のベビーシートは進行方向に対して後ろ向きに、チャイルドシートは前向きに取り付けてください。
- やむを得ず助手席にチャイルドシートを取り付けるときは、助手席の位置を一番後ろに移動して前向きに取り付けてください。ベビーシートタイプで後ろ向きに装着するときは、助手席エアバッグキャンセルスイッチを **OFF** にしてください。衝撃でケガをしたり、最悪の場合死亡するおそれがあります。キャンセルスイッチがない車では、進行方向に対して後ろ向きに装着しないでください。
- シトロエン純正のベビーシート、チャイルドシートの詳細については、シトロエン販売店にお問い合わせください。

ドア、ウィンドウなどの開閉は大人が操作してください

- ドアやウィンドウなどの開閉は、お子さまに操作させないでください。開閉時に手や首、足などを挟み、思わぬケガをするおそれがあります。また、同乗者が操作するときも十分に注意してください。
- 後席にいるお子さまが操作できないように、リアドアのパワーウィンドウが作動しなくなるキャンセルスイッチや、室内からリアドアを開けられなくするチャイルドセーフティを必ずご利用ください。

ウィンドウから手や顔を出さないでください

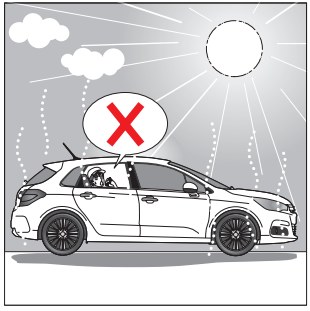
- 急ブレーキ時に窓枠にぶつけたり、車外の障害物に当たったりして、思わぬケガをするおそれがあります。

シートの可動部分に気をつけてください

- お子さまが、リアシートやフロントシートの隙間に手を入れたり、可動部分に触れたりして思わぬケガにつながるおそれがあります。同乗者の方が十分に注意をしてください。
- 走行中は必ずベビーシートやチャイルドシートに座らせるか、シートベルトをさせてください。

お子さまだけを車内に残さないでください

- 車から離れるときは、エンジンを止め、キーを携行して必ずお子さまも一緒に降ろしてください。
- お子さまのいたずらにより、車の発進、火災などの思わぬ事故につながるおそれがあります。
- 炎天下の車内は50℃以上の高温になり、脱水症状、熱射病などの生命の危険に関わるおそれがあります。



駐停車するときの注意

燃えやすいものや植え込みに注意してください

- 紙や枯草、木材などの燃えやすいものの上や近くには駐停車しないでください。特に走行後の排気管や排気ガスは高温になるため引火するおそれがあります。
- 車両後方に燃えやすいものや植え込みがあるときは、車両後端から十分に距離を取って駐車してください。すき間が少ないと、排気ガスによる変色や着火、生育への悪影響につながるおそれがありますので、車の向きも配慮してください。

ハンドルをいっぱいに回した状態を続けないでください

- 車庫入れなどで、エンジンをかけたままハンドルをいっぱいに切った状態を長く続けると、ハンドル操作力が重くなることがありますが異常ではありません。

安 全 な ド ラ イ ブ に つ い て

車から離れるときはエンジンを止め、施錠してください

・ シフトポジションを P にし、エンジンを止め、パーキングブレーキがかかっていることを確認して、ドアを施錠してください。無人で車が動き出して、思わぬ事故につながるおそれがあります。坂道では、シフトポジションを P にし、さらにタイヤに輪止めをしてください。
・ 貴重品を車内に残さないでください。施錠しても盗難につながるおそれがあります。
・ お子さまや介護の必要な方だけを車内に残さないでください。車の発進や車内の高温／低温による思わぬ傷害などが発生するおそれがあります。

炎天下での駐車時は、ライター、スプレー缶、炭酸飲料などを車内に放置しないでください

・ 車体やシート、ステアリングなどが高温となり、やけどをするおそれがあります。駐車後に乗車されるときは注意してください。
・ 車内にお子さまやペットなどを乗せたまま車から離れることは、絶対におやめください。車内の温度が50℃を超えることもあり、大変危険な状態になります。
・ ライターやスプレー缶、炭酸飲料などは、自然発火や破裂を起こすおそれがあります。車内に放置しないでください。
・ ガスライターを床やシートのすき間に落としたままにすると、シートを動かしたときに着火して火災につながるおそれがあります。
・ メガネをダッシュボードなどに置いたままにすると、変形やひび割れのおそれがあります。また、レンズにより火災を起こすことがあり危険です。

仮眠するときは必ずエンジンを止めてください

・ 無意識にギアセレクターを動かしたり、アクセルペダルを踏み込んだりして車が発進するおそれがあります。
・ エンジンや排気管の異常過熱による火災が発生するなどの思わぬ事故につながるおそれがあります。
・ 車内で仮眠するときは、エンジンを止め、助手席または後席でしてください。
・ 排気管が損傷していたり、風向きや風通しの悪い場所では、排気ガスが車内に侵入し一酸化炭素中毒になるおそれがあります。



エンジンルーム内に可燃物を放置しないでください

・ エンジンルーム内に燃えやすい物を置き忘れないように注意してください。引火のおそれがあります。
・ 車両を長時間使用しなかった場合は、小動物や鳥類に持ち込まれた小枝などがないことを確認してください。もし走行中に焦げた臭いを感じたときは、直ちに停車して確認してください。

走行中に異常を感じたとき

警告灯が点灯・点滅したときは、直ちに停車して適切な処置をしてください

・ 走行中に警告灯が点灯や点滅したときは、直ちに安全な場所に停車し、適切な処置をしてください。(「第4章　メーター・ライト・ワイパー装置の使いかた」を参照)
そのまま走行すると故障の原因になるだけでなく、重大な事故につながるおそれがあります。
・ 走行中は車の状態に気を配り、いつもと異なる音や臭い、振動などを感じたときは、直ちにシトロエン指定サービス工場で点検を受けてください。
・ 故障などでやむを得ず路上に停車するときは、ハザードランプの他に停止表示板を使用して、他の車両に停止していることを知らせてください。

走行中にタイヤがパンクやバーストしたときは、あわてずに安全な場所に停車してください

・ 走行中、タイヤに異常があったときは、あわてずにハンドルをしっかり握り、徐々に速度を下げて安全な場所に停車してください。
急ブレーキや急ハンドルは、車のコントロールができなくなるおそれがあります。

走行中に床下やタイヤなどに大きな音や衝撃を感じたときは車の下部を点検してください

・ 直ちに安全な場所に停車し、車の下部を点検してください。ブレーキ液や燃料の漏れ、サスペンション部品、タイヤ関係、駆動系部品などの変形や損傷は、そのまま使用すると思わぬ事故につながるおそれがあります。漏れや損傷を見つけたときは、運転を中止してシトロエン指定サービス工場にご連絡ください。

排気ガスについての注意

換気が悪い場所や屋内ではエンジンをかけたままにしないでください

・ 車庫や屋内などの換気が悪い場所では、排気ガスが充満しやすいのでエンジンをかけたままにしないでください。排気ガスには無色無臭の有害な一酸化炭素が含まれており、吸い込むと排気ガスによる一酸化炭素中毒になり重大な障害におよぶか死亡につながるおそれがあります。

・ 排気管に腐食などによる穴や亀裂がないかをときどき点検してください。走行中に排気ガスが車内に侵入するおそれがあります。



・ 降雪時や雪が積もった場所では、エンジンをかけたままにしないでください。まわりに積もった雪で排気ガスが滞留して、車内に侵入するおそれがあります。

車内で排気ガスの臭いがしたら次のことをしてください

・ 直ちにすべてのウィンドウを全開にする。

・ エアコンの内外気の切り替えを外気にして風量を最大にする。

・ すみやかにシトロエン指定サービス工場で点検を受けてください。放置すると、排気ガスによる一酸化炭素中毒になり重大な障害におよぶか死亡につながるおそれがあります。

シート位置についての注意

走行する前に、正しい運転（乗車）姿勢がとれるシート位置に設定してください

- 運転操作を誤り思わぬ事故につながるおそれがあります。
- 万一衝突したときにシートベルトや SRS エアバッグ、ヘッドレストなどの乗員保護装置の効果が軽減されて、重大な傷害を受けるおそれがあります。

運転者

- 背中が背もたれから離れないように、深く腰掛けます。
- フロントウィンドウから前方がよく見える位置に、シートの高さを調整します。
- ペダルが十分踏み込めるように、シートの前後位置を調整します。
- 膝がダッシュボードに当たらないようにします。
- ヘッドレストの高さは、上端と頭の上が揃うように調整します。
- ランバーサポートの調整ができる場合は、背中に合うように調整します。
- ステアリングホイールは、ハンドルを握ったときにひじが伸びきらず、少し曲がっている状態で、メーター類が見やすい位置に調整します。

安 全 装 置 に つ い て

走行する前にミラーの位置を調整してください

・後方が確実に確認できるように、ドアミラー、バックミラーを正しく調整してください。
・走行中に調整すると、運転操作を誤り、思わぬ事故につながるおそれがあります。

走行中は正しい運転姿勢を保ってください

・走行中は正しい運転姿勢を保ち、ステアリングホイールは、9時と3時の位置を外側から両手で持ってください。

他の乗員

・背中が背もたれから離れないように、深く腰掛けます。
・胸部がダッシュボードから25cm 以上離れるように、シートの前後位置を調整します。
・ヘッドレストの高さは、上端と頭の上が揃うように調整します。

走行中は背もたれを倒しすぎないようにしてください

・急ブレーキをかけたときや万一衝突したときにシートベルトなどの乗員保護装置の効果が十分に発揮されず、身体がシートベルトの下に潜り込んだり、シートベルトが首にかかり傷害を受けるおそれがあります。

安 全 装 置 に つ い て

シートベルトについての注意

シートベルトは正しく着用してください

・乗車した全員が正しくシートベルトを着用してください。シートベルトを着用しなかったり、正しく着用していないと、万一衝突したときにプリテンショナー *、フォースリミッター ** 付きシートベルト、エアバッグなどの乗員保護装置の機能が適切に発揮されず、重大な傷害を受けるおそれがあります。

* プリテンショナー
前方からの強い衝撃を受けたときに、瞬間的にシートベルトを引き込み身体を固定して乗員保護装置の効果を高める装置。

** フォースリミッター
シートベルトに一定以上の衝撃を受けたときに、身体にかかる衝撃を減少させる装置。

・肩部ベルトを肩に十分にかけ、首にかかったり、肩からはずれないようにしてください。また、腰部ベルトは腰骨のできるだけ低い位置にしてください。

妊娠中の方や疾患のある方も必ずシートベルトを正しく着用してください

・医師に注意事項をご確認ください。
・腰部ベルトが腹部にかからないように、腰骨のできるだけ低い位置にしてください。また、肩部ベルトは腹部を避けて胸部にかかるように着用してください。

損傷のあるシートベルトは直ちに交換してください

・損傷したシートベルトを使用すると、衝突したときなどに十分な効果を発揮できず、重大な傷害を受けるおそれがあります。シートベルトやプレートを、シートやドアに挟まないでください。傷が付くおそれがあります。
・万一重大な事故にあったときは、明らかな損傷が見受けられなくても、シート、シートベルトを交換してください。
・プリテンショナー付きシートベルトの取りはずしや交換・廃棄はシトロエン指定サービス工場以外では行わないでください。

SRS エアバッグについての注意

・SRSエアバッグシステムは（SRS＝Supplemental Restraint System）補助拘束の事です。
・SRSエアバッグは、センサーが一定以上の衝撃を感知したときにのみ作動します。衝突などで車が大きく変形しても、衝撃吸収ボディ構造により衝撃が段階的に吸収されたときは、SRSエアバッグが作動しないことがあります。

フロントエアバッグの効果は正しい姿勢とシートベルトとで発揮します

・SRS エアバッグシステムはシートベルトを補助するシステムで、シートベルトに代わるものではありません。このシステムはシートベルトを必ず着用してください。
・シートに正しく座りシートベルトを正しく着用していないと、衝突などで身体が前方に放り出されたときに SRS エアバッグシステムがふくらみ、強い衝撃を受け重大な傷害につながるおそれがあります。
・運転者とステアリングホイールとの間には、適当な距離を確保してください。あまり近すぎると、エアバッグの効果が低下したり、エアバッグそのものでケガを負うおそれがあります。
・ステアリングホイールは、9時と3時の位置を外側から両手で持ってください。他の位置（12時の位置や真ん中、内側）を持つと思わぬケガにつながったり、エアバッグが作動した際に重大なケガを負うおそれがあります。

フロントエアバッグは車両前方からの衝撃を緩和します

・SRS フロントエアバッグは、イグニッションがオンのときに車両前方から乗員に重大な危害がおよぶような強い衝撃を受けたときに瞬時にふくらみ、乗員の頭や胸にかかる衝撃を緩和するシステムです。

フロントエアバッグの保護性能が発揮されるために次の点に注意してください

・運転者が顔や胸をステアリングに近付けすぎると、SRS エアバッグがふくらんだときに強い衝撃を受け非常に危険です。常に正しい運転姿勢で座り、ステアリングに近付きすぎないようにしてください。
・助手席に乗車する人は、シート前端に座ったり、ダッシュボードに足を乗せていたりすると、SRS エアバッグがふくらんだときに強い衝撃を受け非常に危険です。常に正しい乗車姿勢で座り、天井やダッシュボードに近付きすぎないようにしてください。

エアバッグの近くにものを置いたり、ステッカーなどを貼り付けないでください

・ステアリングを交換したり、ステアリングのパット部にステッカーなどを貼り付けないでください。
・助手席側エアバッグの周辺（天井）やダッシュボード周辺にカー用品や芳香剤を置いたり、傘などを立てかけないでください。
・エアバッグが正常に作動しなかったり、エアバッグがふくらんだときに飛ばされて、ケガをするおそれがあります。



SRS サイドエアバッグ／カーテンエアバッグについての注意

・SRSサイドエアバッグ／カーテンエアバッグは、車両側面から乗員に重大な危害がおよぶような強い衝撃を受けたときに瞬時にふくらみ、乗員の頭や胸にかかる衝撃を分散、緩和させる乗員保護装置です。

サイドエアバッグ／カーテンエアバッグは車両側面からの衝撃を緩和します

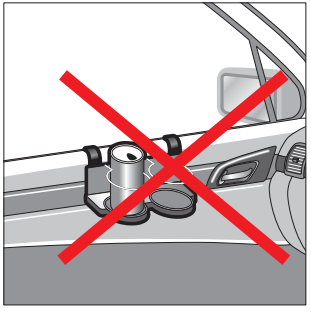
・サイドエアバッグは、前席の背もたれ側面 (ドア側) に収納されています。カーテンエアバッグは、ドアピラー部からルーフにかけて収納されています。
・シートの側面周囲には、ものを置かないでください。
・シートにシートカバーや上着をかけたり、ベルトを巻きつけないでください。

ドアやウィンドウにもたれかからないでください

・SRS サイドエアバッグ収納部に手、足、顔を近付けたり、ドアやウィンドウにもたれかかるような姿勢でシートに座らないでください。エアバッグがふくらむときに強い衝撃を受け、非常に危険です。

ドアやサイドエアバッグの近くにカップホルダーなどのカー用品を取り付けないでください

・SRS サイドエアバッグ収納部の近くにカップホルダーなどのカー用品を取り付けたり、ステッカーなどを貼らないでください。エアバッグが正常に作動しなかったり、エアバッグがふくらんだときに飛ばされてケガをするおそれがあります。



ABS と ESC ／ ASR についての注意

ABS（アンチロックブレーキシステム）を過信しないでください

・ ABS は Antilock Brake System の略で、急ブレーキをかけたときに車輪がロックするのを防ぎ車の操縦性を確保しようとする装置で、制動距離を短くするための装置ではありません。
・ 次のような路面では、ABS なしの車よりも制動距離が長くなることがあります。速度は控えめにして車間距離を十分にとってください。
  ・ 砂利道や雪道、凍結路などを走行しているとき
  ・ タイヤチェーン／ネットを装着しているとき
  ・ 道路の継ぎ目などの段差を乗り越えるとき
  ・ 石だたみなどの悪路を走行しているとき

ESC ／ ASR（エレクトロニックスタビリティコントロール／トラクションコントロール）を過信しないでください

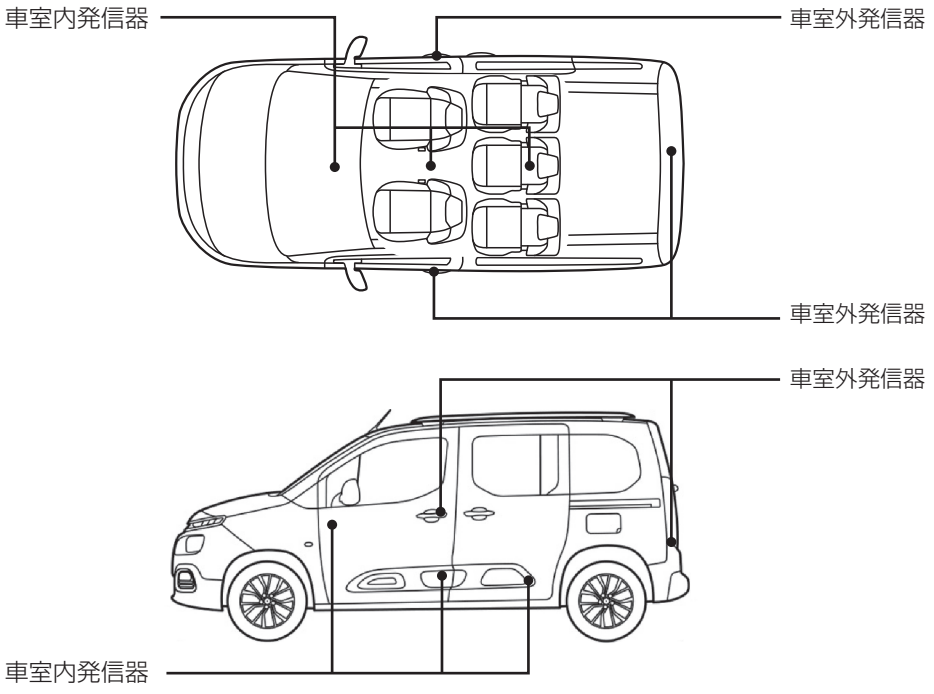
・ESCシステムは、滑りやすい道路での旋回時などに、車の動きと運転者が意図するコースとに著しい差が発生したとき、自動的にブレーキやエンジンの出力を制御して車の走行安定性を確保しようとするシステムです。
・ASRは滑りやすい道路での発進や急加速時に生じる空転を防ぎ、車の走行安定性を向上させようとするシステムです。
・ESC／ASRが作動した状態でも、車の走行安定性には限界があります。ESC／ASRを過信せずに速度を下げて、車間距離を十分にとって安全運転を心がけてください。

スマートキーについての注意

植え込み型心臓ペースメーカーおよび植え込み型除細動器を使用されている方は、スマートキー検知用の車室内発信器・車室外発信器から約22cm 以内に近付かないようにしてください

・電波により植え込み型心臓ペースメーカーおよび植え込み型除細動器の作動に影響を与えるおそれがあります。
・植え込み型心臓ペースメーカーおよび植え込み型除細動器以外の医療用機器を使用される場合は、電波による影響について医療用機器製造業者などに事前に確認してください。電波により医療用機器の動作に影響を与えるおそれがあります。

アンテナ位置



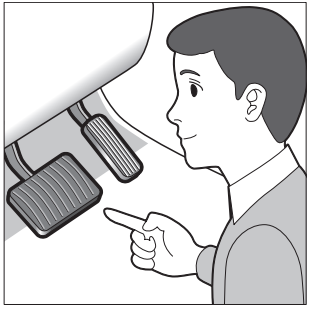
エフィシェント・オートマチック・トランスミッション車についての注意

クリープ現象に注意してください

・ クリープ現象とは、エンジンがかかっているときにシフトポジションを P または N 以外にすると、アクセルペダルを踏まなくても車が動き出すことです。
・ 停車中はブレーキペダルをしっかりと踏んでください。思わぬ事故につながるおそれがあります。
・ 特にエンジンの始動直後やエアコン作動時のエンジン回転が上がっているときは、ブレーキペダルをしっかりと踏んでください。

ブレーキとアクセルのペダル位置に注意してください

・ ペダルの踏み違いは、思わぬ事故につながります。エンジンをかける前にペダルの位置を確認してください。
・ また、アクセルペダルとブレーキペダルは右足で操作してください。



発進前／停車後のギアセレクターの操作はブレーキを踏んでください

・ エンジンをかけるときはブレーキペダルをしっかり踏み込んでください。
・ ギアセレクターの操作は、エンジン始動直後やエアコン作動時などはクリープ現象が強くなるので、特にしっかりとブレーキペダルを踏んで行ってください。
・ 発進時のギアセレクターの操作は、ブレーキペダルをしっかり踏み込んで行ってください。急発進して、思わぬ事故につながるおそれがあります。

アクセルペダルはゆっくり踏んでください

・ アクセルペダルを急激に踏み込むと、急発進して思わぬ事故につながるおそれがあります。

走行中はギアを N に入れないでください

・ 走行中にシフトポジションを N にすると、エンジンブレーキが効かなくなり思わぬ事故につながるおそれがあります。
・ オートマチックトランスミッション内のオイルの潤滑が悪くなり、故障するおそれがあります。

運 転 装 置 に つ い て

後退した後はギアを N に戻してください

・後退した後は、すぐシフトポジションを R から N に戻す習慣をつけてください。

ギアセレクター位置は目で確認してください

・エンジンをかけるときは P、前進するときは D、後退するときは R にあることを目で確認してください。

追い越しにはキックダウンを利用してください

・D または2速以上（マニュアルシフトポジション）で走行中に、アクセルペダルをいっぱいに踏み込むと自動的に低速ギアに切り替わり、急加速が得られます。

・滑りやすい路面や急カーブなどでは使用しないでください。タイヤがスリップして思わぬ事故につながるおそれがあります。

駐車はシフトポジションを P にしてください

・駐車するときはシフトポジションを P にして、パーキングブレーキをしっかりかけてください。クリープ現象などで無人で車が動き出したり、誤ってアクセルペダルを踏み込み、急発進したりし、事故につながるおそれがあります。

無用な空ぶかしはしないでください

・万一、シフトポジションが P、N 以外にあると、急発進し、思わぬ事故につながるおそれがあります。

クルーズコントロールについての注意

クルーズコントロールを使用しないときはメインスイッチをオフにしてください

誤ってクルーズコントロールを作動させると、思わぬ事故につながるおそれがあります。

ストップ＆スタートについての注意

車から離れるときは、必ずイグニッションをオフにしてキーを携行してください。ストップ＆スタート機能が作動していると、シートベルトをはずしたりドアを開けたときに自動的にエンジンが始動して、思わぬ事故につながるおそれがあります。

ドライビングサポート機能についての注意

アクティブセーフティブレーキなどのドライビングサポート各機能は、ドライバーの運転支援を目的としているため、機能には限界があり、路面や天候などの条件によっては作動しない場合があります。機能を過信せずに常に安全運転をお願いします。

オーバーヒートについての注意

オーバーヒートの症状について

・次のような症状が現れるとともに、インストルメントパネルのSTOP警告灯が点灯します。
・冷却水温度計がレッドゾーンに入ったり、エンジンの出力が急に低下する。
・ボンネット（エンジンルーム）から蒸気が出てくる。

オーバーヒートの対応について

・ボンネットから蒸気が出ているときは、蒸気が出なくなるまでボンネットを開けないでください。エンジンルーム内が高温になっているため、やけどなどをするおそれがあります。
・冷却水温度が下がるまで、冷却水タンクのキャップを開けないでください。蒸気や熱湯が噴き出して、やけどをするおそれがあります。
・オーバーヒートを起こしたまま走行を続けると、エンジンなどに重大な損傷を起こすおそれがあります。安全な場所に停車し、シトロエン指定サービス工場にご連絡ください。

故障したとき／事故が起きたときの注意

走行中に路上で故障したとき

・一般道では、車を路肩などの安全な場所へ移動させ、非常点滅灯を点滅させます。必要に応じて、車の後方に停止表示板を置いてください。
・高速道路や自動車専用道路では、車を路肩などの安全な場所へ移動させ、車内の乗員を安全な場所に避難させてください。次に非常点滅灯を点滅させ、車の後方に停止表示板を置いて（法律で義務付けられています）ください。

路上で動けなくなったとき

・車を移動するときは、シフトポジションをNにしてパーキングブレーキを解除し、安全な場所へ移動させてください。

踏切内で動けなくなったとき

・同乗者や付近の人に協力してもらい安全な場所まで押してもらってください。車を移動するときは、イグニッションをオンにして、シフトポジションをNにしてパーキングブレーキは解除します。
・車を移動できないときは、乗員を安全な場所へ避難させ、直ちに踏切警報機に設置してある非常ボタンを押します。緊急を要するときは、保安炎筒を使用して列車に車が踏切内に停車していることを知らせます。

事故が起きたとき

・事故が起きてしまったときは、あわてずに次の処置をとります。

1. 続発事故を防ぐために、他の交通の妨げにならない安全な場所へ車を移動し、エンジンを止めます。
2. 負傷者がいるときは、救急車の出動を要請するとともに負傷者に応急手当を行います。
   ただし、頭部を負傷しているときは動かさないようにしますが、続発事故のおそれがあるときは安全な場所へ避難させます。
3. 警察に連絡します。
   事故が発生した場所、事故状況、負傷者の有無、負傷の程度を報告し、指示を受けてください。
4. 事故の相手があるときは、相手側の氏名や住所、電話番号、自動車保険の番号などを確認してください。
5. 車をご購入された販売店と保険会社に事故状況をご連絡ください。

その他

盗難についての注意

キーは必ず携行してください

・車から離れるときは、必ずエンジンを停止し、キーを携行してください。
・また、スペアキーを車内に置いたり、バンパーや車体の一部に貼り付けておくことは、盗難のおそれがありますので絶対におやめください。

ドアやウィンドウを確認してください

・車から離れるときは、すべてのドアが正しくロックされていることを確認してください。また、ウィンドウもきちんと閉じているかを確認してください。

路上駐車は絶対におやめください

・短時間の駐車でも、いたずらや盗難を防ぐために違法な路上駐車を避け、明るく管理の行き届いた駐車場に入ることを心がけてください。

車内に現金や貴重品は絶対に置いたままにしないでください

・現金や貴重品、携帯電話、バッグ、上着などを車内に置いたまま車を離れないでください。

こんなことにもご注意を

車の改造は禁止されています

・車の改造やシトロエン純正部品以外の使用は、車の性能が十分に発揮できないだけでなく、思わぬ事故の原因につながるおそれがあります。また、保証の適用外になるだけでなく、故障の原因になることがあります。
・電装品や無線機などの取り付け、取りはずしは、シトロエン指定サービス工場にご相談ください。
取り付け、取りはずしが適切でないと、電子機器部品に悪影響をおよぼすだけでなく、故障や火災などの思わぬ事故につながるおそれがあります。
・ハンドルの取りはずしや交換は、絶対に行わないでください。ハンドルには SRS エアバッグが内蔵されていますので、正常に作動しなかったり不意に作動して思わぬ事故になるおそれがあります。

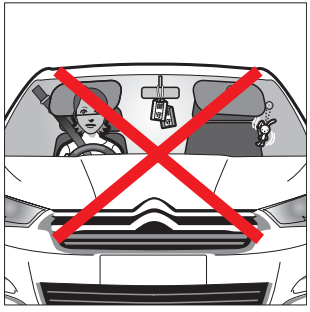
タイヤ、ホイールは指定サイズを使用してください

・タイヤ、ホイールは指定された規格の製品を使用してください。指定以外の製品を装着すると、ブレーキシステムに悪影響をおよぼしたり、走行安定性を損なうおそれがあります。
・交換はシトロエン指定サービス工場で行ってください。

そ の 他

ウィンドウにアクセサリーを取り付けないでください

・ ガラス面にアクセサリーなどを取り付けると、視界の妨げになったり、走行中に飛んでケガをするなど思わぬ事故につながるおそれがあります。
・ アクセサリーの吸盤がレンズの働きをして、火災を起こすことがあり危険です。



夏季はバッテリー上がりが起きやすくなります

・ 電装品の使いすぎは、バッテリー上がりにつながります。特に夏季は、エアコンなどの電装品の使用が増えますのでバッテリーにも負担がかかります。渋滞時の走行では充電量が不足してバッテリー上がりを起こしやすくなりますのでこまめな点検と早めの交換を心がけてください。

冬季はタイヤの滑り止めや解凍剤などをご用意ください

・ 冬季のトラブルを軽減するために、冬用タイヤチェーン／ネットや解凍剤などの準備およびバッテリーの点検を行っておくことをお勧めします。詳しくはシトロエン指定サービス工場にご相談ください。
・ 積雪や凍結した道路を走行するときは、安全のため冬用タイヤを装着してください。
冬用タイヤに交換するときは、必ず指定サイズで同じメーカーの同じ銘柄のものを4輪に装着してください。
・ タイヤチェーン／ネットは、タイヤサイズに合ったものを前輪に取り付けてください。
・ タイヤチェーン／ネットの装着は、安全な場所に停車し、各取扱説明書に従って確実に取り付けてください。
装着後は100m くらい走行して、ゆるみや車体に当たっていないかを再度確認してください。
・ バッテリーは、気温が低くなると性能も低下します。バッテリー液や比重、充電状態を点検してください。
・ ウォッシャー液の凍結を防ぐために、夏季よりも混合割合を高くしてください。

タバコの吸殻の火は消して灰皿へ入れてください

・ タバコやマッチなどの火は、確実に消して灰皿へ入れてふたを閉めてください。
・ 灰皿の中に吸殻を入れすぎたり、燃えやすいものを入れたりしないでください。思わぬ火災につながるおそれがあります。

オーディオについての注意

このオーディオは Bluetooth® の機能を備えています。植え込み型心臓ペースメーカーおよび植え込み型除細動器を使用されている方は、オーディオから約22cm 以内に近付かないようにしてください

- 電波により植え込み型心臓ペースメーカーおよび植え込み型除細動器の作動に影響を与えるおそれがあります。
- 植え込み型心臓ペースメーカーおよび植え込み型除細動器以外の医療用機器を使用される場合は、電波による影響について医療用機器製造業者などに事前に確認してください。電波により医療用機器の動作に影響を与えるおそれがあります。

第1章　安全に運転するために

フロントシート…… 1-2
ミラー…… 1-6
液晶ディスプレイ（カメラモニター）…… 1-7
サイドビューカメラ…… 1-8
リアシート…… 1-10
ヘッドレスト…… 1-12
シートベルト…… 1-13
チャイルドシート…… 1-17
エアバッグ…… 1-25
走行する前に…… 1-30
使用燃料について…… 1-30
冬季の取り扱い…… 1-31
保安炎筒…… 1-32
触媒コンバーター…… 1-32

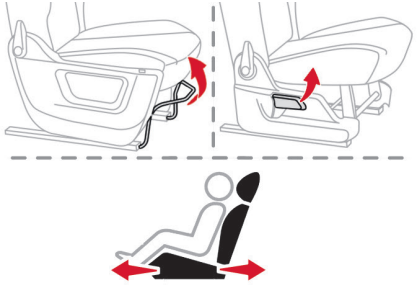
フロントシート

⚠警 告

●運転席のシート調整は、安全のため停車中に行ってください。
●シートを調整するときには、身体の一部や障害物が妨げにならないように注意し、正しい位置に固定してください。

●フロントシートの調整

前後調整



レバーを引き上げたままシートを前後に動かします。レバーを放すとその位置で固定されます。

背もたれの角度調整

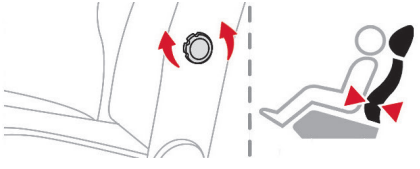


レバーを後方に倒したまま、背もたれの角度を調整します。レバーを放すとその位置で固定されます。

⚠警 告

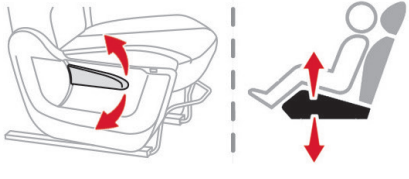
背もたれの角度を調整するときは、必ずシートに着席した状態で操作してください。背もたれが急に戻り、ケガをするおそれがあります。

ランバーサポートの調整（運転席）



ダイヤルを回してランバーサポートを調整します。

シートの高さ調整（運転席）



レバーを上下に動かして高さを調整します。

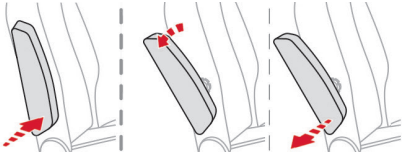
●アームレスト

格納



アームレストを使用しないときは、一番高い位置まで引き上げて格納できます。

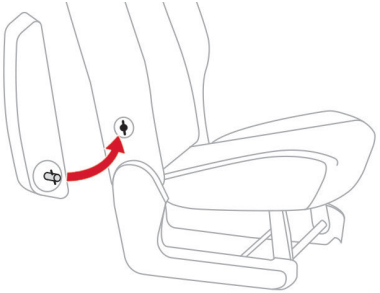
取りはずし



アームレストは取りはずすことができます。

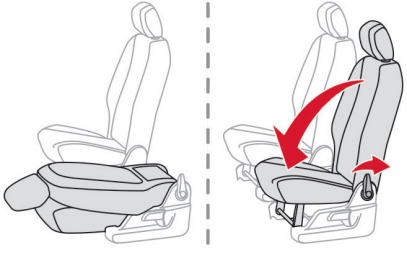
1. アームレストを一番高い位置まで引き上げます。
2. アームレストを背もたれの方向に押し込みます。
3. この状態のまま、アームレストを後方へ回転させます。
4. アームレストを引き抜きます。

取り付け



1. アームレストのラグを背もたれの切り込みの形に合わせて差し込みます。
2. アームレストを背もたれの方向に押して、ラグがしっかりと差し込まれているか確認します。
3. この状態のまま、アームレストを前方へ回転させます。

● 助手席バックレストの折りたたみ



長い物を載せるときなどに、助手席を折りたたむと荷室を広く使用できます。

折りたたみかた

1. 必要に応じて、ヘッドレストを取りはずします。
2. レバーを後方へいっぱいまで倒してバックレストを前方に倒します。

戻しかた

バックレストを持ち上げて固定します。戻した後は、バックレストをゆすって確実に固定されているか確認してください。

ヘッドレストを取りはずした場合は、取り付けてください。

⚠警 告

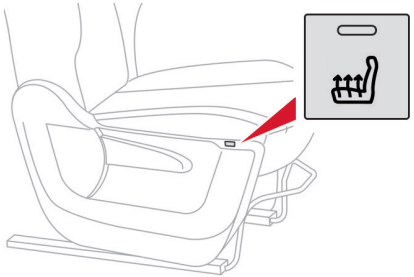
- ●助手席バックレストを折りたたむときは、車を安全な場所に停車させてから行ってください。
- ●シートのまわりに障害物がないか確認してください。また、体がはさまれないように十分注意してください。
- ●助手席を折りたたむときは、必ず背もたれを手で押さえながら操作してください。背もたれが急に戻り、ケガをするおそれがあります。
- ●助手席が折りたたまれているときは、助手席のすぐ後ろおよび中央のリアシートに乗員を乗せないでください。
- ●急ブレーキや事故の際に、折りたたんだ助手席のバックレストの上に置いた物が飛び、ケガをするおそれがあります。荷物はしっかりと固定してください。
- ●助手席バックレストを元に戻したら、必ずヘッドレストを取り付けてください。事故などのときにケガをする危険性があります。

＊仕様により異なります。

注 意

●折りたたんだ助手席のバックレストに50kg 以上の物を載せないでください。シートが破損するおそれがあります。
●折りたたんだ助手席のバックレストに固いもの、重い物、とがった物などを載せないでください。シートが破損するおそれがあります。

●シートヒーター *



シートヒーターをオンにするには、エンジンを始動した後、約30秒待ってからスイッチを押します。スイッチの表示灯が点灯し、温度が自動調整されます。
再度スイッチを押すとスイッチの表示灯が消灯し、オフになります。

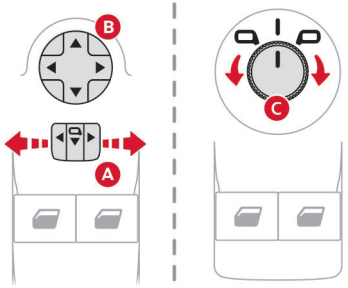
MEMO

エンジンを始動する前にスイッチを押した場合は、2分以内にエンジンを始動すればシートヒーターが自動的にオンになります。2分経過した後は、エンジンを始動してもオンになりません。

ミラー

●電動ドアミラー

ドアミラーの調整



調整するミラーに合わせて、スイッチ **A** または **C** を左側または右側に動かします。
ミラーは上下左右に角度が変えられます。スイッチ **B** の動かしたい側のボタンを押すか、スイッチ **C** を動かします。
調整が終わったら、スイッチ **A** または **C** を中央の位置に戻します。

ドアミラーの格納と展開



スイッチ **A** を中央位置にして後方へ引くと、ミラーが格納されます。
スイッチ **A** が中央位置の状態でもう一度後方へ引くとドアミラーが展開されます。

⚠注 意

ミラーで見た距離感覚と実際の車との距離が異なります。車との感覚を判断する際には、この点に十分ご注意ください。

注 意

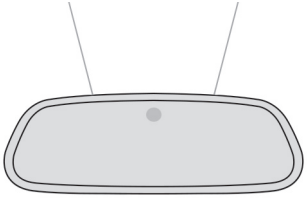
ドアミラーを手で倒したり、戻したりしないでください。

MEMO

- ●手などを挟まないように、安全を確認してから操作してください。
- ●スイッチ **A** を使用してドアミラーを格納した場合は、車を解錠してもドアミラーは展開しません。スイッチ **A** を中央位置にして後方へ引いてドアミラーを展開してください。
- ●エアコンのリアウィンドウの視界確保モードボタンは、ドアミラーの曇り取りも兼用しています。
- ●スマートキー機能、リモコン、または緊急用キーで施錠または解錠すると、ミラーが自動的に格納または展開されます。この機能をオン／オフするには、タッチスクリーンで設定します。

＊仕様により異なります。

●自動防眩バックミラー

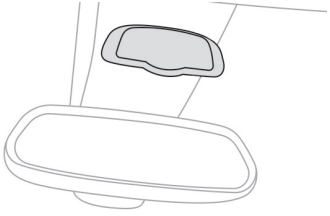


センサーでミラーにあたる光を感知し、昼と夜で自動的にミラーの明るさを調整します。また、夜間に後続車のヘッドランプがミラーに反射した場合も、自動的に暗くなって後方の視界を確保します。
なお、シフトポジションをRにすると、後方視界を確保するために一時的に明るくなります。

⚠注 意

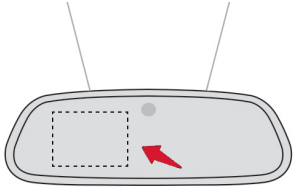
安全のため、ミラーは後方がよく見える位置に調整してください。

●チャイルドウォッチミラー*



運転中も容易に後部座席の確認ができるよう、チャイルドウォッチミラーがルームミラー上部に装備されています。
夜間に後続車のヘッドランプが眩しいときは、台座部分を回転させてミラーの向きを調節することができます。

液晶ディスプレイ（カメラモニター）*



バックミラーの左部分には液晶ディスプレイが内蔵されていて、サイドビューカメラの映像を表示するカメラモニターとなっています。

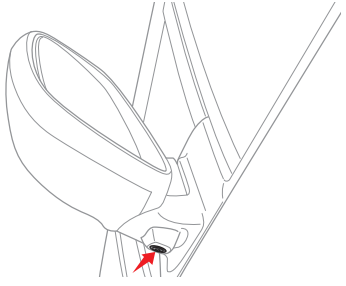
MEMO

油膜などがミラーに付着していると、映像が見えにくくなります。やわらかい布で水拭きして定期的に汚れを落としてください。

注 意

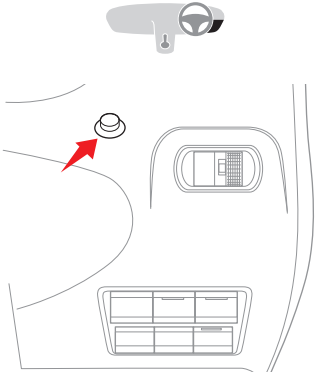
ミラーの清掃には、溶剤や研磨剤入り洗剤などを使用したり、粗い布などで強くこすったりしないでください。

サイドビューカメラ *



サイドビューカメラが捉えた映像を、バックミラー左部分のカメラモニターに表示することで、運転操作を補助するシステムです。

サイドビューカメラは、運転席側ダッシュボードのスイッチを押すと作動します。再度スイッチを押すと、数秒後にオフになります。



⚠警 告

- ●周囲の安全は、必ず目視やミラーなどで直接確認してください。モニターだけを見ての運転は絶対におやめください。
- ●映像範囲には限界があり、車両周辺の人や障害物がすべて映るわけではありません。
- ●カメラレンズの特性により映像がゆがむため、モニター上での見かけの距離感は実際と異なります。急勾配など特定の路面状況下では、その差が特に大きくなります。
- ●ドアミラーを格納した状態では、適切な映像範囲を得られません。

* 仕様により異なります。

注 意

●カメラ本体やその周辺に、強い衝撃や力を加えないでください。また高圧洗浄は避けてください。
●カメラレンズ部の清掃には、溶剤や研磨剤入り洗剤などを使用したり、粗い布などで強くこすったりしないでください。やわらかい布で水拭きすることで、十分汚れが落ちます。
●異常が発生した場合は、シトロエン指定サービス工場にご連絡ください。

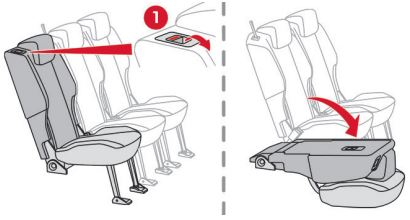
MEMO

●気象条件などにより、映像が見えにくくなることがあります。また、夜間など暗い場所では画質が低下します。
●強い光がカメラに当たると、映像が白くぼやけたり、光の筋が映り込む場合があります。
●携帯電話や無線機などの電波により、映像にノイズが入る場合があります。
●車両の積載状況などにより、映像範囲が変わる場合があります。
●映像を鮮明に保つために、カメラレンズ部は定期的に清掃してください。

リアシート

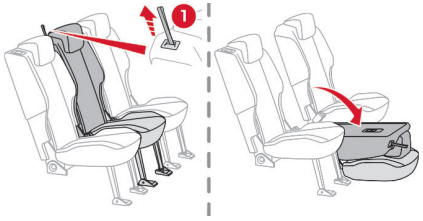
●背もたれの折りたたみ

後席から折りたたむ（ドア側シート）



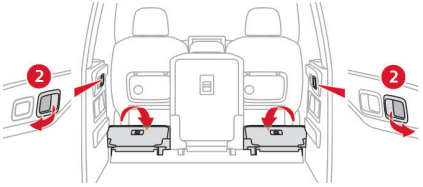
1. フロントシートを前にずらします。
2. リアヘッドレストを低い位置にセットします。
3. シートベルトを背もたれの脇に寄せます。
4. 背もたれ側グリップ①を引き、背もたれのロックを解除します。
5. 背もたれを静かに倒してシートクッションの上に折りたたみます。

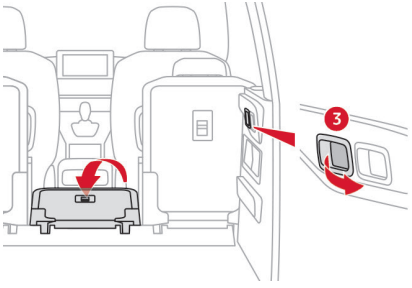
後席から折りたたむ（中央シート）



1. フロントシートを前にずらします。
2. リアヘッドレストを低い位置にセットします。
3. シートベルトをルーフの固定位置に格納します。
4. ストラップ①を引き上げたまま、背もたれを静かに倒してシートクッションの上に折りたたみます。

ラゲッジルームから折りたたむ＊





ドア側シートはラゲッジルーム側レバー②、中央シートはラゲッジルーム側レバー③を手前に引き、背もたれをシートクッションへ倒します。

＊仕様により異なります。

●背もたれの戻しかた

1. 背もたれを持ち上げ、後方へ押してロックします。
2. 背もたれがシートベルトを巻き込んでいないか確認します。

MEMO

ドア側シートは背もたれ側グリップ①の赤い目印が見えないことを確認してください。

⚠警 告

●リアシートを操作するときは、安全な場所に停車させてから行ってください。
●リアシートを元に戻すときには、背もたれがしっかりと固定されていることを確認してください。しっかりと固定されていないと、急ブレーキや事故などのときにケガをするおそれがあります。また、ラゲッジルームの荷物が放り出され乗員がケガをするおそれがあります。

⚠注 意

●シートのまわりに障害物がないか確認してください。また、体が挟まれないように十分に注意してください。
●背もたれを倒したり戻したりするときは、シートクッションの下側に手を入れたり、シートクッションの下側を手で持って支えたりしないでください。手や指などを挟まれケガをするおそれがあります。
●お子さまがシートを操作する場合は、常に大人が一緒に確認してください。

注 意

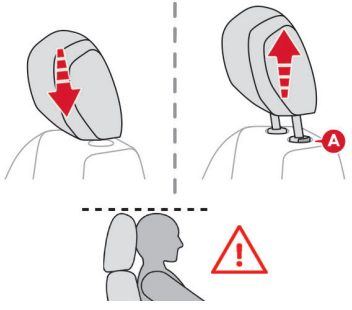
リアシートを戻すときにはシートベルトを巻き込まないようにしてください。

MEMO

背もたれを折りたたむとシートが若干沈み込みます。

ヘッドレスト

●高さ調整



ヘッドレストを引き上げると上がります。
ラグ **A** を押しながらヘッドレストを押すと下がります。

●ヘッドレストの脱着

1. ヘッドレストを最上の位置に移動します。
2. 根元のラグ **A** を押しながら引き上げます。
3. ヘッドレストを戻すには、ヘッドレストの支柱をシートの穴に合わせて押し込みます。

⚠警 告

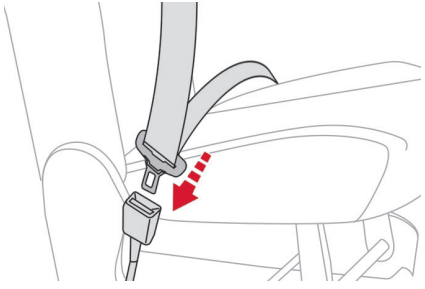
- ●ヘッドレストは衝突の際にはずれないように、支柱によって支えられています。
- ●フロントシートに座るときは、高さはヘッドレストの上端と前席乗員の頭の上が揃うように調整してください。
- ●リアシートに座るときは、ヘッドレストを高い位置に調整してください。
- ●ヘッドレストをはずしたまま走行しないでください。事故などのときにケガをする危険性があります。

シートベルト

●フォースリミッター付きシートベルトプリテンションシステム

車体が強い衝撃を受けたとき、瞬間的にシートベルトを引き込み、身体を拘束する効果を高める装置です。
この機構は、イグニッションがオンのときに作動します。
フォースリミッターは、事故の際に身体にかかるシートベルトの衝撃を和らげる働きをします。

●フロントシートベルト



フロントシートのシートベルトはフォースリミッター付きシートベルトプリテンションシステムです。
水平方向にあるベルトを、腹部ではなく腰骨に当たるようにしてバックプレートをカチッと音がするまでバックルに差し込みます。バックルの赤いボタンを押すとはずれます。

●リアシートベルト



⚠警 告

着席したシート専用のシートベルトを正しく着用してください。誤って隣接するシートのシートベルトストラップやバックルを使用すると、シートベルトの効果が十分に発揮されず、重大な傷害を受けるおそれがあります。

注 意

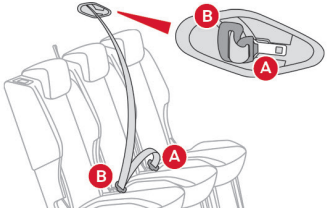
シートベルトが傷んだり、絡まったりしないように、シートベルトを使用しないときは、必ず正しい位置に収納してください。

リアドア側シートベルト

リアドア側シートのシートベルトはフォースリミッター付きシートベルトプリテンションシステムです。

シートベルトのストラップを引き出し、バックルに差し込みます。ストラップを引っ張って、正常に装着されたかを確認します。バックルの赤いボタンを押すとはずれます。

リア中央シートベルト



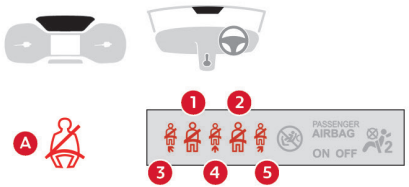
着用

1. ストラップを引いてプレート **A** をシート左側のバックル **A** に差し込みます。
2. プレート **B** をシート右側のバックル **B** に差し込みます。
3. ストラップを引っ張ってプレートがバックルに確実に差し込まれていることを確認します。

取りはずし

1. バックル **B** の赤いボタンを押します。
2. バックル **A** の黒いボタンを押します。
3. ストラップを巻き戻して、プレート **B** をルーフのフックに固定します。

●シートベルトの着用警告



イグニッションをオンにしたとき、またはエンジンが始動しているとき、シートベルトを着用していない、または着用していたシートベルトをはずしたときに、インストルメントパネルとシートベルト着用／非着用ディスプレイのシートベルト警告灯が点灯または点滅します。

A：シートベルト着用／非着用警告灯
①：助手席側シートベルト警告灯
②：運転席側シートベルト警告灯
③：後席左側シートベルト警告灯
④：後席中央シートベルト警告灯
⑤：後席右側シートベルト警告灯

イグニッションがオンのときシートベルトを着用していないと、インストルメントパネルの警告灯 A が点灯します。シートベルト着用／非着用ディスプレイの警告灯①②③④⑤が赤く点灯した場合、点灯した席のシートベルトが締められていません。シートベルトが締められていると消灯します。
後席の警告灯③④⑤は、いずれかが赤く点灯したままであっても、エンジン始動後30秒経過すると警告灯が消灯します。
時速20km 以上で走行中にシートベルトを着用していない、または着用していたシートベルトをはずすと、約2分間段階的に変化する警告音とともにシートベルト警告灯が点滅します。2分経過後は警告灯のみが点灯します。
上記の警告は、シートベルトを着用すると解除されます。

●着座検知

助手席の座面に圧力センサーがあり、約35kg 以上の重量が加わった状態でシートベルトをはずすと警告灯が点灯します。

MEMO

助手席に重い荷物を置いて走行する場合は、シートベルトのストラップを引き出してバックルを差し込むと警告灯が点灯しなくなります。

⚠警 告

●乗車中、短時間のドライブといえどもシートベルトを必ず着用してください。
●妊娠中の女性も必ずシートベルトを着用してください。ただし、医師に注意事項をご確認願います。
●シートベルトは、正しい姿勢で身体に密着させなければ効果がありません。
●バックルを逆にしてバックプレートを差し込まないでください。また、差し込むときには、ねじらないでください。
●シートベルトは、上部を肩にしっかりとかけ、下部は腰骨のできるだけ低い位置にかけてください。
●シートベルトを2人以上で共有しないでください。
●お子さまを膝の上に抱いて走行しないでください。

⚠警 告

●シートベルトの部品をむやみにはずしたり改造しないでください。衝突の際に作動しなくなるおそれがあります。また、誤ってプリテンションシステムを作動させると、ケガをするおそれがあります。
●シートベルトにほつれや傷跡があるようなときは、シトロエン指定サービス工場にご相談ください。部品交換が必要になることがあります。
●シートベルトを修理、交換する場合はシトロエン指定サービス工場にご相談ください。
●シートベルトプリテンションシステムは、一度しか作動しません。作動後は必ず部品交換が必要になりますので、シトロエン指定サービス工場で整備を受けてください。
●シートベルトプリテンションシステムは、エアバッグとは関係なく作動します。大きな衝撃を受けたときは、シトロエン指定サービス工場でシステムの点検を受けてください。

MEMO

●降車時には、シートベルトを確実に収納させてください。
●シートベルトがロックして引き出せないときは、ベルトを強く引いてから、ゆるめてください。
●シートベルトが汚れた場合は、せっけん水や洗剤で洗ってください。

チャイルドシート

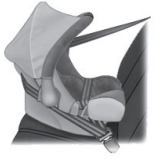
シトロエンでは、お子さまが乗る場合の安全を十分配慮して車の設計と製造を行っておりますが、お子さまが同乗するときの安全対策については、常に大人の方が十分ご注意いただくようお願いします。

⚠警 告

●短時間の乗車でも、チャイルドシートとシートベルトを着用してください。
また、思わぬ事故を防ぐためにも、リアドアのパワーウィンドウが作動しなくなるキャンセルスイッチや、室内からリアドアを開けられなくするチャイルドセーフティをご利用ください。
●後席のウィンドウは3分の1以上開けないようにしてください。
●お子さまの体格に合った正式に認可されたチャイルドシートを使用してください。適切なチャイルドシートにより、お子さまが守られます。
●お子さまを膝に乗せての運転はしないでください。大ケガや致命傷を負うおそれがあります。
●お子さまが正しい着座位置に座っていないと、急ブレーキや事故の際に大ケガや致命傷を負うおそれがあります。また、エアバッグが作動した場合にも、思わぬケガを負うおそれがあります。

●3点式シートベルトを使用したチャイルドシート

新生児から体重13kg まで



このタイプのシートは、体重13kg までのお子さまに適しています。
減速時に首に負担がかからないように、進行方向とは反対向きに取り付けてください。

体重15kg から36kg まで



体重15kg ～36kg までのお子さまにお勧めするタイプです。
このタイプのチャイルドシートは、後席左右（ドア側）のシートにのみ取り付けることができます。リアシートのヘッドレストを取りはずしてから取り付けてください。



体重15kg ～ 36kg までのお子さまにお勧めするタイプです。
このタイプのチャイルドシートは、助手席または後席左右（ドア側）のシートにのみ取り付けることができます。

●チャイルドシートの推奨取り付け位置

次の表は、お子さまの体重と車のシート形状により、シートベルトを使用してどの位置に一般的なチャイルドシートを取り付けるかを示しています。取り付けは、後ろ向き、前向きともに可能です。

シート		体重グループ			
		13kgまで（グループ0、0+）	9～18kg（グループ1）	15～25kg（グループ2）	22～36kg（グループ3）
助手席*1*2	助手席エアバッグ OFF	U	U	U	U
	助手席エアバッグ ON	X	UF	UF	UF
後席		U	U	U	U

※グループ0（10kg まで）の乳児用シェル型チャイルドシートおよびキャリコットは助手席には取り付けられません。

※リアシートに取り付ける場合、前のシートに接触しないように注意してください。前のシートのバックレストを元の位置に戻し、前方へスライドさせて位置を調整してください。

※チャイルドシートを取り付ける際には、車のシートバックに確実に固定されているか確認してください。必要に応じて、ヘッドレストを取りはずし、チャイルドシートを確実に固定してください。

※シトロエンでは可能なかぎり、すべてのチャイルドシートにおいてリアシートに設置することを奨励しています。

*1 チャイルドシートは前後調整機能が付いていない助手席には取り付けられません。

*2 背もたれの折りたたみ機能が付いていない助手席にチャイルドシートを取り付ける場合、バックレストの角度を0°の位置に調整してください。

U： 前向きおよび後ろ向きのユニバーサルチャイルドシートの取り付けに適しているシート位置。
UF：前向きのユニバーサルチャイルドシートの取り付けに適しているシート位置。
X： チャイルドシートは取り付けできません。

⚠警 告

●助手席に後ろ向きチャイルドシートを取り付ける際には、必ず助手席エアバッグの機能をキャンセルしてください。お子さまが大ケガを負ったり、場合によっては致命傷を受けるおそれがあります。
●チャイルドシートを取りはずしたら、必ずヘッドレストを取り付けてください。事故などのときにケガをする危険性があります。

MEMO

チャイルドシートは、メーカーの取扱説明書に従って正しく取り扱ってください。

●助手席へのチャイルドシートの取り付け（3点式シートベルトを使用）



後ろ向きチャイルドシート
後ろ向きチャイルドシートを助手席に取り付けた際、助手席エアバッグの機能をキャンセルすることが必要です。

⚠警 告

後ろ向きチャイルドシートを取り付ける際には、必ず助手席エアバッグの機能をキャンセルしてください。お子さまが大ケガを負ったり、場合によっては致命傷を受けるおそれがあります。



前向きチャイルドシート
前向きチャイルドシートを助手席に取り付けた際、助手席エアバッグの機能はキャンセルしないでください。



助手席の位置
シートの位置は一番後ろ、バックレストは元の位置に戻してください。

⚠警 告

- シートベルトがしっかりと締まっていることを必ず確認してください。
- レッグサポート付きのチャイルドシートは、レッグサポートをしっかりとフロアに接地させてください。必要に応じて、助手席シート位置を調節してください。

●リアシートへのチャイルドシートの取り付け（3点式シートベルトを使用）



後ろ向きチャイルドシート
後ろ向きチャイルドシートをリアシートに取り付けた際、チャイルドシートが前席に接触しないように、前席の前後位置およびバックレストの角度を調整してください。



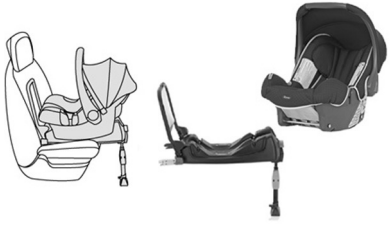
前向きチャイルドシート
前向きチャイルドシートをリアシートに取り付けた際、お子さまの足が前席に接触しないように、前席の前後位置およびバックレストの角度を調整してください。また、チャイルドシートのバックレストとリアシートのバックレストの間になるべくすき間ができないように取り付けてください。

⚠警 告

●シートベルトがしっかりと締まっていることを確認してください。
●レッグサポート付きのチャイルドシートは、レッグサポートをしっかりとフロアに接地させてください。

●ISOFIX チャイルドシート（シトロエン推奨）

新生児から体重13kg まで



後ろ向きチャイルドシート。高さ調整が可能なバーを備えています。
3点式のシートベルトで取り付けることも可能です。その場合シェルのみ使用してください。

体重9kg から18kg まで



前向きチャイルドシート、アッパーストラップ付き。
シートの角度を3段階に調節できます。
3点式のシートベルトで取り付けることも可能です。その場合、お子さまの足が前席に接触しないように、前席の前後位置およびバックレストの角度を調整してください。

●ISOFIX チャイルドシートの推奨取り付け位置

次の表は、ISOFIX チャイルドシートに関し、車内シート位置と一般的に認可された体重グループの関係を示しています（欧州安全規格に基づいています）。ISOFIX ユニバーサルチャイルドシートまたはセミユニバーサルチャイルドシートでは、A ～ G のアルファベットによる ISOFIX サイズコードがチャイルドシートの "ISOFIX ロゴ " の横に表示されています。

	体重グループ									
	10kgまで（グループ0）		10kgまで、13kgまで（グループ0、0+）			9～18kg（グループ1）				
ISOFIXチャイルドシートのタイプ	シェル型		後ろ向き			後ろ向き		前向き		
ISOFIXサイズコード	F	G	C	D	E	C	D	A	B	B1
助手席	X		X			X		X		
後席右側	IL*2		IL			IL		IUF IL		
後席左側、中央*1	IL*2		IL			IL		IUF IL		

※ チャイルドシートを取り付ける際には、確実に固定されているか確認してください。必要に応じて、ヘッドレストを取りはずし、チャイルドシートを確実に固定してください。

※ 前のシートに接触しないように注意してください。前のシートのバックレストを元の位置に戻し、前方へスライドさせて位置を調整してください。

*1 後席中央には ISOFIX チャイルドシートの取り付け金具が装備されていない場合があります。

*2 ISOFIX シェル型は、リアシート全席分のスペースを利用してボトムリングへ固定します。

IUF：ISOFIX ユニバーサルチャイルドシート（トップベルトを備える ISOFIX「前向き」チャイルドシート）の取り付けに適しているシート位置。

IL： ISOFIX セミユニバーサルチャイルドシート（トップベルトまたはバーを備える ISOFIX「後ろ向き」チャイルドシート、バーを備える ISOFIX「前向き」チャイルドシート、およびトップベルトまたはバーを備える ISOFIX「シェル型」シート）の取り付けに適しているシート位置。

X： チャイルドシートは取り付けできません。

⚠警 告

チャイルドシートを取りはずしたら、必ずヘッドレストを取り付けてください。事故などのときにケガをする危険性があります。

MEMO

チャイルドシートは、メーカーの取扱説明書に従って正しく取り扱ってください。

●i-Size チャイルドシート

i-Size チャイルドシートは、リアシートに設置されている、ISOFIX 規格のシトロエン車専用チャイルドシートをワンタッチで固定するための金具に取り付けます。

●i-Size チャイルドシートの推奨取り付け位置

次の表は、チャイルドシートが i-Size カテゴリーの場合に取り付けられるシートを示しています。

	i-Sizeチャイルドシート
助手席	X
後席*1*2	i-U

※ チャイルドシートを取り付ける際には、確実に固定されているか確認してください。必要に応じて、ヘッドレストを取りはずし、チャイルドシートを確実に固定してください。

※ 前のシートに接触しないように注意してください。前のシートのバックレストを元の位置に戻し、前方へスライドさせて位置を調整してください。

*1 後席中央には ISOFIX チャイルドシートの取り付け金具が装備されていない場合があります。

*2 前席に高さ調整機能が付いている場合は、前席シートを一番高い位置に調整してください。

i-U： 前向きおよび後ろ向きの i-Size ユニバーサルチャイルドシートの取り付けに適しているシート位置。

X： チャイルドシートは取り付けできません。

⚠警 告

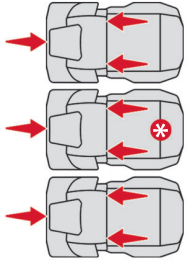
チャイルドシートを取りはずしたら、必ずヘッドレストを取り付けてください。事故などのときにケガをする危険性があります。

MEMO

チャイルドシートは、メーカーの取扱説明書に従って正しく取り扱ってください。

●ISOFIX チャイルドシートの取り付けかた

取り付け可能シート位置

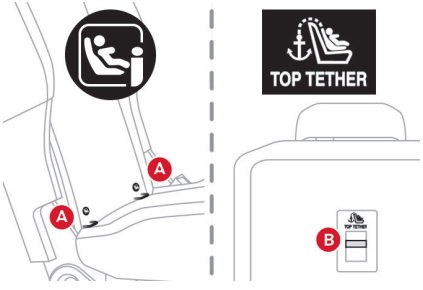


ISOFIX 規格のチャイルドシートを取り付けることができるシートを表しています。
取り付けが可能なシート位置にはそれぞれ3つの ISOFIX 規格のチャイルドシートをワンタッチで固定するための金具が装備されています。

MEMO

*：後席中央には **ISOFIX** チャイルドシートの取り付け金具が装備されていない場合があります。

取り付け金具



シートのバックレストとシートクッションの間に2つの金具 **A** があります。金具 **A** を使用するには、ジッパーを開けてください。
トップテザー対応のシートは、ストラップをシート裏側のトップテザーアンカー **B** に装着してください。

取り付け方法については、チャイルドシートの説明書に従ってください。

⚠警 告

- チャイルドシートは正しく取り付けてください。事故などの場合に十分な保護ができなくなるおそれがあります。
- チャイルドシートは製造メーカーの指定に従って正しくご使用ください。チャイルドシートに指定された適正な年齢や体格を無視すると、シートベルトにより傷害を受けるおそれがあります。

エアバッグ

エアバッグはイグニッションがオンのときだけ作動します。
エアバッグは致命的な事故の際にフォースリミッター付きシートベルトを補助して乗員を最大限守るように設計されています。
万一の際、エアバッグシステムが急激な減速を感知してそれがある到達点にまで達していたら即座にシステムが起動して乗員の保護を行います。
その直後エアバッグはしぼんで乗員が脱出しやすい空間を確保します。
エアバッグはシートベルトが十分フォローできる範囲内の衝撃では開きません。

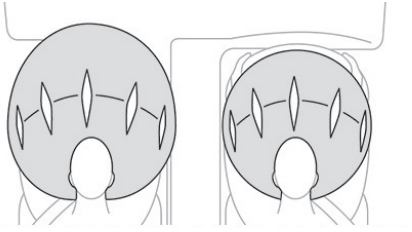
⚠警 告

展開後のエアバッグ構成部品は熱くなっておりますので、やけどを負う可能性があります。

MEMO

展開後のエアバッグはガスが抜けてすぐしぼむようにできています。このガスには若干の刺激性があります。

●フロントエアバッグ



運転席エアバッグはステアリング中央部に収納されています。
助手席エアバッグは天井に収納されています。助手席エアバッグキャンセルスイッチが OFF のときは展開しません。

⚠警 告

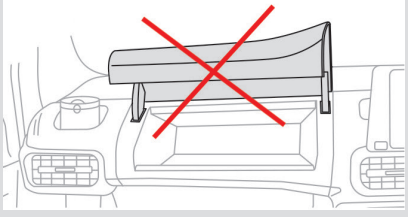
●ステアリングのスポーク部を握って運転したり、センターパッド部に手を置いて運転しないでください。
●助手席に座る人は、ダッシュボードに足を乗せたり、助手席側の天井に近付きすぎた座りかたをしたりしないでください。
●ステアリングをはずしたり、物を突き刺したり、激しく物を当てないでください。

⚠警 告

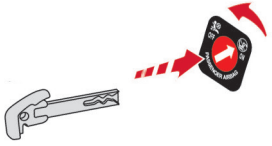
●ステアリングホイールと助手席側の天井には、エアバッグが組み込まれています。正しく作動させるために次のことをお守りください。
・エアバッグの組み込まれた箇所にカバーをかけたり、ステッカーなどを貼らないでください。
・助手席側のダッシュボードの上に足や物を置いたり、立てかけたりしないでください。エアバッグがふくらむときに置いた物が飛び、ケガをするおそれがあります。
・エアバッグや近くにある部品をむやみにはずさないでください。衝突の際に作動しなくなるおそれがあります。また、誤ってエアバッグを作動させるとケガをするおそれがあります。
・喫煙中にエアバッグが作動するとケガややけどをするおそれがあります。
●ステアリングホイールや天井に近付きすぎる乗車姿勢では、作動したエアバッグによりケガをするおそれがあります。

⚠警 告

●グローブボックスのふたを開けたまま走行しないでください。急ブレーキ時や衝突時に身体がぶつかり、ケガをするおそれがあります。



●助手席エアバッグキャンセルスイッチ





チャイルドシートを進行方向とは逆向きに助手席へ取り付けるときは、助手席のエアバッグが作動しないようにします。これはエアバッグが作動してふくらんだときの衝撃からお子さまを守るためです。

ON

助手席に大人が着席しているときは、必ず助手席エアバッグキャンセルスイッチを**ON**にします。助手席エアバッグが作動します。チャイルドシートを進行方向に対して後ろ向きに取り付けないでください。

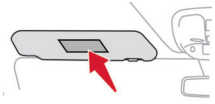
作動中は、イグニッションをオンにすると、シートベルト着用／非着用警告ディスプレイの警告灯が約1分間点灯します。

OFF
チャイルドシートを進行方向に対して後ろ向きに取り付けたときは、必ず助手席エアバッグキャンセルスイッチを OFF にします。助手席エアバッグは作動しません。

1. イグニッションをオフにします。
2. 助手席側のドアを開きます。
3. 助手席エアバッグキャンセルスイッチに緊急用キーを差し込み、OFF の位置にします。
4. そのまま緊急用キーを抜きます。

キャンセル中は、イグニッションをオンにすると、シートベルト着用／非着用警告ディスプレイの警告灯が点灯します。

助手席のサンバイザーに下記の警告ラベルが貼り付けられています。



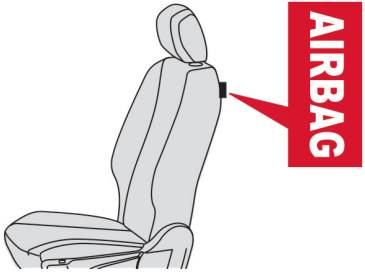


シート前方のエアバッグにより保護されるシートには、後ろ向きチャイルドシートを使わないでください。

⚠警 告

作動停止設定をしていない前側エアバッグで保護されている座席には、**絶対に**チャイルドシートを後ろ向きに装着しないでください。**お子さまの死亡**または**重症**の原因になることがあります。

●サイドエアバッグ



運転席および助手席のバックレスト側面（ドア側）に収納されており横からの衝撃に対してのみ、左右が独立して展開します。

⚠警 告

- ●シートカバーはシトロエンが推奨するものだけを使ってください。
- ●シートバック部にアクセサリーなどを取り付けたり貼ったりしないでください。
- ●ドア側に近付きすぎた座りかたをしないでください。

●カーテンエアバッグ

ドアピラー部から天井にかけて収納されており、横からの衝撃に対し前席と後席の乗員を保護するために左右が独立して展開します。

⚠警 告

- ●天井やピラーにアクセサリーなどを取り付けたり貼ったりしないでください。
- ●天井に取り付けられているグリップハンドルをはずさないでください。カーテンエアバッグが機能するための一部になっています。

●故障しているときは

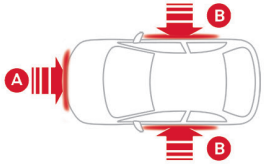


インストルメントパネルのエアバッグ警告灯が点灯します。

この警告灯が点灯したときは、衝撃を受けてもエアバッグは作動しません。

シトロエン指定サービス工場でシステムの点検を受けてください。

●エアバッグの作動条件



A. フロント衝撃ゾーン
B. サイド衝撃ゾーン

フロントエアバッグの作動条件

フロント衝撃ゾーン **A** に、車両前方から後方へ縦方向の強い衝撃を水平に受けたときに、運転席エアバッグと助手席エアバッグが連動して作動します。

助手席エアバッグの作動を解除しているときは、助手席エアバッグは連動して作動しません。

サイドエアバッグの作動条件

サイド衝撃ゾーン B に、車両外側から内側へ横方向の強い衝撃を水平に受けたときに、衝撃を受けた側が作動します。

カーテンエアバッグの作動条件

サイド衝撃ゾーン B に、車両外側から内側へ横方向の強い衝撃を水平に受けたときに作動します。

⚠警 告

- ●車両側面への衝撃や衝突が弱いとき、および横転、転覆したときは、エアバッグが作動しないことがあります。
- ●正面衝突したとき、または、追突されたときは、サイドエアバッグやカーテンエアバッグは作動しません。
- ●エアバッグ単独では衝撃を吸収する効果が十分ではありません。必ず、シートベルトを正しく着用してください。
- ●エアバッグ警告灯が点灯しているときは、チャイルドシートを助手席に取り付けないでください。シトロエン指定サービス工場でシステムの点検を受けてください。
- ●エアバッグシステムの改造は絶対に行わないでください。

MEMO

エアバッグは一度しか作動しません。フロントエアバッグ、サイドエアバッグやカーテンエアバッグが作動した場合は、シートや内装部材、コントロールユニットなどの交換が必要になります。事故の後は、必ずシトロエン指定サービス工場で点検や部品の交換を行ってください。

走行する前に

●タイヤの点検

空気圧の確認

タイヤの空気圧は、スペアタイヤも含めて毎月1回ないし長距離を走行する前に点検してください。
適正値は、運転席側のドアピラー部に表示されています。表示されている値は、タイヤの温度が低いときの値です。空気圧はタイヤの温度が上昇すると増加しますので、暖まっている状態で空気圧が高いからといって空気を抜かないでください。

間接式タイヤ空気圧警告灯（→ P.3-77）

車には、タイヤの空気圧に大きな変化があった場合に警告をする機能が付いています。警告灯が点灯したら、直ちに空気圧を点検してください。また、空気圧を調整した後は必ず初期化をしてください。

外観の点検

タイヤの接地面や両サイドに、著しい損傷や亀裂、釘や針金などの異物が刺さっていないかを点検してください。また、タイヤの接地面に部分的な異常摩耗がないかも点検してください。

スリップサイン

タイヤには、摩耗の限度を示すスリップサインが設けられています。タイヤの表面とスリップサインが同じ高さになったら、新品と交換してください。

使用燃料について

ガソリン車には、オクタン価が95オクタン（リサーチ法）以上の無鉛ガソリンを使用してください。
ガソリンスタンドにおける公称オクタン価は安定していないので、無鉛プレミアム（ハイオク）ガソリンの使用をお勧めします。
ディーゼル車には超低硫黄軽油（サルファーフリー／S10ppm以下）を使用してください。

注 意

ガソリン車に粗悪ガソリンや有鉛ガソリン、有鉛プレミアムガソリン、アルコール含有燃料を使用したり、ディーゼル車にガソリンや灯油を使用しますと、エンジン・触媒装置などに悪影響を与えるので、絶対に使用しないでください。

●ディーゼル車の燃料について

軽油は外気温が低温になると凍結してしまい、燃料配管の詰まりなどの故障の原因となります。寒冷地へ行くときは、現地へ到着するまでに燃料残量を半分以下にし、現地でできるだけ早く寒冷地用の燃料を補給してください。

使用燃料	使用限界温度の目安
JIS 特 1 号軽油	-
JIS 1 号軽油	-1℃
JIS 2 号軽油	-5℃
JIS 3 号軽油	-12℃
JIS 特 3 号軽油	-19℃

冬季の取り扱い

●冬季用タイヤ

積雪や凍結した道路を走行するときは、安全のため冬季用タイヤを装着することをお勧めします。
冬季用タイヤに交換するときは、必ず納車時に装着されていたタイヤと同じサイズのものをご使用ください。
シトロエン販売店では、車に適した性能の冬季用スタッドレスタイヤも用意しております。
スタッドレスタイヤは、車のバランスを保つために4輪全部に装着してください。
雪道や凍結した道路では、スタッドレスタイヤでも万全ではありません。運転には十分ご注意ください。

●スノーチェーン、スノーネット

スノーチェーン、スノーネットは、タイヤサイズに合ったものを前輪に装着してください。
取り付けは、平坦な安全な場所で、それぞれの取扱説明書に従って確実に行ってください。
チェーンやネットの装着後は、100m程度走行してゆるみや車体への当たりがないかを確認してください。
シトロエン販売店では、それぞれのタイヤに合わせた専用チェーンやネットを用意しております。

MEMO

市販されているタイヤチェーンの中には、サイズが合っていても装着できないものがあります。

スタッドレスタイヤやスノーチェーンは、シトロエン販売店でお求めください。

●その他

- 冬季には、バッテリーに高い負荷がかかります。バッテリーは常にフル充電にしてください。
- 非常に冷え込んだ天候のときは、パーキングブレーキが凍結することがあります。温度が非常に低い日は、パーキングブレーキの使用を避け、シフトポジションをPにして輪止めをかけてください。
- ライト類や方向指示器などは、冬季は非常に汚れやすくなります。定期的に清掃するように心がけてください。
- キーシリンダーには、潤滑剤を使用して注油しておいてください。
- ドアのゴム製シールには、凍結を防ぐためにシリコン潤滑油を塗付します。
- 空気取り入れ口は、いつもきれいに保つようにしてください。
- 雪隔け時には特に車が汚れます。また、融雪剤には塩分を含んでいるものがあります。こまめに車全体を洗浄し、車体の下やホイールアーチ部もよく洗ってください。

保安炎筒



車室内に備え付けてあります。
踏み切りや高速道路などの危険な場所で故障したときに使用します。
使用方法は、保安炎筒に記載してあります。あらかじめよく読んでおいてください。
発炎時間は約5分間です。
保安炎筒に表示してある有効期間が切れる前に、新品をお求めになり交換してください。

⚠警 告

●お子さまに触らせないでください。いたずらなどによる発火で、思わぬ事故になるおそれがあります。
●ガソリンなどの可燃物の近くでの使用は危険です。また、炎を顔や体に向けるとやけどの危険があります。

⚠注 意

●非常用信号としてのみご使用ください。
●トンネル内ではハザードランプを使用してください。トンネル内で使用すると、煙により視界が悪くなり危険です。

触媒コンバーター

シトロエン BERLINGO には、日本の排気ガス基準に適合させるために、触媒コンバーターが装着されています。

●触媒コンバーター装着車についてのご注意

・ 燃料は、ガソリン車には必ず無鉛ガソリンを使用し、ディーゼル車には指定の軽油を使用してください。指定以外の燃料は触媒を傷めます。
・ 燃料は早めに補給してください。
・ ミスファイヤなどのエンジン不調のときは、運転を避け、故障箇所を直ちに修理してください。

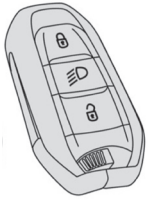
⚠警 告

長時間のエンジンの空ぶかしはしないでください。触媒コンバーターが過熱して発火、火災に至ることがあります。

第2章　各部の開閉のしかた

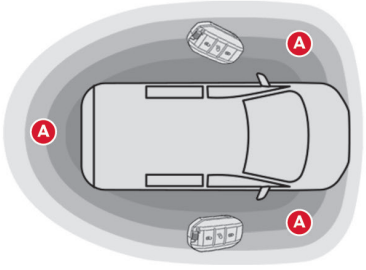
スマートキー…… 2-2
イモビライザー（盗難防止システム）…… 2-7
ドア／ドアロック／オートドアロック…… 2-9
テールゲート……2-14
リアオープニングガラスハッチ……2-16
パワーウィンドウ……2-18
リアドアウィンドウ……2-19
チャイルドセーフティ……2-20
ボンネット……2-21
フュエルリッド（給油口）……2-22

スマートキー



スマートキーを携帯しているだけで、ドア、テールゲートおよびリアオープニングガラスハッチの施錠・解錠やエンジンの始動ができます。
リモコンとしてボタンを使って施錠・解錠することもできます。
スマートキーには緊急用キーが付いています。

●スマートキー機能の作動範囲



スマートキー機能で施錠または解錠するときの検知エリア **A** の範囲は、車両から周囲約1m以内です。
車両周辺の検知エリア **A** にスマートキーがあれば、スマートキーを携帯していない人でもドアを操作して解錠することができます。

注 意

検知エリアにスマートキーがある場合は盗難に注意してください。

MEMO

- ●スマートキーが車両に近付きすぎているときは作動しないことがあります。
- ●スマートキーは微弱な電波を使用しています。以下の場合は、正常に作動しなかったり、不安定な動作になったりすることがあります。
  - 近くに強い電波を発する設備があるとき
  - 携帯電話、無線機、パソコンなどの製品と一緒にスマートキーを携帯しているとき
  - スマートキーが金属に接していたり、覆われたりしているとき

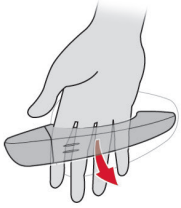
＊仕様により異なります。

●解錠

リモコンを使用する

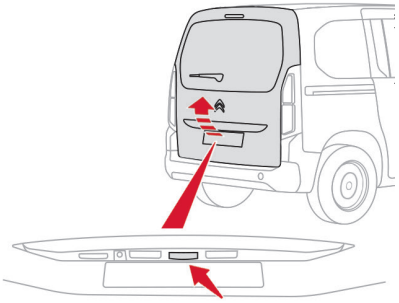
車に向けてリモコンの解錠ボタンを押します。すべてのドア、テールゲートおよびリアオープニングガラスハッチが解錠されます。

スマートキー機能を使用する



前席のドアハンドル

車両周辺の検知エリアにスマートキーがあるときに、前席のドアハンドルに手を通すと、すべてのドア、テールゲートおよびリアオープニングガラスハッチが解錠されます。ドアハンドルをそのまま引くとドアを開けることができます。



テールゲート

車両周辺の検知エリアにスマートキーがあるときに、テールゲートのスイッチを押すと、すべてのドア、テールゲートおよびリアオープニングガラスハッチが解錠され、テールゲートが少し開きます。そのままテールゲートを持ち上げて開きます。

緊急用キーを使用する

前席ドアの鍵穴に緊急用キーを差し込んで前方に回すと、すべてのドア、テールゲートおよびリアオープニングガラスハッチが解錠されます。

MEMO

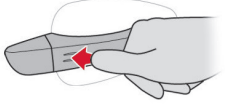
- ●解錠するとハザードランプが数秒間点滅し、ドアミラーが展開します。
- ●リモコンまたは前席のドアハンドルのスマートキー機能を使用して解錠した後、30秒以内にドアを開かないと、自動的に再度施錠されます。
- ●リモコンの解錠ボタンを押し続けるとパワーウィンドウが自動的に開きます。*
- ●イグニッションがオンのとき、エンジンがかかっているときは、リモコンまたはスマートキー機能で解錠することはできません。
- ●テールゲートを解錠した後は、必ずテールゲートを閉じて施錠してください。

●施錠

リモコンを使用する

車に向けてリモコンの施錠ボタンを押します。すべてのドア、テールゲートおよびリアオープニングガラスハッチが施錠されます。

スマートキー機能を使用する



車両周辺の検知エリアにスマートキーがあるときに、前席のドアハンドルのスイッチを押します。すべてのドア、テールゲートおよびリアオープニングガラスハッチが施錠されます。

緊急用キーを使用する

前席ドアの鍵穴に緊急用キーを差し込んで後方に回すと、すべてのドア、テールゲートおよびリアオープニングガラスハッチが施錠されます。

MEMO

- ●スマートキーを携帯して車両から離れても自動的に施錠されることはありません。
- ●リモコンの施錠ボタンまたは前席のドアハンドルのスイッチ * を押し続けるとパワーウィンドウが自動的に閉まります。
- ●施錠するとハザードランプが数秒間点灯し、同時にドアミラーが格納します。
- ●以下のときは、施錠できません。
  - • イグニッションがオンのとき
  - • いずれかのドア、テールゲートまたはリアオープニングガラスハッチが完全に閉まっていないとき
  - • スマートキーが車内にあるとき

⚠警 告

リモコンの施錠ボタンまたは前席のドアハンドルのスイッチ * を使用してパワーウィンドウを閉めるときは、乗員が手や頭など、体を挟まれないように確認してから操作してください。

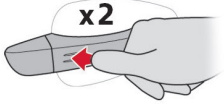
●スーパードアロック *

盗難防止のために、仮にガラスを壊すなどしても内側からドアロックが解除できなくなる機能です。

リモコンを使用する

施錠ボタンを押して、すべてのドア、テールゲートおよびリアオープニングガラスハッチを施錠します。5秒以内に再度施錠ボタンを押します。

スマートキー機能を使用する



車両周辺の検知エリアにスマートキーがあるときに、前席のドアハンドルのスイッチを押して、すべてのドア、テールゲートおよびリアオープニングガラスハッチを施錠します。5秒以内に再度スイッチを押します。

* 仕様により異なります。

緊急用キーを使用する

前席ドアの鍵穴に緊急用キーを差し込んで後方に回して、すべてのドア、テールゲートおよびリアオープニングガラスハッチを施錠します。5秒以内にもう一度回します。

⚠警 告

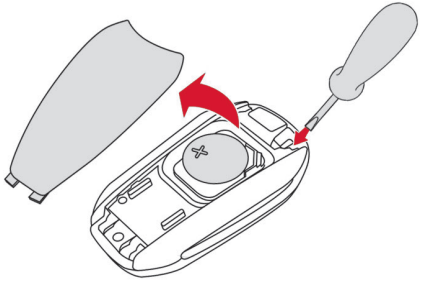
- ●車内に人がいるときは、スーパードアロックをかけないでください。車内からドアロックが解除できず、閉じ込められてしまいます。
- ●お子さまだけを車内に残して車を離れないでください。思わぬ事故やケガのもととなります。

●駐車時照明機能（フォローミーホーム）*

リモコンを使用する

車に向けてリモコンのフォローミーホームボタンを押すと、駐車時照明機能（フォローミーホーム）が約30秒作動します。
機能が作動している間に再度ボタンを押すと、キャンセルされます。

●電池（CR2032 3V）の交換



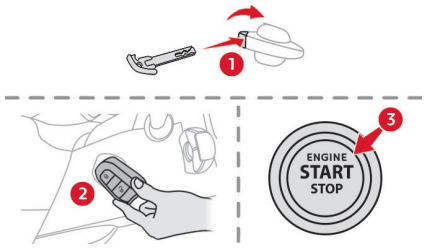
リモコンの電池が消耗すると、警告音とともにSERVICE警告灯が点灯し、メッセージが表示されます。
切れ込みに細いドライバーなどを差し込んでケースを開け、電池を交換してください。

⚠警 告

- ●電池交換の際には、お子さまが誤って飲み込むなどしないよう注意してください。
- ●リモコンの電波が心臓ペースメーカーなど医療用機器に影響をおよぼすおそれがあります。事前に医療用機器メーカーなどに確認してください。

●リモコンの初期化

電池交換の後などにリモコンが作動しなくなったら、以下の手順で初期化をしてください。



1. 運転席ドアの鍵穴に緊急用キーを差し込んで解錠します。
2. ステアリングコラムのリーダにスマートキーを当てます。
3. **ENGINE START/STOP** スイッチを押してエンジンを始動します。

MEMO

初期化の手順を行ってもリモコンが作動しないなど、不具合が解消しない場合は、シトロエン指定サービス工場へご連絡ください。

MEMO

●キーナンバーのついたタグを保管しておいてください。スマートキーを紛失して、新しいスマートキーを作成する際にこの番号が必要となります。
●車を離れる際、ポケットの中などでリモコンのボタンを誤って押さないようご注意ください。気がつかないうちに車のロックが解除されてしまうおそれがあります。また、車から離れたところで何度もボタンを押すと、認識されなくなることがあります。その際は初期化をしてください。
●交換用電池はシトロエン指定サービス工場でお求めいただけます。
●環境汚染防止のため、使用済みの電池は正しく廃棄してください。

MEMO

●長期間（3週間以上）車両を使用しないと、バッテリー消費を抑えるために、スタンバイモードとなってスマートキー機能が自動的に停止します。スマートキー機能を復帰させるには、リモコンのボタンを押すか、ステアリングコラムのリーダにスマートキーを当ててエンジンを始動してください。これは車外に保管しておいた予備キーでも同様です。
●スマートキーが家電製品の近くにあると電磁波の影響を受けて反応し、電池を著しく消耗します。これを防止するため自動的にスタンバイモードになることがあります。機能を復帰させるには、リモコンのボタンを押すか、ステアリングコラムのリーダにスマートキーを当ててエンジンを始動してください。

イモビライザー（盗難防止システム）

シトロエン BERLINGO には、エンジンイモビライザー（盗難防止装置）が装備されています。
これはスマートキーの内部に車を識別する装置が内蔵されており、車側とのコードが合致しないときは、エンジンの始動ができないようにするものです。

●スマートキー
車とともにお渡しするスマートキーの内部（プラスチック部分）には、車を識別する電子装置が内蔵されています。
それぞれのスマートキーは、車ごとに個別のコードが登録されています。イグニッションをオンにすると、車のイモビライザーシステムがこのコードを読み取って、エンジンの始動を可能にします。
もしコードが設定されていなかったり異なるコードのときは、エンジンを始動することはできません。
イグニッションをオフにすると、システムは直ちにエンジンをロックします。



システムに異常が発生したときは、イグニッションをオンにすると、警告音とともにSERVICE 警告灯が点灯し、メッセージが表示されます。エンジンは始動しません。シトロエン指定サービス工場で点検を受けてください。

注 意

●車から離れるときは、短い時間であってもスマートキーを携行してください。
●エンジンイモビライザーの改造をしないでください。故障の原因になるおそれがあります。
●スマートキーの内部には電子装置が組み込まれています。強い電磁波や高温にさらしたり、強い衝撃を与えたり、水に濡らしたりしないでください。故障の原因となります。

●スペアキー

車とともにお渡しするスペアキーにもコードが登録されています。
もし予備のスマートキーが必要なとき、あるいはスマートキーを取り替えるときには、すべてのスマートキーを登録し直す必要があります。お手持ちのすべてのスマートキーをシトロエン指定サービス工場にご持参の上、登録作業をお申し付けください。

注 意

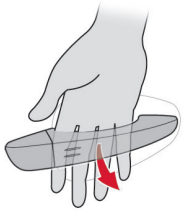
万一、スマートキーを紛失したり盗難にあった場合は、安全のために他のスマートキーを登録し直して失ったスマートキーを無効にする（エンジンをかけられなくする）ことをお勧めします。お近くのシトロエン指定サービス工場にご相談ください。

MEMO

新しいスマートキーを購入しても、イモビライザーシステムにコードを登録しないかぎり、そのスマートキーでエンジンを始動することはできません。

ドア／ドアロック／オートドアロック

●車外からドアを開ける



あらかじめロックを解除してから、ドアハンドルを引くとドアを開けることができます。
P.2-2の「スマートキー」項を参照してください。

●車内からドアを開ける

内側ドアハンドルを引くと、すべてのロックが解除されます。

MEMO

スーパードアロックがされているときは内側ドアハンドルでは一切ドアを開けることができません。

●後席スライドドアについて

後席スライドドアについて次のことに注意してください。

⚠警 告

●走行中は次のことを必ずお守りください。思いもよらず後席スライドドアが開き、車外に投げ出されるなどして重大な傷害におよぶか、最悪の場合死亡につながるおそれがあります。
・走行中は後席スライドドアを必ず閉めてください。
・走行中は後席スライドドアの内側ドアハンドルを操作しないでください。
・お子さまを後席に乗せるときは、チャイルドセーフティを使用して内側ドアハンドルで後席スライドドアが開かないようにしてください。

⚠警 告

●後席スライドドアを操作するときは次のことを必ずお守りください。後席スライドドアに体を挟むなどして重大な傷害におよぶか、最悪の場合死亡につながるおそれがあります。

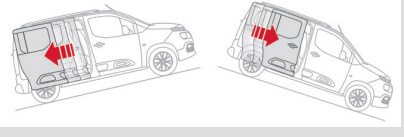
・後席スライドドアの操作は、安全のため停車中に行ってください。
・後席スライドドアを開閉する際に、スライドドア本体を持って閉めたり、車体側に手をかけて操作しないでください。
・後席スライドドアを開閉する前に、スライドドアが安全に開閉できるように車外および車内のスライドドアまわりの状態を確認してください。
・乗り降りするときは、後席スライドドアが全開した状態で固定されたことを確認してください。
・後席スライドドアを閉めるときには、指などを挟まないよう十分に注意してください。また、開閉の際はまわりの人などにぶつからないことを確認してください。

⚠警 告

・後席スライドドアのレール、フレーム部やチェーンなどには手や足をかけないでください。
・ウィンドウを開けた状態で後席スライドドアを開閉するときは、ウィンドウから顔や手足を出さないでください。
・お子さまには後席スライドドアの開閉操作をさせないでください。
・お子さまを車内に残して離れないでください。
・車内から後席スライドドアにもたれかからないでください。後席スライドドアが開いたときに車外へ投げ出されるなど思わぬ事故につながるおそれがあります。
・傾斜した場所では、安全のため後席スライドドアのドアハンドルに手を添えてゆっくりと開閉し、確実にスライドドアが閉じられたこと、または全開した状態で固定されたことを確認してください。

⚠警 告

・下り坂で乗り降りするときは、後席スライドドアが全開した状態で固定されたことを必ず確認してください。スライドドアが突然動き出すおそれがあります。
・傾斜した場所では後席スライドドアが開いた状態で車から離れないでください。ドアの重量により後席スライドドアが突然動き出し開閉し、スライドドアに人が挟まれるおそれがあります。
・傾斜した場所では後席スライドドアの開閉が速くなることがあります。ドアにぶつかったり挟まれたりしないように注意してください。

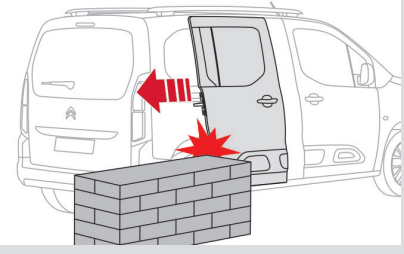


注 意

●後席スライドドアのレール、フレーム部やチェーンなどにものを置かないでください。開閉の際にスライドドアにぶつかり、スライドドアを破損するおそれがあります。
●後席スライドドアの滑走面に石などの異物が入り込まないように注意してください。スライドドアの故障の原因となります。
●後席スライドドアを開けるときは、縁石や壁などにぶつからないように注意してください。スライドドアを破損するおそれがあります。
●自走式の洗車機を使用するときは、後席スライドドアが不意に開かないように、ドアやテールゲートを施錠してください。

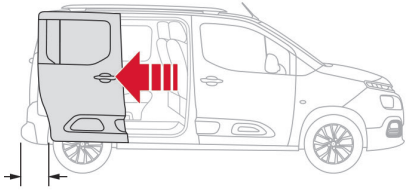
注 意

●後席スライドドアは車体外側の側面のレールに沿って開閉します。駐車する際は、スライドドアが縁石や壁などにぶつからないように十分なスペースを確保してください。



MEMO

●後席スライドドアは全開した状態でも車両のリアバンパー後方からはみ出ることはありません。

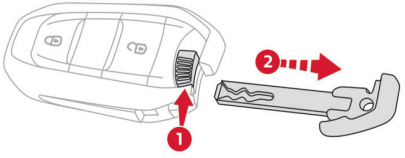


●後席スライドドアは全開するとストッパーで固定されます。半開状態ではスライドドアが静止しません。

●半ドア警告

ドアを完全に閉めずにエンジンを始動させると、警告灯が点灯するとともにメッセージが表示されます。そのまま走行すると、時速10km以上では警告音とともに警告灯が点灯し、メッセージが表示されます。

●緊急用キー



以下のようにスマートキーの機能が使用できないときは、運転席ドアの鍵穴に緊急用キーを差し込んで施錠／解錠します。

・スマートキーで施錠／解錠できないとき
・スマートキーの電池がないとき
・車両が強い電磁波などを受けているとき

1. スマートキーのレバー①を押して、緊急用キー②を取り出します。
2. ドアの鍵穴に緊急用キーを差し込んで、車両を施錠または解錠します。

●マニュアルロック（非常時）

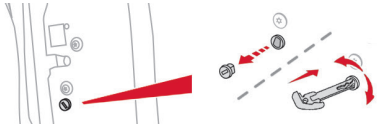
バッテリーが上がっているときや、バッテリーの接続をはずしているときなどで、集中ドアロックが作動しないときには次の方法でドアをロックすることができます。

前席ドア

緊急用キーをドアの鍵穴に差し込み施錠または解錠します。

＊仕様により異なります。

後席ドア



1. チャイルドセーフティが解除されていることを確認します。
2. 緊急用キーを使って、ドア端部にある穴から黒いゴムキャップをはずします。
3. 緊急用キーを穴に差し込み、内側に動かしてドアをロックします。（緊急用キーは回さないでください。）
4. 緊急用キーをはずし、ゴムキャップを元に戻してからドアを閉めます。

MEMO

ドアを閉める前に必ずキャップを元に戻してください。

● ドアロック／オートドアロック



ロックスイッチを押すと、車両の施錠ができます。施錠するとインジケーターが点灯します。
いずれかのドアが開いている場合には内側からの集中ロックはできません。
解錠するときはスイッチを再度押してください。インジケーターが消灯します。

MEMO

外側から施錠されている場合、またはスーパードアロック * がかかっている場合は、インジケーターが点滅し、ロックスイッチを押しても解錠しません。外側から施錠されている場合は、内側ドアハンドルを引いて解錠してください。スーパードアロックがかかっている場合は、キー、リモコンもしくはスマートキー機能を使って解錠してください。

●オートドアロック機能

時速10km 以上で走行すると、自動的に施錠されます。
時速10km 以上で走行中にロックスイッチを押すと、ドア、テールゲートおよびリアオープニングガラスハッチが一時的に解錠されます。

完全に閉まっていないドア、テールゲートまたはリアオープニングガラスハッチがあると、オートドアロックは作動しません。警告音とともに警告灯が点灯し、メッセージが表示されます。

MEMO

テールゲートまたはリアオープニングガラスハッチが開いたままでも、ロックスイッチを使用して集中ロックができます。この場合、ロックスイッチのインジケーターが点灯します。

●オートドアロック機能のオン／オフ

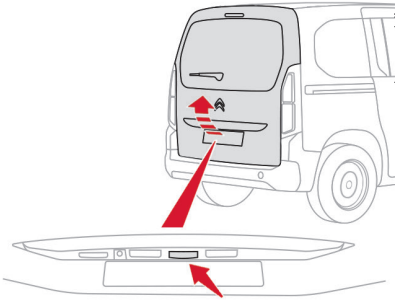
機能をオンにするには

ロックスイッチを2秒以上押し続けます。
警告音とともに確認のメッセージが表示されます。

機能をオフにするには

ロックスイッチを再度2秒以上押し続けます。
警告音とともに確認のメッセージが表示されます。

テールゲート



●テールゲートを開ける

テールゲートのスイッチを押してから持ち上げると開けることができます。
P.2-2の「スマートキー」項を参照してください。

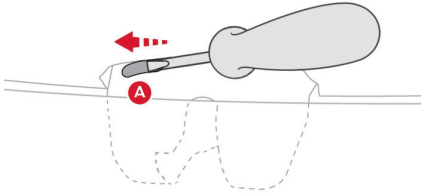
MEMO

リアオープニングガラスハッチが開いている、または完全に閉められていないときはテールゲートを開けることはできません。

●テールゲートを閉める
テールゲート内側のストラップを持って引き下げます。

●テールゲート閉め忘れ警告
エンジンがかかっているときにテールゲートを開けると、警告灯が点灯するとともに数秒間メッセージが表示されます。
そのまま走行すると、時速10km 以上では警告音とともに警告灯が点灯し、メッセージが表示されます。

●テールゲートが解錠しないとき



集中ドアロックシステムのトラブルなどでテールゲートが解錠できないときは、次のように行います。

1. リアシートを倒し、テールゲートの内側からロック機構にアクセスできるようにします。
2. 小さいドライバーを **A** に差し込んで中のバーを左に動かして解錠します。

MEMO

水没など予期せぬトラブルで車内に閉じ込められた場合、この方法でテールゲートを開けて脱出できます。

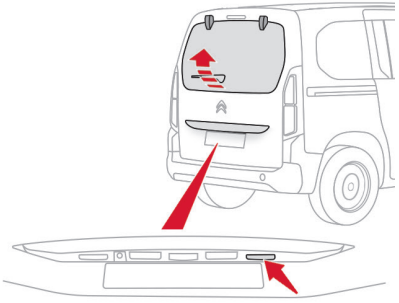
⚠警 告

- ●安全上、操作上、法律上の理由で、テールゲートを開けた状態での走行はしないでください。
- ●テールゲートを閉めるときには、指などを挟まないよう十分に注意してください。また、開閉の際はまわりの人などにぶつからないことを確認してください。
- ●テールゲートに損傷や作動不良がある場合は、すみやかにシトロエン指定サービス工場で点検を受けてください。テールゲートが突然閉じて重大な傷害を受けるおそれがあります。

注 意

ストラットダンパーを引いてテールゲートを閉めないでください。ダンパーが変形して開閉ができなくなるおそれがあります。

リアオープニングガラスハッチ



●リアオープニングガラスハッチを開ける

スマートキーを携帯して、テールゲートの右側のスイッチを押すと、すべてのドア、テールゲートおよびリアオープニングガラスハッチが解錠され、リアオープニングガラスハッチが少し開きます。リアワイパーアームの支柱を持ってリアオープニングガラスハッチをゆっくり持ち上げます。

⚠注 意

ワイパーブレードを持ってリアオープニングガラスハッチを開けないでください。手や指を切るなど、ケガをするおそれがあります。

MEMO

●テールゲートが開いている、または完全に閉められていないときはリアオープニングガラスハッチを開けることはできません。
●リアオープニングガラスハッチを解錠した後は、必ずリアオープニングガラスハッチを閉じて施錠してください。

●リアオープニングガラスハッチを閉じる

リアオープニングガラスハッチの中心部を持ってゆっくり引き下げてください。

⚠注 意

ワイパーブレードを持ってリアオープニングガラスハッチを閉めないでください。手や指を切るなど、ケガをするおそれがあります。

注 意

ストラットダンパーを引いてリアオープニングガラスハッチを閉めないでください。ダンパーが変形して開閉ができなくなるおそれがあります。

MEMO

●リアオープニングガラスハッチはゆっくりと開閉してください。
●リアオープニングガラスハッチを閉じた後は、確実にロックされていることを確認してください。

●リアオープニングガラスハッチ閉め忘れ警告



エンジンがかかっているときにリアオープニングガラスハッチを開けると、警告灯が点灯するとともに数秒間メッセージが表示されます。
そのまま走行すると、時速10km 以上では警告音とともに警告灯が点灯し、メッセージが表示されます。

⚠警 告

●リアオープニングガラスハッチを閉めるときには、手や指などを挟まないよう十分に注意してください。また、開閉の際はまわりの人などにぶつからないことを確認してください。
●強風時はリアオープニングガラスハッチが風であおられないようご注意ください。

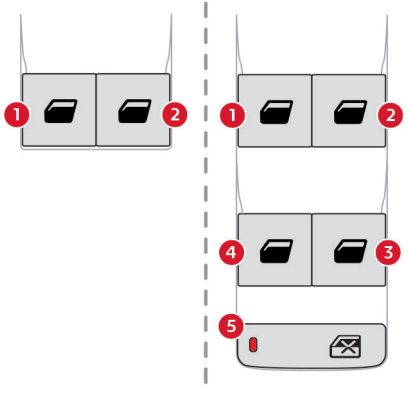
⚠警 告

●リアオープニングガラスハッチに雪が積もっているときや凍結しているときは、リアオープニングガラスハッチを開ける前に取り除いてください。重みでリアオープニングガラスハッチが急に閉じて手や頭などを挟まれるおそれがあります。
●リアオープニングガラスハッチに重いものを取り付けないでください。開けた後にリアオープニングガラスハッチが急に閉じて手や頭などを挟まれるおそれがあります。
●リアオープニングガラスハッチは完全に開いた状態で使用してください。半開状態で使用すると、傾斜のある場所などでリアオープニングガラスハッチが急に開いたり閉じたりするおそれがあります。
●お子さまにはリアオープニングガラスハッチの操作をさせないでください。

⚠警 告

●走行中はリアオープニングガラスハッチを閉じてください。開けたまま走行すると、荷物が投げ出されたり、リアオープニングガラスハッチが車外のものにあたったりして、思わぬ事故につながるおそれがあります。
●走行前にリアオープニングガラスハッチが閉じていることを確認してください。排気ガスが車内に侵入し、重大な健康被害や死亡につながるおそれがあります。また、走行中にリアオープニングガラスハッチが突然開いて思わぬ事故につながるおそれがあります。

パワーウィンドウ



①：助手席側ウィンドウ開閉スイッチ
②：運転席側ウィンドウ開閉スイッチ
③：後席右側ウィンドウ開閉スイッチ *
④：後席左側ウィンドウ開閉スイッチ *
⑤：リアウィンドウキャンセルスイッチ *

●マニュアルウィンドウ開閉

スイッチを軽く押したり引いている間だけウィンドウが開閉します。スイッチから手を離すと同時にウィンドウも停止します。

●ワンタッチ開閉

スイッチを1回強く押すか引くと、スイッチから手を離しても、ウィンドウは自動的に全開閉します。

途中で止めるときは、再度スイッチを押すか引きます。

MEMO

イグニッションをオフにしてから約45秒間、パワーウィンドウの操作ができます。それ以降は、再度イグニッションをオンにしてから操作をしてください。

●挟み込み防止機能

パワーウィンドウには、挟み込み防止機能が付いており、障害物があると上昇をやめて数センチ下降します。

●パワーウィンドウの再初期化

バッテリーをはずした後など正常に動作しないときは、以下の手順で初期化をしてください。

1. スイッチを押してウィンドウを全開にします。
2. ウィンドウを閉じる操作をします。（1回の操作で2 ～ 3cm 程度しか動きません）
3. ウィンドウが全閉するまで手順2の操作を繰り返します。
4. ウィンドウが全閉したら、さらにスイッチを1秒以上引き続けてください。

⚠注 意

初期化中は挟み込み防止機能は働きません。安全に配慮してください。

* 仕様により異なります。

⚠警 告

●運転者が運転席以外のウィンドウを操作する場合は、ウィンドウを閉めるのに障害物がないか確認をしてください。
●ウィンドウを閉めているとき、誤って障害物などが接触したときは、直ちにウィンドウを開けてください。
●乗員がウィンドウを閉める際には運転者がその操作に対して注意を払ってください。
●お子さまにはウィンドウの操作をさせないでください。
●車から離れるときは、短い時間であってもスマートキーを携行してください。

注 意

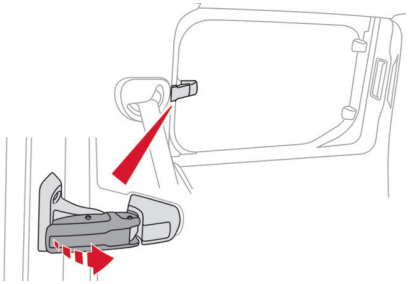
洗車場などで高圧洗浄する場合、洗浄ノズルを少なくとも50cm 以上ウィンドウやドアシールから離してご使用ください。

●リアウィンドウキャンセルスイッチ *



スイッチ⑤を押すと、後席のパワーウィンドウスイッチによる操作ができなくなります。お子さまの危険防止に有効です。
スイッチ⑤のインジケーターが点灯している場合は、後席での操作はできません。
スイッチ⑤のインジケーターが消灯している場合は、後席での操作は可能です。

リアドアウィンドウ *



●開けるとき

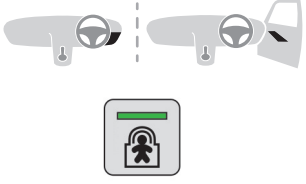
1. レバーを引いてウィンドウのロックを解除します。
2. レバーを押してウィンドウをいっぱいまで開きます。
3. レバーを倒してウィンドウをロックします。

●閉めるとき

1. レバーを引いてウィンドウのロックを解除します。
2. レバーを引いてウィンドウを閉じます。
3. レバーを倒してウィンドウをロックします。

チャイルドセーフティ

●電動チャイルドセーフティ *



スイッチを押すと、車内から後席ドアを開けられなくなります。お子さまの危険防止に有効です。
イグニッションがオンのときにスイッチを押すと、インジケーターが点灯し、チャイルドセーフティがオンになります。
オフにするには、もう一度スイッチを押してください。

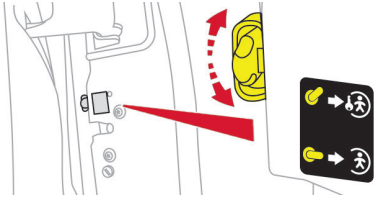
注 意

インジケーターが点灯／消灯以外のときは、機能に異常があります。シトロエン指定サービス工場で点検を受けてください。

MEMO

- ●チャイルドセーフティは、ドアロックの作動とは別に独立して作動します。車両が強い衝撃を受けると、チャイルドセーフティは自動的に解除され、非常時に、後席からの脱出を可能にします。
- ●チャイルドセーフティがオンになっていても、外からドアを開けることができます。

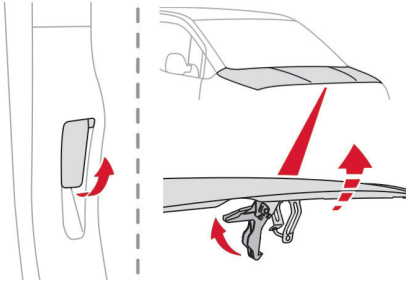
●手動チャイルドセーフティ *

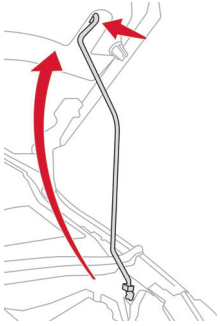


車内のドアハンドルで後席ドアを開けられなくすることができます。お子さまの危険防止に有効です。
ロックするには、後席ドアの端部にあるツマミを上に回します。
ロックを解除するには、後席ドアの端部にあるツマミを下に回します。

* 仕様により異なります。

ボンネット





●ボンネットを開けるには

1. 助手席側ドアを開き、ドアシル部にあるレバーを引きます。
2. ボンネットの下のロックレバーを引き上げてから、持ち上げます。
3. 支柱をキャッチに固定します。

ボンネットを開ける際には、6-4ページの警告をお読みください。

⚠警 告

エンジンルームでどのような作業を行うときも、あらかじめイグニッションをオフにしてエンジンを停止してください。ストップ&スタートによりエンジンが急に始動して、思わぬケガをするおそれがあります。

⚠注 意

●ボンネットを開ける操作は、必ず停車してから行ってください。
●強風時はボンネットが風であおられないようご注意ください。

●ボンネットを閉めるには

支柱を元の位置に戻してからボンネットを引き下げ、下から30cm ぐらいの位置で手を離すと、重みで自然に閉まります。上から押さないでください。

⚠警 告

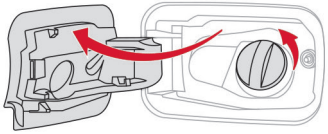
ボンネットを閉めた後、ロックされたことを確認してください。

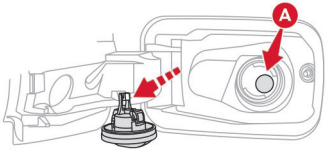
フュエルリッド（給油口）



警告音とともに警告灯が点灯し、メッセージが表示されたときは、燃料が少なくなっています。
警告灯が点灯した場合、残量は約6リットルです。早めに燃料を補給してください。
もし燃料をすべて使用してしまった場合、少なくとも10リットル以上は給油してください。

●給油のしかた





1. ドアを解錠すると、フュエルリッドも連動して解錠されます。
2. 給油フラップの後ろ側を押して開きます。
3. フュエルキャップを左（反時計方向）に回してはずします。
4. はずしたフュエルキャップは、フラップの内側にあるフックに引っかけておきます。
5. 給油ノズルを給油口 A に一番奥まで差し込み給油を開始します。
6. 給油ノズルのオートストップが3回働いたら、それ以上給油口にあふれるまで給油しないでください。燃料タンクの容量は、ガソリン車が約61リットル、ディーゼル車が約50リットルです。
7. 給油が終わったらノズルを抜いて、フュエルキャップを取り付けます。
8. 給油フラップを閉めます。

⚠警 告

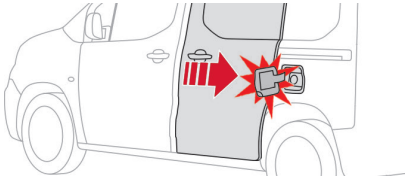
●給油中はイグニッションをオフにしてエンジンを停止してください。ストップ&スタートで停止しているときに給油しないでください。
●給油口にあふれるまで給油しないでください。燃料が熱で膨張し、あふれて火災を起こすおそれがあります。
●給油後は、フュエルキャップが確実に閉まっていることを確認してください。

注 意

指定の燃料を使用してください。

MEMO

給油フラップが開いているとき、助手席側の後席ドアは開きません。ドアを全開するには、給油フラップを閉めてください。



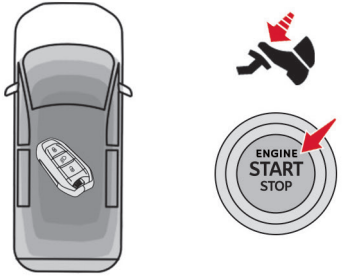
●燃料遮断装置

シトロエン BERLINGO には、衝突したときに燃料供給を停止させる安全装置が装備されています。

第3章　運転装置の使いかた

エンジンの始動……3-2
ステアリング／ホーン……3-5
エフィシェント・オートマチック・
トランスミッション……3-6
シフトタイミングインジケーター…… 3-10
エコモード…… 3-11
エレクトリックパーキングブレーキ…… 3-11
ヒルスタートアシスタンス…… 3-15
グリップコントロール…… 3-16
ヒルディセントコントロール…… 3-18
SCR（選択式還元触媒）システム
（ディーゼル車）…… 3-20
DPF（ディーゼルパティキュレートフィルター）
（ディーゼル車）…… 3-23
ストップ&スタート…… 3-24
ESC（エレクトロニックスタビリティ
コントロール）…… 3-27
ブラインドスポットモニター…… 3-30
レーンキープアシスト…… 3-33
ドライバーアテンションアラート…… 3-38
アクティブセーフティブレーキ…… 3-41
トラフィックサインインフォメーション…… 3-47
アクティブクルーズコントロール
（ブレーキサポート付き）…… 3-51
スピードリミッター…… 3-60
フロント／サイド／バックソナー…… 3-63
バックカメラ（トップリアビジョン機能付き）… 3-66
パークアシスト…… 3-70
間接式タイヤ空気圧警告…… 3-77

エンジンの始動



スマートキーが車内の検知エリアにあるときに、エンジンを始動および停止することができます。

⚠警 告

- ●エンジンを始動するときは、必ずパーキングブレーキがかかっていることを確認してください。急発進して人や物を傷付けるおそれがあります。
- ●換気の悪い場所ではエンジンをかけないでください。
- ●エンジンがかかっている間や、スマートキーが車内にあるときは、車から離れないでください。

●エンジンの始動

1. スマートキーを携帯して乗車します。
2. シフトポジションを **P** または **N** にします。
3. パーキングブレーキがかかっていることを確認します。
4. ブレーキペダルを踏みながら **ENGINE START/STOP** スイッチを押します。
5. スターターが回り、エンジンが始動します。

ディーゼル車は、予熱表示灯が点灯後消灯したらエンジンが始動します。

MEMO

- ●エンジンの始動条件を満たしていない場合は、インストルメントパネルにメッセージが表示されます。

MEMO

- ●**ENGINE START/STOP** スイッチを押すとステアリングロックが解除されます。ステアリングロックが解除できないときは、インストルメントパネルにメッセージが表示されます。ハンドルを左右に回しながら **ENGINE START/STOP** スイッチを押してください。
- ●エンジン始動後は、不必要に長い時間の暖機運転は必要ありません。
- ●エアコンが作動中に外気温が35℃を超えると、アイドリング中のエンジン回転数が高くなることがあります。
- ●ディーゼル車は、冬季など外気温が低温のときは予熱表示灯が消灯するまでに時間がかかることがあります。
- ●冬季など外気温が－23℃以下のときは、発進する前に約4分間の暖機運転を行ってください。
- ●ガソリン車は、エンジンが冷えた状態では、エンジン始動後しばらくの間アイドリング中にエンジンの振動が発生する場合がありますが、故障ではありません。

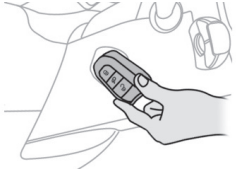
●エンジンの停止

1. 車を完全に停止します。
2. シフトポジションを **P** にします。
3. **ENGINE START/STOP** スイッチを押します。
4. エンジンが停止し、ステアリングがロックされます。

●ENGINE START/STOP スイッチの役割

スイッチの状況	運転者の操作内容	車両の動作内容
アクセサリーポジション	ブレーキペダルを踏まずに、**ENGINE START/STOP** スイッチを押します。スイッチを押す度に、イグニッションのオン／オフが切り替わります。	イグニッションがオンとなり、警告灯類が点灯します。しばらくの間、ラジオやパワーウィンドウなどのアクセサリー装備が使用できます。
スタートポジション	ブレーキペダルを踏みながら、**ENGINE START/STOP** スイッチを押します。	エンジンが始動します。ラジオやパワーウィンドウなどのアクセサリー装備が使用できます。

●エンジンの緊急始動



スマートキーが車内の検知エリアにあるにも関わらず、**ENGINE START/STOP** スイッチを押してもエンジンが始動しない場合は、以下の手順でエンジンを始動します。

1. シフトポジションを **P** または **N** にします。
2. パーキングブレーキがかかっていることを確認します。
3. ステアリングコラムのリーダにスマートキーを当てます。
4. ブレーキペダルを踏みながら **ENGINE START/STOP** スイッチを押します。
5. スターターが回り、エンジンが始動します。

ディーゼル車は、予熱表示灯が点灯後消灯したらエンジンが始動します。

MEMO

緊急時以外は使用しないでください。

●エンジンの緊急停止

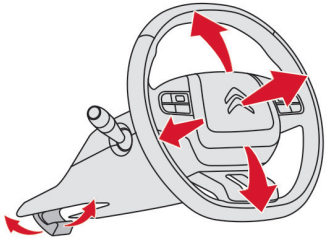
緊急時のためにエンジンを強制的に停止することができます。
強制的にエンジンを停止するには、**ENGINE START/STOP** スイッチを約3秒間押し続けます。車両が停止すると同時にステアリングがロックされて動かなくなります。

MEMO

●緊急時以外は使用しないでください。
●スマートキーが車内にないときは、ドアを閉じるとメッセージが表示されます。車内にスマートキーがない状態でエンジンを停止しようとすると、緊急停止の操作を確認するメッセージが表示されます。エンジンを停止するには、**ENGINE START/STOP** スイッチを約3秒間押し続けます。
●エンジンを再始動するには、スマートキーが必要です。

ステアリング／ホーン

●チルト・テレスコピックステアリング



ロックレバーを手前に引くと、ステアリングのロックが解除されます。
ステアリングホイールの高さや奥行きを調整し、ロックレバーを押し下げてロックしてください。ステアリングがしっかり固定されていることを確かめてください。

⚠警 告

ステアリングの調整は、車を停止して行ってください。

⚠注 意

シート位置を調整してからステアリング位置を調整してください。

●ホーン



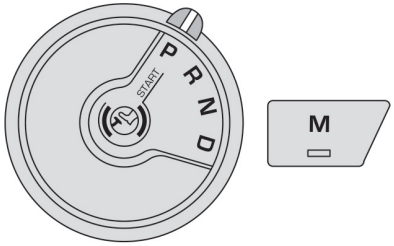
ステアリングホイールのセンターパッドを押してください。

MEMO

ホーンを使用する際には、節度を守り、差し迫った危険を感じるなどの緊急の場合に使用してください。

エフィシェント・オートマチック・トランスミッション

●ギアセレクター



ギアセレクターを回してシフトポジションを切り替えます。
M にシフトするときは、**D** にシフトしてから **M** ボタンを押します。ボタンの表示灯が点灯します。
M から **D** にシフトするときは、**M** ボタンを押します。ボタンの表示灯が消灯します。

P. パーキング：駐車するときに使用します。
エンジンを始動できます。パーキングブレーキを併用してください。

R. リバース：後退します。

N. ニュートラル：エンジンを始動できます。パーキングブレーキを併用してください。

D. ドライブ：走行に応じて自動的にギアが切り替わります。

M. マニュアルモード：パドルスイッチを使って手動でギアを切り替えます。アクセルペダルを踏み込んだまま操作することができます。

-：この表示が点灯したときは、オートマチックトランスミッションのプログラム不良です。ギアセレクターを回して適切なシフトポジションを選択してください。

ブレーキ作動促進表示灯

この表示が現れたら、ブレーキを踏んでください。

注 意

N から **R** や **D**、**M** にシフトするときは、エンジン回転がアイドリングまで下がっていることを確認してください。

MEMO

- シフトポジションを **P** にするとき、ギアセレクターの操作が重く感じられることがあります。
- マニュアルモードのシフト操作は、エンジン回転と走行速度の許容範囲でのみ行うことができます。その範囲を超えるときは、一時的にオートマチックモードになります。
- マニュアルモードで走行中、エンジン回転数が高すぎたり低すぎたりしたときは、インストルメントパネルのギア表示が点滅し、自動的にギアが切り替わります。
- マニュアルモードで走行中、停止したり、一定速度以下に減速したりすると、自動的に1速に切り替わります。
- 重量物を積んでいる状態で勾配のきつい坂道を発進するときは、パーキングブレーキを併用して車両の後退を抑制してください。
- ギアセレクターが **P** の位置にないのにインストルメントパネルに **P** と表示されている場合は、ギアセレクターを **P** の位置に回してからエンジンを始動してください。

●シフトポジション





シフトポジションと選択されているギアはインストルメントパネルに表示されます。

●パドルスイッチ



ステアリングの裏側にパドルスイッチがあります。シフトポジションが **D** または **M** のとき、右側（+）のスイッチでシフトアップ、左側（−）のスイッチでシフトダウンします。

MEMO

パドルスイッチを使って、シフトポジションを **N** または **R** に切り替えることはできません。また、**R** から他のポジションに切り替えることもできません。

●クリープ現象

停車中にシフトポジションを **D**、**R** または **M** にすると、アクセルペダルを踏まなくても車がゆっくりと動き出します。
特にエンジン始動直後やエアコン作動時などエンジン回転が高いときには車が動こうとする力が強くなります。そのため、エンジンを始動したままお子さまだけを残して車を離れないでください。
点検のためにエンジンをかけたまま車外に出るときは、パーキングブレーキをかけてシフトポジションを **P** にしてください。

●キックダウン

追い越しなどで急加速したいときは、パドルスイッチには手を触れずにアクセルペダルをいっぱいに踏み込んでください。
シフトダウンが起こり、エンジン回転が最高に達するまでそのギアを維持し、より短い時間で加速することができます。
またブレーキを踏むと、エンジンブレーキを効かせるためにシフトダウンします。ただし、安全のため、急にアクセルペダルを離してもシフトアップはしません。

●エンジンブレーキ

長い下り坂などブレーキを踏み続ける状態では、**D** レンジでもより効果的にエンジンブレーキを効かせるため自動的に低いギアに切り替わりますが、状況に応じて随時、シフトポジションを **M** レンジにして低いギアを選択することができます。（たとえば **D** →**3**、**3**→**2**）
ただし、**2**から**1**への切り替えは急激な減速を伴いますので、滑りやすい道路条件（雪道や凍った道路）では十分にご注意ください。

⚠警 告

下り坂ではエンジンブレーキも利用して速度を落としてください。ブレーキを使いすぎるとブレーキが過熱して正常に機能しなくなります。

●シフトロック

急発進防止のため、ブレーキペダルを踏んでいないと **P** から他のシフトポジションに切り替えることはできません。

注 意

シフトポジションが **P** のときにバッテリーが上がるとシフトロックが解除されません。無理にギアセレクターを動かすとトランスミッションを破損するおそれがあります。

●トランスミッションの異常

トランスミッションに異常が発生するとメッセージが表示されます。システムはセーフティーモードに入り、**3**（3速）に固定されて走行します。
P や **N** から **R** にシフトしたときに、大きなショックを伴うことがありますがトランスミッションを損傷することはありません。時速100km 以下の速度で走行して、シトロエン指定サービス工場で点検を受けてください。

⚠警 告

●走行中は、シフトポジションを **N** にしないでください。エンジンブレーキが効かなくなり、ブレーキのフェード現象が起きやすくなり事故を起こすおそれがあります。

●車から離れるときは、シフトポジションを **P** にしてパーキングブレーキをかけてください。クリープ現象で車がひとりでに動いて、人や物に衝突するおそれがあります。
エンジンがかかっている状態でシフトポジションが **P** 以外のときに運転席ドアを開けると、警告音とともにメッセージが表示されます。また、シフトポジションが **P** 以外のときにイグニッションをオフにして約10秒経過すると、警告音とともにメッセージが表示されます。

●エンジンがかかっているときは、お子さまを車内に残して車を離れないでください。急発進して人や物を傷付けるおそれがあります。

⚠注 意

●エンジンを始動するときは、シフトポジションを **P** にして、パーキングブレーキがかかっていることを確認してください。急発進して人や物を傷付けるおそれがあります。

●シフトポジションを **N** から **D** または **R** にするときは、ブレーキペダルをしっかりと踏みながら行ってください。急発進して人や物を傷付けるおそれがあります。

●重量物を積んでいる状態で勾配のきつい坂道に停車するときは、ブレーキペダルを放す前にシフトポジションを **P** にし、パーキングブレーキをかけてください。

注 意

●車が完全に停止する前にシフトポジションを **P** や **R** にしないでください。トランスミッションを破損するおそれがあります。

●アクセルペダルとブレーキペダルを同時に踏まないでください。トランスミッションを破損するおそれがあります。アクセルペダルおよびブレーキペダルは右足で踏んでください。

MEMO

渋滞時などエンジンをかけたまま停車する場合は、シフトポジションを **N** にしてパーキングブレーキをかけることにより、燃料消費を抑えることができます。

シフトタイミングインジケーター*



オートマチックトランスミッションのマニュアルモードで走行中、燃費向上のためにシフトチェンジをうながして燃費向上のアドバイスをします。
アクセルペダルを軽く踏んで運転している状況で、システムが燃費向上の観点から現在のギアよりも1段または2段高いギアまたは低いギアを使用した方が良いと判断した場合、インストルメントパネルに上下方向の矢印のマークと推奨ギアが表示されます。

MEMO

- ●シフトタイミングインジケーターの機能をオフにすることはできません。
- ●追い越しをするときなどアクセルペダルを強く踏み込んだときは表示されません。
- ●シフトタイミングインジケーターは、以下の変速はうながしません。
  - ・1速への変速
  - ・リバースギアへの変速

⚠警 告

シフトタイミングインジケーターはあくまで燃費向上のための機能です。実際のギアシフトは運転者が周囲の交通量や安全性に応じて判断して行ってください。誤った変速は事故につながるおそれがあります。

* 仕様により異なります。

エコモード



エコモードは、エアコン（暖房／冷房）の作動を抑え、燃費を向上させて走行するモードです。
エコモードを選択するには、ハイセンターコンソールのエコモードボタンを長く押します。ボタンのインジケーターとインストルメントパネルの表示灯が点灯します。
再度ハイセンターコンソールのエコモードボタンを長く押すとエコモードが解除されます。ボタンのインジケーターとインストルメントパネルの表示灯が消灯します。

エレクトリックパーキングブレーキ



エレクトリックパーキングブレーキには、以下の機能があります。
- エンジンが停止したときに自動的にパーキングブレーキをかけ、パーキングブレーキ作動中にアクセルペダルを踏むとパーキングブレーキが自動的に解除されるオートマチックエレクトリックパーキングブレーキ機能
- パーキングブレーキスイッチの操作でパーキングブレーキの作動／解除をいつでも手動で行うことができる手動作動機能

●オートマチックエレクトリックパーキングブレーキの作動

パーキングブレーキをかける
エンジンを停止するとエレクトリックパーキングブレーキが自動的にかかります。

パーキングブレーキがかかると、インストルメントパネルのブレーキ警告灯とパーキングブレーキスイッチのインジケーターが点灯します。

⚠警 告

駐車して車を離れるときは、ブレーキ警告灯およびパーキングブレーキスイッチのインジケーターが点灯していることを確認してください。

パーキングブレーキを解除する

シフトポジションが **D**、**M** または **R** でアクセルペダルを踏むとエレクトリックパーキングブレーキが自動的に徐々に解除されます。



パーキングブレーキが完全に解除されると、インストルメントパネルのブレーキ警告灯とパーキングブレーキスイッチのインジケーターが消灯し、メッセージが表示されます。



パーキングブレーキが自動的に解除されない場合は、運転席ドアが確実に閉まっているか確認してください。

●パーキングブレーキの手動操作

パーキングブレーキをかける

エンジンの作動状態に関わらず、停車中にパーキングブレーキスイッチを手前に引くと、パーキングブレーキがかかります。



パーキングブレーキがかかると、インストルメントパネルのブレーキ警告灯とパーキングブレーキスイッチのインジケーターが点灯します。



シフトポジションが **P** 以外で、パーキングブレーキをかけずに運転席ドアを開けると、警告音とともにメッセージが表示されます。

パーキングブレーキを解除する

イグニッションがオンのとき、またはエンジン作動中にブレーキペダルを踏みながら、パーキングブレーキスイッチを押し込んでから放すと、パーキングブレーキが解除されます。



パーキングブレーキが完全に解除されると、インストルメントパネルのブレーキ警告灯とパーキングブレーキスイッチのインジケーターが消灯し、メッセージが表示されます。



ブレーキペダルを踏まずにパーキングブレーキスイッチを押し込んで放すと、パーキングブレーキは解除されず、メッセージが表示されます。

⚠警 告

●エンジンをかけて停車しているときは、誤ってアクセルペダルを踏まないように注意してください。ブレーキが解除され、車が飛び出すおそれがあります。
●駐車して車を離れるときは、ブレーキ警告灯およびパーキングブレーキスイッチのインジケーターが点灯していることを確認してください。
●エレクトリックパーキングブレーキは、お子さまでも簡単に解除できます。イグニッションをオンにしたままの状態で、お子さまを車内に残して車を離れないでください。

MEMO

坂道に駐車するときには、シフトポジションを **P** にし、タイヤを路肩に斜めに当ててパーキングブレーキをかけてください。

●システムの解除

気温が低下して路面が凍結するような状況やトレーラーなどをけん引するときは、次の方法でオートマチックエレクトリックパーキングブレーキ機能をオフにしてください。

1. エンジンを始動します。
2. パーキングブレーキが解除されている場合は、パーキングブレーキスイッチを手前に引いて、パーキングブレーキをかけます。
3. ブレーキペダルを離します。
4. パーキングブレーキスイッチを10秒以上、15秒以下押し続けます。
5. パーキングブレーキスイッチを離します。
6. ブレーキペダルを踏みながら、パーキングブレーキスイッチを2秒以上引きます。

AUTO (P) OFF オートマチックエレクトリックパーキングブレーキ機能を解除すると、インストルメントパネルの警告灯が点灯します。

オートマチックエレクトリックパーキングブレーキ機能を解除すると、自動でパーキングブレーキをかけたり解除することができません。手動で操作してください。
オートマチックエレクトリックパーキングブレーキ機能を復帰させるときは、再度機能を解除する操作を行ってください。機能が復帰すると、インストルメントパネルの警告灯が消灯します。

●シフトポジションがN、およびパーキングブレーキを解除した状態でエンジンを停止する

シフトポジションがN、およびパーキングブレーキを解除した状態でエンジンを停止するには、以下の操作を行います。

1. 停車し、エンジンがかかっているときにブレーキペダルを踏みながらシフトポジションをNにします。
2. ブレーキペダルを踏んだまま、エンジンを停止します。
3. ブレーキペダルを放し、イグニッションをオンにします。
4. ブレーキペダルを踏みます。
5. ブレーキペダルを踏んだまま、パーキングブレーキスイッチを押してエレクトリックパーキングブレーキを解除します。
6. ブレーキペダルを放します。
7. イグニッションをオフにします。

MEMO

- ●シフトポジションがNのときに運転席ドアを開けると警告音が鳴ります。ドアを閉めると警告音が止まります。
- ●イグニッションをオン／オフするときはブレーキペダルを放した状態で操作してください。ブレーキペダルを踏んだまま操作するとエンジンが始動するため、手順を最初からやり直してください。
- ●次回エンジンを停止するときは自動的にパーキングブレーキがかかります。

●非常ブレーキ

ブレーキシステム（フットブレーキ）が故障したり、運転者が運転不能な状態に陥ったときなどの緊急時には、パーキングブレーキスイッチを引き続けて車両を停止します。
非常ブレーキ作動中は、ESCが作動して、車の安定性を確保します。
非常ブレーキに異常が発生した場合は、メッセージが表示されます。

⚠警 告

非常ブレーキの使用は、緊急時のみにとどめてください。



この警告灯が点灯しているときは、ESCシステムに異常があり、ESCによる車の安定性は確保されません。パーキングブレーキスイッチを繰り返し操作して安定性を確保してください。

ヒルスタートアシスタンス

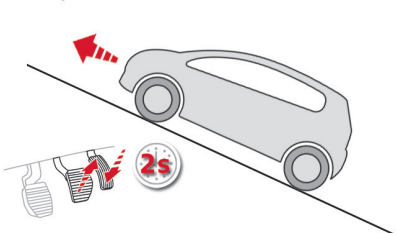
ヒルスタートアシスタンスは坂道発進を補助するための機能で、ブレーキペダルから足を離しても一定時間（ブレーキペダルからアクセルペダルまで足を移動する間）ブレーキがかかった状態を維持します。

この機能は以下の条件がすべて揃ったときに作動します。

- 坂道で車が完全に停止してブレーキペダルがしっかりと踏まれている。
- 運転席ドアが閉まっている。
- 坂道の勾配が適正である。

⚠警 告

ヒルスタートアシスタンス作動中は、車から出ないでください。やむを得ずエンジンをかけたまま駐車して車を離れるときは、パーキングブレーキをかけ、インストルメントパネルのブレーキ警告灯とパーキングブレーキスイッチのインジケーターが点灯していることを確認してください。

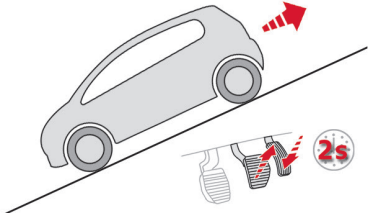


●登り坂で前方へ発進するとき

シフトポジションがDまたはMのとき、ブレーキペダルから足を離すと一定時間ブレーキがかかった状態を保ちます。

MEMO

ヒルスタートアシスタンスの機能を解除することはできません。ただし、パーキングブレーキをかけると、ヒルスタートアシスタンスの機能が一時的に解除されます。



●下り坂で後方へ発進するとき

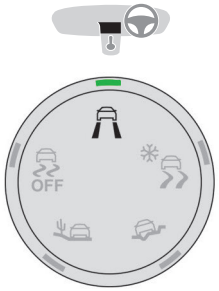
シフトポジションがRのとき、ブレーキペダルから足を離すと一定時間ブレーキがかかった状態を保ちます。

●ヒルスタートアシスタンスの故障



ヒルスタートアシスタンスに異常が発生した場合に点灯します。シトロエン指定サービス工場で点検を受けてください。

グリップコントロール *



グリップコントロールは、駆動輪（前輪）へのトルクを制御して車両の安定性を高める装置です。雪上、泥地、砂地などの滑りやすい路面の走行時に、それぞれの路面状況に応じた設定を行うことによって最適な効果を発揮します。
路面状況に応じて、ハイセンターコンソールの5ポイントセレクターを操作します。
設定が変更されると、メッセージが表示されます。

●ノーマルモード（ESC のみ）



若干のホイールスピンを許す、通常の路面状況に対応したモードです。イグニッションをオンにすると自動的にノーマルモードに設定されます。

●スノーモード



雪道など、発進時に駆動輪が滑りやすい路面状況に対応したモードです。
時速80km 以下で走行中に作動します。

⚠警 告

スノーモードは、あらゆる雪道での走行を可能にするものではありません。道路の規制や地域の気象条件に合わせて、適切なスノーチェーンやスタッドレスタイヤを装着し、急カーブや滑りやすい路面では慎重に運転してください。

●マッドモード



左右の駆動輪を制御して、タイヤに付着した泥を取り除き、泥地からの発進時のグリップを改善するモードです。
時速50km 以下で走行中に作動します。

●サンドモード



左右の駆動輪を適切に制御して、車両が砂に埋もれることを防止しながら走行させるモードです。
時速120km 以下で走行中に作動します。

注 意

砂地では他のモードを選択しないでください。

* 仕様により異なります。

●OFF モード



ASR／DSC システムを解除することができます。
ASR／DSC システムは、イグニッションをオフにした場合や時速50km 以上で走行すると、自動的に復帰します。

⚠警 告

●グリップコントロールは、基本的に舗装道路での走行を想定しています。障害物や飛び石などによってボディ下部にある装置（サスペンションやマフラーなど）を損傷させるようなオフロードや、急勾配かつ滑りやすい悪路、渡河などを可能にする装置ではありません。
●グリップコントロールは、正しい仕様のタイヤを装着しているときに有効です。

MEMO

グリップコントロールを正しく作動させるには、十分なアクセルの踏み込みが必要です。エンジンが高回転になることがありますが、正常な動作です。

ヒルディセントコントロール *

ヒルディセントコントロールは、急な下り坂や滑りやすい路面を下るとき、段階的に自動でブレーキ操作を行い、一定の速度を保って走行する補助をします。
この機能は、以下の条件がすべて揃ったときに作動します。

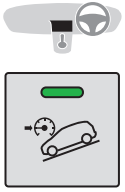
- 機能がオンのとき
- シフトポジションが R、D または N のとき
- 時速30km 以下のとき
- アクセルペダルとブレーキペダルを踏んでいないとき
- 坂道の勾配が5% 以上のとき

ヒルディセントコントロールの作動中は、ストップランプが点灯します。

MEMO

ヒルディセントコントロールの作動中も、アクセルペダルまたはブレーキペダルの操作で走行速度を変更することができます。

●システムの作動



時速50km 以下のとき、インジケーターが点灯するまでボタンを押すと、機能がオンになります。



時速30km 以上のときは、インストルメントパネルの表示灯が灰色に点灯します。

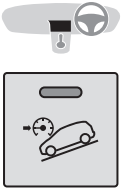


時速30km 以下のとき、作動条件が揃っていない場合は、インストルメントパネルの表示灯が緑色に点灯します。走行速度の制御は行いません。



システムが作動し、走行速度の制御を行っていると、インストルメントパネルの表示灯が点滅します。

●システムの解除



インジケーターが消灯するまでボタンを押すと、機能がオフになります。インストルメントパネルの表示灯が消灯するとともにメッセージが表示されます。
時速が70km 以上のときは、システムが自動で解除されます。

* 仕様により異なります。

MEMO

●イグニッションをオフにするとヒルディセントコントロールは解除されます。
●ヒルディセントコントロールの機能をオンにすると、アクティブセーフティブレーキが自動的に解除されます。
●アクティブクルーズコントロールが作動しているときは、ヒルディセントコントロールの機能は作動しません。

●システムの異常



システムに異常がある場合、表示灯が点灯するとともにメッセージが表示されます。シトロエン指定サービス工場で点検を受けてください。

⚠警 告

ブレーキの作動をヒルディセントコントロールのみに頼らないでください。極端に急な下り坂や、路面が凍結している場合や滑りやすい場合は、必要に応じてブレーキペダルを踏んでください。速度の制御ができず、思わぬ事故につながるおそれがあります。

SCR（選択式還元触媒）システム（ディーゼル車）

シトロエン BERLINGO は SCR（選択式還元触媒）システムと DPF（ディーゼルパティキュレートフィルター）を採用しています。
SCR は、AdBlue® を使用することで、排気ガス中の窒素酸化物を低減します。

MEMO

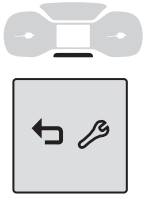
- AdBlue® の残量がなくなるとエンジンを始動できなくなります。AdBlue® の補充は早めに行ってください。AdBlue® の補充は、シトロエン指定サービス工場にお申し付けください。
- SCR に異常が発生したまま走行を続けるとエンジンを始動できなくなります。シトロエン指定サービス工場でシステムの点検を受けてください。

●走行可能距離の表示

AdBlue® の残量がなくなるとエンジンを始動できなくなります。
走行可能距離が2400km 以内の場合、イグニッションをオンにすると、警告音とともに警告灯が点灯／点滅し、エンジンを始動できなくなるまでの走行可能距離をお知らせするメッセージを表示します。

警告灯	走行可能距離	対処方法
AdBlue	800km から2400km	AdBlue® の残量が少なくなっています。 早めにシトロエン指定サービス工場で AdBlue® の補充をしてください。
AdBlue	100km から800km	AdBlue® の残量がわずかになっています。 すみやかにシトロエン指定サービス工場で AdBlue® の補充をしてください。
AdBlue	100km 以内	AdBlue® の残量がわずかになっています。 AdBlue® の残量がなくなるとエンジンを始動できなくなります。直ちにシトロエン指定サービス工場で AdBlue® の補充をしてください。
AdBlue	0km	AdBlue® の残量がなくなったため、エンジンを始動できません。シトロエン指定サービス工場にご連絡ください。

●走行可能距離の確認



インストルメントパネルのマニュアルチェックボタンを押すと走行可能距離を再表示させることができます。

MEMO

走行可能距離が2400km 以上の場合は、イグニッションをオンにしても走行可能距離は表示されません。インストルメントパネルのマニュアルチェックボタンを押すと走行可能距離を表示させることができます。

●SCR システムの異常

SCR システムに異常が発生したら、次のような警告が表示されます。
警告が続けて表示される場合は、直ちにシトロエン指定サービス工場でシステムの点検を受けてください。
そのまま走行を続けると、約1100km 走行した後は、エンジンを停止すると、再始動できなくなります。

SCR システムに異常がある場合



SCR システムに異常が発生した場合は、警告音とともに **AdBlue®** 警告灯、**SERVICE** 警告灯および自動診断警告灯が点灯し、メッセージが表示されます。

MEMO

一時的に警告が表示されることがありますが、その後、警告灯が消灯すればSCR システムの異常は解消されています。
SCR システムの異常が解消されない場合は、エンジンを始動する度に警告が表示されます。
シトロエン指定サービス工場でシステムの点検を受けてください。

SCR システムの異常により、走行可能距離が1100km 以内になった場合



SCR システムに異常が発生した後、異常が解消されないまま約50km 走行すると、警告音とともに **AdBlue®** 警告灯が点滅し、**SERVICE** 警告灯および自動診断警告灯が点灯し、メッセージが表示されます。
この警告が表示されると、走行可能距離は約1100km 以内です。
そのまま走行を続けると、約1100km 走行した後は、エンジンを停止すると、再始動できなくなります。直ちにシトロエン指定サービス工場でシステムの点検を受けてください。

MEMO

SCR システムの異常が解消されない場合は、走行中は、30秒ごとにメッセージが表示されます。
また、エンジンを始動する度に警告が表示されます。

SCR システムの異常によりエンジンを始動できなくなった場合



イグニッションをオンにすると、警告音とともに **AdBlue®** 警告灯が点滅し、**SERVICE** 警告灯および自動診断警告灯が点灯し、メッセージが表示されます。
SCR システムの異常によりエンジンを始動できません。シトロエン指定サービス工場にご連絡ください。

DPF（ディーゼルパティキュレートフィルター）（ディーゼル車）

DPF（ディーゼルパティキュレートフィルター）は排気ガス中に含まれるススを捕集し、燃焼（再生）処理します。
捕集したススが一定量堆積し、警告が表示されると、時速60km 以上の速度で走行し、堆積したススを燃焼（再生）処理することが必要です。

注 意

DPF の故障を防ぐため、次のことをお守りください。
- ススが一定量堆積し、警告が表示されたまま長時間走行しないでください。
- 指定以外の燃料を補給しないでください。
- 指定以外のエンジンオイルを使用しないでください。

●ススの燃焼（再生）処理



DPF にススが一定量堆積すると、この警告灯または SERVICE 警告灯が一時的に点灯し、メッセージが表示されます。
警告が表示されたら、道路状況を見て、すみやかに時速60km 以上で走行してください。ススの燃焼（再生）処理が行われます。
燃焼（再生）処理が終了すると、警告灯が消灯します。



警告音とともにこの警告灯または SERVICE 警告灯が点灯し、メッセージが表示されたら、すみやかにシトロエン指定サービス工場で点検を受けてください。

MEMO

- ●時速60km 以上の速度でしばらく走行しても警告灯が消灯しない場合はシトロエン指定サービス工場で点検を受けてください。
- ●ご購入いただいてから最初の燃焼（再生）処理中は、焦げたような臭いがすることがありますが、異常ではありません。
- ●長時間の低速走行後やアイドリング運転後の発進や加速時に、排気管から白い煙（水蒸気）が出ることがありますが、異常ではありません。

ストップ&スタート

ストップ&スタートには交通渋滞や赤信号などで停止しているときにエンジンを止める停止モードと、発進するときにエンジンをかけるスタートモードがあります。
エンジンの始動は瞬時で騒音もなく、都市部での使用において燃費と排出ガスの削減を可能にします。

ストップ & スタートは以下のすべての条件を満たしているときに作動します。
- 運転席ドアが閉まっているとき
- スライドドアが閉まっているとき
- 運転席のシートベルトが締められているとき
- バッテリーの電力が十分にあるとき
- エンジンが異常に熱くなっていないとき
- 外気温が0℃以上、35℃以下のとき

●停止モードへの移行

時速3km 以下で走行中、または停止中に、ブレーキペダルを踏んだとき、またはシフトポジションを **N** にしたときに停止モードに移行します。

エンジンが停止すると、インストルメントパネルの表示灯が点灯します。

また、タイマーが停止時間の積算を行います。時間は、イグニッションをオンにする度にゼロにリセットされます。

⚠警 告

停止モードのまま給油しないでください。必ず **ENGINE START/STOP** スイッチを押してエンジンを停止してください。

MEMO

- ●車庫入れなど、**R** からギアを入れ替えたときやステアリングを回したときは、エンジンは数秒間停止モードになりません。
- ●停止モードによって、ブレーキの効きやパワーステアリングに影響が出ることはありません。

●停止モードにならないとき

以下のときは、エンジンは停止モードになりません。

- 坂道の勾配が急なとき
- ENGINE START/STOP スイッチを押してエンジンを始動してから時速10km を超えていないとき
- エレクトリックパーキングブレーキが作動しているとき、または操作したとき
- エアコンが曇り取りモードのとき
- 車内の温度を快適に保つためにエンジンの運転が必要なとき



インストルメントパネルの表示灯が数秒間点滅して消灯しますが、異常ではありません。

●スタートモードへの移行

以下のときにスタートモードに移行します。

- シフトポジションを D か M にしてブレーキペダルを放したとき
- シフトポジションが N でブレーキペダルを放し、シフトポジションを D か M にしたとき
- シフトポジションが P でブレーキペダルを踏みながらシフトポジションを R、N、D、M のいずれかにしたとき



エンジンが始動すると、インストルメントパネルの表示灯が消灯します。

MEMO

スタートモードへ移行してから時速8km を超えて走行していないときは停止モードになりません。

●自動的にスタートモードになるとき

時速3km を超えたとき、エンジンが自動的にスタートモードになります。



インストルメントパネルの表示灯が数秒間点滅して消灯しますが、異常ではありません。

●ストップ&スタートの作動と解除

ストップ＆スタートの作動と解除は、タッチスクリーンで設定します。
ストップ＆スタートが作動／解除されるとメッセージが表示されます。

注 意

停止モードのときに作動を解除すると、直ちにエンジンが始動します。

MEMO

エンジンを始動すると、システムは作動状態になります。

●ストップ&スタートの故障



システムに故障が発生したときは、インストルメントパネルの表示灯が点滅します。シトロエン指定サービス工場で点検を受けてください。
停止モードのときに故障した場合は、警告灯が点灯してエンジンが始動しません。イグニッションをオフにしてエンジンを始動してください。

MEMO

ギアセレクターを回してシフトポジションを **N** にし、ブレーキペダルを踏むように促すメッセージが表示されることがあります。

●点検時の注意点

エンジンルームでどのような作業を行うときも、あらかじめストップ&スタートの作動を解除しておいてください。エンジンが急に始動して、思わぬケガをするおそれがあります。

また、このシステムではストップ＆スタート専用に設計されたバッテリーを使用しています。不適当なバッテリーの使用はシステムの故障につながります。バッテリーの交換はシトロエン指定サービス工場にご相談ください。

ESC（エレクトロニックスタビリティコントロール）

ESC は急なハンドル操作や急ブレーキ時および滑りやすい路面の走行時などに、次の機能を総合的に制御して運転を補助し車両の安定性を高めます。

- ABS（アンチロックブレーキシステム）
- EBFD（電子式制動力制御装置）
- EBA（ブレーキアシスト）
- ASR（トラクションコントロール）
- DSC（ダイナミックスタビリティコントロール）

●ABS（アンチロックブレーキシステム）

電子式制動力制御装置（EBFD）を備えた ABS システムは、ホイールがロックしそうになると ABS が作動して、滑りやすい路面での操縦安定性を向上させます。

●EBA（ブレーキアシスト）

ブレーキアシストシステムは、急ブレーキ時のペダルの動きに応じて作動し、ブレーキの効きを最大限に高めて停止距離を短縮する装置です。

●ASR（トラクションコントロール）

路面状況に応じた制御をすることによって、急加速時のホイールスピンを防止して、車の走行安定性を向上させる機能です。

●DSC（ダイナミックスタビリティコントロール）

4輪のブレーキとエンジン出力を自動的に制御することによって、旋回時の前輪または後輪の横滑りを防止する機能です。

MEMO

- イグニッションをオンにしたまま、ホイールやタイヤ交換などの作業を行い、シャフトを回転させると、メモリに故障情報が入力されて ABS 警告灯が点灯する場合があります。シトロエン指定サービス工場にご相談ください。
- ABS や EBA が作動するとブレーキペダルが振動することがありますが、正常な作動であって故障ではありません。そのままブレーキペダルを強く踏み続けてください。
- 凍結した路面や砂地などのオフロードを走行するときは、ASR（ASR／DSC）システムを解除してください。

●システムの異常



この警告灯が点灯したときは ABS の機能に異常があります。ブレーキをかけたときに車のコントロールを失う可能性があります。通常のブレーキは機能します。注意して速度を下げて走行し、直ちにシトロエン指定サービス工場にご連絡ください。



警告音とともにこの警告灯、ABS 警告灯および **STOP** 警告灯が点灯し、メッセージが表示されたときはブレーキシステムに異常があります。直ちに停車してシトロエン指定サービス工場にご連絡ください。

⚠警 告

ABS や EBA は、どのような状況下でも制動距離を短くする装置ではありません。
路面の摩擦によっては、かえって制動距離が伸びることがありますので、滑りやすい路面では慎重に運転してください。
この装置は、正しい仕様のタイヤを適正な状態で使用したときに効果を発揮します。

●ASR ／ DSC システムの作動

エンジンを始動すると、ASR ／ DSC システムは自動的に作動可能状態になります。車両の走行安定性に問題が生じたときは、システムが作動して車両を制御します。

ASR ／ DSC システムが作動すると、この警告灯が点滅して運転者に注意を促します。

●ASR（ASR ／ DSC）システムの解除

雪道や泥道で動けなくなったときなどに、ある程度ホイールスピンをさせてタイヤの接地力を回復させる必要が発生します。このようなときに、手動でASR（ASR／DSC）システムの解除ができます。

タッチスクリーンで解除する *

ASR システムの解除は、タッチスクリーンで設定します。
ASR システムを解除するとメッセージが表示され、運転者に ASR システムが停止したことを知らせます。

グリップコントロールスイッチで解除する *



グリップコントロールスイッチを OFF の位置へ回すと ASR ／ DSC システムが解除されます。

ASR ／ DSC システムを解除すると、警告灯が点灯するとともにメッセージが表示され、運転者に ASR ／ DSC システムが停止したことを知らせます。

* 仕様により異なります。

●ASR（ASR／DSC）システムの復帰

解除したシステムは、次の状態で自動的に復帰します。

・ イグニッションをオフにする。
・ 時速50km 以上で走行する。
・ 手動で復帰させるときは、タッチスクリーンで設定するか *、グリップコントロールスイッチ * を OFF 以外の位置に回します。

ASR（ASR／DSC）システムが復帰すると、警告灯が消灯 * するとともにメッセージが表示されます。

●ASR／DSC システムの異常



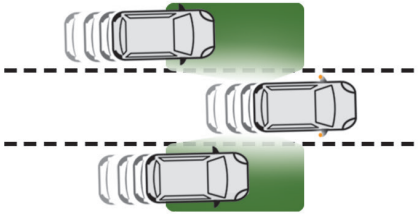
システムに異常が発生したときは、警告音とともに警告灯が点灯し、メッセージが表示されます。シトロエン指定サービス工場でシステムの点検を受けてください。

⚠警 告

●ASR／DSC システムは、通常の運転状況下において安全性を向上させるもので、オーバースピードや危険な運転を補正する装置ではありません。急カーブや滑りやすい路面では、従来と同じく慎重に運転してください。この装置は、タイヤやホイール、ブレーキ部品、電子部品などの仕様が正しく、かつシトロエン指定サービス工場で適正な整備や修理を受けた状態で使用したときに効果を発揮します。事故の後や大きな衝撃を受けたときは、シトロエン指定サービス工場でシステムの点検を受けてください。

●この装置は、正しい仕様のタイヤを適正な状態で使用したときに効果を発揮します。

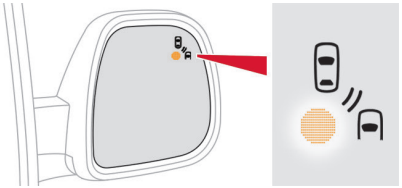
ブラインドスポットモニター



ブラインドスポットモニターは、ドアミラーでの確認が困難な範囲に他車が進入した際に、その存在を検知して運転者に警告するシステムです。

⚠警 告

このシステムは安全確認を補助するための装備であり、ルームミラーやドアミラーの代わりではありません。運転者の責任の下で、道路状況、他車との距離、相対速度を必ず確認し、車線変更などを行ってください。



他車を検知した側のドアミラーに警告灯が点灯／点滅します。

- 自車が追い越しをされる場合は、追い越そうとする車がブラインドゾーンに進入した直後に点灯します。
- 自車が追い越しをする場合は、追い越してから約1秒後に点灯します。

●システムの作動

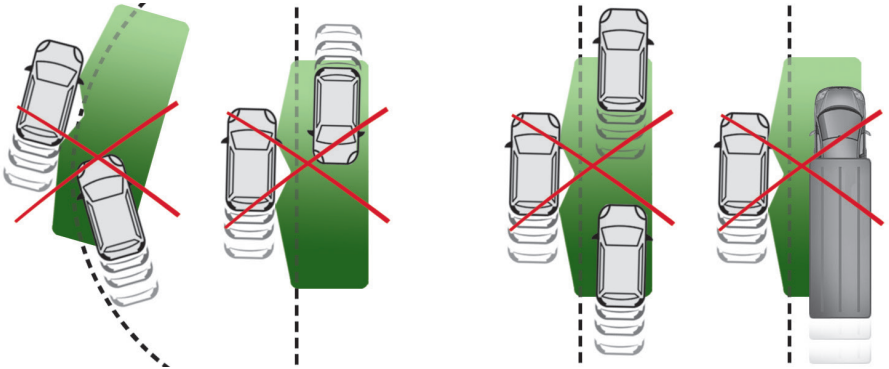
ブラインドスポットモニターの作動と解除は、タッチスクリーンで設定します。

MEMO

イグニッションをオフにしても、システムの作動／解除の設定は保持されます。

以下の条件を満たすとき、車両を検知してドアミラーの警告灯が点灯します。

・ 自車を含めた周囲すべての車が同じ方向に走行している
・ 時速12km ～時速140km で走行している
・ 追い越しをしている場合、他車との速度差が時速10km 未満
・ 追い越される場合、他車との速度差が時速25km 未満
・ 道路状況が混雑していない
・ 追い越しをしている場合、追い越し状態が継続していて、かつ追い越された車両が依然としてブラインドゾーンにある
・ 直線またはゆるやかなカーブを走行している
・ トレーラーなどをけん引していない



以下の物や状況の場合、警告灯は点灯しません。

・ 静止している物（駐車している車、壁、街灯、道路標識）
・ 自車とは逆方向に走行している車
・ 曲がりくねった道や角度のきついカーブを走行しているとき
・ 大型車を追い越す（または追い越される）とき
（大型車の先頭部分が運転者の視界にあり、かつ大型車の後方部分がブラインドゾーンにあることを検知したとき）
・ 道路状況が混雑しているとき
（前方の車とブラインドゾーンにある車を同時に検知するため、システムは大型車と判断がつかない）
・ 急速に追い越すとき

●システムの故障

システムに異常が発生したときは、SERVICE 警告灯が点灯するとともに、メッセージが表示されます。シトロエン指定サービス工場でシステムの点検を受けてください。

⚠警 告

●ドアミラーにある警告ゾーン、フロントバンパーおよびリアバンパーにあるセンサーをステッカーなどで覆わないでください。システムの妨げとなり、正常に機能しません。
●悪天候や冬期には、泥や氷雪などでセンサーが覆われないように注意してください。

注 意

洗車場などで高圧洗浄する場合、洗浄ノズルを少なくとも30cm 以上フロントバンパーおよびリアバンパーにあるセンサーから離してご使用ください。

MEMO

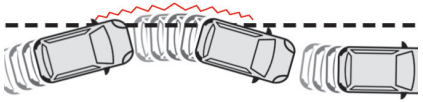
●システムは雨や雪などの天候に左右される可能性があります。
●濡れた路面を走行しているときに、霧状の水しぶきなどを誤って検知することがあります。

●アクティブブラインドスポットモニター *

アクティブブラインドスポットモニターは、ブラインドスポットモニターが他車の存在を検知しているとき、車線変更などで方向指示器を作動させている状態で走行車線の車線マーカーを越えようとした場合、他車を検知した側のドアミラーの警告灯が点滅するのに加え、ハンドル操作を自動修正して衝突を避ける支援をします。
アクティブブラインドスポットモニターは、時速65km ～時速140km で走行中に、ブラインドスポットモニターおよびレーンキープアシストが作動しているときに作動します。
レーンキープアシストの詳細は「レーンキープアシスト」項を参照してください。

* 仕様により異なります。

レーンキープアシスト



フロントウィンドウ上部のカメラが走行車線の端、および走行車線の車線マーカーを検知し、車両が車線を逸脱する可能性があると判断したとき、警告表示とハンドル操作を自動修正して衝突を避ける支援をします。

レーンキープアシストの作動中は、警告灯が点滅します。

MEMO

- ●レーンキープアシストが作動すると、ハンドルが自動的に動いてハンドル操作を修正します。
- ●レーンキープアシストが作動しても、運転者がハンドルをしっかり持ち操作を行うことで、ハンドル操作の自動修正を中断することができます。

●動作条件

レーンキープアシストは以下のすべての条件を満たしているときに作動します。

- ・時速65km～時速180km で走行しているとき
- ・車線が中央線で区切られているとき
- ・運転者がハンドルを両手でしっかり持っているとき
- ・方向指示器が作動していないとき
- ・ASR（ASR ／ DSC）システムが解除されていないとき
- ・ESCシステムが正常に作動しているとき

⚠警 告

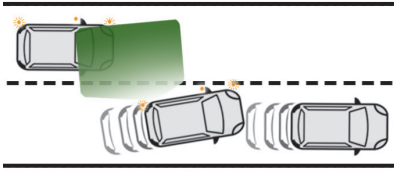
レーンキープアシストは、脇見運転やぼんやり運転などの前方不注意や雨、霧などの視界不良を補助するものではありません。また、前方車両との車間距離、自車両の走行速度やブレーキ操作の自動制御を行いません。車両が車線を逸脱する可能性があると判断されたときのみ作動します。運転者はハンドルをしっかり持ち、前方に注意し安全運転に努めて走行してください。安全の確保は運転者の義務です。
また、長時間の運転などで疲れているときは適度な休憩をとってください。

MEMO

- ●ハンドル操作の自動修正が行われるとき、運転者がハンドルをしっかり持っていないと判断すると、システムはハンドル操作の自動修正を中断し、警告を表示して運転者に注意を促します。
- ●方向指示器が作動している間と方向指示器の作動停止後の数秒間は、車両が車線を逸脱する可能性があると判断されても、システムは運転者による意図的な車線変更と判断し、ハンドル操作の自動修正を行いません。

MEMO

●アクティブブラインドスポットモニター*が他車を検知して、ドアミラーの警告灯が点滅している間は、方向指示器が作動していても、車両が車線を逸脱する可能性があると判断した場合、システムはハンドル操作の自動修正を行い運転者に注意を促します。



●システムの作動と解除





運転席側ダッシュボードのスイッチを押すとシステムが解除されます。スイッチのインジケーターとインストルメントパネルの警告灯が点灯します。
再度スイッチを押すとシステムが作動します。スイッチのインジケーターとインストルメントパネルの警告灯が消灯します。

MEMO

イグニッションをオンにすると、システムは作動状態になります。

⚠警 告

以下のようなときは、システムが正常に作動しないことがあります。

- 視界が悪いとき（周囲が十分に明るくない、雪、雨、霧など）
- 前方から強い光（太陽光や対向車両のハイビームなど）を受けたとき
- 路面の水たまりの反射光が強いとき
- トンネルの出入り口など、明るさに急な変化があったとき
- カメラの前のフロントウィンドウに泥や雪、汚れなどが付着しているとき
- 車線マーカーが検知しにくいとき（不明瞭、汚れや雪などで隠れている）
- 消された車線マーカーがまだ見えている道路を走行するとき
- 道路のつなぎ目、線状の補修痕などがあるとき
- 前方の車両に近付きすぎたとき
- 細く曲がりくねった道路を走行するとき
- 影などの影響で車線と車線の端、車線の外側との区別が分かりにくいとき

* 仕様により異なります。

●警告表示

インストルメントパネルの表示	意味
	・レーンキープアシストは解除されています。 ・トレーラーをけん引している、スペースセーバータイヤを装着しているなどを検知し、レーンキープアシストが自動的に解除された、または作動が停止しました。
	レーンキープアシストは作動していますが、動作条件を満たしていません。
	車線マーカーを検知しました。 時速65km 以上で走行しています。
	・車両が車線を逸脱する可能性があると判断し、ハンドル操作の自動修正をしました。 この表示の場合、システムは車両が左側の車線を逸脱する可能性があると判断しています。 ・ハンドル操作の自動修正中、システムは運転者がハンドルをしっかり持っていないと判断し、ハンドル操作の自動修正を中断しました。警告音とともにメッセージが表示され、運転者が適切なハンドル操作を行うように注意を促します。 ・ハンドル操作の自動修正中、車両が車線を逸脱したと判断しました。警告音とともにメッセージが表示され、運転者が適切なハンドル操作を行うように注意を促します。

MEMO

●レーンキープアシストの画面はステアリングスイッチの左側のダイヤルを回すとインストルメントパネルのディスプレイに表示することができます。

MEMO

●ハンドル操作の自動修正が連続して何度も作動すると、連続した長い警告音が鳴ることがあります。警告音は運転者が適切なハンドル操作を行うまで続きます。
●運転者がハンドルを両手で持っていても、ハンドルをしっかり持つように促すメッセージが表示されることがあります。
●ハンドル操作の自動修正中、運転者がハンドルをしっかりと持っていない状態が約10秒続くと注意を促すメッセージが表示されます。その後、2秒以上経過しても運転者の適切なハンドル操作が行われない場合は、ハンドル操作の自動修正が中断されます。

●システムの異常



システムに異常がある場合、警告音とともに警告灯が点灯し、メッセージが表示されます。シトロエン指定サービス工場で点検を受けてください。

●作動が停止される条件

レーンキープアシストは、以下のいずれかの条件に当てはまったときに、作動が停止します。

- ASR（ASR／DSC）システムが解除されたとき
- ESCシステムが車両を制御しているとき
- 時速65km以下、または時速180km以上で走行しているとき
- トレーラーなどをけん引したとき
- スペースセーバータイヤを装着したとき（運転者の操作により作動を解除してください）
- 急なハンドル操作、アクセル操作、ブレーキ操作を検知したとき
- 道路上に車線マーカーがないとき
- 方向指示器を作動させたとき
- 角度のきついカーブを走行しているとき
- ハンドル操作の自動修正中に運転者の対処が行われなかったとき

⚠警 告

●以下のようなときは、レーンキープアシストを解除してください。思わぬ事故につながるおそれがあります。
- 路面状態のよくない道路を走行しているとき
- 滑りやすい路面を走行しているとき
- 不安定な路面を走行しているとき
- 悪天候のとき
- サーキットなどを走行しているとき
- 点検などで車両をローラーに乗せて走行しているとき

⚠警 告

●フロントウィンドウのカメラ周辺に衝撃を受けたら、必ずシトロエン指定サービス工場で点検を受けてください。カメラが正常に作動せず、思わぬ事故につながるおそれがあります。
●フロントウィンドウ上部のカメラ付近をステッカーなどで覆ったり、物を置いてカメラの視界を遮らないでください。システムの妨げとなり、正常に機能しません。
●ルーフ上に積載した荷物などがカメラの視界を遮らないように注意してください。
●冬期に、ルーフやボンネットに雪が積もっているときは取り除いてください。

⚠警 告

●フロントウィンドウに泥や雪などが付着するとカメラが正常に作動しません。常に汚れを落としてください。
●天候や乗車状況によってはフロントウィンドウのウィンドウガラスが曇ることがあります。ウィンドウガラスが曇るとカメラが正常に作動しません。エアコンの曇り取り機能を使用してウィンドウガラスの曇りを取り除いてください。
●傷んだり汚れたフロントワイパーは視界を妨げ、カメラが正常に作動しません。常にワイパーブレードが良好な状態であることを確認してください。

ドライバーアテンション アラート

ドライバーアテンションアラートには以下の２つの機能が備わっています。

・ 連続運転警告
・ 疲労検知システム

⚠警 告

ドライバーアテンションアラートは、運転時間やハンドル操作から運転者の疲労増加や注意力の低下を検知し、運転者へ休憩をとるように促すシステムです。疲労時の運転を補助するものではありません。システムを過信せず、十分に休憩をとり、安全運転に努めて適切なハンドル操作をしてください。

●連続運転警告

連続運転警告は、運転者が休憩をとらずに時速65km 以上で2時間以上走行したとシステムが検知したとき、警告音とともにメッセージを表示し、運転者に休憩をとるように促します。

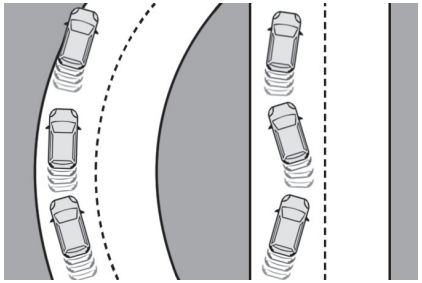
連続運転警告は、次のような対処が行われるまで、1時間おきに警告を表示します。

・ エンジンがかかっている状態で、15分以上停止した
・ イグニッションをオフにして数分間経過した
・ 運転席のシートベルトをはずしてドアを開けた

MEMO

時速65km 以下で走行しているときは走行時間として積算されません。

●疲労検知システム



疲労検知システムは、フロントウィンドウ上部のカメラで走行車線の車線マーカーを検知し、車両のふらつきから運転者の疲労増加や注意力の低下を判断し、警告音とともにメッセージを表示して運転者に休憩をとるように促します。
高速道路や自動車専用道路など、時速65km 以上で走行しているときの使用が効果的です。

疲労検知システムが車両のふらつきを検知すると、警告音とともにメッセージを表示します。走行状態が改善されない場合、4回目の警告からは異なる警告音とともにメッセージが表示されます。

MEMO

路面の状態が悪い道路の走行中や、強い風が吹いているときなどは、運転者の疲労の増加や注意力の低下の程度に関わらず、警告を表示することがあります。

●システムの作動と解除

ドライバーアテンションアラートの作動と解除は、タッチスクリーンで設定します。

MEMO

イグニッションをオフにしてもシステムの設定の記憶は残ります。

⚠警 告

以下のようなときは、システムが正常に作動しないことがあります。

- 視界が悪いとき（周囲が十分に明るくない、雪、雨、霧など）
- 前方から強い光（太陽光や対向車両のハイビームなど）を受けたとき
- 路面の水たまりの反射光が強いとき
- トンネルの出入り口など、明るさに急な変化があったとき
- カメラの前のフロントウィンドウに泥や雪、汚れなどが付着しているとき
- 車線マーカーが検知しにくいとき（不明瞭、汚れや雪などで隠れている）
- 消された車線マーカーがまだ見えている道路を走行するとき
- 道路のつなぎ目、線状の補修痕などがあるとき
- 前方の車両に近付きすぎたとき
- 細く曲がりくねった道路を走行するとき

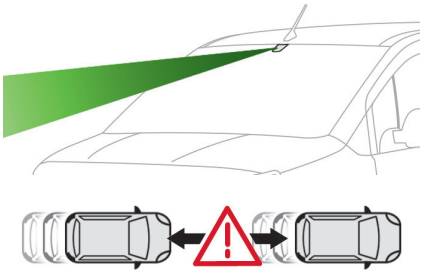
⚠警 告

●フロントウィンドウのカメラ周辺に衝撃を受けたら、必ずシトロエン指定サービス工場で点検を受けてください。カメラが正常に作動せず、思わぬ事故につながるおそれがあります。
●フロントウィンドウ上部のカメラ付近をステッカーなどで覆ったり、物を置いてカメラの視界を遮らないでください。システムの妨げとなり、正常に機能しません。
●ルーフ上に積載した荷物などがカメラの視界を遮らないように注意してください。
●冬期に、ルーフやボンネットに雪が積もっているときは取り除いてください。

⚠警 告

●フロントウィンドウに泥や雪などが付着するとカメラが正常に作動しません。常に汚れを落としてください。
●天候や乗車状況によってはフロントウィンドウのウィンドウガラスが曇ることがあります。ウィンドウガラスが曇るとカメラが正常に作動しません。エアコンの曇り取り機能を使用してウィンドウガラスの曇りを取り除いてください。
●傷んだり汚れたフロントワイパーは視界を妨げ、カメラが正常に作動しません。常にワイパーブレードが良好な状態であることを確認してください。

アクティブセーフティブレーキ



アクティブセーフティブレーキは、フロントウィンドウ上部のカメラにより前方の車両や停車中の車両、歩行者を検知し、衝突の危険性が高まったとき、警告を表示して運転者に注意を促します。また、運転者が衝突回避動作を取らなかったときは、自動ブレーキを作動させることで車両の速度を落とし、衝突の回避支援、または衝突時の速度を低減するシステムです。

アクティブセーフティブレーキには以下の3つの機能が備わっています。

- ディスタンスアラート
- エマージェンシーブレーキ
- インテリジェントエマージェンシーブレーキアシスト

●動作条件

アクティブセーフティブレーキは以下のすべての条件を満たしているときに作動します。

- ASR（ASR／DSC）システムが解除されていないとき
- ESC システムが正常に作動しているとき
- 乗員全員がシートベルトを着用しているとき
- 直線道路を一定の速度で走行しているとき

⚠警 告

●アクティブセーフティブレーキは、どのような状況下でも衝突を回避できるシステムではありません。システムを過信せず、安全運転に努めて適切な車間距離を保って走行してください。安全の確保は運転者の義務です。

●ブレーキの作動をアクティブセーフティブレーキのみに頼らないでください。衝突事故を起こすことがあります。常に車間距離に注意して走行し、運転者の判断でブレーキを踏むなどの適切な操作をしてください。

⚠警 告

●以下のようなときは、システムが前方の車両や歩行者を検知しないことがあります。
- 視界が悪いとき（周囲が十分に明るくない、雪、雨、霧など）
- 前方から強い光（太陽光や対向車両のハイビームなど）を受けたとき
- 路面の水たまりの反射光が強いとき
- トンネルの出入り口など、明るさに急な変化があったとき
- カメラの前のフロントウィンドウに泥や雪、汚れなどが付着しているとき

⚠警 告

●以下のようなときは、アクティブセーフティブレーキを解除してください。思わぬ事故につながるおそれがあります。
- トレーラーなどをけん引しているとき
- ルーフ上に長い荷物を積んでいるとき
- スノーチェーンを装着しているとき
- エンジンを始動したまま自走式の洗車機を使用するとき
- 点検などで車両をローラーに乗せて走行しているとき
- エンジンを始動した状態でけん引されるとき
- フロントウィンドウのカメラ周辺に衝撃を受けたとき

MEMO

システムが前方の車両などを検知すると、自動ブレーキの作動準備による作動音がしたり、減速するように感じられることがありますが、異常ではありません。

●ディスタンスアラート

前方の車両との車間距離や走行車線に進入した歩行者との距離が設定した警告時間を下回ると警告を表示します。

ディスタンスアラートの警告表示機能



警告レベル1：設定した警告時間を下回っているときに、警告が表示されるとともにメッセージが表示されます。



警告レベル2：警告レベル1の状態が持続し、さらに前方の車両との接近状況から、そのままでは衝突に至ると判断されたときは、警告が表示されるとともに警告音が鳴り、メッセージが表示されます。

警告レベル3：警告レベル2が表示された後、前方車両との衝突の危険があると知らせるため、断続的に自動ブレーキを作動させ、運転者に対して警告を行うことがあります。

MEMO

- ●ディスタンスアラートの警告は、車間距離だけではなく自車両および前方の車両の速度差や自車両の運転操作の状態、旋回中かどうかなどの情報を総合して表示されます。
- ●自車両の接近速度が高いとき、警告レベル1を経ずに警告レベル2が表示されることがあります。
- ●停止中の車両などに衝突する危険があると判断されたときは、警告レベル1を経ずに警告レベル2が表示されます。

警告時間の設定

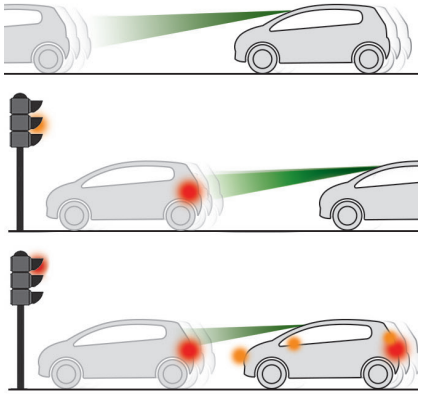
警告を開始する時間の設定は、タッチスクリーンで行います。
警告時間は以下の3種類から選択できます。

- **長い**：早めに警告が表示されます。
- **ノーマル**：標準的な警告時間です。
- **短い**：やや遅れて警告が表示されます。

MEMO

- ●警告時間を**短い**に設定すると、警告レベル1を経ずに警告レベル2が表示されます。
- ●イグニッションをオフにしても、警告時間の設定の記憶は残ります。

●エマージェンシーブレーキ



ディスタンスアラートの警告が表示された後も運転者が衝突回避動作を取らなかったとき、自動ブレーキが作動し、衝突回避を支援したり、衝突時の速度を低減します。

エマージェンシーブレーキの作動中は、警告灯が点滅します（約10秒間）。

動作条件

エマージェンシーブレーキは以下のときに作動します。

- 時速10km ～時速85km で走行中に、走行中の前方車両を検知したとき
- 時速80km 以下で走行中に、停車中の前方車両を検知したとき
- 時速60km 以下で走行中に、歩行者を検知したとき

⚠注 意

エマージェンシーブレーキによる自動ブレーキで車両が停止すると、車両が停止してから約2秒後にブレーキが自動的に解除されます。ブレーキペダルを踏んでクリープ現象による車の発進を防止してください。

MEMO

●次のようなときは、システムによるブレーキの作動が解除されます。
- アクセルペダルを踏み込んだとき
- ハンドルを大きく、または素早く切ったとき

●自動ブレーキの作動中はストップランプが点灯します。

●エマージェンシーブレーキが作動するとブレーキペダルが振動することがありますが、正常な作動であって故障ではありません。

●インテリジェントエマージェンシーブレーキアシスト

運転者のブレーキ操作が不十分で、衝突の危険があるときは自動ブレーキが作動します。

MEMO

インテリジェントエマージェンシーブレーキアシストは運転者がブレーキ操作を行ったときにのみ作動します。

●システムの作動と解除

アクティブセーフティブレーキの作動と解除は、タッチスクリーンで設定します。

システムを解除すると、警告灯が点灯します。

MEMO

●エンジンを始動すると、システムは作動状態になります。
●以下のようなときは、システムは自動的に解除されます。
- スペースセーバータイヤを装着して走行しているとき
- ブレーキペダルの作動に異常があるとき
- ストップランプが故障しているとき

●システムの異常

システムに異常が発生したときは、警告音とともに警告灯が点灯し、メッセージが表示されます。シトロエン指定サービス工場でシステムの点検を受けてください。

エンジンを停止後しばらく経過してからエンジンを再度始動したとき、アクティブセーフティブレーキの警告灯とSERVICE警告灯が点灯した場合は、シトロエン指定サービス工場でシステムの点検を受けてください。

MEMO

事故の後や大きな衝撃を受けるとシステムが自動的にオフになります。シトロエン指定サービス工場でシステムをオンにしてください。

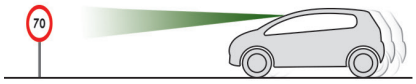
⚠警 告

●フロントウィンドウのカメラ周辺に衝撃を受けたら、必ずシトロエン指定サービス工場で点検を受けてください。カメラが正常に作動せず、思わぬ事故につながるおそれがあります。
●フロントウィンドウ上部のカメラ付近をステッカーなどで覆ったり、物を置いてカメラの視界を遮らないでください。システムの妨げとなり、正常に機能しません。
●ルーフ上に積載した荷物などがカメラの視界を遮らないように注意してください。
●冬期に、ルーフやボンネットに雪が積もっているときは取り除いてください。

⚠警 告

●フロントウィンドウに泥や雪などが付着するとカメラが正常に作動しません。常に汚れを落としてください。
●天候や乗車状況によってはフロントウィンドウのウィンドウガラスが曇ることがあります。ウィンドウガラスが曇るとカメラが正常に作動しません。エアコンの曇り取り機能を使用してウィンドウガラスの曇りを取り除いてください。
●傷んだり汚れたフロントワイパーは視界を妨げ、カメラが正常に作動しません。常にワイパーブレードが良好な状態であることを確認してください。

トラフィックサインインフォメーション



トラフィックサインインフォメーションは、カメラが車両の速度規制標識を認識して、インストルメントパネルに制限速度を表示する機能です。
インストルメントパネルに表示された制限速度は、アクティブクルーズコントロールやスピードリミッターの走行速度に設定することができます。

⚠警 告

トラフィックサインインフォメーションが正しく作動するために、スピードメーターの速度の単位は必ず km/h 表示を使用してください。誤って mph 表示（マイル）にすると、正確な速度を認識できず、思わぬ事故につながるおそれがあります。

●速度規制標識の認識機能の作動／解除

速度規制標識の認識機能の作動／解除は、タッチスクリーンで設定します。

MEMO

イグニッションをオンにすると、システムは作動状態になります。

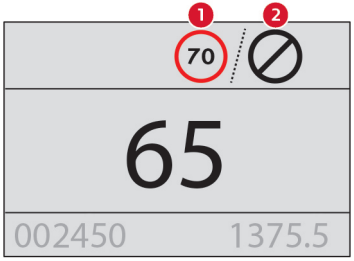
⚠警 告

●以下のようなときは、システムが正常に作動しないことがあります。
- 視界が悪いとき（周囲が十分に明るくない、雪、雨、霧など）
- フロントウィンドウが汚れている、曇っている、雪が積もっている、ステッカーを貼っている、カメラ部分が覆われているとき
- カメラが故障したとき
- 速度規制標識が車、立木、汚れなどによって見えにくいとき
- 速度規制標識が損傷するなどしていて見えにくいとき

●以下のような個別の状況に応じて規制された速度制限は認識されません。
- 悪天候（雨、雪など）
- 大気汚染
- トレーラーなどのけん引
- スペースセーバータイヤやスノーチェーンを装着しての走行
- パンク修理キットで応急修理をしたタイヤでの走行

●インストルメントパネルの表示

トラフィックサインインフォメーションの情報は、インストルメントパネル内のディスプレイに表示されます。



①：速度規制標識の制限速度表示
②：速度規制標識の速度規制区間終了の表示

●制限速度の表示



トラフィックサインインフォメーションは作動していますが、認識した速度規制標識はありません。



トラフィックサインインフォメーションが速度規制標識を認識し、制限速度を表示しました。

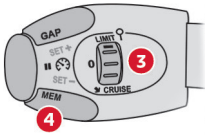


認識した速度規制標識の制限速度に対して走行速度が時速5km 超過すると、初回超過時は、インストルメントパネルの制限速度表示が約10秒間点滅します。

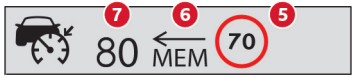
●速度の設定

インストルメントパネルに表示された制限速度をアクティブクルーズコントロールやスピードリミッターの走行速度に設定することができます。





1. 速度を設定したい機能に合わせ、コントロールレバーのスピードリミッター／クルーズコントロール切り替えスイッチ③を回します。



2. トラフィックサインインフォメーションが速度規制標識を認識し、制限速度⑤を表示したら、**MEM** ⑥が点滅します。
3. コントロールレバーのスイッチ④を押して、表示された制限速度を設定速度として受け付けます。
4. 再度コントロールレバーのスイッチ④を押して設定速度⑦を記憶します。

MEMO

- ●認識された速度制限と現在の設定速度の差が時速9km 以下のときは、**MEM** は表示されません。
- ●道路状況により異なる制限速度が連続して表示されることがあります。

●道路標識の認識機能



システムが進入禁止の道路標識を認識し、車両が進入禁止区域に進入したと判断したときは、進入禁止の道路標識とともにメッセージが表示されます。

道路標識の認識機能の作動／解除は、タッチスクリーンで設定します。

MEMO

- ●イグニッションをオフにしても、システムの作動／解除の設定は保持されます。
- ●トラフィックサインインフォメーションが認識した進入禁止の道路標識は、ステアリングスイッチの左側のダイヤルを回すとインストルメントパネルのディスプレイに表示することができます。

⚠警 告

- ●トラフィックサインインフォメーションは、法定速度を守った走行や、安全運転を支援する機能です。システムを過信せず、運転者の責任の下で速度規制標識を確認し、走行速度には十分注意してください。
- ●速度規制標識の角度や配置、汚れ、気象条件（雨、雪、光など）によっては、カメラが速度規制標識を正しく読み取ることができなかったり、制限速度を表示しない場合があります。

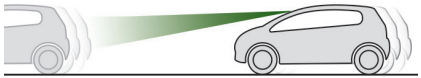
⚠警 告

●フロントウィンドウのカメラ周辺に衝撃を受けたら、必ずシトロエン指定サービス工場で点検を受けてください。カメラが正常に作動せず、思わぬ事故につながるおそれがあります。
●フロントウィンドウ上部のカメラ付近をステッカーなどで覆ったり、物を置いてカメラの視界を遮らないでください。システムの妨げとなり、正常に機能しません。
●ルーフ上に積載した荷物などがカメラの視界を遮らないように注意してください。
●冬期に、ルーフやボンネットに雪が積もっているときは取り除いてください。

⚠警 告

●フロントウィンドウに泥や雪などが付着するとカメラが正常に作動しません。常に汚れを落としてください。
●天候や乗車状況によってはフロントウィンドウのウィンドウガラスが曇ることがあります。ウィンドウガラスが曇るとカメラが正常に作動しません。エアコンの曇り取り機能を使用してウィンドウガラスの曇りを取り除いてください。
●傷んだり汚れたフロントワイパーは視界を妨げ、カメラが正常に作動しません。常にワイパーブレードが良好な状態であることを確認してください。

アクティブクルーズコントロール（ブレーキサポート付き）



アクティブクルーズコントロール（ブレーキサポート付き）は、アクセルペダルを踏まなくてもドライバーによって設定された速度を一定に保って走行します。また、フロントウィンドウ上部のカメラにより同じ方向に走行している前方の車両を検知し、前方の車両との距離が接近した場合には、自動的に速度を落としてあらかじめ設定した車間距離を保ったり、前方車両が停止したときは、ブレーキの自動操作を行い、前方車両に続いて自車両も停止します。自動ブレーキの作動中はストップランプが点灯します。
設定できる速度は時速30km 以上です。
設定できる車間距離は **Close**、**Normal**、**Distant** の3段階です。

⚠警 告

●アクティブクルーズコントロールシステムを作動させている場合においても、常に車間距離に注意して走行してください。前を走行している車両との車間距離を適切に保つのは、運転者の義務です。
●前方の車両や周囲の車両の走行状況によっては、フロントウィンドウのカメラが誤って前方の車両を検知し、前方の車両との車間距離や自車両の速度が正しく制御されない場合があります。走行中は常に両手でハンドルをしっかり持ち、必要に応じてアクセルペダルやブレーキペダルの操作をしてください。
●アクティブクルーズコントロールシステムを使用しない場合には、アクティブクルーズコントロール機能をオフにしてください。誤ってシステムが働いてしまうのを防止します。

⚠警 告

●以下のようなときは、アクティブクルーズコントロールが正常に作動しないことがあります。
- 曲がりくねった道路を走行しているとき
- 視界が悪いとき（周囲が十分に明るくない、雪、雨、霧など）
- 前方から強い光（太陽光や対向車両のハイビームなど）を受けたとき
- 路面の水たまりの反射光が強いとき
- トンネルの出入り口など、明るさに急な変化があったとき
- カメラの前のフロントウィンドウに泥や雪、汚れなどが付着しているとき

⚠警 告

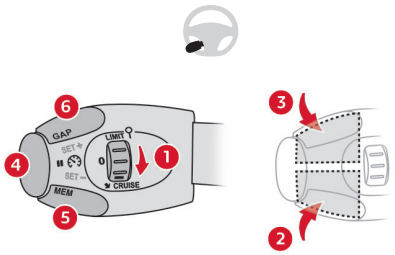
●以下のようなときは、アクティブクルーズコントロールを解除してください。思わぬ事故につながるおそれがあります。

- 歩行者や自転車などが混在している道路や市街地
- 交通量が多い道路
- 滑りやすい路面
- 曲がりくねった道路
- 勾配の激しい道路
- 旋回するとき
- トンネルや橋に進入するとき
- ラウンドアバウトに進入するとき
- オートバイなどの細い車両の後方を走行しているときや、前方の車両が車線の中央を走行していないとき
- 悪天候のとき
- 雪が降っているとき
- フロントウィンドウに損傷があるとき
- フロントウィンドウのカメラ周辺に衝撃を受けたとき
- ルーフ上に長い荷物を積んでいるとき
- サーキットなどを走行しているとき

⚠警 告

- 点検などで車両をローラーに乗せて走行しているとき
- スノーチェーンやスパイクタイヤを装着して走行しているとき
- トレーラーなどをけん引しているとき

●コントロールスイッチ

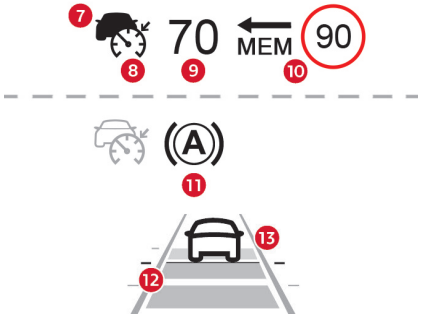


アクティブクルーズコントロールは、コントロールレバーのスイッチを使用して設定します。

①：スピードリミッター／クルーズコントロール切り替えスイッチ
②：速度設定／設定速度の減少
③：速度設定／設定速度の増加
④：システムの一時停止／復帰
⑤：トラフィックサインインフォメーションの表示速度受付
⑥：車間距離の表示と設定

●インストルメントパネルの表示

クルーズコントロールの情報は、インストルメントパネル内のディスプレイに表示されます。



⑦：前方車両の有無表示
⑧：クルーズコントロールオン／オフ状況表示
⑨：設定スピード表示
⑩：速度規制標識の制限速度表示
⑪：自動ブレーキによる車両停止時の表示
⑫：車間距離設定表示
⑬：前方車両の位置表示

MEMO

前方車両の位置表示⑬はステアリングスイッチの左側のダイヤルを回すと表示することができます。

●アクティブクルーズコントロール（ブレーキサポート付き）の設定

コントロールレバーのスピードリミッター／クルーズコントロール切り替えスイッチ①を **CRUISE** 側に回すと、アクティブクルーズコントロール機能が使用可能になりますが、速度は設定されていません（クルーズコントロールオン／オフ状況表示⑧が灰色に点灯）。
Oまたは **LIMIT** の位置に回すとオフになります。

●走行速度の設定

シフトポジションが **D** または **M** で希望する速度（時速30km 以上）で走行中にコントロールレバーのスイッチ②か③を押すと、その速度が記憶されて自動的にその速度を維持して走行します（クルーズコントロールオン／オフ状況表示⑧が緑色に点灯）。

トラフィックサインインフォメーションが認識した速度規制標識の制限速度を、スイッチ⑤の操作で走行速度に設定することができます。詳細は「トラフィックサインインフォメーション」項を参照してください。

⚠警 告

道路状況や交通状況に応じた車速を設定してください。誤った速度設定は事故につながるおそれがあります。

MEMO

イグニッションをオフにする、またはスピードリミッター／クルーズコントロール切り替えスイッチ①を**O**または**LIMIT** の位置に回すと、設定された速度が初期化されます。

●設定速度の変更

定速走行中（クルーズコントロールオン／オフ状況表示⑧が緑色に点灯）に、コントロールレバーのスイッチ②を押すと設定速度が減少し、スイッチ③を押すと増加します。短く押すと1km／h ずつ、長く押すと5km ／ h ずつ速度が変化します。

またはアクセルペダルを踏んで加速した後にスイッチ②か③を押すと、あらためてその速度にセットされます。

⚠警 告

速度を変更するときに急加速または急減速することがありますので、十分注意してください。

●システムの一時停止／復帰

アクティブクルーズコントロールを一時停止／復帰するには、コントロールレバーのスイッチ④を押します。

また、以下のいずれかの条件に当てはまったときに、作動が停止します。

- ESC システムが作動したとき
- ブレーキペダルが踏まれたとき
- エレクトリックパーキングブレーキが操作されたとき
- シフトポジションを **D** から **N** にしたとき

停止されたシステムを復帰するには、コントロールレバーのスイッチ④を押します。

⚠警 告

アクティブクルーズコントロールの作動が停止された後、コントロールレバーのスイッチ④を押して作動を再開させる場合は、設定速度まで加速してから作動を再開させてください。

●車間距離の設定



コントロールレバーのスイッチ⑥の操作で希望する車間距離を設定します。

1. スイッチ⑥を押して車間距離設定を表示させます。
2. スイッチ⑥を押して車間距離を切り替えます。

設定できる車間距離は、**Close**、**Normal**、**Distant** の3段階です。
イグニッションをオフにしたり、スピードリミッター／クルーズコントロール切り替えスイッチを**O**または **LIMIT** の位置に回すとオフになりますが、車間距離の設定の記憶は残ります。

MEMO

●車間距離の初期設定は **Normal** になっています。
●追い越しのために方向指示器を作動させた場合は、設定した走行速度を保ったまま、一時的に前方の車両に接近することができます。

●システムの異常

設定速度表示が消えてーが表示されたときは、システムに異常があります。

警告音とともに **SERVICE** 警告灯が点灯し、メッセージが表示されたときは、システムに異常があります。
シトロエン指定サービス工場で点検を受けてください。

⚠警 告

●フロントウィンドウのカメラ周辺に衝撃を受けたら、必ずシトロエン指定サービス工場で点検を受けてください。カメラが正常に作動せず、思わぬ事故につながるおそれがあります。
●フロントウィンドウ上部のカメラ付近をステッカーなどで覆ったり、物を置いてカメラの視界を遮らないでください。システムの妨げとなり、正常に機能しません。
●ルーフ上に積載した荷物などがカメラの視界を遮らないように注意してください。
●冬期に、ルーフやボンネットに雪が積もっているときは取り除いてください。

⚠警 告

●フロントウィンドウに泥や雪などが付着するとカメラが正常に作動しません。常に汚れを落としてください。
●天候や乗車状況によってはフロントウィンドウのウィンドウガラスが曇ることがあります。ウィンドウガラスが曇るとカメラが正常に作動しません。エアコンの曇り取り機能を使用してウィンドウガラスの曇りを取り除いてください。
●傷んだり汚れたフロントワイパーは視界を妨げ、カメラが正常に作動しません。常にワイパーブレードが良好な状態であることを確認してください。

MEMO

●クルーズコントロールを使用中でも、アクセルペダルを踏んで加速することができます。その際、速度の表示が点滅し、メッセージが表示されます。この間、アクティブクルーズコントロールの作動が一時停止します。アクセルペダルから足を離すと元の速度で走行します。
●次のようなときは、システムは自動的に解除されます。
  • スペースセーバータイヤを装着して走行しているとき
  • ストップランプが故障しているとき

●警告表示

インストルメントパネルの表示	意味
	運転者がアクセルペダルを踏み込んで加速しました。 一時的にアクティブクルーズコントロール機能が停止しています。 メッセージが表示されます。
	検知範囲内の前方に車両がいません。 通常のクルーズコントロールとして作動しています。 メッセージが表示されます。
	検知範囲内の前方に車両がいますが、設定した距離以上の車間が空いています。 クルーズコントロールは作動していません。 メッセージが表示されます。
	検知範囲内の前方に車両がいます。設定した車間距離に応じて走行しています。 アクティブクルーズコントロールが作動しています。 メッセージが表示されます。
	状況に応じて、アクセルペダルを踏み込んで加速するか、ブレーキペダルを踏んで速度を落としてください。 警告音とともにメッセージが表示されます。
	前方の車両との車間距離が急激に短くなりました。 そのままでは衝突に至ると判断されたため、ブレーキペダルを踏むなど、すぐに運転者の操作が必要です。警告音とともにメッセージが表示されます。

インストルメントパネルの表示	意味
	自動ブレーキにより車両が停止しました。アクティブクルーズコントロール機能が停止しています。 発進するには、アクセルペダルの操作が必要です。 メッセージが表示されます。
	車両の走行速度や道路状況が適さないために、アクティブクルーズコントロール機能を作動できません。 メッセージが表示されます。

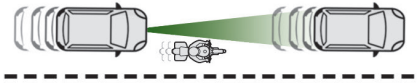
MEMO

- ●自動ブレーキにより車両が停止すると、アクティブクルーズコントロールの作動が停止します。停止したアクティブクルーズコントロールは、時速30km 以上で走行中にスイッチ②か③を押して新たな速度を設定する、またはスイッチ④を押して元の速度で再開することができます。
- ●自動ブレーキにより車両が停止した後、運転者による操作がない場合は、数分後に自動的にエレクトリックパーキングブレーキが作動します。

●カメラが検知できない状況

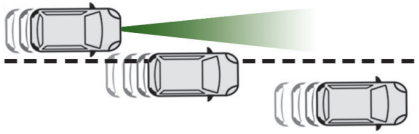
次のような状況では、必要に応じてブレーキペダルの操作で減速する、システムの作動を一時停止するなど、運転者による操作を行ってください。
カメラが正常に車両を検知できず、システムが正常に作動しないおそれがあります。

オートバイなどの幅の狭い車両



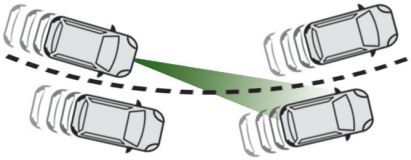
システムの作動を一時解除してください。

車線の中央を走行していない車両



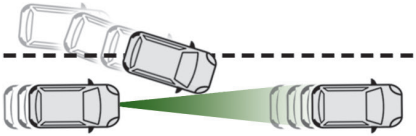
必要に応じてブレーキペダルの操作で減速してください。

旋回時やラウンドアバウトに進入するとき



システムの作動を一時解除してください。

前方の車両が急速に速度を落としたときや、前方の車両と自車両の間に急に別の車両が進入したとき



必要に応じてブレーキペダルの操作で減速してください。

MEMO

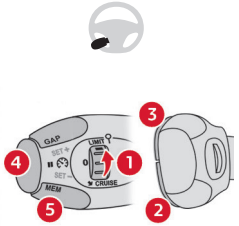
アクティブクルーズコントロールでは、以下の車両や歩行者などは検知しません。

- 停止している車両
- 対向車線を走行している車両
- 前方を横切って通過する車両
- 歩行者、自転車、動物

スピードリミッター

スピードリミッターは、あらかじめドライバーが設定した速度（最低時速30km以上）を超えて走行しないようにする機能です。設定速度以上にアクセルペダルを踏み込んでも加速しません。

●コントロールスイッチ



スピードリミッターは、コントロールレバーのスイッチを使用して設定します。

①：スピードリミッター／クルーズコントロール切り替えスイッチ
②：設定速度の減少
③：設定速度の増加
④：システムの一時停止／復帰
⑤：トラフィックサインインフォメーションの表示速度受付

●表示パネル





スピードリミッターの情報は、インストルメントパネル内のディスプレイに表示されます。

⑥：スピードリミッターモード選択表示
⑦：設定スピード表示

●スピードリミッターの設定



コントロールレバーのスピードリミッター／クルーズコントロール切り替えスイッチ①を **LIMIT** 側に回すと、スピードリミッター機能が使用可能になり、設定速度が表示されます（機能は解除されています。スピードリミッターモード選択表示⑥および設定スピード表示⑦が灰色に点灯）。
イグニッションをオフにしたり、スピードリミッター／クルーズコントロール切り替えスイッチを**O**または **CRUISE** にするとシステムはオフになりますが、設定速度の記憶は残ります。

●最高速度の設定

コントロールレバーのスイッチ②か③を押して、希望する速度を設定します。スイッチ②を押すと設定速度が減少し、スイッチ③を押すと増加します。
短く押すと1km／h ずつ、長く押すと5km／h ずつ速度が変化します。
トラフィックサインインフォメーションが認識した速度規制標識の制限速度を、スイッチ⑤の操作で走行速度に設定することができます。詳細は「トラフィックサインインフォメーション」項を参照してください。

●スピードリミッターの作動



スイッチ④を押すと、スピードリミッターが作動します（スピードリミッターモード選択表示⑥および設定スピード表示⑦が橙色に点灯）。アクセルペダルを踏み込んでもその速度以上では走行しません。再度スイッチ④を押すと、解除されます。

⚠警 告

スピードリミッターを過信せず、走行速度には十分注意してください。

MEMO

スピードリミッターが作動中でも、アクセルペダルをいっぱいに踏み込むことで一時的に加速することができます。その際、速度の表示が点滅します。
一定時間以上、走行速度が設定速度を超えた状態で走行すると、警告音が鳴ります。また、急な下り坂など、アクセルペダルを踏まなくても設定速度を超えてしまう場合は、警告音とともに速度の表示が点滅します。
これらの場合、スピードリミッターは一時的に解除されます。車速が設定速度まで戻ると、スピードリミッターは再度作動します。

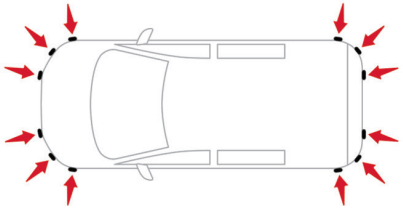


●システムの異常



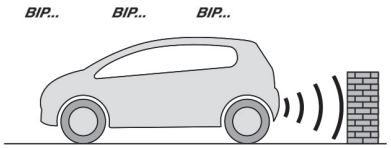
速度表示が消えてーが数秒間点滅して点灯するときは、システムに異常があります。
シトロエン指定サービス工場で点検を受けてください。

フロント／サイド／バックソナー



フロント／リアバンパーに埋め込まれたセンサーが障害物（歩行者、車、立木、門など）を検知します。
システムは、エンジン回転中にシフトポジションを **R** にすると作動します。シフトポジションを **R** 以外にすると、システムは解除されます。
以下のとき、フロントソナーは作動を停止します。

- 時速10km 以上のとき
- 前進方向で3秒以上停止したとき
- 障害物が車両前方の検知範囲から出たとき



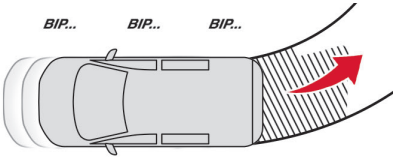


フロント／サイド／バックソナーは、警告音と表示の色で運転者に車両と障害物とのおおよその距離をお知らせします。
障害物に接近すると、警告音の頻度が上がり、およそ30cm 以内に接近すると連続した警告音に変わります。
表示の色は、障害物までのおおよその距離を表示します。

- 白色のバー：遠い
- 橙色のバー：近い
- 赤色のバー：とても近い（危険を表すアイコンが表示されます）

MEMO

- バックソナーの警告音は、ハンドルを切った角度に応じて障害物の検知範囲が変化します。



- サイドソナーは、フロント／バックソナーが検知した車両前方または後方の障害物の位置を元に、ハンドルを切った角度に応じて、フロント／バックソナーに検知された車両前方または後方の障害物が車両側面に接近したと判断した場合に警告を発します。
- サイドソナーはフロント／バックソナーと連動して作動します。
- サイドソナーは人や動物など、動いている障害物を正しく検知しないことがあります。また、ソナーの検知範囲外にあった障害物が車両側面に侵入してきた場合も正しく検知しないことがあります。

MEMO

●イグニッションをオフにすると、検知した障害物の位置の記憶は消去されます。
●ソナーの警告音は、タッチスクリーンの操作で音量を調整できます。

作動中、タッチスクリーンのアイコンにタッチし、表示された画面の操作で音量を調整してください。

●フロント／サイド／バックソナーの設定

フロント／サイド／バックソナーの機能をオン／オフするには、タッチスクリーンで設定します。

MEMO

イグニッションをオフにしても、システムのオン／オフの設定は保持されます。

●システムの異常


この機能に異常がある場合は、シフトポジションを **R** にすると短い警告音とともに **SERVICE** 警告灯が点灯し、メッセージが表示されます。
シトロエン指定サービス工場にご連絡ください。

⚠警 告

●障害物の形状によってはセンサーが検知できないことがあります。システムを過信せず、目視で障害物の有無を確認してください。
●以下のようなときは、センサーが障害物を検知しないことがあります。
- センサーが検知することが困難な範囲に障害物があるとき、または一度検知した障害物が、センサーが検知することが困難な範囲に入ったとき
- 他の車両のホーン、オートバイやトラックのエンジン音、ドリルなど、騒音の大きいものが近付いたとき
- 綿や雪などの音波を吸収しやすいもの（着用している衣類の種類によっては、人を検知できないことがあります）
- 路面に雪や落ち葉が積もっているとき
- フロント／リアバンパーに衝撃を受け、センサーの設置位置がずれるなどしたとき
- 車両姿勢が傾いたとき
- 悪天候（雨、雪、霧など）

⚠警 告

●フロント／リアバンパーに衝撃を受けたら、必ずシトロエン指定サービス工場で点検を受けてください。センサーが正常に作動せず、思わぬ事故につながるおそれがあります。
●フロント／リアバンパーのセンサーが、泥や雪などで覆われていると障害物の検知ができません。常に汚れを落としてください。

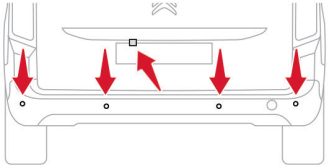
注 意

洗車場などで高圧洗浄する場合、洗浄ノズルを少なくとも30cm 以上フロントバンパーおよびリアバンパーにあるセンサーから離してご使用ください。

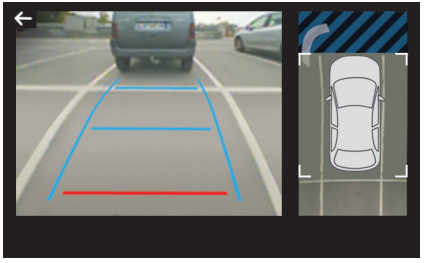
MEMO

●シフトポジションを **R** にしたときに、長い警告音が鳴る場合は、フロント／リアバンパーのセンサーに泥や雪、汚れなどが付着していないか確認してください。
●フロント／リアバンパーの真下付近は検知しません。
●けん引するときや自転車用リアキャリアを装着しているときは、システムを解除する必要があります。

バックカメラ（トップリアビジョン機能付き）

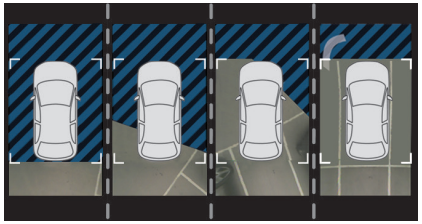






テールゲートのカメラ、およびリアバンパーに埋め込まれたセンサーがタッチスクリーンに車両周囲の映像を映し出し、駐車や出庫の際の安全確認を補助します。
タッチスクリーンの画面は左右2分割され、左側にバックビュー、右側にトップリアビジョンが表示されます。

● トップリアビジョン

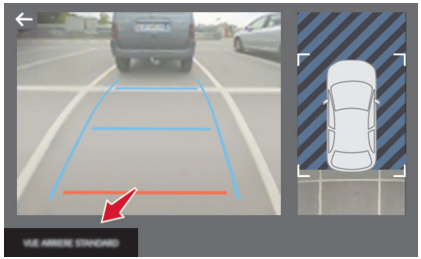


トップリアビジョンは、テールゲートのカメラの映像を合成して表示します。駐車や出庫の際に、車両周辺の障害物を確認できます。
バックビューに連動して作動します。

MEMO

- ●長時間車を停止させていると、トップリアビジョンの映像がオフになることがあります。
- ●作動直後は、正しい映像を表示するまでに時間がかかることがあります。

●バックビュー



バックビューは、テールゲートのカメラが車両後方の映像を映し出します。オートモードで作動し、リアバンパーに埋め込まれたセンサーが周囲の状況を検知し、自動で**スタンダード**と**ズームビュー**を切り替えます。
また、以下のタッチスクリーンの操作で、**スタンダード**、**180° ビュー**または**ズームビュー**に切り替えることができます。

1. タッチスクリーン左下のアイコンにタッチします。
2. タッチスクリーンにタッチして切り替えたい映像の種類を選択します。

●バックビューの作動

バックビューは、シフトポジションが**R**で、時速10km以下のときに作動します。

バックビューは、以下のときに解除になります。

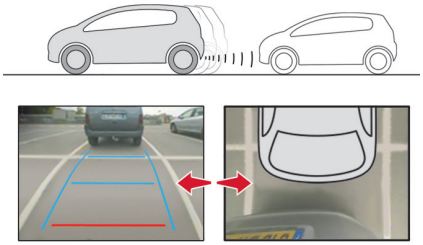
- シフトポジションを**R**以外にしたとき
- 時速10km以上のとき
- テールゲートを開けたとき
- タッチスクリーン左上の←にタッチしたとき

MEMO

シフトポジションを**R**以外にしても、約7秒間はカメラの映像が保持されます。

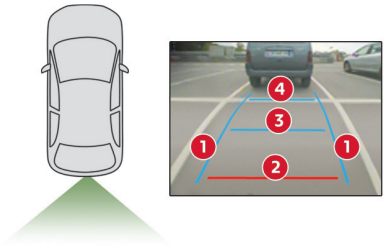
●バックビューの表示

オートモード



リアバンパーに埋め込まれたセンサーが周囲の状況を検知し、障害物が赤いライン（リアバンパーの後方約30cm）に近付くと自動で**スタンダード**から**ズームビュー**に切り替えます。

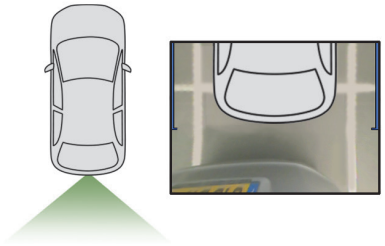
スタンダード



車両後方の映像がタッチスクリーンに表示されます。
映像には距離や車幅の目安となるラインが表示されます。

- 縦の青いライン①：ドアミラーを除いた車幅の目安です。ハンドル操作と連動しています。
- 赤いライン②：バンパーの後方約30cmの目安です。
- 横の青いライン③④：それぞれバンパーから1m、2m後方の目安です。

ズームビュー

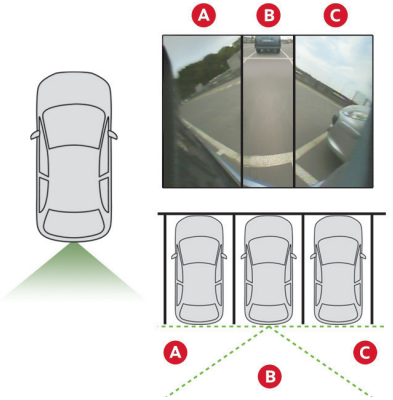


テールゲートに取り付けられたカメラが、タッチスクリーンに車両を上から見たような映像を映し出します。

MEMO

タッチスクリーンの映像は、車や障害物などが実際より遠くに見えることがあります。必ず目視やミラーで確認をしてください。

180° ビュー



垂直駐車から後退して出るときに、左右から近付く車、自転車や歩行者の映像を左方向 **A**、後方 **B**、右方向 **C** に分けて映し出します。

⚠警 告

画面だけを見ながら運転操作をしないでください。必ず目視やミラーで確認をしてください。

⚠警 告

●バックカメラは運転を補助する機能です。システムを過信せず、安全運転に努めて適切な操作をしてください。安全の確保は運転者の義務です。
●バックカメラの映し出す映像を過信せず、必ず目視やミラーでの確認も行ってください。
●フロント／リアバンパーに衝撃を受けたら、必ずシトロエン指定サービス工場で点検を受けてください。カメラやセンサーが正常に作動せず、思わぬ事故につながるおそれがあります。
●フロント／リアバンパーのセンサーが、泥や雪などで覆われていると障害物の検知ができません。常に汚れを落としてください。
●カメラに泥や雪などが付着すると映像の映りが悪くなります。常に汚れを落としてください。

注 意

洗車場などで高圧洗浄する場合、洗浄ノズルを少なくとも30cm 以上カメラやセンサーから離してご使用ください。

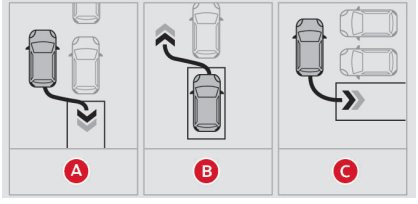
MEMO

●カメラレンズの特性により映像がゆがむことがあります。
●気象条件などにより、映像が見えにくくなることがあります。また、夜間など暗い場所では画質が低下します。

パークアシスト *

パークアシストは、センサーによって駐車可能なスペースを検知し、自動的にステアリング操作を行います。
運転者は画面に表示された指示に従って、アクセルペダル、ブレーキペダルおよびギアセレクターの操作を行います。駐車スペースによっては、数回切り返しを行うことがあります。

パークアシストでは、以下の3種類の駐車および発進を行うことができます。



A：縦列駐車する
B：縦列駐車から発進する
C：垂直に駐車する

⚠警 告

●パークアシストは運転を補助する機能です。システムを過信せず、安全運転に努めて適切な操作をしてください。安全の確保は運転者の義務です。
●パークアシストの作動中、後退または前進するときは、車両の後方や前方、および周囲の安全をミラーや目視で直接確認してください。
●センサーは、小さな障害物を検知しないことがあります。必ず目視での確認も行ってください。
●以下のような状況では、駐車位置や切り返し位置を適切に調整できないことがあります。運転者が必ず目視での確認を行ってください。必要に応じてパークアシストを中止し、運転者の操作で駐車してください。
- 駐車禁止区域、工事中などにより路面の状態が悪い場所、溝や穴など地面より低いところがある場所（駐車に適さない場所を駐車可能スペースと判断することがあります）

⚠警 告

- 障害物があるために適切な経路で駐車位置まで到達できない場合（駐車可能スペースを検知しても、システムがパークアシストによる駐車の開始を許可しないことがあります）
- 道路幅が狭い（駐車可能スペースを検知してもシステムがパークアシストによる駐車の開始を許可しないことがあります）
- 駐車スペースが角度のきついカーブ付近にある
- 駐車スペースが広すぎる場所
- 駐車スペースに縁石などの段差や突起物、木やポールなどの幅の狭い障害物がある
- センサーが検知することが困難な範囲に障害物がある、または一度検知した障害物が、センサーが検知することが困難な範囲に入った
- 綿や雪などの音波を吸収しやすい障害物がある（着用している衣類の種類によっては、人を検知できないことがあります）

* 仕様により異なります。

⚠警 告

- フロント／リアバンパーに衝撃を受け、センサーの設置位置がずれるなどした
- 車両姿勢が傾いた

●以下のようなときは、パークアシストを使用しないでください。思わぬ事故につながるおそれがあります。

- 駐車スペースの側面に穴や溝、崖などがあるとき
- 自車両の外形寸法からはみ出すような積載物（スキーなど）を積んでいるとき
- スノーチェーンを装着しているとき
- タイヤの空気圧が不足しているとき
- スペースセーバータイヤを装着しているとき
- 正しい仕様のタイヤを装着していないとき
- フロント／リアバンパーに損傷があるとき
- フロント／リアバンパーにアクセサリーを取り付けたとき
- カメラが故障したとき

⚠警 告

- シトロエン指定サービス工場以外でフロント／リアバンパーの塗装や塗装面の修復を行ったとき
- シトロエン純正以外のセンサーを取り付けたとき
- 凍結したり、滑りやすい路面
- トレーラーなどをけん引しているとき

●以下のようなときは、システムが正常に作動しないことがあります。

- 路面に雪や落ち葉が積もっているとき
- 他の車両のホーン、オートバイやトラックのエンジン音、ドリルなど、騒音の大きいものが近付いたとき
- 悪天候（雨、雪、霧など）

⚠注 意

自動操作によってステアリングホイールが速く動くことがあります。スポーク部に手を入れたり、ステアリングホイールに巻き付くようなものは、遠ざけてください。

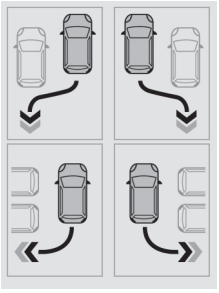
MEMO

●パークアシストがステアリングアシストを行っているときは、バックカメラ（トップリアビジョン機能付き）、フロント／サイド／バックソナーが自動的に作動します。

●パークアシストの作動中は、ブラインドスポットモニターは作動しません。

●駐車する

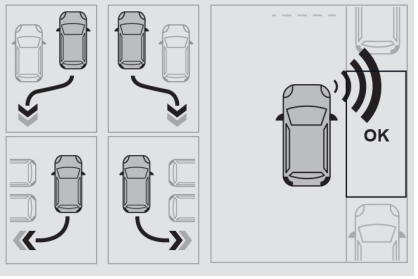
1. 駐車できそうな場所の手前で停車します。
2.  タッチスクリーンのアイコンにタッチします。
3. **ドライビング機能**にタッチします。
4. **パークアシスト**にタッチします。
   シートベルトを着用したまま操作してください。
5. 駐車の種類および駐車スペースがある方向に合わせて、タッチスクリーンの選択項目にタッチします。



MEMO

イグニッションをオンにしてからの走行状況に応じて、縦列駐車する／垂直に駐車する操作を選択するための表示、または縦列駐車から発進する操作を選択するための表示のどちらかがタッチスクリーンに表示されます。
表示はタッチスクリーンの操作で切り替えることができます。

6. タッチスクリーンの指示に従って、ゆっくり（時速30km 以下）前進します。
   センサーが駐車可能かどうか測定します。
   センサーが駐車可能なスペースを検知すると、OK が表示されチャイムが鳴ります。



注 意

駐車されている車両との間の距離を0.5m ～1.5m とって走行してください。

MEMO

- ●時速30km 以上で走行すると、駐車可能スペースの測定を中止します。
- ●時速50km 以上で走行すると、パークアシストの作動が解除されます。

7. タッチスクリーンに停止の指示が表示され、チャイムが鳴るまでゆっくり前進を続けてください。
8. 車を止め、タッチスクリーンの指示に従って操作します。

MEMO

✔ タッチスクリーンの指示に従って操作を完了すると、アイコンが表示されます。

9. アクセルペダルを踏み、ゆっくり（時速7km 以下）後退します。
10. 自動的にステアリング操作が行われます。ステアリングから手を離してください。



このアイコンが表示されているときは、自動的にステアリングが操作されます。



このアイコンが表示されたら、シフトポジションを **R** にし、後退してください。



このアイコンが表示されたら、シフトポジションを **D** にし、前進してください。

11. 

駐車が完了すると自動的にパークアシストが終了します。

MEMO

切り返しが必要な場合は前進や後退の指示が表示されます。画面に従って操作してください。前進や後退をする度に自動的にステアリングが操作されます。

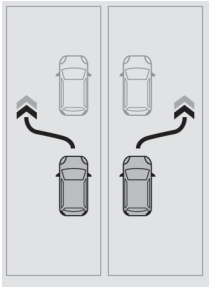
●縦列駐車から発進する

1. 
タッチスクリーンのアイコンにタッチします。

2. **ドライビング機能**にタッチします。

3. **パークアシスト**にタッチします。
シートベルトを着用したまま操作してください。

4. 発進する方向に合わせて、タッチスクリーンの選択項目にタッチします。



MEMO

イグニッションをオンにしてからの走行状況に応じて、縦列駐車する／垂直に駐車する操作を選択するための表示、または縦列駐車から発進する操作を選択するための表示のどちらかがタッチスクリーンに表示されます。
表示はタッチスクリーンの操作で切り替えることができます。

5. タッチスクリーンの指示に従って操作します。

MEMO

✔ タッチスクリーンの指示に従って操作を完了すると、アイコンが表示されます。

6. アクセルペダルを踏み、ゆっくり（時速5km 以下）前進または後退します。

7. 自動的にステアリング操作が行われます。ステアリングから手を離してください。



このアイコンが表示されているときは、自動的にステアリングが操作されます。



このアイコンが表示されたら、シフトポジションを **R** にし、後退してください。



このアイコンが表示されたら、シフトポジションを **D** にし、前進してください。

8. 

駐車スペースから出ると自動的にパークアシストが終了します。

MEMO

切り返しが必要な場合は前進や後退の指示が表示されます。画面に従って操作してください。前進や後退をする度に自動的にステアリングが操作されます。

●パークアシストの解除



以下のようなときは、パークアシストが自動的に解除されます。

- タッチスクリーン左上の←にタッチしたとき
- 運転者がステアリング操作を行ったとき
- 駐車スペースと反対方向へ方向指示器を動かしたとき
- 運転席のシートベルトをはずしたとき
- イグニッションをオフにしたとき
- 駐車するときは、時速7km 以上で走行したとき
- 駐車スペースから出るときは、時速5km 以上で走行したとき
- ESC システムが車両を制御しているとき
- ドアまたはテールゲートが開いたとき
- エンストしたとき
- システムに異常があるとき
- 縦列駐車するとき、または縦列駐車の駐車スペースから出るときは、10回切り返しを行ったとき
- 垂直に駐車するときは、7回切り返しを行ったとき

●システムの異常



システムに異常がある場合は、警告音とともに表示灯が数秒間点滅します。
シトロエン指定サービス工場で点検を受けてください。



フロント／サイド／バックソナーに異常がある場合は、SERVICE 警告灯が点灯し、パークアシストの作動が解除されます。
シトロエン指定サービス工場で点検を受けてください。

パワーステアリングに異常がある場合は、STOP 警告灯が点灯するとともにメッセージが表示されます。直ちに安全な場所に車を停止させ、シトロエン指定サービス工場にご連絡ください。

⚠警 告

●フロント／リアバンパーに衝撃を受けたら、必ずシトロエン指定サービス工場で点検を受けてください。カメラやセンサーが正常に作動せず、思わぬ事故につながるおそれがあります。
●フロント／リアバンパーのセンサーが、泥や雪などで覆われていると障害物の検知ができません。常に汚れを落としてください。
●カメラに泥や雪などが付着すると映像の映りが悪くなります。常に汚れを落としてください。

注 意

洗車場などで高圧洗浄する場合、洗浄ノズルを少なくとも30cm 以上カメラやセンサーから離してご使用ください。

MEMO

●自車両の外形寸法からはみ出すような積載物（スキーなど）を積んでいる場合は、取りはずしてください。
●カメラレンズの特性により映像がゆがむことがあります。
●気象条件などにより、映像が見えにくくなることがあります。また、夜間など暗い場所では画質が低下します。
●駐車や発進の際、バックカメラ（トップリアビジョン機能付き）を併用することをお勧めします。

間接式タイヤ空気圧警告

ESC システムが検知しているタイヤの回転に関する情報をもとにして、タイヤの空気圧に大きな変化があった場合に、警告をする機能です。

この機能は、以下のような状況のときに正常に作動します。
・ 初期化がされている。
・ 時速5km 以上の速度で走行している。



警告音とともに間接式タイヤ空気圧警告灯が点灯し、メッセージが表示された場合はすみやかに停止し、タイヤの空気圧を確認して必要な処置をしてください。

MEMO

●タイヤの空気圧に20%以上の変化があった場合に警告灯が点灯します。
●異常が検知された場合は、8分以内に警告灯が点灯します。
●スペアタイヤ装着時は、間接式タイヤ空気圧警告機能は作動しません。

●間接式タイヤ空気圧警告システムの初期化

タイヤの空気圧を調整したり、ホイールを変更したりした場合は、必ず間接式タイヤ空気圧警告機能を初期化してください。

1.  タッチスクリーンのアイコンにタッチします。
2. **ドライビング機能**にタッチします。
3. **タイヤ空気圧警告　初期化**にタッチします。
4. **Yes** にタッチします。

MEMO

スノーチェーンの脱着については、その都度初期化する必要はありません。

⚠注 意

●初期化を行う前に、すべてのタイヤの空気圧が適正であることを確認してください。
●間接式タイヤ空気圧警告機能は、初期化時の空気圧が適正であるかどうかを検知することはできません。

●システムの異常



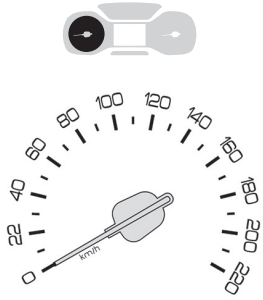
間接式タイヤ空気圧警告システムに異常が発生した場合は、警告音とともに間接式タイヤ空気圧警告灯および **SERVICE** 警告灯が点灯し、メッセージが表示されます。シトロエン指定サービス工場で点検を受けてください。

第4章　メーター・ライト・ワイパー装置の使いかた

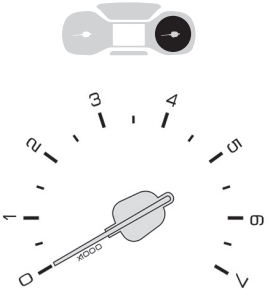
インストルメントパネル····· 4-2
ヘッドアップディスプレイ····· 4-4
警告灯類／表示灯類····· 4-6
冷却水温度計·····4-24
エンジン油量インジケーター·····4-25
サービスインジケーター·····4-26
オドメーター／トリップメーター·····4-28
マニュアルチェック·····4-29
インストルメントパネルの調整（明るさ調整）·····4-29
ライト類（ヘッドランプ、フォグランプ、方向指示器、
ハザードランプ）·····4-30
ワイパー／ウォッシャー·····4-38
ドライブコンピューター·····4-42
Ecoコーチ·····4-44

インストルメントパネル

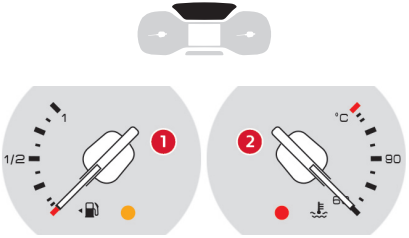
●メーター



アナログスピードメーター



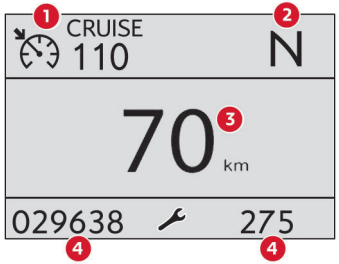
タコメーター



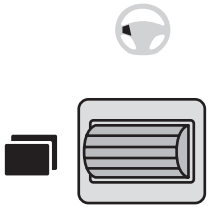
1. 燃料計
2. 冷却水温度計

* 仕様により異なります。

●ディスプレイ



1. アクティブクルーズコントロール／スピードリミッター／トラフィックサインインフォメーションの速度規制標識の制限速度
2. シフトポジション／シフトタイミングインジケーター *
3. デジタルスピードメーター／メッセージ／ドライブコンピューター／レーンキープアシストなどのドライビングサポート機能
4. オドメーター／サービスインジケーター／トリップメーター

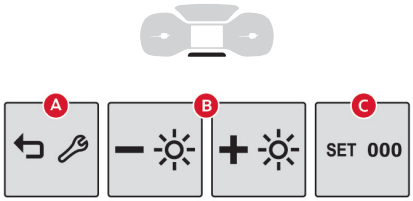


ステアリングスイッチの左側のダイヤルを回すとインストルメントパネルのディスプレイが切り替わります。

⚠警 告

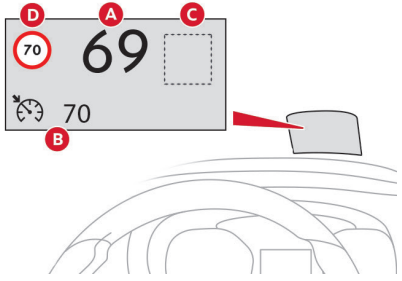
- スピードメーターの速度の単位は必ず km/h 表示を使用してください。誤って mph 表示（マイル）にすると、正確な速度を認識できず、思わぬ事故につながるおそれがあります。
- 安全上の理由から、インストルメントパネルの設定などの操作は、車両を停止し、イグニッションを ON にした状態で実施してください。

●コントロールボタン



A. サービスインジケーターリセットボタン／マニュアルチェックボタン（エンジン油量インジケーター*／サービスインジケーター／タイヤ空気圧警告／現在の不具合状況）
B. インストルメントパネル照度調整ボタン
C. トリップメーターリセットボタン

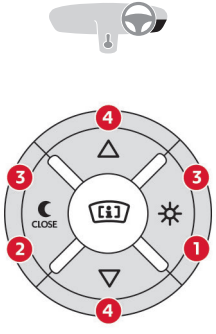
ヘッドアップディスプレイ *



運転者が前方を見ながら運転に必要な情報を確認できるように、ディスプレイに様々な情報を表示します。

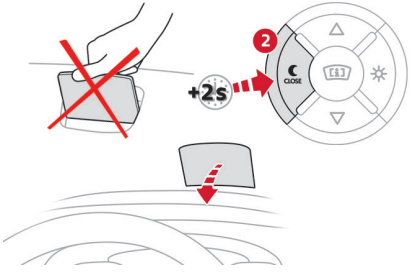
A. スピードメーター
B. アクティブクルーズコントロール表示／スピードリミッター表示
C. アクティブクルーズコントロールの車間距離表示などドライビングサポート機能の表示
D. トラフィックサインインフォメーション表示

●ディスプレイの操作



1. オンスイッチ
2. オフスイッチ
3. 照度調整スイッチ
4. 高さ調整スイッチ

起動／格納



エンジンがかかっているときにスイッチ①を押すと、ディスプレイを起動できます。スイッチ②を長く押すとディスプレイを格納できます。

* 仕様により異なります。

高さ調整

エンジンがかかっているときにスイッチ④（△＝上、▽＝下）を押します。見やすい高さになるよう、ディスプレイの高さを調整できます。

照度調整

エンジンがかかっているときにスイッチ③（太陽＝明、月＝暗）を短く押します。ディスプレイの明るさを調整できます。

MEMO

イグニッションをオフにしたときの状態は、次回エンジンを始動するときまで残ります。

⚠警 告

ヘッドアップディスプレイは停車中に操作してください。

注 意

- ダッシュボード上のディスプレイ付近に物を置いたり、ディスプレイ出入口を覆ったりしないでください。ディスプレイ作動時の妨げになります。
- お手入れするときは、硬い布、表面が荒い布、洗剤などは使用しないでください。ディスプレイが破損したり、反射防止のコーティングが傷付いたりするおそれがあります。メガネ拭きのようなやわらかい布を使用してください。

MEMO

- 気象条件（雨、雪、光など）によっては、ディスプレイが見づらかったり、一時的に影響を受ける場合があります。
- お使いのメガネ（サングラス、偏光レンズなど）によっては、ディスプレイの表示が読み取りづらい場合があります。

警告灯類／表示灯類

●警告灯について

警告灯には、イグニッションがオンになると数秒間点灯するものがあります。エンジンが始動するとそれらの警告灯は消えます。
いずれかの警告灯が、車が動き出す前まで点灯していたり、走行中に点灯または点滅したときは、関連する情報を参照してください。
いくつかの警告灯は、点灯状態と点滅状態で異なる意味を表すものがあったり、ひとつの警告灯で通常の作動状態を表示している場合と、故障を表している場合とがあります。また、警告音やメッセージ表示とともに点灯するものがあります。

●表示灯について

表示灯は、作動状態を表示するものと機能停止を表示するものがあります。
いくつかの表示灯は、点灯状態と点滅状態で異なる意味を表すものがあったり、ひとつの表示灯で通常の作動状態を表示している場合と、故障を表している場合とがあります。また、警告音やメッセージ表示とともに点灯するものがあります。

⚠警 告

- **STOP** 警告灯と連動して警告灯が表示されたときは直ちに車を停止させてください。
- 警告灯が表示される故障は、深刻なケガや車両へのダメージを引き起こすおそれがあります。安全な場所に停車し点検してください（6-4ページ参照）。

MEMO

高速道路など自動車専用道路での燃料切れは、道路交通法違反になります。走行前に燃料が十分あることを確認してください。

●赤色の警告灯／表示灯一覧表

警告灯／表示灯		状態	意味	対処方法
STOP	STOP	点灯／警告音／メッセージ	エンジン、ブレーキ、パワーステアリング、オートマチックトランスミッションなどに異常が発生しています。	直ちに車を安全な場所に停止させ、エンジンを止め、シトロエン指定サービス工場へご連絡ください。
	エンジン油圧	点灯	油圧が不足しています。	直ちに車を安全な場所に停止させ、エンジンを止め、シトロエン指定サービス工場へご連絡ください。
	冷却水温	点灯	冷却水の温度が過剰に上昇しています。	直ちに車を安全な場所に停止させ、エンジンを止め、シトロエン指定サービス工場にご連絡ください。
	バッテリー	点灯	充電機能に異常が発生しています。	エンジンを始動すると消灯します。警告灯が消えない場合は、直ちに車を安全な場所に停止させ、シトロエン指定サービス工場にご連絡ください。
	パワーステアリング	点灯	パワーステアリングに異常が発生しています。	注意して速度を下げて走行し、シトロエン指定サービス工場で点検を受けてください。

警告灯／表示灯		状態	意味	対処方法
	半ドア	点灯／メッセージ（時速10km 以下）	ドア、テールゲートまたはリアオープニングガラスハッチが開いています。	ドア、テールゲートまたはリアオープニングガラスハッチを閉めてください。
		点灯／警告音／メッセージ（時速10km 以上）		
	シートベルト	点灯	・シートベルトを着用していません。 ・着用していたシートベルトをはずしました。	ベルトを引き出しバックルに差し込んでください。警告はシートベルトを着用するまで続きます。
		点滅／警告音		
	エレクトリックパーキングブレーキ	点灯	エレクトリックパーキングブレーキがかかっています。	アクセルペダルを踏むと、エレクトリックパーキングブレーキが自動的に解除されます。
				ブレーキペダルを踏んだまま、パーキングブレーキスイッチを押してエレクトリックパーキングブレーキを解除してください。

警告灯／表示灯		状態	意味	対処方法
	ブレーキ	点灯	ブレーキ液量が大幅に低下しています。	直ちに安全な場所に車を停止させ、エンジンを止め、シトロエン推奨のブレーキ液を補給してください。問題が解消されない場合は、シトロエン指定サービス工場にご連絡ください。
			電子式制動力制御装置（EBFD）に異常が発生しています。	直ちに安全な場所に車を停止させ、エンジンを止め、シトロエン指定サービス工場にご連絡ください。

●黄色の警告灯／表示灯一覧表

警告灯／表示灯		状態	意味	対処方法
	**ABS（アンチロックブレーキ）**	点灯	アンチロックブレーキシステムに異常が発生しています。	通常のブレーキとして機能します。 注意して速度を下げて走行し、シトロエン指定サービス工場で点検を受けてください。
	**SERVICE**	点灯（一時的）／メッセージ	軽微な不良が発生しているおそれがあります。	表示されたメッセージと連動しています。 ・ DPF（ディーゼルパティキュレートフィルター）にススが一定量堆積した（ディーゼル車） ・ タイヤ空気圧 ・ エンジンオイル油量 ・ ウィンドウウォッシャー液量 ・ リモコンの電池切れ　など 解決しない場合は、シトロエン指定サービス工場で点検を受けてください。
		点灯／メッセージ	重大な不良が発生しているおそれがあります。	表示されたメッセージと連動しています。 シトロエン指定サービス工場で点検を受けてください。
			エレクトリックパーキングブレーキ故障のメッセージが表示されたら、オートマチックでの解除ができません。	シトロエン指定サービス工場にご連絡ください。

警告灯／表示灯		状態	意味	対処方法
	**SERVICE（ディーゼル車）**	点灯（サービスインジケーターのスパナマークが点滅し、その後点灯）	定期点検整備時期を経過しています。	直ちにシトロエン指定サービス工場で定期点検整備を受けてください。
	**AdBlue®（ディーゼル車）**	点灯／メッセージ	AdBlue® の残量が少なくなっています。 走行可能距離は800km から2400km です。	早めにシトロエン指定サービス工場で AdBlue® の補充をしてください。
		点灯／警告音／メッセージ	AdBlue® の残量がわずかになっています。 走行可能距離は100km から800km です。	すみやかにシトロエン指定サービス工場で AdBlue® の補充をしてください。
		点滅／警告音／メッセージ（**SERVICE** 警告灯も点灯）	AdBlue® の残量がわずかになっています。 走行可能距離は100km 以内です。	直ちにシトロエン指定サービス工場で AdBlue® の補充をしてください。
			AdBlue® の残量がなくなりました。 エンジンを始動できません。	シトロエン指定サービス工場にご連絡ください。

警告灯／表示灯		状態	意味	対処方法
AdBlue	**SCR システム（ディーゼル車）**	点灯／警告音／メッセージ（**SERVICE** 警告灯と自動診断警告灯も点灯）	SCR システムに異常が発生しています。	一時的に警告が表示されることがありますが、その後、警告灯が消灯すれば SCR システムの異常は解消されています。 SCR システムの異常が解消されない場合は、エンジンを始動する度に警告が表示されます。 シトロエン指定サービス工場でシステムの点検を受けてください。
		点滅／警告音／メッセージ（**SERVICE** 警告灯と自動診断警告灯も点灯）	SCR システムに異常が発生しています。 走行可能距離は1100km 以内です。	直ちにシトロエン指定サービス工場でシステムの点検を受けてください。
			SCR システムの異常によりエンジンを始動できません。	シトロエン指定サービス工場にご連絡ください。
	自動診断	点灯	排気ガス浄化システムに異常が発生しています。	エンジンを始動しても警告灯が消えない場合は、直ちにシトロエン指定サービス工場でシステムの点検を受けてください。
		点滅	エンジン制御システムに異常が発生しています。	触媒コンバーターが損傷するおそれがあります。 シトロエン指定サービス工場にご連絡ください。

警告灯／表示灯		状態	意味	対処方法
	自動診断	点灯	軽微な不良が発生しているおそれがあります。	シトロエン指定サービス工場で点検を受けてください。
 STOP			重大な不良が発生しているおそれがあります。	直ちに安全な場所に車を停止させ、エンジンを止め、シトロエン指定サービス工場にご連絡ください。
	アクティブセーフティブレーキ	点滅	アクティブセーフティブレーキの自動ブレーキが作動中です。	前方の車両との衝突速度を抑制するために自動的にブレーキが作動しました。ブレーキを踏んでスピードを落としてください。
		点灯／警告音／メッセージ	アクティブセーフティブレーキ機能に異常があります。	シトロエン指定サービス工場でシステムの点検を受けてください。
		点灯	アクティブセーフティブレーキ機能が解除されています。	詳細は「アクティブセーフティブレーキ」項を参照してください。

警告灯／表示灯		状態	意味	対処方法
	アクティブセーフティブレーキ	点灯（SERVICE警告灯も点灯）	アクティブセーフティブレーキ機能に異常があります。	エンジンを停止し、再度始動しても消灯しない場合は、シトロエン指定サービス工場で点検を受けてください。
	レーンキープアシスト	点灯	レーンキープアシスト機能が解除または停止されています。	詳細は「レーンキープアシスト」項を参照してください。
		点滅	方向指示器が作動していないとき、車線マーカーを逸脱する可能性があると判断されました。ハンドル操作の自動修正が行われます。	
		点灯／警告音／メッセージ（SERVICE警告灯も点灯）	レーンキープアシスト機能に異常があります。	レーンキープアシスト機能が作動していません。注意して走行し、シトロエン指定サービス工場で点検を受けてください。

4

＊仕様により異なります。

警告灯／表示灯		状態	意味	対処方法
	**ASR ／ DSC（グリップコントロール *）**	点灯／メッセージ	ASR ／ DSC システムが解除されています。	ASR ／ DSC システムは、イグニッションをオフにする、または時速50km 以上で走行すると自動的に復帰します。 手動で復帰させるときは、グリップコントロールスイッチを OFF 以外の位置に回します。
	**ASR ／ DSC**	点滅	ASR ／ DSC システムが作動中です。	システムは正常です。 安定した走行に戻ると消灯します。
		点灯／警告音／メッセージ	ASR ／ DSC システムに異常が発生しています。	シトロエン指定サービス工場で点検を受けてください。
 	**非常ブレーキ（エレクトリックパーキングブレーキ）**	点灯／メッセージ（**SERVICE** 警告灯も点灯）	非常ブレーキに異常が発生しています。	エレクトリックパーキングブレーキの自動解除ができない場合は、ブレーキペダルを踏みながら手動操作で解除してください。 シトロエン指定サービス工場で点検を受けてください。
	ヒルスタートアシスタンス	点灯／メッセージ（**SERVICE** 警告灯も点灯）	ヒルスタートアシスタンス機能に異常があります。	シトロエン指定サービス工場で点検を受けてください。

警告灯／表示灯		状態	意味	対処方法
	**空気圧警告**	点灯／警告音／メッセージ	タイヤの空気圧に異常があります。	タイヤの空気圧を確認して必要な処置をしてください。
 		点滅後に点灯／警告音／メッセージ（**SERVICE** 警告灯も点灯）	タイヤ空気圧警告システムに異常が発生しています。システムは作動していません。	タイヤの空気圧を確認して必要な処置をしてください。直ちにシトロエン指定サービス工場で点検を受けてください。
	**予熱表示灯（ディーゼル車）**	点灯	**ENGINE START/STOP** スイッチを押しました。	予熱表示灯が消灯したら、ブレーキペダルを踏んでいるときにエンジンが始動します。
				予熱表示灯の点灯時間は、気温によって変化します。エンジンがかからないときは、イグニッションをオフにし、再度エンジン始動の操作を行い、予熱表示灯が消灯するのを待ってください。
	**エアバッグ**	点灯（一時的）	システムの点検中です。（数秒間点灯した後に消灯）	エンジンを始動すると消灯します。警告灯が消えない場合は、シトロエン指定サービス工場で点検を受けてください。
		点灯	エアバッグまたはシートベルトプリテンションシステムに異常が発生しています。	シトロエン指定サービス工場で点検を受けてください。

警告灯／表示灯		状態	意味	対処方法
	**燃料残量**	点灯／警告音／メッセージ	燃料の残量が約6リットル以下になりました。	燃料が少なくなっています。早めに燃料を補給してください。 イグニッションをオンにする度に警告灯は点灯します。 燃料タンクの容量は、ガソリン車が約61リットル、ディーゼル車が約50リットルです。 燃料がなくなるまで、走行を続けないでください。排気ガス浄化システムおよび点火系統が損傷するおそれがあります。
	**燃料フィルター（ディーゼル車）**	点灯	燃料フィルターに水が溜まっています。	燃料噴射システムが損傷するおそれがあります。直ちにシトロエン指定サービス工場にご連絡ください。
 **または** 	**DPF（ディーゼルパティキュレートフィルター）（ディーゼル車）**	点灯（一時的）／メッセージ	DPF（ディーゼルパティキュレートフィルター）にススが一定量堆積しました。	道路状況を見て、すみやかに時速60km 以上で走行してください。ススの燃焼（再生）処理が行われます。 燃焼（再生）処理が終了すると、警告灯が消灯します。
		点灯／警告音／メッセージ	DPF（ディーゼルパティキュレートフィルター）の点検が必要です。	すみやかにシトロエン指定サービス工場で点検を受けてください。

警告灯／表示灯		状態	意味	対処方法
	オートマチックエレクトリックパーキングブレーキ	点灯	オートマチックエレクトリックパーキングブレーキ機能が解除されています。	パーキングブレーキは手動操作のみ可能です。オートマチックエレクトリックパーキングブレーキ機能を復帰させてください。
		点灯／メッセージ	エレクトリックパーキングブレーキが締結のための十分な力を発生しません。	安全で平らな場所に停車して、シフトポジションを **P** にした状態で輪止めをしてください。
		点滅	エレクトリックパーキングブレーキが完全に解除されていません。	直ちに安全な場所に車を停止させ、ブレーキペダルを踏んだまま、パーキングブレーキスイッチを押してエレクトリックパーキングブレーキを解除してください。問題が解消されない場合は、シトロエン指定サービス工場にご連絡ください。

警告灯／表示灯		状態	意味	対処方法
	オートマチックエレクトリックパーキングブレーキ	点灯／メッセージ	手動操作によるエレクトリックパーキングブレーキの締結ができません（エンジンがかかっているときの締結ができません）。	手動操作によるエレクトリックパーキングブレーキの締結／解除ができないときは、レバーの故障が考えられます。 エンジン停止時の自動締結およびアクセルを踏んだときの自動解除のみ作動します。 オートマチックエレクトリックパーキングブレーキ機能を解除している場合は、機能が自動的に復帰します。 シトロエン指定サービス工場にご連絡ください。
			パーキングブレーキに異常が発生しています。自動／手動操作ともに動作しません。	車を止めておくには、7秒から15秒間、警告灯が点灯するまでパーキングブレーキスイッチを引きます。 上記の操作を失敗した場合は、安全で平らな場所に停車して、シフトポジションを **P** にした状態でエンジンを止め、輪止めをしてください。
	リアフォグランプ	点灯	リアフォグランプが点灯しています。	ライトスイッチレバーのリングを後方へ回すと消灯します。

●緑色の警告灯／表示灯一覧表

警告灯／表示灯		状態	意味	対処方法
	**ストップ&スタート**	点灯	赤信号などで停止したときに、ストップ&スタートによってエンジンが停止しています。	発進時には警告灯が消灯し、自動的にエンジンがかかります。
		数秒間点滅して消灯	停止モードが一時的に使用不可、または自動的にスタートモードになりました。	詳細は「ストップ&スタート」項を参照してください。
	**ヒルディセントコントロール ***	点灯	坂道の勾配や選択されているギアなどの走行条件が適さないため、ヒルディセントコントロール機能は作動していません。	詳細は「ヒルディセントコントロール」項を参照してください。
		点滅	ヒルディセントコントロール機能が作動し、走行速度を制御しています。	詳細は「ヒルディセントコントロール」項を参照してください。
ECO	**エコモード**	点灯	エコモードが作動しています。	詳細は「エコモード」項を参照してください。
	**ウィンカー**	点滅／ブザー	ライトスイッチレバーが上または下に動かされています。	ライトスイッチレバーを水平にすると消灯します。

* 仕様により異なります。

警告灯／表示灯		状態	意味	対処方法
	**ポジションランプ**	点灯	ライトスイッチがポジションランプの位置にあります。	-
	**ロービーム**	点灯	ライトスイッチがロービームの位置にあります。 ライトスイッチが **AUTO** の位置にあります。（周囲の明るさに応じて点灯）	-
	**インテリジェントハイビーム**	点灯	タッチスクリーンの設定で機能が有効になっていて、ライトスイッチが **AUTO** の位置にあります。 周囲の明るさや運転状況により、ロービームが点灯しています。	フロントウィンドウ上部のカメラが周囲の明るさや運転状況を検知し、ハイビーム／ロービームの切り替えを行います。 詳細は「インテリジェントハイビーム」項を参照してください。
		点灯	タッチスクリーンの設定で機能が有効になっていて、ライトスイッチが **AUTO** の位置にあります。 周囲の明るさや運転状況により、ハイビームが点灯しています。	

警告灯／表示灯		状態	意味	対処方法
	フロント フォグランプ *	点灯	フロントフォグランプが点灯しています。	ライトスイッチレバーのリングを後方へ回すと消灯します。
	オート ワイパー *	点灯	オートワイパーが作動中です。	ワイパーレバーを押し下げるか、**O**以外の位置にするとオートワイパー機能がオフになります。

* 仕様により異なります。

●青色の警告灯／表示灯一覧表

警告灯／表示灯		状態	意味	対処方法
	ハイビーム	点灯	ライトスイッチレバーが手前に引かれています。	ライトスイッチレバーを再度手前に引くとロービームに戻ります。

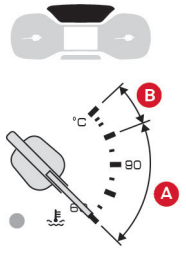
●灰色の警告灯／表示灯一覧表

警告灯／表示灯		状態	意味	対処方法
	ヒルディセントコントロール *	点灯	速度が制限を超えたため、ヒルディセントコントロール機能が中止されています。	速度を下げて（時速30km 以下）走行してください。

●その他の警告灯／表示灯一覧表

警告灯／表示灯		状態	意味	対処方法
	ブレーキ作動促進	点灯	ブレーキペダルを踏む必要があります。または、ブレーキペダルが十分に踏み込まれていません。	ブレーキペダルを十分に踏み込んでください。

冷却水温度計



冷却水温度計が A のゾーンにあるときは、水温は適正です。
冷却水温度計が B のゾーンにあるときは、オーバーヒートの状態です。冷却水温警告灯と STOP 警告灯が点灯して、警告音とともにメッセージが表示されます。
直ちに車を安全な場所に止めて、数分間アイドリングを行ってからエンジンを停止してください。その後はすみやかにシトロエン指定サービス工場にご連絡ください。

MEMO

冷却水の補給はシトロエン指定サービス工場にお申し付けください。

* 仕様により異なります。

エンジン油量インジケーター *

イグニッションをオンにすると、油量の状態が数秒間表示されます。
油量は、車体が水平な場所にあってエンジン停止後30分以上経過しているときに正確に表示されます。

●エンジンオイル量が不足しているとき

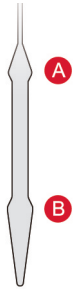
メッセージが表示されます。エンジンオイルレベルゲージで正確な量を確認し、不足しているときは補充してください。エンジンオイルが不足したまま使用すると、エンジンが損傷するおそれがあります。

●オイルレベルセンサーが故障しているとき

メッセージが表示されます。
車体を水平な場所に置き、エンジン停止後30分以上経過してからエンジンオイルレベルゲージで測定してください。油量に問題がなければ、オイルレベルセンサーが故障しているので、シトロエン指定サービス工場にご連絡ください。

MEMO

オイルレベルゲージ



ゲージには2 ヶ所のマークがあります。

A：オイル量最大
これを越えないようにしてください。

B：オイル量最少
A と **B** の間になるようにオイルを補充してください。

サービスインジケーター

サービスインジケーターは、お客様に次回のメーカー推奨点検時期がいつ頃かをお知らせするものです。
次回の点検まで3000km 以内になったとき、イグニッションをオンにした後の数秒間、インストルメントパネルに表示されます。
また、インストルメントパネルのマニュアルチェックボタンを押すと次回のメーカー推奨点検時期を確認することができます。

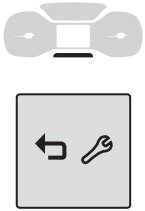
●サービスインジケーター表示一覧

表示	状態	意味
	点灯（数秒間）	次回の点検まで1000km から3000km であることを示しています。 次回の点検までのおよその残りキロ数や期間（両方またはどちらか一方）が表示されます。
	点灯	次回の点検まで1000km 以内であることを示しています。 次回の点検までのおよその残りキロ数や期間（両方またはどちらか一方）が表示されます。
	点滅後に点灯 （ガソリン車）	点検時期を経過したことを示しています。 点検時期を経過してからのおよその走行距離や点検時期を経過したことをお知らせするメッセージ（両方またはどちらか一方）が表示されます。 定期点検が完了するとスパナマークが消灯します。
	点滅後に点灯 （SERVICE 警告灯も点灯） （ディーゼル車）	

MEMO

点検時期のお知らせは、走行距離と前回の点検時期から割り出されています。最後の点検から2年を経過した場合にもスパナマークが点灯します。

●ゼロリセット



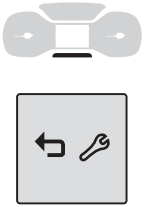
リセットはシトロエン指定サービス工場にて点検終了後に行いますが、お客様がご自分でリセットする際には以下の方法で行います。

1. イグニッションをオフにします。
2. インストルメントパネルのサービスインジケーターリセットボタンを押し続けます。
3. イグニッションをオンにします。
4. 数字のカウントダウンが始まります。
5. カウントダウンが終了したら、押していたリセットボタンを放します。
6. リセットが完了。スパナのマークが消えます。

MEMO

- ●シトロエン指定サービス工場では、定期点検が完了したときにサービスインジケーターをリセットして、次の定期点検時期をお知らせするようにしています。もし、サービスインジケーターを継続してご使用になりたいときは、車をお預けの際にシトロエン指定サービス工場の担当者にお伝えください。
- ●リセット直後にバッテリーをはずすと、リセットが無効になります。ドアを施錠して少なくとも5分間待ってから、バッテリーをはずしてください。

●サービスインジケーターの再表示



インストルメントパネルのマニュアルチェックボタンを押すと、サービスインジケーターを数秒間表示させることができます。

オドメーター／トリップメーター



002067　284

右： トリップメーターをリセットしてから現在までの走行距離（トリップメーター）

左： 総距離数（オドメーター）

オドメーター／トリップメーターは、イグニッションがオンのときに表示されます。また、以下の後、しばらくの間表示されます。

- 施錠する
- 解錠する
- イグニッションをオフにする
- イグニッションがオフで運転席ドアを開閉する

MEMO

距離の単位は必ずkm表示を使用してください。
設定はタッチスクリーンで行います。

●トリップメーターのリセット



トリップメーターをリセットするには、イグニッションがオンの状態で、リセットボタンを数秒間押し続けます。数値が0になったらリセットボタンを放してください。

* 仕様により異なります。

マニュアルチェック

イグニッションをオンにすると、インストルメントパネルに以下の情報が表示されます。

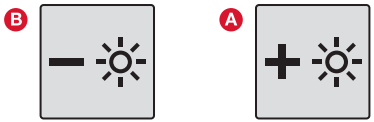
・ エンジン油量インジケーター *
・ サービスインジケーター
・ タイヤ空気圧警告
・ 現在の不具合状況

マニュアルチェックの情報を再度表示するには、エンジンがかかっている状態で、マニュアルチェックボタンを押します。



インストルメントパネルの調整（明るさ調整）

●インストルメントパネルの照度調整



インストルメントパネルの明るさを調整することができます。
ボタン A を押すと暗から明へ、ボタン B を押すと明から暗へ明るさが変化します。ボタンを放すと、その明るさに設定されます。

MEMO

●インストルメントパネルの明るさを調整すると、タッチスクリーンの照度も調整されます。
●ポジションランプまたはヘッドランプが点灯中に調整できます。

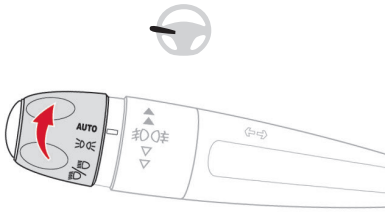
●タッチスクリーンの照度調整



1.  タッチスクリーンのアイコンにタッチします。
2.  にタッチします。
3. **明るさ**にタッチします。
4. ＜または＞にタッチするか、カーソルを動かして調整します。

ライト類（ヘッドランプ、フォグランプ、方向指示器、ハザードランプ）

●ライトスイッチ



ヘッドランプの操作は、レバーのリングを回します。

AUTO オートライトモード

ポジションランプが点灯します。

⚠警 告

ポジションランプは、他の車からあなたの車を確実に確認できるほどの十分な明るさではありません。事故のおそれがありますので、周囲が暗いときや視界が悪いときは、ヘッドランプを点灯してください。

ヘッドランプのロービーム／ハイビームが点灯します。

ヘッドランプをハイビームに切り替えるときは、スイッチレバーを手前に引きます。再度、手前に引くとロービームに切り替わります。

MEMO

低温高湿度のとき、ヘッドランプやテールランプのレンズ内側が曇ることがありますが異常ではありません。点灯して数分後になくなります。

●パッシング

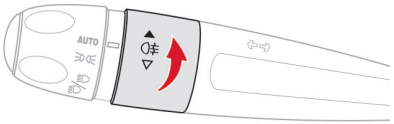
スイッチレバーを浅く手前に引くと、パッシングライトとして使用できます。

●フォグランプ

⚠警 告

フォグランプは晴天時や雨天時には使用しないでください。他車に眩惑を与えます。

リアフォグランプ装備車



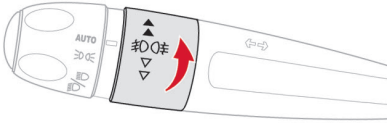
ヘッドランプがオンのときに使用できます。

リングを前方へ回すと点灯します。リングを後方へ回すと消灯します。

MEMO

オートライトでヘッドランプが点灯中に、リアフォグランプを点灯させると、周囲が明るくなってもヘッドランプとリアフォグランプは点灯し続けます。リングを回してリアフォグランプを消灯してください。リアフォグランプと同時にヘッドランプも消灯します。

フロント／リアフォグランプ装備車



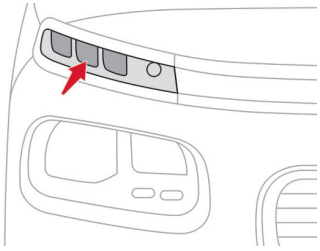
ポジションランプまたはヘッドランプがオンのときに使用できます。

リングを1回前方へ回すとフロントフォグランプが点灯します。リングをさらに1回前方へ回すとリアフォグランプも点灯します。リングを1回後方へ回すとリアフォグランプが消灯します。リングをさらに1回後方へ回すとフロントフォグランプも消灯します。

MEMO

オートライトでヘッドランプが点灯中に、フォグランプを点灯させると、周囲が明るくなってもポジションランプとフォグランプは点灯し続けます。リングを回してフォグランプを消灯してください。フォグランプと同時にポジションランプも消灯します。

●デイタイムランニングランプ

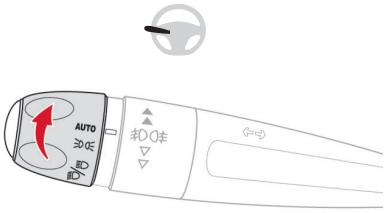


エンジンを始動すると、ライトスイッチが **AUTO** で周囲が明るいときにデイタイムランニングランプだけが自動的に点灯します。

⚠警 告

LED のデイタイムランニングランプ装着車は、点灯中のランプを至近距離から直視しないでください。LED ライトは強い光を照射するため、失明などの重大な傷害につながるおそれがあります。

●オートライト



周囲が暗くなったりウィンドウワイパーが作動すると、自動的にポジションランプやヘッドランプが点灯します。周囲が明るくなったりワイパーが停止すると、自動的に消灯します。

作動
リングを **AUTO** 位置に回します。

機能解除
リングを **AUTO** 以外の位置に回します。

⚠注 意

●昼間の霧や雪のときは、周囲が明るいのでオートライトが作動しないことがあります。安全のため、手動でライトを点灯してください。
●フロントウィンドウの照度センサーを覆わないでください。オートライト機能が正常に作動しません。

照度センサーに異常が発生した場合は、自動的にヘッドランプが点灯します。警告音とともに **SERVICE** 警告灯が点灯し、メッセージが表示されます。シトロエン指定サービス工場で点検を受けてください。

MEMO

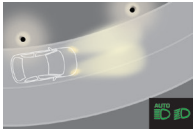
●イグニッションをオフにすると、すべてのライトが消灯します（フォローミーホーム機能がオンのときを除く）。再度ライトを点灯するには、**AUTO** から他の位置にレバーのリングを回すか、いったん **AUTO** にしてから他の位置にレバーのリングを回してください。イグニッションがオフの状態で、マニュアル操作でライトを点灯したまま運転席側のドアを開けると、ライト消し忘れブザーが鳴ります。レバーのリングを **AUTO** 位置に回すとライトが消灯します。
●イグニッションがオフの状態でライトを点灯したままにすると、バッテリー上がりを防止するために一定時間後、自動的に消灯します。

●インテリジェントハイビーム

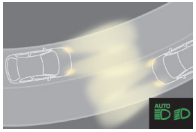
フロントウィンドウ上部に備えられたカメラによって周囲の明るさと運転状況を検知し、ヘッドライトのロービームとハイビームを自動的に切り替える機能です。

⚠警 告

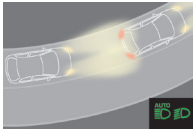
インテリジェントハイビームは操作を補助する機能です。運転者の責任の下で、点灯状態、視界、道路状況などを把握し、他の車の妨げにならないよう、また法律で義務付けられた方法に従って、正しく使用してください。



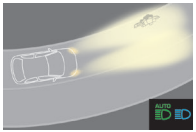
ロービーム点灯：
周囲が明るいためハイビームが不要な場合



ロービーム点灯：
対向車がある場合



ロービーム点灯：
先行車がある場合



ハイビーム点灯：
ハイビームが必要な場合

機能をオンにする

1. ライトスイッチレバーのリングを **AUTO** 位置に回します。
2. タッチスクリーンのアイコンにタッチします。
3. **ドライビング機能**にタッチします。
4. **インテリジェントハイビーム**にタッチします。

MEMO

- ●インテリジェントハイビームは時速25km 以上で作動します。時速15km 以下になると作動が停止します。
- ●イグニッションをオフにしてもシステムの設定の記憶は残ります。

ハイビーム／ロービームの切り替え条件

以下のときにロービームが点灯します。

・周囲の明るさが十分にあり、運転状況がハイビームの点灯に適さないとき

AUTO ロービームが点灯すると、この表示灯が点灯します。

以下のときにハイビームが点灯します。

・周囲の明るさが十分になく、運転状況がハイビームの点灯に適したとき

AUTO ハイビームが点灯すると、この表示灯が点灯します。

作動を中断する

システム作動中でも、ライトスイッチレバーを手前に引くことでインテリジェントハイビーム機能を中断し、オートライトモードに切り替えることができます。インテリジェントハイビームに戻したいときは、再度ライトスイッチレバーを手前に引きます。

MEMO

- ●機能を中断または再度作動させると、状況により、ハイビームまたはロービームが点灯します。
- ●濃い霧が発生している場所を走行しているとき、またはリアフォグランプを点灯させたときは、自動的にインテリジェントハイビームの機能が一時中断されます。機能が一時中断されると、表示灯が消灯します。その後、システムがインテリジェントハイビーム機能の作動に適していると判断する、またはリアフォグランプを消灯すると、インテリジェントハイビーム機能が再度作動します。

機能をオフにする

インテリジェントハイビーム機能をオフにするには、タッチスクリーンで設定します。

MEMO

ライトスイッチレバーの操作ではインテリジェントハイビームをオフにできません。

⚠警 告

- ●以下のようなときは、機能が正確に作動しないことがあります。
  - • 降雪、豪雨、濃霧などの悪環境のとき
  - • フロントウィンドウが汚れている、曇っている、ステッカーを貼っているなど、カメラ部分の視界が不十分なとき
  - • 看板や標識などに反射した強い光が車両に当たっているとき
- ●カメラは以下のような対象物は検知しません。
  - • 歩行者のように光を発しないもの
  - • 高速道路の中央分離帯などで光を遮られている車両
  - • 急勾配な坂の頂上やふもと、曲がりくねった道、交差点などにおける周囲の車両
- ●フロントウィンドウのカメラ周辺に衝撃を受けたら、必ずシトロエン指定サービス工場で点検を受けてください。カメラが正常に作動せず、思わぬ事故につながるおそれがあります。

⚠警 告

●フロントウィンドウ上部のカメラ付近をステッカーなどで覆ったり、物を置いてカメラの視界を遮らないでください。システムの妨げとなり、正常に機能しません。
●ルーフ上に積載した荷物などがカメラの視界を遮らないように注意してください。
●冬期に、ルーフやボンネットに雪が積もっているときは取り除いてください。
●フロントウィンドウに泥や雪などが付着するとカメラが正常に作動しません。常に汚れを落としてください。
●天候や乗車状況によってはフロントウィンドウのウィンドウガラスが曇ることがあります。ウィンドウガラスが曇るとカメラが正常に作動しません。エアコンの曇り取り機能を使用してウィンドウガラスの曇りを取り除いてください。

●パーキングライト

路肩に駐車する場合、ポジションランプを片側（通常は車両通行側）のみ点灯させることができます。
イグニッションをオフにして、1分以内にライトスイッチレバーを点灯させたい側に操作します。警告音とともに表示灯（ウィンカー）が一時的に点灯し、片方のポジションランプが点灯します。
レバーを戻すと、ポジションランプは消灯します。

●フォローミーホーム（駐車時照明機能）

周囲が暗いときや夜間にイグニッションをオフにした後しばらくの間、ヘッドランプなどが点灯したままになります。

オート操作

オートライトモードになっていると自動的にこの機能が作動します。

マニュアル操作

オートライトモードでないときも、作動させることができます。
イグニッションをオフにして、パッシング（スイッチレバーを浅く手前に引く）してから車を降りて施錠してください。
リモコンからもフォローミーホームを作動させることができます。

キャンセル操作

パッシング（スイッチレバーを浅く手前に引く）してから車を降りて施錠してください。

設定

フォローミーホームのオン／オフの切り替え、点灯時間の設定は、タッチスクリーンで行います。

●エクステリアウェルカムランプ

周囲が暗いときや夜間に、車外でリモコンの解錠ボタンを押すと、ヘッドランプなどが点灯して乗車をサポートします。

点灯



リモコンの解錠ボタンを押します。
ドアの解錠とともに、ヘッドランプなどが点灯します。

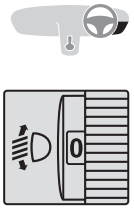
消灯

イグニッションをオンにする、またはドアを施錠すると自動的に消灯します。

設定

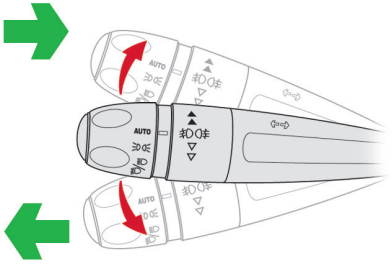
エクステリアウェルカムランプのオン／オフの切り替え、点灯時間の設定は、タッチスクリーンで行います。

●ヘッドライト照射角度調整



ラゲッジルームに重量物を積んでヘッドランプが上向きになったときは、対向車に眩しくないよう、ダイヤルの数値を上げて照射角度を下向きにしてください。

●方向指示器



右方向に出す場合：ライトスイッチレバーを上に動かします。
左方向に出す場合：ライトスイッチレバーを下に動かします。

MEMO

車線変更などのとき、ライトスイッチレバーを1回軽く動かして放すと、動かした方の方向指示器が3回点滅します。

●ハザードランプ





ENGINE START／STOP スイッチの位置に関係なくスイッチを押すと作動します。
他車に緊急停車中であることを示します。

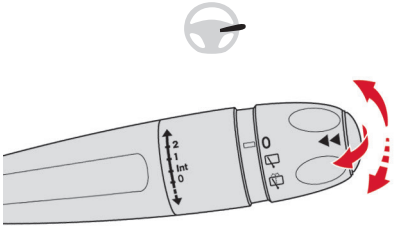
緊急制動表示灯
急ブレーキをかけると、減速度によってハザードランプが自動的に点滅を始めます。車が加速を始めると自動的に解除されますが、スイッチを押して解除することもできます。

MEMO

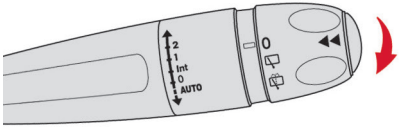
渋滞の最後尾についたときは、手動でハザードランプを点滅させて、他の運転者に警告してください。

ワイパー／ウォッシャー

●フロントワイパー



マニュアルワイパー装着車



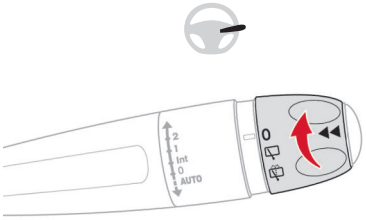
オートワイパー装着車

ワイパーレバーは以下のように5段階で作動します。

2	高速作動
1	通常作動
Int	間欠作動
0	停止
↓	1回作動（マニュアルワイパー装着車）
AUTO	自動作動（オートワイパー装着車）

間欠作動は、車速に応じて休止時間が変化します。

●リアワイパー



リングを回すとリアワイパーが作動します。（間欠式）
リングをいっぱいまで回している間、ウォッシャー液が噴射され、ワイパーが作動します。リングを放すと数秒後にワイパーが停止します。



停止



間欠作動



ウォッシャー作動

* 仕様により異なります。

ギアセレクター連動機能

フロントワイパーを作動中にシフトポジションを R にすると、リアワイパーが作動します。
シフトポジションを R から変更すると、リアワイパーは停止します。
この機能のオン／オフを切り替えるときはタッチスクリーンで設定します。

MEMO

リアウィンドウに雪が積もっているときやテールゲートにキャリアを取り付けているときは、この機能をオフにすることをお勧めします。

注 意

- ウィンドウガラスが乾いているときは、ワイパーを使用しないでください。ウィンドウに傷を付けることがあります。
- 外気温が高温のときや、低温で凍結のおそれがあるときは、ワイパーがウィンドウに貼り付いていないか確認してください。ワイパーを損傷するおそれがあります。

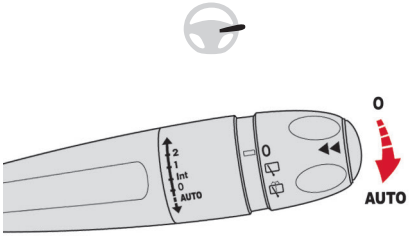
MEMO

- イグニッションを1分以上オフにすると、ワイパーレバーがどの位置にあっても、ワイパーはオフの状態になります。再度作動させるには、ワイパーレバーを操作してください。
- ウィンドウガラスやワイパーに雪が積もっているときや凍結しているときは、ワイパーを使用する前に取り除いてください。

●オートワイパー *

ワイパーを AUTO モードにしておくと、降る雨の量に応じて自動的にワイパーが作動します。

作動



レバーを押し下げると AUTO モードが作動します。インストルメントパネルの表示灯が点灯し、メッセージが表示されます。
システムに異常が発生すると、ワイパーレバーが AUTO の位置では間欠作動となります。シトロエン指定サービス工場で点検を受けてください。

解除

レバーをもう一度押し下げるか、**O**以外のポジションに動かします。インストルメントパネルの表示灯が消灯し、メッセージが表示されます。

MEMO

イグニッションを1分以上オフにすると、**AUTO** モードは解除されます。**AUTO** モードを使用する場合は再度レバーを押し下げてください。

⚠注 意

洗車する際は、オートワイパー機能を解除してください。水滴によってオートワイパーが突然作動して、ケガをしたり、車を損傷するおそれがあります。

注 意

●ルームミラーの裏側にある雨滴センサーを覆わないでください。
●フロントウィンドウが凍結しているときは、氷などが完全に溶けるまでオートワイパーの使用を控えてください。

●ウィンドウウォッシャー

レバーを手前に引いている間、ウォッシャー液が噴射され、ワイパーが作動します。レバーを放すと数秒後にワイパーが停止します。
レバーを浅く手前に引くと、ウォッシャー液は噴射されずにワイパーが1回だけ作動します。

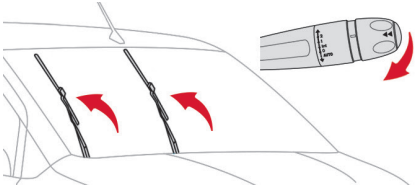
⚠警 告

外気温が低温で凍結のおそれがあるときは、フロントウィンドウが暖まるまでウィンドウウォッシャーを使用しないでください。ウォッシャー液がウィンドウガラスに凍り付き、視界を妨げ、安全性を損ない思わぬ事故につながるおそれがあります。

注 意

タンク内のウォッシャー液が不足して、ウォッシャー液が噴射されないときは、ウィンドウウォッシャーを使用しないでください。ワイパーを損傷するおそれがあります。

●ワイパーブレードの交換



ワイパーブレードの交換は、ワイパーをメンテナンスポジションにしてから行います。

1. イグニッションをオフにしてから1分以内にワイパーレバーを操作するとワイパーがメンテナンスポジションで停止します。
2. ワイパーブレードを交換するときはこの位置にしてください。
3. イグニッションをオンにしてワイパーレバーを操作すると、ワイパーは元の位置に戻ります。

⚠警 告

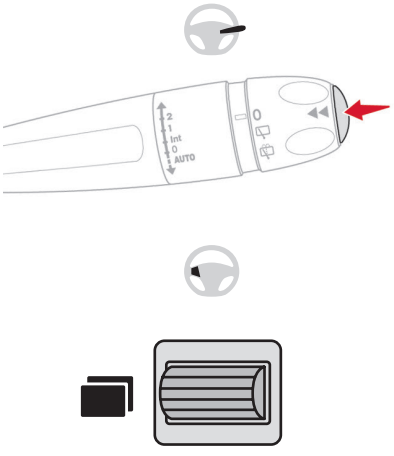
傷んだり汚れたワイパーブレードは視界を妨げ、安全性を損ない思わぬ事故につながるおそれがあります。すべてのウィンドウで良好な視界が確保された状態で走行してください。

MEMO

●ワイパーブレードを長持ちさせるには、次のことに気をつけてください。
・丁寧に取り扱ってください。
・せっけん水で定期的に洗ってください。
・紙や異物を挟まないでください。
・ワイパーゴムが摩耗しているときは早めに交換してください。
●ワイパーアームの交換はシトロエン指定サービス工場にお申し付けください。
●ウィンドウガラスに撥水コーティング剤を使用する場合は、シトロエン指定サービス工場にご相談ください。

ドライブコンピューター

●コントロールスイッチ



ドライブコンピューターは、ワイパーレバー先端のスイッチを押す、またはステアリングスイッチの左側のダイヤルを回すことにより、トリップコンピューター、トリップ1、トリップ2を切り替えて表示します。

●トリップコンピューター

トリップコンピューターは、走行可能距離、瞬間燃料消費量、エンジン停止時間を表示します。

●トリップ1 ／トリップ2

トリップ1 ／トリップ2は、平均速度、平均燃料消費量、走行距離を表示します。

例えば、トリップ1を月間の走行の平均に、トリップ2を旅行用に、と使い分けます。

●走行可能距離

タンク内に残っている燃料で、あとどのくらい走行できるかを表示します。

過去数キロに消費された燃料の情報をもとに、今後も同じ割合で燃料が消費されるものと想定して表示します。

走行可能距離が30km 以下になると、距離の表示はされません。

燃料の補給後は、数値が100km 以上になると再度表示されます。

MEMO

走行中に数値の代わりに－が連続して表示されるときは、シトロエン指定サービス工場へご連絡ください。

●瞬間燃料消費量

過去数秒間の燃料消費量を表示します。ただし、車の速度が時速30km 以上のときのみ作動し、表示します。

●エンジン停止時間

ストップ&スタートによってエンジンが停止した時間を表示します。イグニッションをオンにする度にゼロにリセットされます。

●平均速度

コンピューターをリセットしてから現在までの平均速度を表示します。

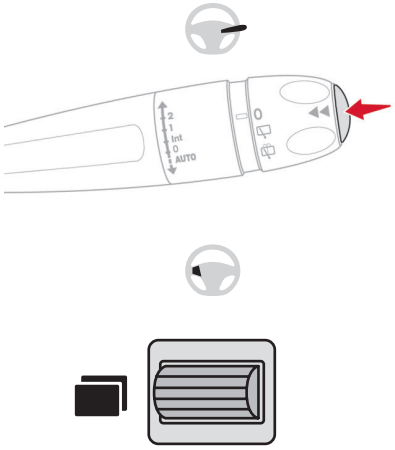
●平均燃料消費量

コンピューターをリセットしてから現在までの平均燃料消費量を表示します。

●走行距離

コンピューターをリセットしてから現在までの走行距離を表示します。

●リセット



トリップ1 ／トリップ2をリセットするときは、ワイパーレバーの先端のスイッチ、またはステアリングスイッチの左側のダイヤルを2秒以上押し続けます。

リセットは各トリップごとに行うことができます。リセット後しばらくはデータ不足のために正確な値が表示されないことがあります。
数字の代わりに水平なセグメントだけが表示されるときは、シトロエン指定サービス工場にご連絡ください。

Eco コーチ

Eco コーチはシトロエン BERLINGO の優れた環境性能を十分に発揮できるように、走行中のブレーキ、アクセル、ギアチェンジなどの運転操作の状況、タイヤ空気圧の状態、エアコン作動状況を診断し、ドライバーにエコドライブに関するアドバイスをする機能です。
Eco コーチによる運転操作などの診断、アドバイスはインストルメントパネルのディスプレイおよびタッチスクリーンに表示されます。

●インストルメントパネルのディスプレイの表示



ステアリングスイッチ左側のダイヤルを回します。インストルメントパネルのディスプレイに現在のブレーキおよびアクセル操作の状況が表示されます。

●タッチスクリーンの表示

次のタッチスクリーンの操作でギアチェンジ、タイヤ空気圧の状態、エアコンの作動状況などやそれぞれの項目に関するアドバイス、運転操作のスコアやスコアに応じたドライビングに関するアドバイスがタッチスクリーンに表示されます。

1.  にタッチします。
2.  にタッチします。
3. 画面下部のタブにタッチして各項目を表示します。



リセットにタッチすると運転操作のスコアやスコアに応じたドライビングに関するアドバイスをリセットすることができます。

第5章　室内装置の使いかた

エアコンディショナー····· 5-2
タッチスクリーン····· 5-7
ラゲッジルーム····· 5-17
ルームランプ····· 5-19
インテリア····· 5-21

エアコンディショナー

⚠警 告

エアコンを停止させると、空気の循環が全く行われません。ウィンドウが曇るので、一時的な停止にとどめてください。

⚠注 意

ストップ&スタートによってエンジンが停止しているときは、暖房や冷房も止まります。必要に応じてストップ&スタートを解除してください。

MEMO

- 室内の空気の入れ替えが十分に行えるように、装置を適切にコントロールしてください。
  - ・室内と設定温度に差があっても、設定温度は変更する必要はありません。自動制御により、できるだけ早く温度差を解消します。
  - ・外気温度が高温のとき、エンジンの負荷を軽減するために一時的にエアコンを停止することをお勧めします。
- 冬季のエアコンから吹き出す風量は、エンジンが温まる前の冷たいときは少なく、温度が上昇するのに合わせて多くなります。
- 冬季など外気温が低いときは、フロントウィンドウ、サイドウィンドウおよび足元により多くの温風が送られるように吹き出し口が自動的に調整されます。

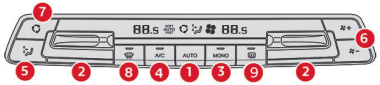
MEMO

- 空気の流れをスムーズにするために、次のことに注意してください。
  - ・ボンネット内の外気取り入れ口がふさがれていないか。
  - ・前席下のエアダクトや吹き出し口がふさがれていないか。
  - ・ラゲッジルーム内の空気排出口がふさがれていないか。
- ダッシュボードには日射センサーがあります。この上に物を置いたり、布を被せるなどしないでください。エアコンが正しく作動しない場合があります。
- エアコンを長期間、快適に使用するためにも、1ヶ月に1度は5分から10分間の使用を推奨しています。
- 長時間、高温の場所に停車すると、室内の温度は非常に高くなります。吹き出し風量を最大にして数分間、換気を行ってください。
- 室内フィルターは定期的に交換してください。2層構造の室内フィルターは、アレルギー物質や悪臭、油汚れの除去に効果を発揮し、室内の空気をよりきれいにします。

MEMO

●エアコンを正しくお使いいただくため、定期的に点検することを推奨しています。
●湿度が高いときなど、エアコンを使用していると車体の下から無色の水が流れ出ることがあります。これは空気中の水分が凝結したもので、異常ではありません。
●エアコンを使用していても冷気が出ないときは、使用を中止してシトロエン指定サービス工場にご連絡ください。

●左右独立式オートエアコン



運転席と助手席とで、別々に温度の設定ができます。
オートモードでは、ディスプレイに表示されているそれぞれの数値になるまで、エアコンのオン／オフ、内気／外気の切り替えや風量、吹き出し口が選択されます。

⚠注 意

寒冷時や雨天時には、ウィンドウの曇りを防ぐためにオートモードを選択してください。

●オートモード

MEMO

●オートモードでは、エアコンが適切に制御できるよう、各吹き出し口を開いた状態にしてください。
●ウィンドウが開いていると設定した温度を保てないことがあります。
●イグニッションをオフにしてもエアコン設定の記憶は残ります。

①：**オート設定ボタン**
ボタンを押して**SOFT**／**AUTO**／**FAST**のいずれかを選択してお好みのエアコンの作動モードを設定します。

AUTO SOFT	室内の送風量を制限し、静かで穏やかに作動します。
AUTO	室内の温度を最適に保ちながら、エアコンの作動音を抑えて作動します。
FAST AUTO	室内の送風量制御を効果的に最大限活かして作動します。

②：温度設定ボタン
ディスプレイの表示を希望の数値に合わせます。
ボタンを上に押すと温度が上がり、ボタンを下に押すと温度が下がります。
この値は室内温度ではなく、快適さのレベルを表しています。
21に設定しておくと、快適な室内となりますが、お好みにより**18**～**24**の間を設定してください。

MEMO

左右の温度設定の差が**3**以上にならないように設定してください。

③：MONO ボタン
助手席側の温度設定を運転席側の設定に合わせます。助手席側で温度設定が操作された場合には、この機能は自動的にオフになります。
ボタンの表示灯が点灯しているときはMONO モードがオン、消灯しているときはオフになっています。

● マニュアルモード
オートモードで設定された条件は個々に変更できます。
設定を変更するとディスプレイの **AUTO** が消えます。
変更した条件を元に戻すときは、オート設定ボタン①を押すとオートモードになります。

MEMO

温度を最高に設定したいときは、ディスプレイに **Hi** が表示されるまでボタンを上に押し、最低に設定したいときは、**Lo** が表示されるまでボタンを下に押します。

④：エアコンオン／オフボタン
このボタンを押すとエアコン（冷房・除湿機能）は停止します。エアコンを作動させるには、再度ボタンを押します。
インジケーターが点灯してエアコンが作動します。

⚠警 告

エアコンを停止させると、空気の循環が全く行われません。ウィンドウが曇るので、一時的な停止にとどめてください。

5

⑤：吹き出し口切り替えボタン
ボタンを押して6つのモードからお好みの吹き出し口を選択します。
・ フロントウィンドウ、サイドウィンドウ、足元
・ 足元
・ ダッシュボード中央・左右、足元
・ フロントウィンドウ、サイドウィンドウ、ダッシュボード中央・左右、足元
・ ダッシュボード中央・左右
・ フロントウィンドウ、サイドウィンドウ

⑥：風量調整ボタン
＋側のボタンを押すと風量が増加します。
－側のボタンを押すと風量が減少します。
風量のレベルはディスプレイにファンの羽根で表示されます。

MEMO

ディスプレイのファンの羽根が消えて - が表示されるとエアコンが停止します。室温の調整は行われませんが走行により微量の風が吹き出し口から出ます。
＋側のボタンを押すと、停止時の設定でエアコンが作動します。

⚠注 意

エアコンを停止させると、空気の循環が全く行われません。ウィンドウが曇るので、一時的な停止にとどめてください。

⑦：内／外気切り替えボタン
外気が車内に入るのを防ぎます。外のいやな臭いの遮断や急速に冷暖房するときに使用します。
ボタン⑦を押す度に内気モード／外気モードが切り替わります。ボタンのアイコンがディスプレイに表示されていないときは外気モード、表示されているときは内気モードになっています。
内気モードでの長時間の使用は避けてください。換気が行われず、ウィンドウが曇ることがあります。

⚠警 告

内気循環モードは、必要以外は使用しないでください。ウィンドウが曇るだけでなく、車内の空気が新鮮でなくなり、運転者の集中力が低下したり疲れやすくなるため、事故やケガにつながるおそれがあります。

●視界の確保

天候や乗車状況によっては、オートモードを選択していてもウィンドウガラスが曇ることがあります。フロント·サイド／リアそれぞれの視界確保モードを作動させて曇りを取ってください。

⚠警 告

すべてのウィンドウの視界が保たれないと、思わぬ事故につながるおそれがあります。

⑧：フロント・サイドウィンドウ



ボタンを押すとインジケーターが点灯し、システムは自動的に曇りを取り除くようにエアコンのオン／オフ、内気／外気の切り替えや風量、吹き出し口を選択してコントロールします。
このモードを解除するときは再度ボタンを押すか、オート設定ボタン①を押します。インジケーターが消灯します。

MEMO

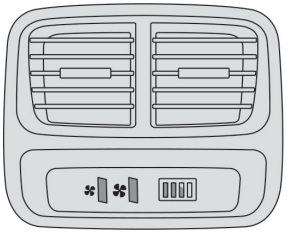
このモードを使用しているときは、ストップ&スタートの停止モードは使用できません。

⑨：リアウィンドウ



エンジンがかかっているときにこのボタンを押すと、インジケーターが点灯し、リアウィンドウやドアミラーの曇りを取ります。スイッチは自動的に切れます。
このモードを解除するときは再度ボタンを押します。インジケーターが消灯します。

●リアシート吹き出し口の風量調整 *



大きい羽根のアイコン側のスイッチを押すと風量が増加します。
小さい羽根のアイコン側のスイッチを押すと風量が減少します。
風量は4段階に調整でき、スイッチの横にあるインジケーターに表示されます。

MEMO

エアコン作動中にフロントシート吹き出し口の作動が停止しているときは、リアシート吹き出し口の小さい羽根のアイコン側のスイッチを押してインジケーターが消灯すると、リアシート吹き出し口からの送風も停止します。フロントシート吹き出し口が作動しているときは、リアシート吹き出し口のインジケーターが消灯していても少量の風が吹き出します。

タッチスクリーン

コンソールのタッチスクリーンから、車の設定やオーディオシステムの操作など、以下のような操作や表示が行えます。

- 車の機能の設定
- オーディオの設定
- タッチスクリーンの設定
- ハンズフリー通話の設定
- フロント／サイド／バックソナーなどの画面表示と設定
- 外気温度計
- カーナビゲーション *

⚠警 告

安全上の理由から、各種設定などの複雑な操作は、車両を停止し、イグニッションをオンにした状態で実施してください。

MEMO

本書に記載したタッチスクリーン関連の機能や操作方法、表示、デザインなどは、本書の編集時点のものです。
タッチスクリーンのシステムのバージョンアップや、オプションのナビゲーションの接続によってこれらが変わることがありますので、ご了承ください。

●タッチスクリーンの基本操作

タッチスクリーンを操作する際は、一本の指でやや強めにタッチおよびフリック（タッチした状態での指の移動）を行ってください。

MEMO

スクリーンを拭く際は、市販の不織布（メガネ拭きなど）をご使用いただけます。

* 仕様により異なります。

●ページの移動

← 前のページに戻ります。

MEMO

タッチスクリーンのグレーアウトされたエリアにタッチすると前のページに戻ります。

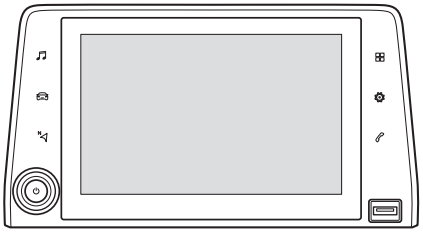
●設定の変更

OK 設定項目の変更後、変更画面にある **OK** にタッチして設定を有効にします。

●詳細設定

さらに詳細な設定項目がある場合には、このアイコンにタッチします。

●メニュー



アイコンにタッチするとそれぞれ以下のような設定が行えます。

オーディオやラジオの再生・設定画面を表示します。

車の機能の設定画面を表示します。

ナビゲーションを表示します。（装着車のみ）
Apple CarPlay や Android Auto のマップを表示します。（使用中のみ）*

画像ファイルを表示します。
Eco コーチを表示します。

タッチスクリーンの設定画面を表示します。

ハンズフリー通話の通話・設定画面を表示します。
Apple CarPlayやAndroid Autoの画面を表示します。(使用中のみ)

ツマミを回して音量を調節できます。ツマミを押すと、ミュート（消音／停止）になります。

MEMO

- ●タッチスクリーンの設定は、各設定画面上部の ⚙ にタッチしても行うことができます。
- ●タッチスクリーンに指3本でタッチすると、メニューが表示されます。
- ●オーディオ、ハンズフリー通話、Apple CarPlay や Android Auto に関しては、付録を参照してください。
- ●ナビゲーションに関しては、ナビゲーションの取扱説明書を参照してください。

* 仕様により異なります。

●日付と時刻の設定

時刻の設定

1.  にタッチします。
2.  にタッチします。
3. **時間**にタッチします。
4. 時間にタッチしてタッチスクリーンで数値を入力します。
5. **OK**にタッチします。

日付の設定

1.  にタッチします。
2.  にタッチします。
3. **日付**にタッチします。
4. 日付けにタッチし、画面をスクロールして、日付を設定します。

●車の設定項目一覧

アイコン			設定項目	追加設定項目
	ドライビング機能	パークアシスト *	パークアシストを開始します。	-
		インテリジェントハイビーム	アイコンにタッチすると、インテリジェントハイビームがオン／オフします。	-
		ストップ＆スタート	アイコンにタッチすると、ストップ＆スタートがオン／オフします。	-
		パーキングセンサー	アイコンにタッチすると、フロント／サイド／バックソナーがオン／オフします。	-
		ブラインドスポットモニター	アイコンにタッチすると、ブラインドスポットモニターがオン／オフします。	-
		タイヤ空気圧警告　初期化	間接式タイヤ空気圧警告の初期化を行います。	-
		トラクションコントロール *	アイコンにタッチすると、ASR システムがオン／オフします。	-
		ダイアグノシス	不具合の発生状況を呼び出します。	-

* 仕様により異なります。

アイコン				設定項目	追加設定項目
	車両設定	パーキング	電格ミラー	アイコンにタッチすると、オン／オフします。 OFF にすると、解錠／施錠時にドアミラーが展開／格納します。	-
			リバース連動 リヤワイパー	アイコンにタッチすると、オン／オフします。 リバース時にリアワイパーが作動します。（フロントワイパー作動時）	-
		ヘッドライト	フォローミー ホームライト	アイコンにタッチすると、フォローミーホームがオン／オフします。	点灯時間を設定することができます。
			ウェルカムライト	アイコンにタッチすると、エクステリアウェルカムランプがオン／オフします。 リモコンによって解錠したときに一定時間ライトが点灯します。	点灯時間を設定することができます。
		コンフォート	アンビエンスライト	アイコンにタッチすると、アンビエンスイルミネーションがオン／オフします。	明るさを調整することができます。

アイコン				設定項目	追加設定項目
	車両設定	セーフティー	アクティブセーフティブレーキ	アイコンにタッチすると、アクティブセーフティブレーキがオン／オフします。	車間距離を設定することができます。
			制限速度の表示 / 推奨速度	アイコンにタッチすると、速度規制標識の認識機能がオン／オフします。	-
			トラフィックサインインフォメーション	アイコンにタッチすると、道路標識の認識機能がオン／オフします。	-
			疲労検知システム	アイコンにタッチすると、ドライバーアテンションアラートがオン／オフします。	-

●タッチスクリーンの設定項目一覧（メニューからの設定）

アイコン			設定項目	追加設定項目
		**単位**	温度の単位や燃費表示の単位を設定します。	-
		初期設定	タッチスクリーンの初期化を行います。	-
		システム情報	タッチスクリーンのシステム情報を参照します。	-
		プライバシー	GPS（車両の位置情報）の共有を制限する機能です。 **会社の車両以外はデータ共有ができません**：GPS の共有を制限します。Apple CarPlay や Android Auto の接続が無効になります。 **データのみシェア**：GPS の共有を制限します。Apple CarPlay や Android Auto の接続が無効になります。 **データ及び車両位置情報をシェア**：GPS の共有を許可します。Apple CarPlay や Android Auto の接続が有効になります。	-

アイコン		設定項目	追加設定項目
	 明るさ	タッチスクリーンの画面の明るさを調整します。	-
	アニメーション	画面のアクションなどを設定します。	-
		画面の色を変更します。	-
		言語を設定します。	-
		日時を設定します。	-

●タッチスクリーンの設定項目一覧（各設定画面上部にある ⚙ からの設定）

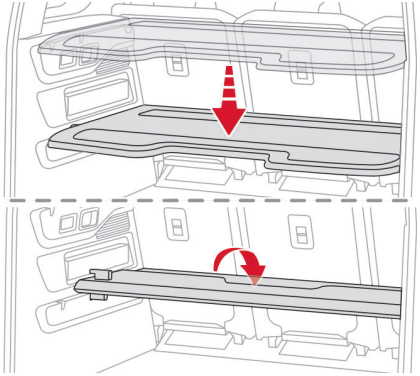
アイコン			設定項目		追加設定項目
⚙				タッチスクリーンの画面が消灯します。	-
				タッチスクリーンの画面の明るさを調整します。	-
				タッチスクリーンのプロファイルを設定します。	-
			**単位**	温度の単位や燃費表示の単位を設定します。	-
			初期設定	タッチスクリーンの初期化を行います。	-
			システム情報	タッチスクリーンのシステム情報を参照します。	-
			プライバシー	GPS（車両の位置情報）の共有を制限する機能です。 **会社の車両以外はデータ共有ができません**：GPS の共有を制限します。Apple CarPlay や Android Auto の接続が無効になります。 **データのみシェア**：GPS の共有を制限します。Apple CarPlay や Android Auto の接続が無効になります。 **データ及び車両位置情報をシェア**：GPS の共有を許可します。Apple CarPlay や Android Auto の接続が有効になります。	-

アイコン			設定項目	追加設定項目
		 **明るさ**	タッチスクリーンの画面の明るさを調整します。	-
		アニメーション	画面のアクションなどを設定します。	-
			画面の色を変更します。	-
			言語を設定します。	-
			日時を設定します。	-
			表内の**プライバシー**の項目を参照してください。	-

* 仕様により異なります。

ラゲッジルーム

●2ポジションラゲッジトレイ *



2ポジションラゲッジトレイは、高い位置または低い位置にすることができます。高い位置にすると、ラゲッジルームを2ポジションラゲッジトレイで隠すことができます。低い位置にすると、2ポジションラゲッジトレイの上に荷物を積むことができます。また、2ポジションラゲッジトレイは後ろ半分を前方に折りたたむことができます。
2ポジションラゲッジトレイはリアシート後ろ側に立てかけて格納することができます。リアシート後ろ側に立てかけるときは、後ろ半分を折りたたみ、低い位置の固定部から2ポジションラゲッジトレイの突起をはずした状態でリアシート後ろ側にスライドさせます。

⚠警 告

2ポジションラゲッジトレイを高い位置にしているときは、2ポジションラゲッジトレイの上に荷物を積まないでください。急ブレーキのときなどに荷物が放り出されて乗員に当たり、思わぬケガや事故につながるおそれがあります。

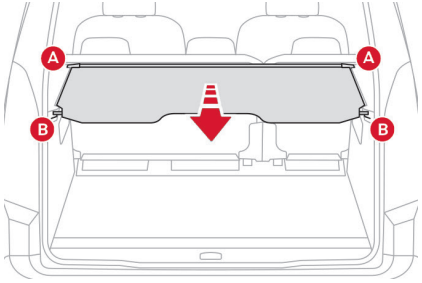
MEMO

2ポジションラゲッジトレイを低い位置にしているときの最大荷重量は約25kg です。

●ラゲッジルームカバー *

ラゲッジルームをラゲッジルームカバーで隠すことができます。

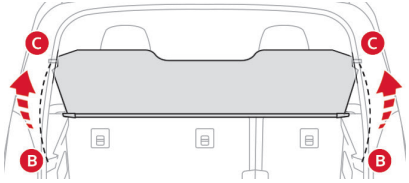
ラゲッジルームカバーの取り付け



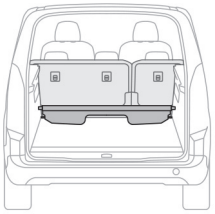
1. ラゲッジルームカバーのローラーの両端をサポート部 **A** に置きます。
2. カバーを引き出し、ピラー部 **B** のレールに差し込みます。

MEMO

ラゲッジルームカバーをピラー部 **B** からピラー部 **C** へ持ち上げることで、リアオープニングガラスハッチの開口部からラゲッジルームの荷物を取り出すことができます。



ラゲッジルームカバーの格納

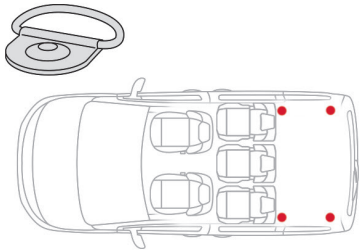


ラゲッジルームカバーは取りはずしてリアシート後方に格納することができます。

1. ラゲッジルームカバーを後方に引いて、ピラー部のレールから取りはずし巻き取ります。
2. サポート部のグリップを押してロックをはずし、ローラーを取りはずします。
3. リアシート後方に格納します。

* 仕様により異なります。

●固定リング *



ラゲッジルームには荷物用の固定リングが4つ備え付けられています。

⚠注 意

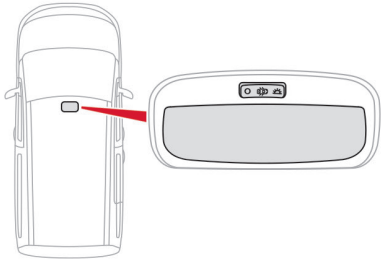
●荷物を固定するネットなどは必ず荷物用の固定リングに取り付けてください。他のフックやチャイルドシートを固定するための金具には取り付けないでください。
●急ブレーキのときなどに荷物が動かないように、重い荷物はラゲッジルームの前方部分に固定してください。

注 意

ラゲッジルーム内を洗浄ノズルなどで直接水をかけて清掃しないでください。

ルームランプ

●タイプ1



ルームランプは、スイッチの位置を切り替えると点灯条件が変更できます。

次の状況でルームランプは点灯します。

・ドアのロックを解除したとき
・イグニッションをオフにしたとき
・ドアが開いたとき
・車外からスマートキーが操作されたとき

また、次の状況では徐々に暗くなって消灯します。
・ドアをロックしたとき
・イグニッションをオンにしたとき
・最後のドアが閉まって30秒後（エンジンがかかっている場合はドアが閉まった直後）

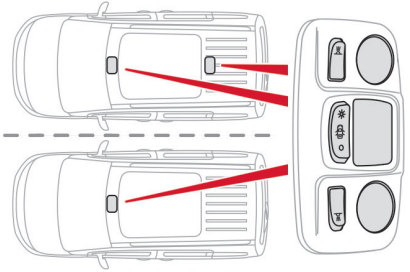
消灯したままになります。

点灯したままになります。

点灯時間は、次の状況で変わります。
・イグニッションをオフにして約10分間
・エコノミーモードで約30秒間
・エンジンを始動すると無制限

●タイプ2

フロント／リアルームランプ *



フロント／リアルームランプは、スイッチの位置を切り替えると点灯条件が変更できます。

次の状況でルームランプは点灯します。

- ドアのロックを解除したとき
- イグニッションをオフにしたとき
- ドアが開いたとき
- 車外からスマートキーが操作されたとき

また、次の状況では徐々に暗くなって消灯します。

- ドアをロックしたとき
- イグニッションをオンにしたとき
- 最後のドアが閉まって30秒後（エンジンがかかっている場合はドアが閉まった直後）

消灯したままになります。

点灯したままになります。

点灯時間は、次の状況で変わります。

- イグニッションをオフにして約10分間
- エコノミーモードで約30秒間
- エンジンを始動すると無制限

フロント／リアマップランプ *

イグニッションがオンのときスイッチを押すと点灯／消灯します。

注 意

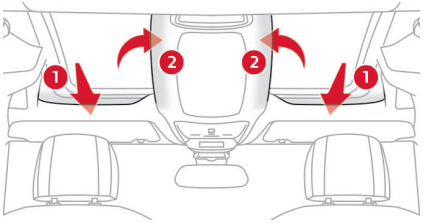
ルームランプ／マップランプに何も物が触れないようにしてください。

* 仕様により異なります。

インテリア

●マルチパノラミックルーフ MODUTOP®

小物入れ（フロント／センター）

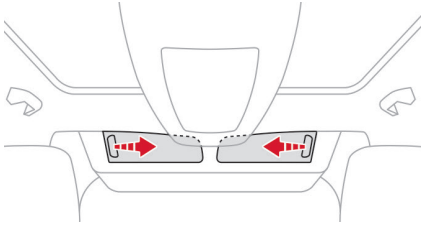


サンバイザー上部①と天井中央部②に小物入れが装備されています。
小物入れの最大荷重量は約6kg です。

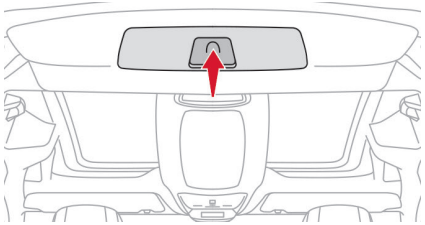
⚠警 告

急ブレーキのときなどに荷物が放り出されて乗員に当たり、思わぬケガや事故につながるおそれがあります。

小物入れ（リア）



リアシート側から開けるとき



ラゲッジルーム側から開けるとき

リアシート後方には容量約60リットルの小物入れが装備されています。
リアシート側から小物入れを開けるときは、シャッターをスライドさせます。ラゲッジルーム側から小物入れを開けるときは、ふたのハンドルを引きます。
小物入れの最大荷重量は約10kg です。

⚠警 告

小物入れのふたを開けたまま走行しないでください。急ブレーキのときなどに荷物が放り出されて乗員に当たり、思わぬケガや事故につながるおそれがあります。

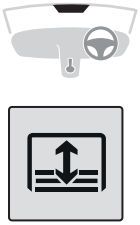
⚠注 意

小物入れを開けるときは、中の荷物が飛び出さないように注意してください。

アンビエンスイルミネーション

天井中央部の小物入れにはアンビエンスイルミネーションが装備されています。ポジションランプまたはヘッドランプが点灯しているときに点灯します。
アンビエンスイルミネーションの点灯／消灯、照度の調整は、タッチスクリーンで設定します。

電動式サンシェード

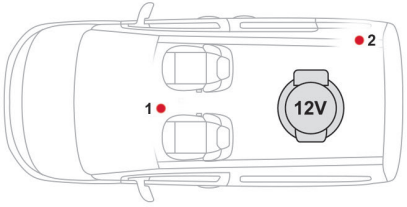


開くときは、ボタンの後ろ側を押し続けます。ボタンから手を離すとサンシェードが停止します。
閉じるときは、ボタンの前側を押し続けます。ボタンから手を離すとサンシェードが停止します。

⚠警 告

- ●電動式サンシェードを操作するときは、障害物がないか確認をしてください。誤って接触したときは、直ちに電動式サンシェードを開けてください。
- ●同乗者が電動式サンシェードを操作するときも十分に注意してください。
- ●お子さまには電動式サンシェードの操作をさせないでください。

● 12V 電源ソケット



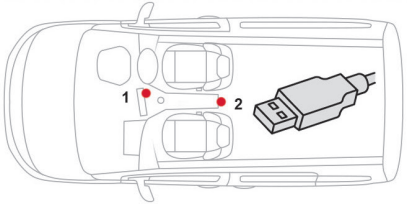
12V 電源ソケットはハイセンターコンソールの下部①およびラゲッジルーム②にあります。
12V 電源（最大使用電力：120W）を使用する際は、カバーを持ち上げてはずし、適切なアダプターを接続します。

注 意

- ●12V 電源ソケットを使用するときは、最大使用電力を守ってください。規定容量を超える電気製品を使用すると、車両ヒューズが切れることがあります。
- ●接続する機器によっては、車に適合しなかったり正常な作動を妨げる可能性があります。

* 仕様により異なります。

●USB ポート



①タッチスクリーン画面右下
USB ポートにさまざまなデバイスをつなげ、保存された音楽を車両スピーカーで楽しむことができます（接続する機器やファイル形式により再生できないものもあります）。
ステアリングスイッチおよびタッチスクリーンで再生操作が行えます。
USB ポートを使用すると、接続したデバイスが自動的に検出されます。

MEMO

- ●USB ポートへ接続すると、自動的に接続した機器の充電が行われます。
- ●使用電力が規定容量を超える機器を使用するとメッセージが表示されることがあります。

②センターコンソール後方下側 *
センターコンソール後方下側にあるUSB ポートへ携帯機器を接続すると、接続した機器の充電が行われます。

MEMO

- ●接続した携帯機器に保存された音楽を車両スピーカーから再生することはできません。
- ●使用電力が規定容量を超える機器を使用するとメッセージが表示されることがあります。

●ワイヤレス充電器 *





ワイヤレス充電器は、ワイヤレスパワーコンソーシアム（WPC）によるワイヤレス充電規格Qiに適合したスマートフォンなどの携帯機器を、Qi マークのある充電エリアに置くだけで充電することができます。

MEMO

「Qi（チー）」は、Wireless Power Consortium の登録商標です。

充電



エンジン回転中に携帯機器の充電面を下にして、充電エリアの中心付近に置くと、表示灯が緑色に点灯し、充電が開始されます。充電が完了すると、表示灯が消灯します。

MEMO

- ●携帯機器の充電を開始する前に、充電エリアに異物がないか確認してください。
- ●携帯機器の充電は、1度につき1つの機器のみ可能です。
- ●ストップ＆スタートの停止モードのときも充電できます。
- ●ドアを開けたり **ENGINE START/STOP** スイッチの操作を行うと一時的に充電が停止することがあります。

表示灯



消灯しているとき
- エンジンが停止しています
- 充電が完了しています
- 充電エリアに携帯機器がありません

緑色に点灯しているとき
- 携帯機器を検出しています
- 充電中です

橙色に点滅しているとき
- 携帯機器と充電エリアの間に異物があります
- 携帯機器が充電エリアの中心からずれました

橙色に点灯しているとき
- 携帯機器に異常があります
- 携帯機器の温度が上昇しました
- ワイヤレス充電器が故障しました

MEMO

- ●表示灯が橙色に点滅したら、携帯機器と充電エリアの間にある異物を取り除くか、携帯機器を充電エリアの中心付近に置き直してください。
- ●表示灯が橙色に点灯したら、一旦充電を停止し、しばらくしてから充電を開始してください。解決しない場合は、シトロエン指定サービス工場へご連絡ください。

⚠警 告

- ●安全上の理由から、携帯機器を充電する場合、車両を停止した状態で操作してください。
- ●ワイヤレス充電器が心臓ペースメーカーなど医療用機器に影響をおよぼすおそれがあります。事前に医療用機器メーカーなどに確認してください。

* 仕様により異なります。

⚠警 告

●機器の故障や火災を防ぐために、次のことをお守りください。
- 携帯機器と充電エリアの間に金属製のものなどを挟まないでください。
- 充電エリアにものを置かないでください。
- 強い衝撃を与えないでください。
- 分解や改造をしないでください。
- 指定の携帯機器以外は使用しないでください。
- 磁気を帯びたものを近付けないでください。
- 充電エリアが汚れた状態で充電しないでください。
- 充電エリアを水などで濡らさないでください。

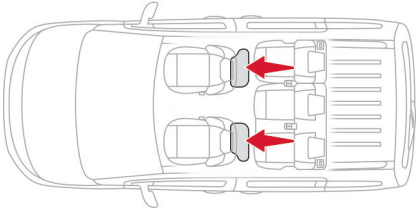
注 意

携帯機器の充電中は、充電エリアの付近にコインやスマートキーなどの金属製のものなどを置かないでください。発熱により機器が故障するおそれがあります。

MEMO

●充電中は携帯機器が温かくなることがありますが、異常ではありません。
●携帯機器にカバーやアクセサリーを取り付けた状態で充電しないでください。カバーやアクセサリーの種類によっては、充電できないことがあります。
●近くに強い電波を発する設備があるときは充電できないことがあります。
●携帯機器の種類により充電できないことがあります。
●携帯機器の取扱説明書も参照してください。

●リアシートフロア収納ボックス*

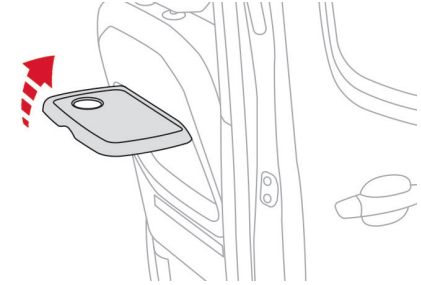


リアシートの足元にフロア収納ボックスが2つあります。取っ手を持って開けます。

⚠注 意

走行中、リアシートフロア収納ボックスのふたは必ず閉めてください。

●フロントシートバックテーブル*



フロントシートのバックレスト背面には、可倒式のテーブルが装備されています。
使用するときはテーブルを引き上げます。
収納するときは、テーブルを押し下げます。

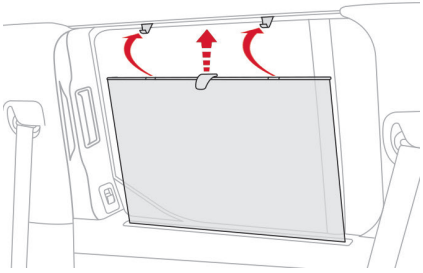
⚠注 意

テーブルに固いものや重い物を載せないでください。急ブレーキのときなどに放り出されて乗員に当たり、思わぬケガや事故につながるおそれがあります。

MEMO

安全のため、テーブルに強い力がかかるとバックレスト側に倒れます。

●リアシートのサンシェード *



リアシート用のサンシェードは、後席スライドドアに装備されています。
サンシェードを閉めても外の景色を見ることができます。
使用するときは、タブを引き上げてサンシェードを引き出し、フックに引っ掛けて固定します。

⚠注 意

サンシェードを引き出したり、戻したりするときは、タブを持ってゆっくり行ってください。

MEMO

●サンシェード周辺部（サンシェードやサンシェードフックなど）に、重たい物を取り付けたり、つり下げたりしないでください。
●後席スライドドアを開けるときは、サンシェードがフックに確実に固定されていることを確認してください。

* 仕様により異なります。

第6章　お手入れ・メンテナンス

外装のお手入れ…… 6-2
内装のお手入れ…… 6-3
エンジンルームの点検…… 6-4
電球の交換…… 6-7
ヒューズの交換……6-14
燃費の改善について……6-15
推奨交換時期……6-16
推奨油脂類……6-16
推奨点検時期……6-17

外装のお手入れ

自動車の使用される環境はさまざまで、工場地帯の酸やススを含んだ空気、鉄道沿線の鉄粉、沿岸部の塩分を含んだ風、積雪地帯の融雪剤などは車体に対して腐食、錆といった悪影響を与えます。
長期間にわたって車を美しく安全に使用していただくためには、こまめなお手入れをお勧めします。

●洗車機による洗浄

通常のお手入れは、洗車機による洗浄で十分です。
ただし、ボンネットの合わせ目、ドアの下などは汚れが残ることが多いので、手洗いをお勧めします。

●手による洗浄（手洗い）

まずホースでたくさん水をかけて、ほこりを落とします。
次にスポンジと適当に薄めたカーシャンプーで車体の上から下へと洗います。
最後に車体の下側をホースで水をかけてきれいにします。

注 意

●塗装の劣化や車体の腐食や錆を防ぐために、次のような場合は直ちに洗車して汚れを落としてください。
・海岸部を走行した後
・積雪地帯で融雪剤などを散布した道路を走行した後
・樹液、花粉、鳥のふん、虫の死がい、コールタールなどが付着したとき
・泥など汚れが付着したとき
・塗装面にガソリンやベンジンなどの有機溶剤が付着したとき
●溶剤や研磨剤入り洗剤、ガソリンやオイルなどを使用したり、研磨スポンジなどで強くこすったりしないでください。
●自走式の洗車機を使用するときは、ドアおよびテールゲートを施錠し、スマートキーを車両周辺の検知エリアから出してください。
●洗車場などで高圧洗浄する場合、洗浄ノズルを少なくとも30cm 以上ボディ（ドアシール、カメラやセンサー、塗装面が弱くなっている箇所など）から離してご使用ください。

注 意

●寒冷時の洗車は行わないでください。ブレーキに水がかかったり、ブレーキ装置に水が入ったりすると凍結し、走行できなくなるおそれがあります。
●ボディが熱いときや炎天下での洗車は行わないでください。水や洗剤が拭き取る前に蒸発し、ボディにはん点が残ることがあります。
●ワックスがけは塗装面の汚れを洗車などで取り除き、ボディが乾いてから行ってください。ワックスは容器に記載されている説明に従ってかけてください。
●炎天下でのワックスがけは行わないでください。必ず塗装面が冷えているときにワックスをかけてください。
●塗装されていないバンパーなどの樹脂部品やゴム部品、ガラス、ミラーやカメラレンズ部にワックスを使用しないでください。ワックスが付着したら、中性洗剤を薄めて柔らかい布に含ませ拭き取ってください。

* 仕様により異なります。

注 意

●デカール部分には高圧洗浄機を使用しないでください。傷が付いたり、はがれたりするおそれがあります。*
●デカール部分の洗浄は、ホースで25℃～40℃の水をたくさんかけて行ってください。ホースの水はデカールのカット部分へ斜めに当てず、正面からかけてください。*

MEMO

●汚れがひどく通常のお手入れでは落とせない場合は、シトロエン指定サービス工場にご相談ください。
●塗装面の修復はシトロエン指定サービス工場にご相談ください。

内装のお手入れ

●ビニール（インストルメントパネル、ドアトリムパッド、ヘッドライニング）

やわらかい布に温かい石けん液を含ませ、よくしぼって拭きます。

●シートベルト

石けん水をつけた固くしぼった布で、ベルト部分だけを拭きます。
清掃時は、金属部分に水が付かないようにしてください。
シトロエン販売店では、シートベルトに使用できるクリーニング製品を取り扱っています。

●ウィンドウガラス、ミラー

市販のガラス専用クリーナーで洗浄してください。

●フロアマット、カーペット

車外に取りはずし、ほこりや砂を十分に落として内装用洗剤で洗ってください。

●長期間使用しないとき

車を長期間使用しないときは、保管中の故障を防ぐために以下の保守を行ってください。

保管前に行うこと

・タイヤのフラットスポット（変形）を防ぐために、タイヤ空気圧を規準より30～50% ぐらい上げてください。
・バッテリーの端子をはずしてください。
・必要に応じて、ボディーカバーをかけてください。

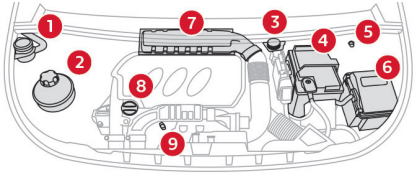
保管中に行うこと

1ヶ月に1回程度、バッテリーの端子を接続してエンジンを数分～数十分かけてバッテリーを充電してください。

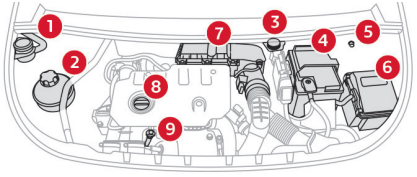
⚠警 告

車内を清掃するときは、ホースで水をかけたり、高圧洗浄機などを使用しないでください。また、洗剤などの液体をこぼさないでください。電気部品などにかかると、故障や火災につながるおそれがあります。

エンジンルームの点検



ガソリンエンジン



ディーゼルエンジン

①：ウィンドウウォッシャー液タンク
②：クーラント（冷却水）タンク
③：ブレーキフルードタンク
④：バッテリー
⑤：アースポイント（−）
⑥：ヒューズボックス
⑦：エアフィルター
⑧：エンジンオイル注入口
⑨：エンジンオイルレベルゲージ

⚠警 告

●エンジンルーム内の点検をする前に、エンジンが冷えていることを確かめてください。
エンジンが熱いときは、イグニッションがオフになっていてもファンが回りだして、思わぬケガをすることがあります。
●エンジンルームから蒸気や冷却水が噴き出ている場合は、ボンネットを開けないでください。やけどやケガを負うおそれがあります。
●作業手順がわからない場合や、必要な工具が不足していたり工具の使用方法がわからない場合は、作業を行わないでください。
●エンジンが停止しているのを確認し、スマートキーを車外に出してください。また、シフトポジションが **P** で、パーキングブレーキがかかっていることを確認してください。
●ディーゼルエンジンは高圧の燃料噴射装置を採用しています。点検や整備はシトロエン指定サービス工場にお申し付けください。

⚠警 告

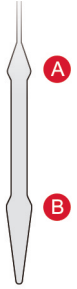
●熱くなっているエンジンの部品には触れないでください。また、熱くなっているエンジンやエキゾーストシステムの上に、オイルなどの液体をこぼさないでください。やけどや火災のおそれがあります。

⚠注 意

エンジンルームのカバー類を取りはずすときは、止めているクリップを損傷しないように注意してください。また、取り付けるときにも注意して取り付けてください。
カバーがしっかりと取り付けられていないと、走行中にはずれて可動部に巻き込まれるなどして、故障や事故の原因になることがあります。

●エンジンオイルの点検

1. 車を水平な場所に停めます。
2. エンジンを停止して30分以上経過してからオイルレベルゲージを抜き取り、布でオイルを拭き取ります。
3. 元の穴にいっぱいに差し込み、再び静かに抜いてゲージに付いたオイルで油量を調べます。



A：上限

B：下限

レベルゲージに付着したオイルの汚れ具合も点検します。オイルはエンジンの回転によって消費されますので、次のオイル交換までの間にオイルを補充しなければいけないことがあります。
走行5000km ごとにオイルレベルを点検し、必要に応じて補充してください。
オイルの消費量が急に増えたり、汚れがひどくなったときは、シトロエン指定サービス工場で点検を受けてください。

注 意

遠方へのお出かけ前だけでなく、日頃からエンジンオイルの点検をしてください。

●エンジンオイルの補給

補充する前に、オイルレベルゲージを抜き取っておきます。オイルレベルが上限を超えないようにしてください。補充が完了した後は、キャップの閉め忘れに注意してください。

●エンジンオイルの交換

交換頻度は、この章の「推奨交換時期」をご覧ください。
ただし、市街地や山岳地の走行が多いときには、オイル交換を早めに行います。

注 意

●エンジンを正常な作動状態に保つため、エンジンオイルに添加剤を入れることは避けてください。
●オイルの交換の際は、騒音や排気ガス規制を遵守するためにも、シトロエン純正部品のご使用をお勧めします。

●オイルフィルター

交換頻度は、この章の「推奨交換時期」をご覧ください。
交換するオイルフィルターは、シトロエンの純正部品をご使用ください。

●冷却水の点検

点検は、エンジンを停止してから1時間以上経過して、冷却水が冷えていることを確認してから行ってください。冷却水が少ないときは、冷却水を補給します。
冷却水の減りが著しいときは、シトロエン指定サービス工場で点検を受けてください。
冷却水の補給には、シトロエン純正クーラントを使用してください。

⚠警 告

ラジエター内の圧力が低下する前にキャップをはずすと、高温の冷却水が噴出しやけどの原因になります。

MEMO

●冷却水の補給はシトロエン指定サービス工場にお申し付けください。
●冷却水の交換は必要ありません。

●ブレーキフルードの量
ブレーキフルードの量は、タンクのMAXレベル付近にあれば適正です。定期的に量を確認してください。

●ブレーキフルードの交換
ブレーキフルードは、時間がたつと吸湿し耐熱温度が低く（ベーパーロックが起こりやすく）なりますので、定期的に交換してください。
交換頻度は、この章の「推奨交換時期」をご覧ください。

⚠警 告

ブレーキフルードが肌に直接触れるのは避けてください。腐食性が強く、健康に害を及ぼすことがあります。

注 意

ブレーキフルードは車の塗装面を傷めますので、付着した際にはすぐに水で洗い流してください。

MEMO

ブレーキフルードの交換をしたら、タンクのキャップの汚れを落としてから取り付けてください。

●オートマチックトランスミッションフルード（ATF）
交換の必要はありません。

●ウォッシャー液
タンク内のウォッシャー液が少ないときは、シトロエンの推奨品を補給してください。

●バッテリー
特に寒冷地の使用では、冬になる前にシトロエン指定サービス工場でのチェックをご依頼ください。

●燃料フィルター（ディーゼル車）
交換頻度は、この章の「推奨交換時期」をご覧ください。
交換する燃料フィルターは、シトロエンの純正部品をご使用ください。

●エアフィルター、室内フィルター
交換頻度は、この章の「推奨交換時期」をご覧ください。
市街地やほこりが多いところでの走行が多いときは、早めに交換してください。
交換はお近くのシトロエン指定サービス工場にご依頼ください。

●ブレーキパッド
ブレーキパッドは運転の状況により消耗の度合いが変わります。定期的に点検を受けてください。ブレーキパッドが摩耗するとブレーキフルードのレベルも下がります。

●ブレーキディスク
ブレーキディスクは消耗部品です。シトロエン指定サービス工場で定期的に点検を受けてください。

●エレクトリックパーキングブレーキ
交換の必要はありませんが、異常が発生した場合は、シトロエン指定サービス工場にご連絡ください。

● AdBlue® の補充（ディーゼル車）

補充頻度は、この章の「推奨交換時期」をご覧ください。
だたし、運転の状況により消費の度合いが変わります。また、AdBlue® 警告が表示されたら、シトロエン指定サービス工場で補充をしてください。
AdBlue® の残量がなくなると、エンジンを始動できなくなります。

⚠注 意

環境汚染防止のために、使用済みのエンジンオイルやブレーキフルードなどは、絶対に地面や下水に廃棄しないでください。

注 意

- ●車のパフォーマンスを最大に引き出すためには、パワーステアリングやブレーキシステム同様、シトロエンが指定する部品を使用することが重要です。
- ●エンジン本体への高圧洗浄は、電子機器への影響を避けるためにも絶対におやめください。

電球の交換

⚠警 告

- ●作業手順がわからない場合や、必要な工具が不足していたり工具の使用方法がわからない場合は、作業を行わないでください。
- ●電気回路を改造しないでください。

⚠注 意

- ●エンジン停止直後はエンジンルーム内が高温になっています。ボンネットを開けるときや電球を交換するときはやけどに注意して作業を行ってください。
- ●手や衣類（スカーフやマフラーなど）をエンジンのファンやベルトから離してください。手や衣類が巻き込まれ、重大な傷害を受けるおそれがあります。
- ●電球の表面が冷えてから交換してください。消灯直後は電球の表面が高温になっているため、やけどをするおそれがあります。

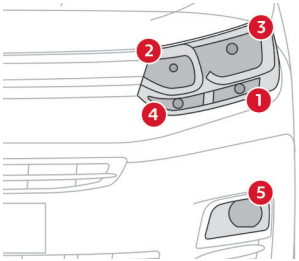
注 意

- ●交換する電球には、油などの汚れを付けないでください。電球はきれいで乾いた布で持ち、指紋などを付着させないでください。
- ●ヘッドランプの透明レンズはプラスチック製です。溶剤を使用したり、粗い布などで強くこすらないでください。
- ●高圧洗車機を使用するときは、ヘッドランプ付近に長時間当てないでください。塗装がはがれるおそれがあります。
- ●交換作業中に電気配線を切断しないように注意してください。
- ●ヘッドランプを交換するときは、UV カット仕様の電球を使用してください。ヘッドランプのレンズなどが変色するおそれがあります。
- ●電球の交換の際は、必ず同じ規格の新しい電球を使用してください。

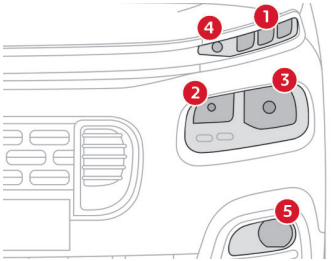
MEMO

低温高湿度のときなど、ヘッドランプの透明レンズの内側が曇ることがありますが、異常ではありません。ライトが点灯すると、数分で消滅します。

●ヘッドランプ



モデル1



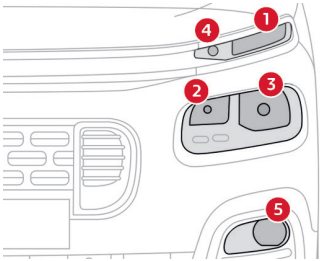
モデル2

①：ポジションランプ／デイタイムランニングランプ
（W21 ／5 W ／LED）
②：ハイビームヘッドランプ（H1）
③：ロービームヘッドランプ（H7）
④：方向指示器（PY21 W）
⑤：フロントフォグランプ（H11）*

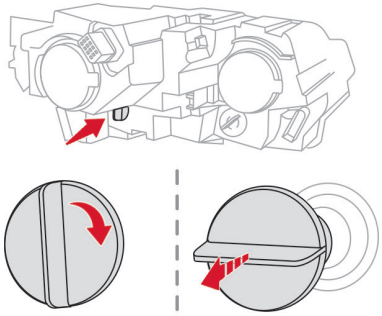
MEMO

●フロントフォグランプの交換はシトロエン指定サービス工場にお申し付けください。
●LED ランプの交換はシトロエン指定サービス工場にお申し付けください。
●ハロゲンバルブは、バルブが適切な向きに固定されるように正しく取り付けてください。
●電球のカバーを戻すときは、すき間ができないようにしっかりと取り付けてください。
●電球のカバーは、次回交換時にタブを引きやすい位置に合わせて取り付けてください。
●電球の交換をした後は、ランプが正しく点灯することを確認してください。

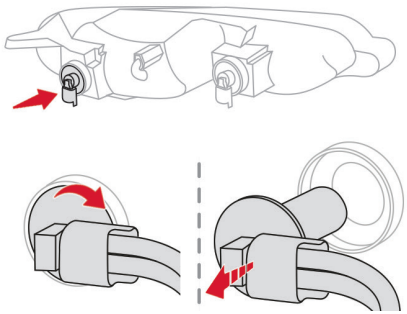
* 仕様により異なります。



モデル3



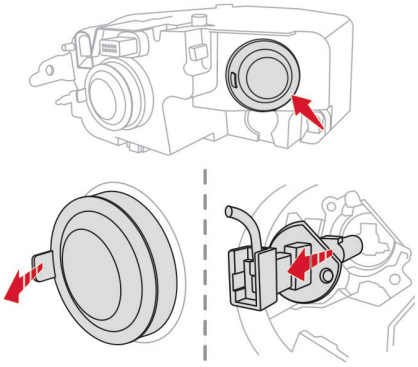
モデル1



モデル3

①：ポジションランプ／デイタイムランニングランプ用電球
（モデル1 ／モデル3：W21 ／ 5 W）

1. コネクターを1 ／ 4回転させます。
2. バルブコネクターを引き抜きます。
3. 電球を交換します。

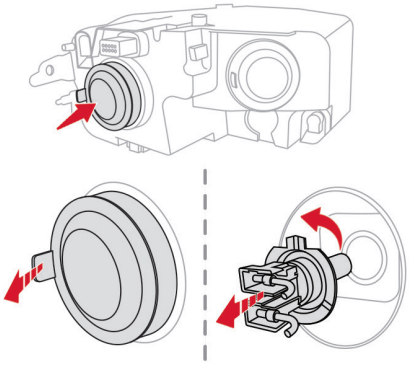


②：ハイビームヘッドランプ用電球（H1）

1. タブを引いて、交換する電球のカバーをはずします。
2. コネクターをはずします。
3. バルブを固定しているスプリングを押してフックからはずします。
4. 電球を交換します。

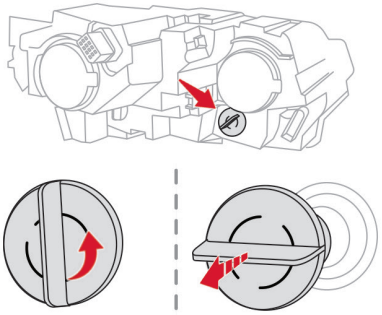
MEMO

電球を交換した後、スプリングがフックに固定されていることを必ず確認してください。

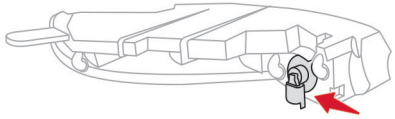


③：ロービームヘッドランプ用電球（H7）

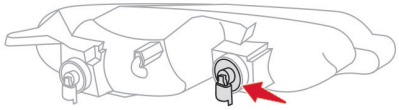
1. タブを引いて、交換する電球のカバーをはずします。
2. バルブユニットを車両内側に向かって引いてはずします。
3. コネクターをはずします。
4. 電球を交換します。



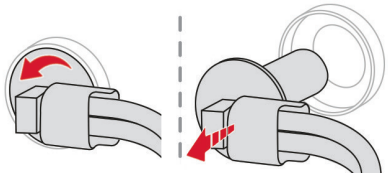
モデル1



モデル2



モデル3



④：方向指示器用電球（PY21 W）

1. コネクターを反時計回りに1 ／ 4回転させます。
2. バルブユニットを取り出します。
3. 電球を交換します。

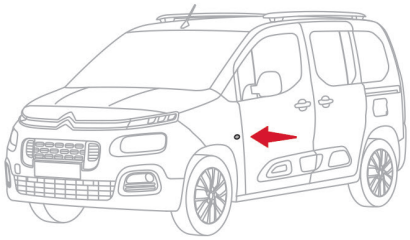
注 意

色付きバルブは、同じ規格の同じ色の電球を使用してください。

MEMO

インストルメントパネルのウィンカー表示灯の点滅が早くなったときは、点滅が早い方の方向指示灯の電球切れが考えられます。

●サイドウィンカー
（WY5 W-5 W アンバー）



1. ウィンカーユニットを車両前方にスライドさせてから、ウィンカーユニットの後部を手前に引いてはずします。または、ウィンカーユニットを車両後方にスライドさせてから、ウィンカーユニットの前部を手前に引いてはずします。
2. ウィンカーユニットのコネクターをはずします。
3. ウィンカーユニットを交換します。

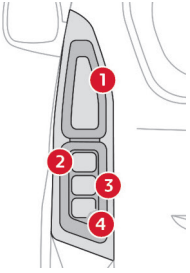
注 意

色付きバルブは、同じ規格の同じ色の電球を使用してください。

MEMO

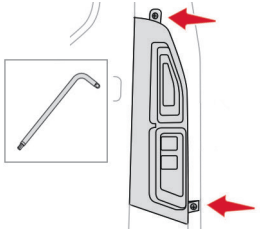
●取り付けるときは、コネクターを取り付けた後、ウィンカーユニットの前部を先に取り付けてから、車両後方に引いて固定します。または、コネクターを取り付けた後、ウィンカーユニットの後部を先に取り付けてから、車両前方に引いて固定します。
●ウィンカーのコネクターが車体の奥に入り込んでしまわないように気を付けてください。
●交換ができないときは、シトロエン指定サービス工場にお申し付けください。

●テールランプ



①：ポジションランプ／ストップランプ（P21 ／ 5 W）
②：方向指示器（PY21 W アンバー）
③：リバースランプ（P21 W）
④：リアフォグランプ（P21 W）

1. テールゲートを開きます。



2. 車載工具のトルクスレンチを使用して2箇所あるねじをはずします。

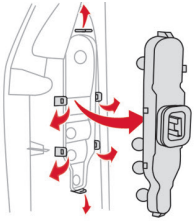
MEMO

トルクスレンチは運転席の下、または助手席の下に格納されています。

3. ランプユニットをこじながら車両後方に真っ直ぐ引き抜きます。
4. コネクターをはずします。

注 意

ランプユニットは車両後方に真っ直ぐ引き抜いてください。上下左右へ無理に力を加えるとランプユニットを損傷するおそれがあります。



5. タブを開いてランプホルダーを引き抜きます。
6. 各電球を軽く押しながら反時計回りに1／4回転させてはずし、交換します。

注 意

ランプホルダーをタブに取り付けるとき、配線を挟まないように注意して正しく取り付けてください。

MEMO

●方向指示器用電球を交換すると初期化が行われます。完了まで2分程度かかります。
●交換ができないときは、シトロエン指定サービス工場にお申し付けください。

●番号灯 (W5 W - 5 W)



番号灯の交換はシトロエン指定サービス工場にお申し付けください。

●ハイマウントストップランプ (W16 W - 16 W)



1. 2箇所あるナットをはずします。
2. 車両外側からランプユニットをマイナスドライバーの先などでこじってはずします。

注 意

マイナスドライバーの先などで車体に傷を付けないように注意して作業してください。

3. 電球を交換します。

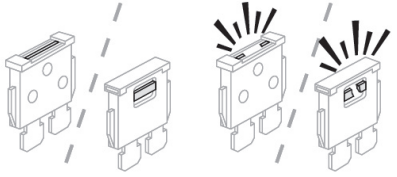
ヒューズの交換

ヒューズボックスは、助手席側ダッシュボード（グローブボックス下側）のカバーをはずした中とエンジンルームにあります。
ヒューズの交換は、シトロエン指定サービス工場にご相談ください。

注 意

交換する前に、ヒューズが不良となった原因を見つけて処置をしておいてください。正しい処置をしておかないと、再発するおそれがあります。

ヒューズは容量によって色分けされています。必ず同じ色（容量）のヒューズと交換してください。



正常なヒューズ　　切れたヒューズ

ヒューズを交換するときは助手席側ダッシュボード内のヒューズカバーに備えてある専用ピンセットを使用してください。



⚠注 意

車の電気回路は、出荷時に装着されている装備に合わせて設計、製作されています。
推奨していないアクセサリーの取り付け、アクセサリーの不適切な取り付け、ワイヤーハーネスの加工などは、他の電装品の正常な作動を妨げたり火災の原因となることがあります。
シトロエンでは、当社が供給や推奨していない、10mA 以上の電流を消費するアクセサリーの取り付けや、当社の指示に従わない装着方法によって発生した車、および機器の不具合の修理については、その費用を負担いたしません。
エンジンルーム内ヒューズボックスにある大容量ヒューズには手を触れないでください。整備が必要な場合は、必ずシトロエン指定サービス工場に依頼してください。
アクセサリーその他の電気製品の取り付けは、シトロエン指定サービス工場にご依頼ください。

燃費の改善について

燃費は、車の設計だけではなく、車の状態や運転方法によって大きく影響を受けます。車を最良の状態に保ち燃費を良くするためにも、定期的に点検整備を行ってください。

●エンジンコンディション
主要部品については、少なくとも年に1回は点検を受けてください。

●エアフィルター
フィルターがつまるとエンジンの効率が悪化します。ほこりの多い環境や市街地での走行が多いときは、こまめに点検を受けてください。

●手荷物など
ラゲッジルームに不用な手荷物などが積みっぱなしになっていると、車両重量が増加して、燃費の悪化につながります。
ルーフキャリアやスキーキャリアなどのアクセサリーは、風の抵抗を受けて燃費を悪化させます。
必要がなくなったらすみやかに取りはずしてください。

●タイヤ
交換するときは、現車と同一サイズでシトロエンが推奨する銘柄、グレードのタイヤを使用してください。

●運転方法
エンジン始動後に長時間の暖機運転は必要ありません。
運転時は、ゆっくり発進し、急加速や空ぶかしを避けてください。
走行中はなるべく高いギアを選択し、一定のスピードを保つようにしてください。
走行速度が上がると燃費も悪化します。
法定速度を遵守して、スムーズな運転を心がけてください。
エンジン始動後の数分間は、適正温度の状態と比較して2倍以上燃費が悪化します。
あらかじめ走行経路を考慮して、無駄な走行をなくしましょう。

推奨交換時期

車の使用頻度が高いとき、市街地や高温環境下での使用が多いときは、メンテナンス時期を早めるようにしてください。

エンジンオイル	1年または20,000km ごと
オイルフィルター	1年または20,000km ごと
ブレーキフルード	2年または60,000km ごと
エアフィルターエレメント	2年または40,000km ごと
スパークプラグ（ガソリン車）	2年または40,000km ごと
室内フィルター	1年または20,000km ごと
燃料フィルター（ディーゼル車）	4年または20,000km ごと

●エンジンオイルについて

上記の交換時期は、推奨する化学合成ベースのエンジンオイル（例：TOTAL QUARTZ INEO FIRST 0W-30）を使用した場合です。

●AdBlue® の補充頻度について（ディーゼル車）

AdBlue® の補充は、1年または10,000km ごとにシトロエン指定サービス工場で行ってください。

推奨油脂類

エンジンオイル
TOTAL QUARTZ INEO FIRST（0W-30）

ブレーキフルード
シトロエン純正ブレーキフルード（DOT4）

クーラント
シトロエン純正クーラント

推奨点検時期

車の使用頻度が高いとき、通常よりも厳しい状態の使い方をしたときは、メンテナンス時期を早めるようにしてください。

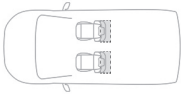
タイミングキットおよびクーラントポンプの点検	100,000km ごと
補機ドライブベルトキットの点検	初回3年、次回から2年ごと
クーラント pH の点検	初回3年、次回から2年ごと

もしものとき

ホイール（タイヤ）の交換 7-2
パンク修理キット 7-8
バッテリーが上がったとき 7-12
けん引されるとき 7-16
AdBlue® （尿素水）の補充（ディーゼル車） 7-18
燃料切れしたとき（ディーゼル車） 7-20

ホイール（タイヤ）の交換 *

●工具の取り出し



ジャッキ⑤は運転席の下に格納されています。

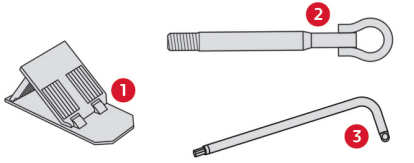
工具は助手席の下に格納されています。

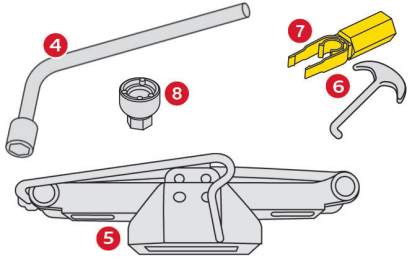
フロントシートを前方に動かしてからジャッキおよび工具を取り出してください。

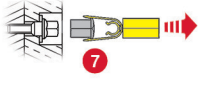
MEMO

ホイールレンチアダプター⑧はグローブボックスの中に入っていることがあります。

●ジャッキと工具







①：輪止め
②：けん引ボルト
③：トルクスレンチ
④：ホイールレンチ
⑤：ジャッキ
⑥：ホイールキャップリムーバー *
⑦：専用ピンセット*
⑧：ホイールレンチアダプター（盗難防止ボルト用）*

⚠注 意

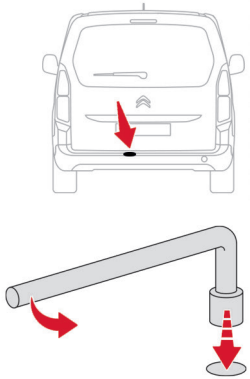
ジャッキ⑤のネジ部や可動部に触らないでください。ケガを負うおそれがあります。特にジャッキの汚れや余分な潤滑油を拭き取るときは、手や指を切ったり、指などを挟んだりしないように注意してください。

MEMO

トルクスレンチ③は、リアコンビランプのバルブ交換に使用します。

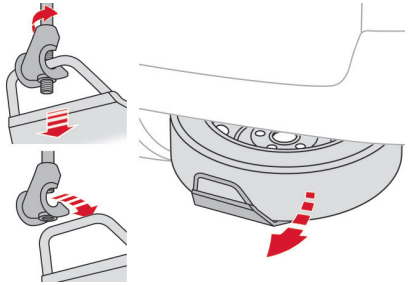
*仕様により異なります。

●スペアタイヤの取り出し



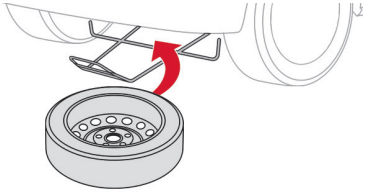
スペアタイヤは、ラゲッジルームの床下（外側）にフックで固定されているキャリアに格納されています。

1. テールゲートを開きます。
2. リアドアシルにあるキャリアボルトにホイールレンチを取り付けます。
3. ホイールレンチを反時計回りに回してキャリアボルトをゆるめます。



4. キャリアボルトを十分にゆるめたらキャリアをフックからはずし、スペアタイヤを引き出します。
5. スペアタイヤを交換するタイヤの脇に置きます。

●タイヤの格納

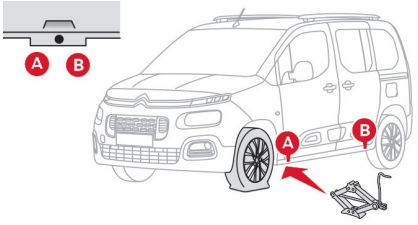


1. ホイールをキャリアの脇に置きます。
2. ホイールを左右交互に押しながらキャリアに戻します。
3. キャリアのフック固定部からホイールが十分に離れていることを確認します。
4. キャリアにフックを取り付けます。
5. ホイールレンチをキャリアボルトに取り付けます。
6. ホイールレンチを時計回りに回してキャリアボルトを締め付けます。
7. キャリアボルトをしっかりと締め付けたら、ホイールが水平にしっかりと固定されていることを確認してください。

●タイヤ交換後の処理

1. 交換したスペアタイヤの空気圧を確認してください。
2. はずしたタイヤの修理を早急に行い、スペアタイヤと交換してください。

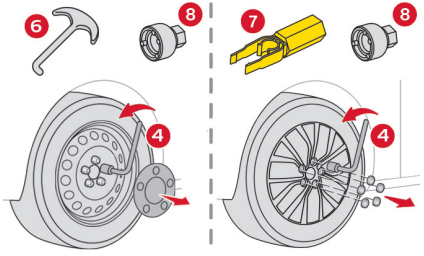
●ホイールの取りはずし

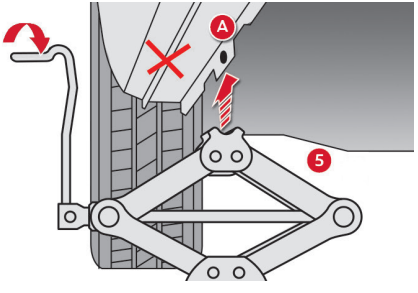


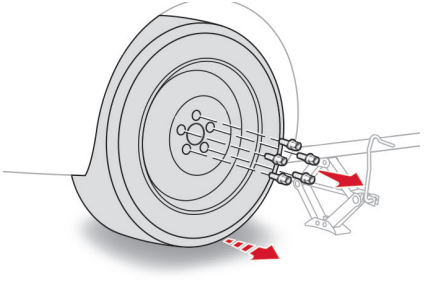
硬く平坦な路面で安全な場所に車を停めます。
シフトポジションをPにし、イグニッションをオフにします。エレクトリックパーキングブレーキがかかっていることを確認してください。
取りはずすタイヤと対角位置にあるタイヤに、輪止めを当てます。

MEMO

ホイールカバー装着車は、ホイールレンチ④の柄の部分を使い、タイヤバルブ付近から徐々にホイールカバーをはずしてからホイールを取りはずします。







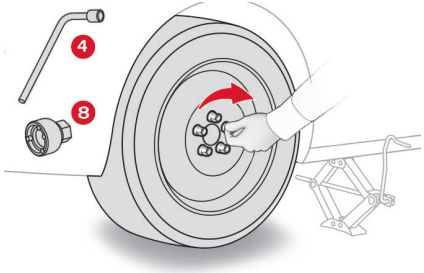
1. スチールホイール装着車は、ホイールキャップリムーバー⑥を使いホイールキャップを取りはずします。アルミホイール装着車は、専用ピンセット⑦を使用して、ボルトカバーをはずします。
2. ホイールレンチ④でボルトを少しゆるめます。
   盗難防止ボルトをゆるめるときは、ホイールレンチアダプター⑧をホイールレンチ④に取り付けます。*
3. ジャッキ⑤を車の下側フレームA部分（リアはB部分）にあてがい、軽くジャッキアップしてジャッキがA（もしくはB）に確実に収まっていることを確認します。
4. タイヤが地面から完全に離れるくらいまでジャッキアップします。
5. ボルトをはずします。なくさないように注意してください。
6. ホイールをはずします。

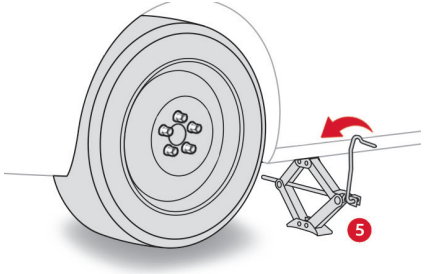
注 意

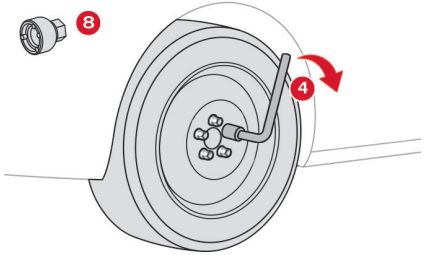
プラスチック仕上げ部分にはジャッキをあてがわないでください。

*仕様により異なります。

●ホイールの取り付け







1. ホイールをハブにはめます。
2. ボルトを差し込み、手で止まるまで回します。
3. ホイールレンチ④を使ってボルトを軽く締めます。
   盗難防止ボルトを締めるときは、ホイールレンチアダプター⑧をホイールレンチ④に取り付けます。*
4. ジャッキ⑤を完全にゆるめ、タイヤを接地させます。
5. ホイールレンチ④を使って、ボルトを対角線上に2～3回に分けてしっかり締めます。
   盗難防止ボルトを締めるときは、ホイールレンチアダプター⑧をホイールレンチ④に取り付けます。*
6. はずしたホイールカバーまたはボルトカバーを取り付けます。

⚠警 告

●ジャッキアップするときは、必ず輪止めを使用し、絶対に車の下に入らないでください。バランスが崩れた場合に車がジャッキからはずれ、落下するおそれがあります。
●ホイールボルトとハブのネジ部に注油したり、他のボルトを使用しないでください。走行中にネジがゆるみ、タイヤがはずれるおそれがあります。
●ジャッキアップするときは、乗員を全員車両から降ろしてください。
●ジャッキアップ中はエンジンを始動させないでください。エンジンの振動により、ジャッキがはずれるおそれがあります。
●指定された場所以外にジャッキを装着しないでください。車両が損傷したり、ジャッキがはずれるおそれがあります。
●スペアタイヤおよびスペースセーバータイヤを2本以上同時に使用しないでください。

⚠注 意

●タイヤを交換するときは、必ず同サイズ同種類のタイヤを使用してください。他のタイヤを使用すると、安全走行に悪影響をおよぼします。
●スペースセーバータイヤの空気圧は420kPaです。定期的に点検してください。
●スペースセーバータイヤおよびスペアタイヤ使用時の最高速度は時速80kmです。
●スペアタイヤおよびスペースセーバータイヤを使用するときは、アクティブセーフティブレーキなどの運転支援システムを解除してください。
●スペアタイヤおよびスペースセーバータイヤは一時的な使用に限られています。常用タイヤのパンクなどで使用したときは、早急にパンクの修理を行い交換してください。
●搭載されているジャッキやレンチ、スペアタイヤは、この車専用です。他の車に使用したり、他の車のものを使用したり、他の用途に使用しないでください。

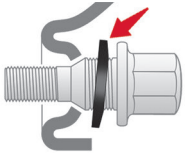
注 意

盗難防止ボルトの専用アダプター*を使用するときは丁寧に扱ってください。急激な力を加えたり、乱暴にレンチを回すと、ピンを破損することがあります。

*仕様により異なります。

MEMO

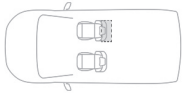
●盗難防止ボルトの専用アダプター*の番号を控えておいてください。紛失した際に、番号から複製を入手することができます。
●ホイールボルトの締め付けトルクは10daNm（約9.5kgm）です。
●アルミホイールの代わりにスチールホイールのスペアタイヤおよびスペースセーバータイヤを使用するとき、ホイールボルトの平ワッシャーがリムに接せず遊んでいても問題ありません。



●タイヤ交換を行った後は、間接式タイヤ空気圧警告システムのリセットを行ってください。

パンク修理キット*

●パンク修理キットの場所

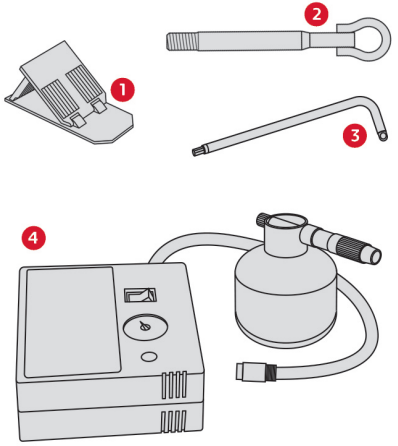


パンク修理キットと工具は運転席の下に格納されています。
運転席を前方に動かしてからパンク修理キットと工具を取り出してください。

MEMO

- ●パンク修理キットはシトロエン販売店でお買い求めいただけます。
- ●タイヤのトレッド部またはショルダー部以外の損傷によるパンクは、パンク修理キットを使用して修理することができません。
- ●タイヤに刺さった釘などは抜かずにそのまま応急修理をしてください。
- ●修理キットを使用するときは、すべての手順を行ってください。
- ●工具は助手席の下に格納されている場合があります。助手席を前方に動かしてから工具を取り出してください。

●パンク修理キットと工具



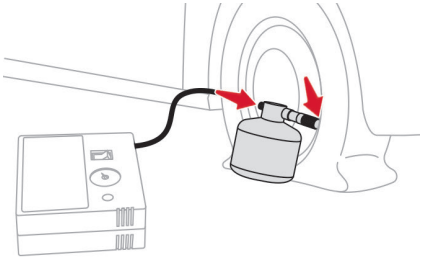
①：輪止め
②：けん引ボルト
③：トルクスレンチ
④：パンク修理キット

MEMO

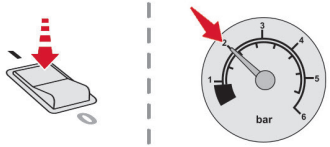
トルクスレンチ③は、リアコンビランプのバルブ交換に使用します。

*仕様により異なります。

●使いかた



1. イグニッションをオフにします。
2. 注意ステッカーを車内の運転者から見える位置に貼り付けます。
3. 修理剤カートリッジから出ているホースを修理するタイヤのバルブに接続します。
4. コンプレッサーから出ているホースを修理剤カートリッジに接続します。
5. スイッチが**O**になっていることを確認してから、コンプレッサーの電源コードをハイセンターコンソールの12V電源ソケットに差し込みます。
6. エンジンを始動します。



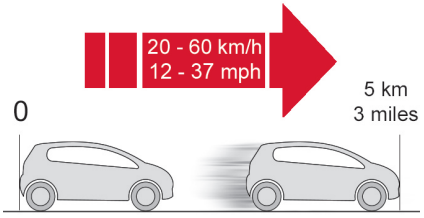
7. スイッチを**I**にして、空気圧を**2.0bars**まで昇圧します。

⚠警 告

- ●修理剤カートリッジから出ているホースをつなぐ前に、電源を入れないでください。修理剤が噴き出すおそれがあります。
- ●パンク修理キットはコンプレッサーで圧力をかけて修理剤をタイヤに注入します。修理剤の注入中にホースをバルブから抜かないでください。ホースの口から修理剤が噴き出すおそれがあります。
- ●修理剤が目や口に入らないように十分注意してください。
- ●パンク修理キットはお子さまには使用させないでください。

⚠注 意

7分以内に**2.0bars**まで昇圧しないときは、パンク修理キットを使用して修理できません。シトロエン指定サービス工場にお問い合わせいただくか、レッカーの手配をしてください。



8. スイッチを**O**にしてから、パンク修理キットを取りはずし、直ちに走行してタイヤ内に修理剤を行き渡らせます。このとき、時速**20～60km**で約**5km**走行します。
9. コンプレッサーの裏からホースを引き出し、修理するタイヤのバルブに接続します。
10. スイッチが**O**になっていることを確認してから、コンプレッサーの電源コードをハイセンターコンソールの12V電源ソケットに差し込みます。
11. エンジンを始動します。
12. 空気圧が運転席側ドアピラー部に表示されている適正値になるように調整します。
    - 昇圧：スイッチを**I**にする。
    - 減圧：ホースの先にあるコネクターの黒いボタンを押す。
13. 空気の漏れがないことを確認します。
14. コンプレッサーを取りはずし、パンク修理キットを元の位置に格納します。
15. 時速**80km**以下で走行し、できるだけ早くシトロエン指定サービス工場でタイヤの修理、交換を行ってください。

⚠警 告

- ●パンク修理キットで修理したタイヤで走行するときは、時速**80km**以下で走行してください。
- ●パンク修理キットで修理した後は、約**200km**以上走行しないでください。できるだけ早くシトロエン指定サービス工場でタイヤの修理、交換を行ってください。

⚠注 意

- ●空気圧が適正値にならないときは、パンク修理キットを使用して修理できません。シトロエン指定サービス工場にお問い合わせいただくか、レッカーの手配をしてください。
- ●パンク修理剤の有効期限は、製造後約**8**年です。有効期限はカートリッジに表示されています。

例：EXP：04/2027
II
2027年4月まで

MEMO

●パンク修理キットを取りはずすときは、修理剤が車に付着しないように気をつけてください。付着するとシミになるおそれがあります。
●修理剤は一度しか使用できません。使用後は、新品の修理剤をシトロエン指定サービス工場でお買い求めください。
●使用済みの修理剤カートリッジはシトロエン指定サービス工場までお持ちいただくか、地域条例に従って廃棄してください。

●タイヤの空気圧を点検する

コンプレッサーを使用してタイヤの空気圧を点検することができます。

1. コンプレッサーの裏からホースを引き出し、車両のタイヤのバルブに接続します。
2. スイッチが**O**になっていることを確認してから、コンプレッサーの電源コードをハイセンターコンソールの12V電源ソケットに差し込みます。
3. エンジンを始動します。
4. 空気圧が運転席側ドアピラー部に表示されている適正値になるように調整します。
   ・昇圧： スイッチを**I**にする。
   ・減圧： ホースの先にあるコネクターの黒いボタンを押す。
5. コンプレッサーを取りはずし、パンク修理キットを元の位置に格納します。

MEMO

タイヤの空気圧を調整したら、必ず間接式タイヤ空気圧警告システムのリセットをしてください。

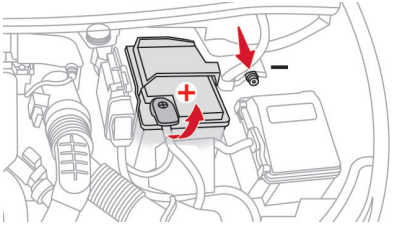
バッテリーが上がったとき

万一バッテリーが上がってしまったときは、充電器（バッテリーチャージャー）で充電するか、同じ電圧（12V）のバッテリーで始動させます。
接続には、市販のブースターケーブルを使用します。ケーブルの接続時は、車の充電系統に損傷を与えないように正しく接続してください。

MEMO

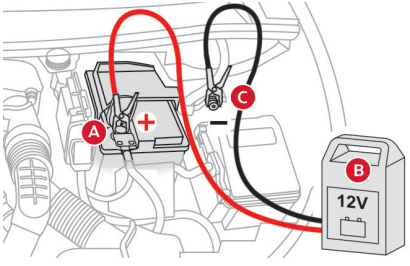
この車両は、押しがけによるエンジンの始動はできません。

●バッテリーの位置



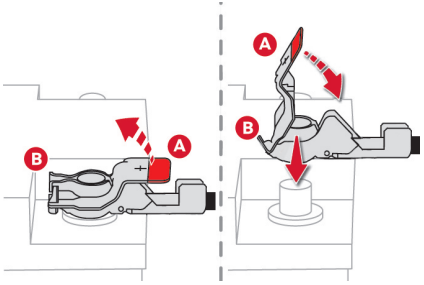
バッテリーはエンジンルーム左側（ボンネットを開いて右側）にあります。
充電器のマイナス端子（−）／電源を供給する車のバッテリーのマイナス端子（−）に接続した黒いケーブルは、バッテリー横の矢印で示した箇所にあるアースポイントに接続します。

●充電器を使用して充電



1. バッテリー**A**の（+）ケーブルをはずし、バッテリーの端子に汚れがないことを確認します。
2. 最初に充電器**B**のマイナス端子（−）をアースポイント**C**に接続し、次にプラス端子（+）をバッテリー**A**のプラス端子（+）に接続します。
3. 充電器の取扱説明書に従って充電します。

●ケーブルのはずしかた／接続のしかた



はずしかた

ロックタブ**A**をいっぱいまで起こします。

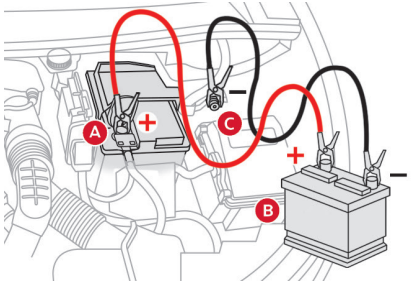
接続のしかた

1. クリップ**B**がバッテリーのプラス端子（＋）の上部に来るように位置を合わせ、クリップ**B**の位置がずれないように、上からバッテリーに押し当てます。
2. ラグを広げてロックタブ**A**を倒し、クリップをロックします。

注 意

クリップは正しい位置にないとロックしません。無理にロックタブを倒さないでください。

●他のバッテリーで始動



1. バッテリー**A**（上がったバッテリー）・**B**（電源を供給するバッテリー）のプラス端子（＋）を赤いケーブルで接続します。
2. 電源を供給する側の車のバッテリー**B**のマイナス端子（−）に、黒いケーブルを接続します。
3. 未接続の黒いケーブルを、バッテリー上がりを起こした車両のアースポイント**C**に接続します。
4. スターターを回してエンジンを始動します。
5. アイドリング状態になるのを待ってからエンジンを停止し、ケーブルをはずします。

●バッテリーを再接続したとき

エンジンを始動する前に、イグニッションをオンにしたまま約1分間保持します。電子機器の初期化が行われます。
長時間バッテリーの接続をはずしていたときは、次の機能の初期化や再設定が必要な場合があります。

・スマートキー
・パワーウィンドウ　など

また、一度バッテリーの接続をはずすと数時間はストップ&スタートの停止モードになりませんが、これは異常ではありません。

注 意

電子機器に異常を感じたら、シトロエン指定サービス工場にご連絡ください。

MEMO

車を1ヶ月以上使用しない場合は、バッテリーの接続をはずしてください。

⚠警 告

●バッテリーのプラス端子（+）とマイナス端子（−）を逆に接続しないでください。
●エンジンの回転中は、バッテリーのターミナルから車両ケーブルをはずさないでください。
●バッテリーの車両ケーブル（+）を接続したまま充電しないでください。
●アイドリング状態になる前にバッテリーのターミナルからケーブルをはずさないでください。
●ケーブルのプラス端子とマイナス端子を絶対に接触させないでください。
●バッテリーは可燃性のガスを発生しますので、バッテリーの近くでは火気を避けてください。
●バッテリー液は腐食性の強い希硫酸です。万一皮膚にバッテリー液がかかった場合は、大量の水で洗い流してください。
●凍ったバッテリーを充電すると爆発するおそれがあります。バッテリーが凍ったら新品と交換してください。
●電源を供給するバッテリーは12Vのものを使用してください。

⚠警 告

●黒いケーブル（マイナスケーブル）を車体に接続する際には、燃料系統やブレーキホース／パイプに接触させないでください。
●ケーブルやエンジンルーム内の回転部分や可動部分に接触しないよう注意してください。

注 意

●イグニッションをオフにして約4分経過してからバッテリーの接続をはずしてください。
●バッテリーからケーブルをはずす前に、パワーウィンドウを閉めてください。
閉めていないと、充電後に再度の初期化が必要になります。

MEMO

バッテリーは硫酸や鉛などの有害物質を含んでいます。環境汚染防止のため、正しく廃棄してください。

●バッテリー上がり防止モード

バッテリーの電圧が一定レベル以下の場合、エアコンやリアウィンドウデフォッガーなどの多く電力を消費する機能が自動的にオフになります。オフになった機能は、バッテリーの電圧が回復した後、自動的にオンに戻ります。

●エコノミーモード

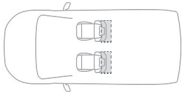
エンジンが停止してからも、オーディオ機器などへの電源供給を走行直後は最大40分行います。電源が切れると、メッセージが表示されます。
エンジンを再始動すると、電源の供給が再開されます。
すぐにアクセサリーを使用したいときは、エンジンを始動して数分間回してください。
エンジンをかけていた時間の倍の間、アクセサリーを使用できます。ただし、この時間は5 ～ 30分に限られます。

MEMO

●バッテリーが弱っているときは、エンジンの再始動ができなくなるおそれがあります。
●バッテリーの充電が不十分なときは、電源の供給時間が短くなることがあります。

けん引されるとき

●けん引ボルトの場所



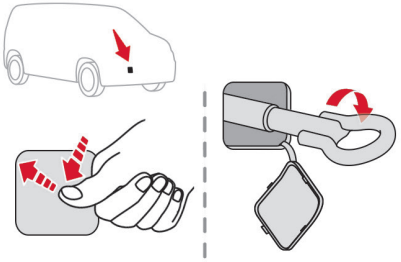
けん引ボルトは、助手席の下、または運転席の下に入っています。

●けん引について

吊り上げずに（４輪が接地した状態）けん引されるとき

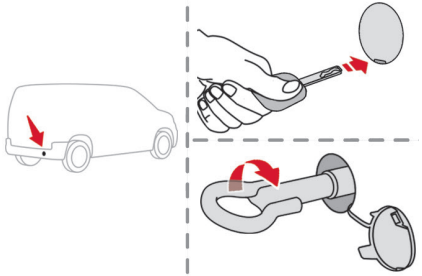
けん引時は、エンジンがかかっている状態で、シフトポジションを**N**にしてください。

前からけん引される場合



1. カバー中央を押しながら左上部へ押してはずします。
2. けん引ボルトが止まるまでねじ込みます。

後ろからけん引される場合



1. カバー下部のすき間に緊急用キーなどを差し込み、回してはずします。
2. けん引ボルトが止まるまでねじ込みます。

吊り上げて（２輪が接地した状態）けん引されるとき

けん引用の車輪に乗せて移動してください。

⚠警 告

けん引している前方の車両に追突しないよう注意してください。

注 意

●以下の場合、けん引は専門業者にご依頼ください。
- ・高速道路で走行中に車両が故障した。
- ・エンジンを始動できない。
- ・シフトポジションが**N**にならない、ステアリングのロックが解除できない、またはパーキングブレーキが解除できない。
- ・バッテリーに異常がある。
- ・２輪が接地した状態でけん引される。
- ・この車専用のけん引ボルトが使用できない。

●けん引されるときは、以下の点にご注意ください。
- ・シフトポジションは**N**にしてください。
  シフトポジションが**N**以外でけん引すると、ブレーキシステムが損傷するおそれがあります。また、次回エンジンを作動するとき、ブレーキアシストが作動しないことがあります。
- ・50km以内の距離を、低速（時速30km以下）で移動してください。

注 意

●この車より重量の重い車両でけん引してください。
●4輪が接地した状態で車両がけん引されるときは、必ずけん引ボルトを使用してください。
●けん引ボルト以外の箇所にけん引フックをかけないでください。
●けん引される車両は、ハザードランプをオンにしてください。

AdBlue®（尿素水）の補充（ディーゼル車）

シトロエン BERLINGOはAdBlue®を使用することで、排気ガス中の窒素酸化物を低減します。AdBlue®は走行すると消費され、減少します。
AdBlue® の補充は、シトロエン指定サービス工場にお申し付けください。

MEMO

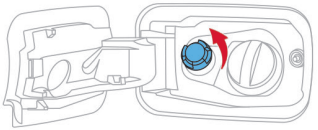
- ●AdBlue®の補充は、シトロエン指定サービス工場での定期点検整備ごとに行われます。
- ●AdBlue®の残量がなくなるとエンジンを始動できなくなります。AdBlue®の補充は早めに行ってください。
- ●AdBlue®（アドブルー）はドイツ自動車工業会（VDA）の登録商標です。

●緊急時にお客様がご自分でAdBlue®を補充する

AdBlue® の残量がなくなり、エンジンが始動できなくなったときは、約5.0リットル以上のAdBlue® を補充すると、エンジンを始動できるようになります。

注 意

ガソリンスタンドなどに設置されている補充装置を使用しないでください。AdBlue®が補充口からあふれるおそれがあります。



1. 平坦な路面で安全な場所に車を停めます。
2. エンジンを停止します。
3. 給油フラップを開けます。
4. 青色のキャップを反時計回りに回してゆるめ、取りはずします。
5. 補充が終わったら、青色のキャップを締めて戻します。

⚠注 意

AdBlue® は、無色、透明、無臭で、身体に触れても無害の尿素水溶液です。
万一目に入ったり、皮膚に付着したときは、きれいな水で洗い流してください。違和感がある場合は、すぐに医師の診断を受けてください。
また、誤って飲み込んでしまったときは、コップ1 ～ 2杯の水または牛乳を飲み、すぐに医師の診断を受けてください。

注 意

●AdBlue®を補充するときは次のことをお守りください。車両の部品や塗装などを損傷するおそれがあります。
- AdBlue®以外の尿素水を使用しないでください。
- AdBlue®を水道水などで希釈しないでください。
- AdBlue®を他の薬品と混ぜたりしないでください。
- AdBlue®が車両の塗装面に付着したときは、すぐに水で洗い流してください。

●AdBlue®を保管するときは次のことをお守りください。車両の部品や塗装などを損傷したり、AdBlue®の成分が変質して刺激臭が発生するおそれがあります。
- AdBlue®を車内に放置しないでください。
- AdBlue®を指定以外の容器で保管しないでください。
- AdBlue®は容器を密閉し、直射日光の当たらない風通しの良い、気温が25℃を超えない場所に保管してください。

MEMO

●AdBlue®の残量がなくなった場合は、AdBlue®の補充後、以下の操作を行ってください。
1. 5分以上待ちます。その間、以下の操作は行わないでください。
   - 解錠する
   - 運転席ドアを開ける
   - 車内にスマートキーを持ち込む
2. イグニッションをオンにして10秒以上待ちます。
3. エンジンを始動します。

●AdBlue®の補充後は、エンジンの始動に通常よりも数秒間長くかかる場合があります。
●AdBlue®はISO規格(ISO 22241-1)に準拠したものを使用してください。
●AdBlue® タンクの容量は約17リットルです。
●AdBlue® は凍結しても、解凍すればそのまま使用できます。
●使用済みのAdBlue® の容器は、地域条例に従って廃棄してください。

燃料切れしたとき（ディーゼル車）

燃料を補給後、以下の操作を行い、燃料系統内のエア抜きをしてください。

1. パーキングブレーキがかかっていることを確認します。
2. シフトポジションを**P**または**N**にします。
3. ブレーキペダルを踏まずに**ENGINE START/STOP**スイッチを押し、イグニッションをオンにします。
4. 約1分間待って、イグニッションをオフにします。
5. エンジンを始動します。

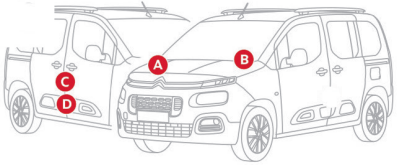
MEMO

- ●エンジンがかからないときは、イグニッションをオフにし、再度エア抜きをしてください。
- ●エア抜きの操作を繰り返してもエンジンがかからないときは、シトロエン指定サービス工場で点検を受けてください。

車両データ・アクセサリー類・索引

識別表示…… 8-2
外形寸法…… 8-3
アクセサリー類…… 8-4
索引…… 8-8
付録……8-15

●識別表示



A　**車台番号（エンジンルーム内）**
B　**車台番号（フロントガラス下側）**
C　**認証ラベル**
D　**タイヤ仕様と車体塗色コードラベル**
タイヤとホイールサイズ、適正空気圧、車体色などが記載されたラベルが、運転席側のピラー部に貼られています。

⚠注 意

タイヤを交換するときは、必ず同サイズ同種類のタイヤを使用してください。他のタイヤを使用すると、安全走行に悪影響をおよぼします。

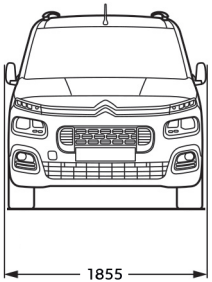
注 意

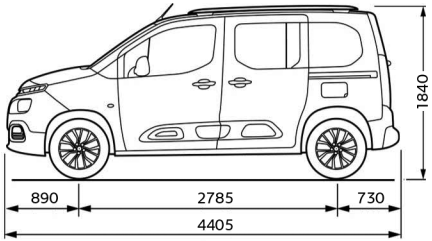
●タイヤのサイズによっては、タイヤチェーンが装着できません。詳しくはシトロエン販売店へお問い合わせください。
●タイヤの空気圧は、走行前少なくとも月一回の割合でチェックしてください。必ずシトロエンが指定する空気圧に調整してください。

MEMO

タイヤの空気圧が低すぎると、燃費が悪くなります。

●外形寸法





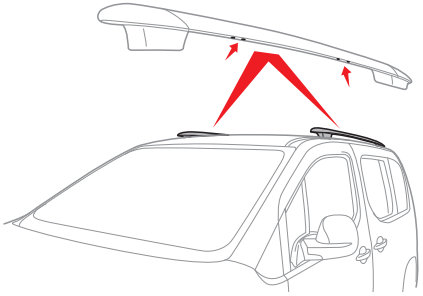
* 数値は予告なく変更されることがあります。

アクセサリー類

アクセサリー類は、シトロエン純正部品を使用してください。取り付けは、付属の取扱説明書に従ってください。

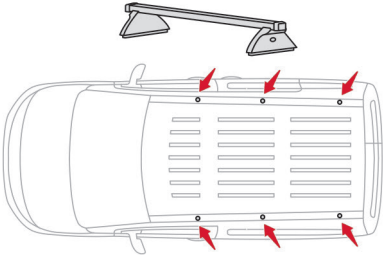
●ルーフキャリア

ルーフキャリアの取り付け（ルーフレール装着車）



キャリアを取り付けるときは、ルーフレールのマークに合わせて取り付けてください。

ルーフキャリアの取り付け（ルーフレール装着車以外）



キャリアを取り付けるときは、ルーフのカバーを取りはずしてください。

＊仕様により異なります。

⚠警 告

●ルーフキャリアはシトロエン純正品をキャリアに付属の取扱説明書に従って正確に取り付けてください。
●シトロエン純正以外のルーフキャリアを使用したり、指示通りに取り付けなかったりした場合、ルーフキャリアや荷物が落下し、事故やケガにつながるおそれがあります。
●荷物の固定には、細すぎたり、損傷したひもや不適切なひもは使用しないでください。荷物を固定する際には、適切なひもを使用し、しっかりと固定してください。
●ルーフキャリアに荷物を積む際には、キャリアに付属の取扱説明書に記載されているルーフキャリア許容荷重を超えないようにしてください。
●ルーフに重たい荷物や大きな荷物を積んでいると、車両の重心が変わったり風の抵抗が大きくなり走行に影響を与えます。速度を控えたり、急ブレーキ、急ハンドルを避けるなど慎重な運転を心がけてください。

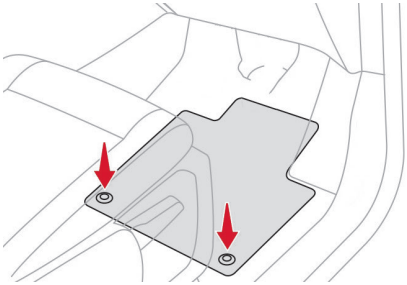
⚠注 意

●キャリアの高さには注意してください。特に高速走行を行うと、予想以上に負荷がかかるので思わぬトラブルの原因となることがあります。
●ルーフレール装着車では、荷物を積むときは、ルーフレールに直接荷物を積んだり、ロープで固定せず、キャリアを使用してください。

MEMO

使用しないときはルーフキャリアを取りはずしてください。

●フロアマット *

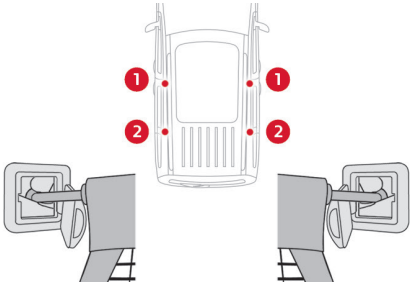


取り付けるときは、フロアマットを正しい位置に合わせ、クリップで留めてください。フロアマットがしっかり固定されていることを確認してください。

⚠警 告

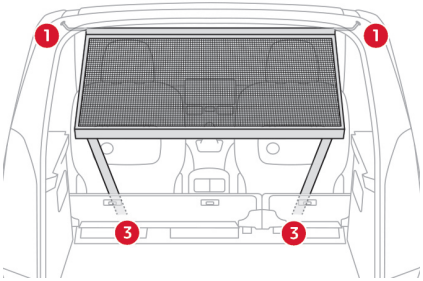
●車両側に装備されている固定フックに適したフロアマットのみ使用してください。また、2枚以上のフロアマットを重ねて使用しないでください。ペダル操作の妨げになります。
●シトロエン指定以外のフロアマットの使用は、ペダル操作の妨げになるだけでなく、クルーズコントロール／スピードリミッター機能の使用の妨げにもなり、重大な事故につながるおそれがあります。

● リアプロテクションネット *

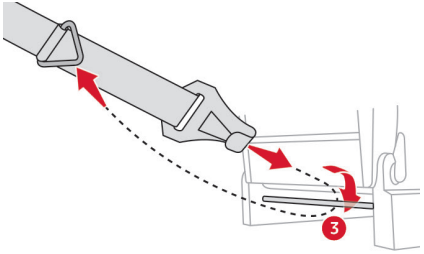


リアプロテクションネットを展開すると、フロントシート後ろ側①まで（リアシートを折りたたんだとき）、またはリアシート後ろ側のラゲッジルームいっぱい②に荷物を載せることができます。

リアプロテクションネットの取り付け（フロントシート後ろ側）



1. 2ポジションラゲッジトレイまたはラゲッジルームカバーを取りはずします。
2. 天井部にある固定部①のカバーを開けます。
3. リアプロテクションネットの金属バーの両端を交互に固定部①に引っかけて固定します。



4. ネットをいっぱいまで引き出します。
5. ストラップをフロントシート下部にあるバー③に上から通し、ストラップの三角リングにフックを引っかけます。
6. ストラップを締め付けます。
7. ネットが確実に固定され、たるんでいないか確認します。
8. リアシートを折りたたみます。

* 仕様により異なります。

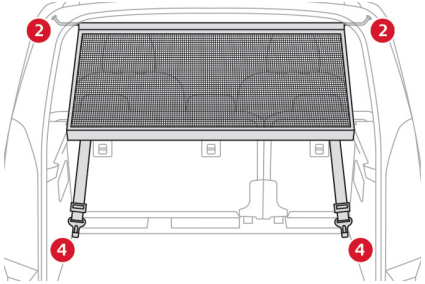
注 意

ストラップを締め付け過ぎないように注意してください。シートを破損するおそれがあります。

MEMO

リアプロテクションネットは、ラゲッジルーム側からストラップを締め付けたりゆるめたりしやすいように、ストラップの長さを調整するためのアジャスターをラゲッジルーム側に向けて固定してください。

リアプロテクションネットの取り付け（リアシート後ろ側）



1. 2ポジションラゲッジトレイまたはラゲッジルームカバーを取りはずします。
2. 天井部にある固定部②のカバーを開けます。
3. リアプロテクションネットの金属バーの両端を交互に固定部②に引っかけて固定します。
4. ネットを引き出します。
5. ストラップのフックをラゲッジルームフロアにある荷物用の固定リング④に引っかけます。
6. ストラップを締め付けます。
7. ネットが確実に固定され、たるんでいないか確認します。

MEMO

- リアプロテクションネットは、ラゲッジルーム側からストラップを締め付けたりゆるめたりしやすいように、ストラップの長さを調整するためのアジャスターをラゲッジルーム側に向けて固定してください。
- ストラップのフックをリアシートのバックレスト裏面にあるチャイルドシートを固定するための金具に取り付けないでください。

索 引

数字

12V電源ソケット ····· 5-22
2ポジションラゲッジトレイ ····· 5-17

アルファベット

ABS（アンチロックブレーキシステム）····· 3-27
AdBlue® ····· 3-20、7-18
ASR（トラクションコントロールシステム）···· 3-27
DPF（ディーゼルパティキュレートフィルター）···· 3-23
DSC(ダイナミックスタビリティコントロール)··· 3-27
EBA（ブレーキアシスト)····· 3-27
Ecoコーチ····· 4-44
ENGINE START/STOPスイッチ ····· 8、3-2
ESC（エレクトロニックスタビリティコントロール)··· 3-27
i-Sizeチャイルドシート ····· 1-23
ISOFIXチャイルドシート····· 1-21
SCR（選択式還元触媒）システム ····· 3-20
USBポート····· 5-23

あ

アクセサリー類·····8-4
アクティブクルーズコントロール····· 15、3-51
アクティブセーフティブレーキ····· 3-41
アクティブブラインドスポットモニター····· 3-32
アームレスト·····1-3
アンビエンスイルミネーション····· 5-22
イモビライザー（盗難防止システム)·····2-7
インストルメントパネル·····4-2
インストルメントパネルの調整（明るさ調整)··· 4-29
インテリジェントエマージェンシーブレーキアシスト··· 3-45
インテリジェントハイビーム····· 4-32
ウィンドウウォッシャー·····10、4-38、6-4、6-6
エアコンディショナー(エアコン) ·····12、5-2
エアバッグ····· 1-25
エアバッグの作動条件····· 1-28
エアフィルター·····6-4、6-6、6-15、6-16
液晶ディスプレイ（カメラモニター)·····1-7
エクステリアウェルカムランプ····· 4-36
エコノミーモード····· 7-15
エコモード····· 3-11
エフィシェント・オートマチック・トランスミッション···14、3-6
エマージェンシーブレーキ····· 3-44

エレクトリックパーキングブレーキ……9、3-11
エンジンオイル…… 6-4、6-16
エンジンオイルの点検……6-5
エンジンの始動…… 8、3-2
エンジンブレーキ……3-8
エンジン油量インジケーター…… 4-25
エンジンルームの点検……6-4
オイル交換……6-5
オートドアロック…… 2-13
オートライト…… 4-31
オートワイパー…… 4-39
オドメーター…… 4-28

か

カーテンエアバッグ…… 1-28
外形寸法……8-3
間接式タイヤ空気圧警告…… 3-77
ギアセレクター……14、3-6
キックダウン……3-7
給油……4、2-22
緊急用キー…… 2-12
クリープ現象……3-7
グリップコントロール…… 3-16
クルーズコントロール…… 15、3-51
警告灯……4-6
けん引されるとき…… 7-16
工具…… 7-2、7-8
後席スライドドア……2-9
固定リング…… 5-19
小物入れ…… 5-21

さ

サービスインジケーター…… 4-26
サイドウィンカー…… 6-12
サイドエアバッグ…… 1-27
サイドビューカメラ……1-8
サンシェード…… 5-26
シートの調整…… 6、1-2
シートヒーター……1-5
シートベルト……7、1-13
シートベルト着用／
非着用ディスプレイ…… 13、1-15

識別表示……8-2
自動防眩バックミラー…… 7、1-7
シフトタイミングインジケーター…… 3-10
シフトポジション……3-7
シフトロック……3-8
ジャッキと工具……7-2
使用燃料について…… 1-30
触媒コンバーター…… 1-32
助手席エアバッグキャンセルスイッチ…… 13、1-26
推奨交換時期…… 6-16
推奨点検時期…… 6-17
推奨油脂類…… 6-16
スーパードアロック……2-4
ステアリング…… 5、3-5
ストップ&スタート…… 14、3-24
スノーチェーン／スノーネット…… 1-31
スピードリミッター…… 15、3-60
スペアタイヤ……7-3
スマートキー…… 4、2-2
スライドドア……2-9

た

タイヤの交換……7-2
タイヤの点検…… 1-30
タイヤ空気圧…… 1-30、8-2
タッチスクリーン……11、5-7
チャイルドウォッチミラー……1-7
チャイルドシート…… 1-17
チャイルドセーフティ…… 13、2-20
着座検知…… 1-15
駐車時照明機能（フォローミーホーム）… 2-5、4-35
チルト・テレスコピックステアリング…… 5、3-5
デイタイムランニングランプ…… 4-31
ディスタンスアラート…… 3-43
テールゲート…… 2-3、2-14
テールランプの交換…… 6-12
電球の交換……6-7
電池の交換（スマートキー）……2-5
電動式サンシェード…… 5-22
電動ドアミラー…… 7、1-6
ドアロック…… 2-13
冬季用タイヤ…… 1-31

ドライバーアテンションアラート……3-38
ドライブコンピューター……4-42
トラフィックサインインフォメーション…15、3-47
トリップメーター……4-28

な
燃料……1-30
燃料タンクの容量……4、2-22

は
ハイマウントストップランプ……6-13
パーキングブレーキ……9、3-11
パークアシスト……3-70
ハザードランプ……4-37
バックカメラ……3-66
バックミラー……7、1-7
パッシング……4-30
バッテリー……6-4、6-6
バッテリーが上がったとき……7-12
パドルスイッチ……14、3-7
パワーウィンドウ……5、2-18
パワーウィンドウの初期化……2-18
パンク修理キット……7-8
番号灯の交換……6-13
半ドア警告……2-12
非常ブレーキ……3-14
ヒューズの交換……6-14
表示灯……4-6
ヒルスタートアシスタンス……3-15
ヒルディセントコントロール……3-18
フォグランプ……10、4-30
フュエルリッド……4、2-22
プライバシー機能……5-13、5-15、5-16
ブラインドスポットモニター……3-30
ブレーキ……9、3-11
ブレーキアシスト（EBA）……3-27
ブレーキフルード……6-4、6-6、6-16
フロアマット……8-5
フロントエアバッグ……1-25
フロント／サイド／バックソナー……3-63
フロントシート……6、1-2

フロントシートバックテーブル……5-26
フロントシートベルト……1-13
フロントフォグランプ……4-31
フロントワイパー……10、4-38
ヘッドアップディスプレイ……4-4
ヘッドランプの交換……6-7
ヘッドランプ照射角度調整……4-36
ヘッドレスト……6、1-12
保安炎筒……1-32
ホイールの交換……7-2
方向指示器……10、4-36
ホーン……3-5
ボンネット……5、2-21

ま
マニュアルチェック……4-29
マニュアルロック……2-12
マップランプ……5-20
マルチパノラミックルーフ MODUTOP® ……5-21
ミラー……7、1-6、1-7

ら
ライトスイッチ……10、4-30
ラゲッジルーム……5-17
ラゲッジルームカバー……5-18
ランバーサポート……6、1-2
リアウィンドウキャンセルスイッチ……5、2-18
リアオープニングガラスハッチ……2-16
リアシート……1-10
リアシートフロア収納ボックス……5-25
リアシートベルト……1-13
リアドアウィンドウ……2-19
リアフォグランプ……10、4-30、4-31
リアプロテクションネット……8-6
リアヘッドレスト……6、1-12
リアワイパー……10、4-38
リモコン……4、2-2
ルーフキャリア……8-4
ルームランプ……5-19
レーンキープアシスト……3-33
冷却水温度計……4-24
冷却水の点検……6-4、6-5

わ

ワイパー…… 10、4-38
ワイパーブレードの交換…… 4-41
ワイヤレス充電器…… 5-23

MEMO

- ●接続するオーディオ機器によっては動作が異なる場合があります。
- ●このオーディオには盗難防止機能が付いています。他の車両では使用できません。
- ●利用可能な Bluetooth の機能、およびその表示内容は、携帯電話の種類とその設定、および契約内容によって異なります。詳細はお客様がお使いの携帯電話会社へお問い合わせください。
- ●Bluetooth® は Bluetooth SIG, Inc. の商標です。
- ●Apple、iPhone、Apple CarPlay、および Siri は、米国およびその他の国々で登録された Apple Inc. の商標です。
- ●iPhone の商標は、アイホン株式会社のライセンスに基づき使用されています。
- ●Android Auto は、Google LLC. の商標です。
- ●MirrorLink® は Car Connectivity Consortium LLC. の商標です。
- ●タッチスクリーンのシステムのバージョンアップやオプションのナビゲーションの接続によって、操作や表示、アイコンのデザイン、色などが変更されることがあります。

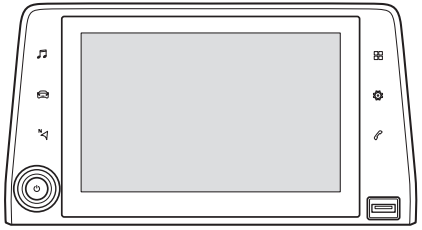
オーディオ／ハンズフリー通話（タッチスクリーン）

基本操作……8-16
ラジオ……8-18
USB／Bluetooth……8-20
画像ファイルの表示……8-22
ハンズフリー通話……8-23
通話をする……8-24
Apple CarPlay ……8-29
Android Auto ……8-30
プロファイルの設定……8-31
FAQ（よくある質問）……8-33

⚠警 告

安全上の理由から、各種設定など複雑な操作は、車両を停止し、イグニッションを ON にした状態で実施してください。

基本操作



オーディオの操作はタッチスクリーンから行います。

にタッチすると、ラジオやUSBメディアの再生・設定画面に移動します。

●各画面共通のアイコン

各画面では、以下のようなアイコンが表示されます。

← 前のページに戻ります。

OK 設定を有効にします。

詳細設定画面を表示します。

MEMO

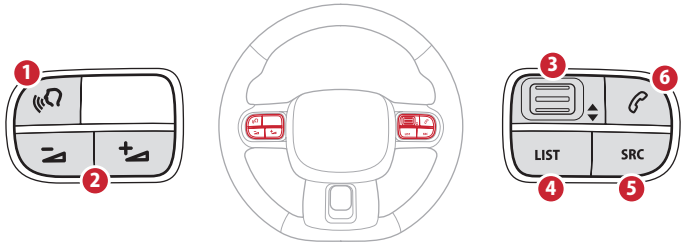
タッチスクリーンのグレーアウトされたエリアにタッチすると前のページに戻ります。

●音量の操作

音量の操作は音量調整ツマミで行います。

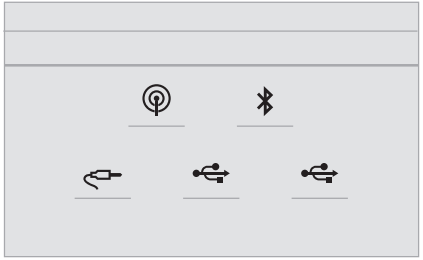
音量調整ツマミを押すと、音量のオン／オフが行えます。音量がオフの間は、USBなどの再生メディアは停止しています。

●ステアリングスイッチ



①：音声認識機能起動ボタン
　接続する携帯電話などの音声認識機能を使用して電話を発信します。
②：音量調整ボタン
　ボリュームが増減します。
　＋と－のボタンを同時に押すと音量のオン／オフができます。
③：設定ダイヤル
　登録したラジオ放送局やメディアのトラック選択に使用します。または、ダイヤルを回して設定項目を選択します。押し込むと、設定項目を決定できます。
④：**LIST** ボタン
　音楽の再生リストやラジオの放送局リストなどを表示します。
⑤：**SRC** ボタン
　入力ソースを切り替えます。
⑥：**TEL** ボタン
　発着信履歴や連絡先などの表示、ハンズフリー通話の受話および終話などに使用します。

●入力ソースの切り替え



1.  にタッチします。
2. **ソース**にタッチします。
3. 入力ソースにタッチします。



入力ソースの切り替えは、ステアリングの**SRC**ボタンを押しても行えます。

ラジオ

●ラジオモードへの切り替え

1.  にタッチします。
2. **ソース**にタッチします。
3. **ラジオ**を選択します。

MEMO

入力ソースの切り替えは、ステアリングの**SRC**ボタンを押しても行えます。

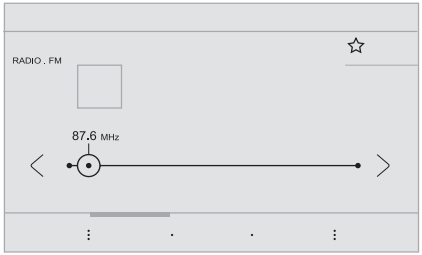
●FM ／ AM の切り替え

1.  にタッチします。
2. **オプション**にタッチします。
3.  にタッチして AM または FM ラジオを選択します。

MEMO

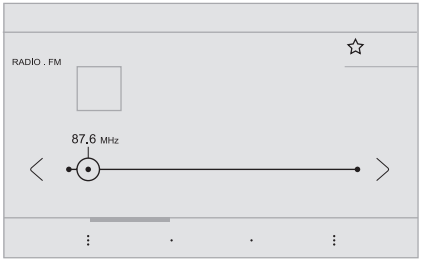
同じ画面に表示される**DAB**および**ニュース**は日本国内では使用できません。

●手動サーチ



タッチスクリーンのカーソルを左右に動かすと受信周波数が変わります。
またはカーソルの上の現在受信している放送局周波数にタッチし、タッチスクリーンから周波数を入力して**OK**にタッチします。

●自動サーチ



タッチスクリーンのカーソルの端にある＜または＞にタッチすると、自動サーチが開始され、受信可能な放送局が見つかったところで止まります。

MEMO

自動サーチで合わせたい放送局に止まらない場合は、電波状況が弱いなどが考えられます。手動サーチで放送局を設定してください。

●プリセットへの登録

自動サーチまたは手動サーチでサーチした放送局を各プリセットに登録します。

1. **プリセット**にタッチします。
2.  に長くタッチします。

MEMO

●☆にタッチしてもプリセットへの登録ができます。プリセット済みの放送局はアイコンが白色で表示されます。
●☆に長くタッチし、**Yes** にタッチするとプリセットへの登録を解除できます。

●登録した放送局の呼び出し

1. **プリセット**にタッチします。
2. 呼び出したいプリセット番号にタッチします。

MEMO

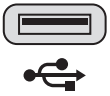
ステアリングの設定ダイヤルを上下に回しても登録した放送局の呼び出しができます。

●受信可能放送局リスト

タッチスクリーンの**リスト**にタッチするか、ステアリングの **LIST** ボタンを押すと受信できる放送局のリストが表示されます。
リスト中の放送局を選択するには、タッチスクリーンの放送局リストにタッチするか、ステアリングの設定ダイヤルで放送局を選択して、押し込みます。

USB ／ Bluetooth

●USB ポートへの接続



まず、タッチスクリーン画面右下の USB ポートにオーディオ機器や音楽ファイルが記録された USB メモリを接続します。

●Bluetooth 接続

Bluetooth での接続を行うには、機器のペアリング／接続をします。手順は、「電話機との接続（ペアリング）」の項を参照してください。

●USB ／ Bluetooth モードへの切り替え

1.  にタッチします。
2. **ソース**にタッチします。
3. 入力ソースにタッチして選択します。

MEMO

入力ソースの切り替えは、ステアリングの **SRC** ボタンを押しても行えます。

MEMO

- ●接続するオーディオ機器の仕様により認識できないことがあります。
- ●認識可能なファイルフォーマットは WAV、WMA（9のみ）、AAC、OGG、MP3です。
  接続するオーディオ機器の仕様により再生できないことがあります。
- ●再生可能な MP3のサンプリング周波数は32kHz 以上です。
- ●ファイル名などの表示できる文字数や種類には制限があります。
- ●USB ポートに、オーディオ機器以外の USB 装置やハードディスクなどを接続しないでください。オーディオが故障するおそれがあります。
- ●ストリーミング再生は電話機の機能に依存します。
- ●音質は、電話機からの送信品質によって決まります。
- ●オーディオファイルの再生・停止などは、電話機で操作しなければならない場合があります。
- ●接続に必要なケーブルは付属していません。

●再生と停止
メディアを接続すると自動的に再生が始まります。
再生と停止は、タッチスクリーンの**プレーヤー**にタッチし、画面右上の再生／停止のアイコンにタッチして行います。
音量調整ツマミを押すか、＋と－の音量調整ボタンを同時に押しても再生と停止ができます。

●選曲
ステアリングの設定ダイヤルを回すか、タッチスクリーンの**プレーヤー**にタッチし、＜または＞にタッチすると前後の曲に変わります。
タッチスクリーンの＜または＞に長くタッチすると巻き戻し／早送りできます。

●再生リストの表示
再生リストは以下の手順で表示させます。

1. ステアリングの **LIST** ボタンを押します。
2. ステアリングの設定ダイヤルを回してフォルダまたは曲を選択します。
3. ステアリングの設定ダイヤルを押し込んで決定します。

MEMO

●再生リストはタッチスクリーンの**セレクション**や**ライブラリ**にタッチしても表示させることができます。
●接続するオーディオ機器の仕様により、ステアリングの **LIST** ボタンで再生リストを表示できない場合があります。

●再生オプション
以下の再生オプションを設定できます。
・ランダム再生
・リピート再生

1.  にタッチします。
2. **オプション**にタッチして再生オプションを表示させます。

●オーディオの設定
再生時の音質などのオーディオの設定を行うことができます。

1.  にタッチします。
2. **オプション**にタッチします。
3.  にタッチしてオーディオの設定画面を表示させます。

●ナビ／ TV のレベル調整 *
ナビやテレビの音量は、音量調整ツマミで調整します。

●オーディオの設定項目一覧

項目名	説明
トーン	プリセットから音質を選択できます。ユーザー設定を選択した場合は、任意の音質に設定できます。
バランス	リスニングポジションに合わせた前後左右の音量バランスを調整します。
サウンド	操作音の音量や、車速感応式自動音量補正機能を設定します。
呼出音（着信音）	着信音量を設定します。

MEMO

●**サウンド**の画面に表示される **AUX 入力**は使用できません。
●接続する機器の仕様により**呼出音（着信音）**の設定ができないことがあります。

画像ファイルの表示

1.  にタッチします。
2.  にタッチします。
3. 表示したい画像が格納されているフォルダにタッチします。
4. 画像にタッチして表示させます。

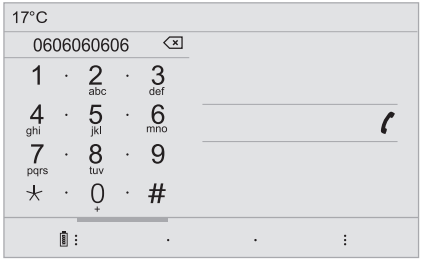
MEMO

●表示できるファイルは、tiff*、gif、jpeg、bmp、png です。
接続する機器の仕様により表示できないことがあります。
●動画の再生はできません。
●同じ画面に表示される **SMS** のアイコンは日本国内では使用できません。

* 仕様により異なります。

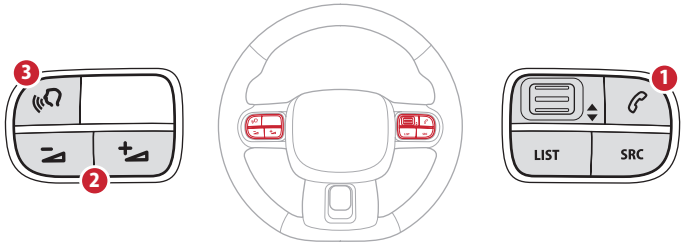
ハンズフリー通話

●ハンズフリーの通話・設定画面への移動



にタッチして、ハンズフリーの通話・設定画面に移動します。

●ステアリングスイッチ



①：**TEL** ボタン
着信があった場合に、短く押すと着信を受け付けます。長く押すと着信を拒否できます。
通話中に短く押すと、メニュー（**終話**、**保留**、**リダイヤル**、**マイク OFF**）を表示します。
通話中でないときに短く押すと、メニュー（**連絡先**、**発着信履歴**）を表示します。
②：音量調整ボタン
通話音量を調整できます。
③：音声認識機能起動ボタン
接続する携帯電話などの音声認識機能を使用して電話を発信します。

通話をする

●電話機との接続（ペアリング）

1. 電話機の Bluetooth 機能をオンにして、外部から検索可能な状態に設定します（電話機の説明書を参照）。
2.  にタッチします。
3. **TEL** にタッチします。
4.  にタッチします。
5.  にタッチして Bluetooth 機器の検索を行います。
6. リストから接続したい電話機を選択します。
7. タッチスクリーンと電話機に表示されたペアリングコードを確認し、タッチスクリーンの **Yes** にタッチします。電話機側でも同様に操作します。ペアリングに失敗した場合は、イグニッションを OFF にしたり、電話機の電源を OFF にするなどして、再度接続を試みてください。

MEMO

●初回接続時は、にタッチした後、にタッチして Bluetooth機器の検索を開始します。
●電話機名の代わりに電話機の機種名が表示される場合があります。
●画面に表示される MirrorLink® は、日本仕様車では使用できません。

⚠警 告

安全上の理由から、Bluetooth ハンズフリーシステムのペアリングは、車両を停止し、イグニッションを ON にした状態で実施してください。

MEMO

●電話機として一度に接続できる機器は1台だけです。
●利用できる機能はネットワーク、SIM カード、および使用する電話機の仕様（互換性）により異なります。
●エンジンを始動する度に自動再接続を可能にするには、電話機側での設定が必要な場合があります。
●ペアリングは、電話機から Bluetooth デバイスを検索して開始することもできます。

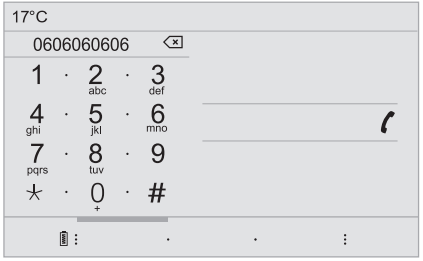
●電話をかける

⚠警 告

安全のため、車両を停止してから発信してください。

発信

1. にタッチします。
2. **キーパッド**にタッチして、タッチスクリーンから電話番号を入力します。



3. **発信**にタッチして発信を開始します。

発着信履歴からの発信

1. にタッチします。
2. **発着信履歴**にタッチします。
3. リストにタッチして発信を開始します。

MEMO

- ●発着信履歴は、ステアリングの **TEL** ボタンを短く押し、ステアリングの設定ダイヤルで選択して表示することもできます。
- ●発着信履歴には、接続した電話機により車両経由で行った発信と受信が含まれています。
- ●電話機により、発着信履歴からの発信ができない場合があります。

連絡先からの発信

1. にタッチします。
2. **連絡先**にタッチします。
3. リストにタッチします。
4. 表示された電話番号にタッチして発信を開始します。

MEMO

連絡先は、ステアリングの **TEL** ボタンを短く押し、ステアリングの設定ダイヤルで選択して表示することもできます。

音声認識機能を使用した発信

1. 音声認識機能起動ボタンを押します。
2. 「○○○に電話」などと話します。

MEMO

あらかじめスマートフォンの音声認識機能をオンにしてから操作してください。

●電話を受ける

1. 受信通話があると、着信音が鳴り、タッチスクリーンに表示されます。
2. ステアリングの **TEL** ボタンを短く押すか、タッチスクリーンの✆にタッチして通話を受けます。

MEMO

- ●着信を拒否するには、タッチスクリーンの⏌にタッチするか、ステアリングの **TEL** ボタンを長く押します。
- ●着信を保留にするには、タッチスクリーンの⏸にタッチします。
- ●受話後、**プライベート通話**にタッチすると、ハンズフリー通話から電話機での通話に切り替わります。
- ●受話後、**マイク OFF** にタッチすると、通話相手に自分の声が聞こえなくなります。

●電話を切る

電話を切るには、タッチスクリーンの**終話**にタッチする、ステアリングの **TEL** ボタンを長く押す、またはステアリングの **TEL** ボタンを短く押し、ステアリングの設定ダイヤルを回して**終話**を選択して、押し込みます。

●着信音量の設定

1. ✆ にタッチします。
2. **オプション**にタッチします。
3.  にタッチします。
4. カーソルを左右に動かして着信音量を調整します。

MEMO

接続する機器の仕様により着信音量の設定ができないことがあります。

●連絡先の並べ替え

連絡先を苗字または名前で並べ替えできます。

1.  にタッチします。
2. **オプション**にタッチします。
3.  にタッチして苗字または名前で並べ替えます。

MEMO

日本語はひらがな、またはカタカナで登録された連絡先のみ並べ替えできます。

●連絡先の検索

タッチスクリーンで名前を入力して連絡先の検索ができます。

1.  にタッチします。
2. **連絡先**にタッチします。
3.  にタッチします。
4. タッチスクリーンから検索したい連絡先の名前を入力します。
5. 表示された連絡先候補の中から連絡先を選択します。

MEMO

●日本語はひらがな、またはカタカナで登録された連絡先のみ検索できます。
●にタッチすると、アルファベットで登録された連絡先の検索ができます。

●応答の保留の設定

着信をしたら自動的に保留に切り替わる設定ができます。

1.  にタッチします。
2. **オプション**にタッチします。
3.  にタッチして応答の保留をオンにします。

●接続設定の変更

Bluetooth による電話機との接続には、ハンズフリー接続およびオーディオ接続が含まれます。通常はどちらの機能も自動的に接続されます。

MEMO

電話機によっては、どちらか１つの接続しかできない場合があります。

1. にタッチします。
2. **TEL** にタッチします。
3. にタッチして Bluetooth 機器のリストを表示します。
4. 接続設定を変更したい Bluetooth 機器のアイコンにタッチします。
5. ボックスにチェックをしてプロファイルを選択します。
6. **OK** にタッチします。

●電話機との接続（ペアリング）を切断する

1. にタッチします。
2. **TEL** にタッチします。
3. にタッチして Bluetooth 機器のリストを表示します。
4. Bluetooth 機器のリストにタッチして接続を切断します。再度タッチすると、接続が再開されます。

●電話機との接続（ペアリング）を削除する

1. にタッチします。
2. **TEL** にタッチします。
3. にタッチして Bluetooth 機器のリストを表示します。
4. Bluetooth 機器のリスト右上のアイコンにタッチします。
5. 接続を削除したい Bluetooth 機器のアイコンにタッチします。
6. **Yes** にタッチして接続を削除します。

* 仕様により異なります。

Apple CarPlay

Apple CarPlay に対応した iPhone は、USB で接続して iPhone のアプリをタッチスクリーンに表示することができます。

⚠警 告

安全上の理由から、Apple CarPlay の操作は、車両を停止し、イグニッションを ON にした状態で実施してください。

●USB で接続する

iPhone をタッチスクリーン画面右下の USB ポートに接続します。Apple CarPlay に対応したアプリが表示されます。

MEMO

- ●iPhone を接続する前にあらかじめ iPhone の Siri 機能をオンにしてください。
- ●USB で接続した後、タッチスクリーンの他のメニューを表示している状態から Apple CarPlay の画面を表示するには、にタッチしてください。
- ●USB で接続した後、にタッチすると Apple CarPlay のマップが表示されます。*
- ●プライバシー機能のメッセージが表示されたら **OK** にタッチしてから再接続してください。

●Siri を起動する

Apple CarPlay は Siri による音声操作が可能です。ステアリングの音声認識機能起動ボタンを押すと Siri を起動できます（Siri が搭載された iPhone を接続している場合のみ）。

MEMO

- ●接続する iPhone の仕様により認識できないことがあります。
- ●接続に必要なケーブルは付属していません。
- ●Apple CarPlay を使用するには、Apple CarPlay 対応の iPhone とアプリが必要です。
- ●Apple CarPlay の使用中は、Bluetooth の接続ができません。
- ●iPhone で Apple CarPlay の機能を制限している場合は、制限を解除してください。
- ●Apple CarPlay の使用にはパケット通信料がかかります。

Android Auto

Android Auto に対応したスマートフォンは、USB で接続してスマートフォンのアプリをタッチスクリーンに表示することができます。

⚠警 告

安全上の理由から、Android Auto の操作は、車両を停止し、イグニッションを ON にした状態で実施してください。

●USB で接続する

1. スマートフォンをタッチスクリーン画面右下の USB ポートに接続します。

2. スマートフォンおよびタッチスクリーンにメッセージが表示されることがあります。メッセージに従い操作します。Android Auto に対応したアプリが表示されます。

MEMO

- ●スマートフォンがロックされている場合は、ロックを解除してから再接続してください。
- ●USB で接続した後、タッチスクリーンの他のメニューを表示している状態から Android Auto の画面を表示するには、にタッチしてください。
- ●USB で接続した後、にタッチすると Android Auto のマップが表示されます。*
- ●プライバシー機能のメッセージが表示されたら **OK** にタッチしてから再接続してください。

●音声認識機能を起動する

Android Auto の音声認識機能を使用するには、ステアリングの音声認識機能起動ボタンを押します。

MEMO

- ●スマートフォンをUSBで接続し、Android Autoの設定を完了すると、スマートフォンが自動的にBluetooth接続されます。
- ●走行中は Android Auto の動作が制限される場合があります。
- ●接続するスマートフォンの仕様により認識できないことがあります。
- ●接続に必要なケーブルは付属していません。
- ●Android Auto を使用するには、Android Auto 対応のスマートフォンとアプリが必要です。
- ●Android Auto の使用にはパケット通信料がかかります。

* 仕様により異なります。

プロファイルの設定

タッチスクリーンの設定を、個別のプロファイルとして3つまで、または1つの共有プロファイルとして記憶できます。プロファイルには、アンビエンス（カラー）などの設定を記憶できます。

●プロファイルを設定する

1.  タッチスクリーンの画面上部にあるアイコンにタッチします。
2.  にタッチします。
3. 設定したいプロファイルに合わせてタッチスクリーンの**プロファイル 1**、**プロファイル 2**、**プロファイル 3**、または**共有プロファイル**にタッチします。
4.  にタッチします。
5. タッチスクリーンからプロファイルの名前を入力します。
6. **OK** にタッチして入力内容を保存します。
7.  にタッチしてプロファイルをオンにします。

MEMO

共有プロファイルは名前の設定はできません。

●プロファイルの呼び出し

1.  タッチスクリーンの画面上部にあるアイコンにタッチします。
2.  にタッチします。
3. 呼び出したいプロファイルに合わせてタッチスクリーンの**プロファイル 1**、**プロファイル 2**、**プロファイル 3**、または**共有プロファイル**にタッチします。
4.  にタッチします。

●プロファイルの初期化

1.  タッチスクリーンの画面上部にあるアイコンにタッチします。
2.  にタッチします。
3. 初期化したいプロファイルに合わせてタッチスクリーンの**プロファイル 1**、**プロファイル 2**、**プロファイル 3**、または**共有プロファイル**にタッチします。
4.  にタッチします。
5. 00.0 にタッチします。
6. **Yes** にタッチします。プロファイルが初期化されます。

⚠警 告

安全上の理由から、プロファイルの設定は、車両を停止し、イグニッションを ON にした状態で実施してください。

FAQ（よくある質問）

ナビゲーション（地図／設定）の操作については、別冊の取扱説明書をお読みください。

質問	回答	対応方法
ラジオの受信感度が徐々に悪くなり、記憶させた放送局が表示されず、すべて同じ周波数が表示されてしまいます。	周囲に放送局がなく、電波を受信することができません。	その場所から移動してください。
	周囲に電波を遮るものがあり、電波を受信することができません。	
	アンテナが故障しています。	シトロエン指定サービス工場にお問い合わせください。
プリセット設定を選択した後、低音・中･高音の個別設定を行うと、プリセット設定がユーザー設定になってしまいます。	プリセット設定と低音・中・高音の個別設定は同時に行えません。	どちらか片方で音質の調整を行ってください。
USB メモリを接続してから、長い時間反応がありません。	USB メモリを最初に接続すると、メディアに含まれる曲名やアーティスト名を読み込むために少し時間がかかります。	
USB メモリの音楽の再生に時間がかかっています。	音楽ファイル以外のファイルの読み込みには、時間がかかることがあります。	該当のファイルを削除してください。また、ディレクトリの階層を浅くしてください。
自動再生が始まりません。	一部の機器は自動再生に対応していません。	機器の側で再生を行ってください。
ラジオや USB などの入力ソースによって音質が異なります。	ボリュームや低音・中・高音などの音質設定は、入力ソースごとに保存されています。	入力ソースごとに最適な設定を行ってください。
エンジンを切っても、しばらくの間オーディオが動作しています。	エンジンを切ってもしばらく動作しますが、走行直後は最大40分で自動的に電源が切れます。	引き続きオーディオを使用したい場合は、エンジンをかけてください。

質問	回答	対応方法
Bluetooth で電話機を接続できません。	電話機の Bluetooth 機能がオフになっているか検索可能な状態になっていません。	Bluetooth 機能を ON にしてください。または、検索可能な状態にしてください。
Bluetooth で接続した電話機の音量が小さくて聞き取れません。	受話音量はオーディオ本体と電話機の両方で調節できます。	電話機の音量を上げる、または、オーディオの音量を上げてください。
電話帳に同じ宛先が複数載っています。	SIM カードと電話機本体の両方に同じ宛先が載っています。	SIM カードまたは電話機本体の電話帳のみを表示させてください。
電話帳の並び順がアルファベット順になっていません。	電話機での並び順設定が優先されています。	電話機側で並び順を変更してください。
Apple CarPlay 、Android Auto を使用できません。	接続に使用しているケーブルによっては Apple CarPlay 、Android Auto が有効になりません。	ご使用のスマートフォンに付属のケーブルを使用して接続してください。
SMS（ショートメールなど）が受信できません。	SMS（ショートメールなど）の送受信には対応していません。	
曲名や曲の時間が表示されません。	電話機の種類によっては、表示されないことがあります。	
Bluetooth 接続した iPhone を USB ポートにも同時に接続しましたが、音楽ファイルを再生できません。	iPhone を電話機としてハンズフリー接続した場合、自動的にストリーミング機能が優先して USB 再生はできません。	一度 USB ケーブルをはずして再度接続することで、USB 再生が優先されるようになります。
再生中の音楽の曲名などが正しく表示されません。	バージョンにより表示されない場合があります。	別の文字を使用してタイトルやフォルダ名を変更してください。

この取扱説明書は、お車のオーナーが最良の状態で車を使用し、維持できるように作成されています。

装備の解説は、このモデルの最上級仕様にもとづいています。

個々のお車においては、販売国の仕様によって、掲載されている装備のいくつかが該当しない場合があります。

テクニカルデータ、仕様、アクセサリーについては予告なく変更される場合があります。

取扱説明書内のイラストは、正確な描写を目的に作成されておりませんので、実車と一致しない場合があります。

オートモビル･シトロエン社の文書による許可を受けていない、この取扱説明書に掲載されている写真、イラスト、文章の一部または全部の転載、複写を禁止します。

編集発行　プジョー・シトロエン・ジャポン　株式会社　2019/12

PMOM - BERLINGO19J

https://www.citroen.jp/